

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅸ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査②—

細谷地遺跡

矢盛遺跡

焼野遺跡

2017.3

独立行政法人 都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅸ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査②—

細谷地遺跡

矢盛遺跡

焼野遺跡

2017. 3

独立行政法人 都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その都市骨格は、約400年前に戦国大名南部氏により築城された総石垣の盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛南開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工され、平成25年10月に事業が完了しました（愛称「ゆいとびあ盛南」）。

この事業に伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備工事によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行い、平成24年度に野外調査を完了したところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成22年度から24年度に実施した細谷地遺跡ほか計3遺跡の調査成果について報告するものです。市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るための資料としてご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所並びに岩手県教育委員会生涯学習文化課、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し上げますとともに、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位並びに地元関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

平成29年3月

盛岡市教育委員会

教育長 千葉 仁一

例 言

1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・南仙北・飯岡新田に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南新都市開発整備事業（通称：盛南開発）」及び関係事業に伴い平成22年度から24年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡の調査成果を報告する。

2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市遺跡の学び館が行い、編集・執筆作業を津嶋知弘が担当した。

3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。

・調査座標軸は、日本測地系第X系に準じる

・調査座標原点

細谷地遺跡 X -35,000 Y +26,000 → RX ±0 RY ±0

矢盛・焼野遺跡 X -36,050 Y +26,000 → RX ±0 RY ±0

4 高さは、標高値をそのまま使用した。

5 土層断面図は堆積のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては「新版標準土色帖」（農林水産省農林水産技術会議事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記号	
遺構堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土（遺物包含層含む）	I（ローマ数字）～層

6 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴建物跡	RA	溝跡・堀跡	RG
掘立柱建物跡	RB	配石・集石遺構	RH
掘立柱柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴状遺構	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

7 「竪穴建物跡」は、従来「竪穴住居跡」と呼称されてきたものであるが、文化庁文化財部記念物課監修「発掘調査のてびき」（2010）での定義に従い、名称変更している。

8 遺構番号は、県理文センター調査遺構番号との整合を図りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。

本調査精査遺構：3桁または4桁の遺跡内連続番号（基本的に県理文センター調査遺構番号に連続）

9 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検出	実線 
推定	破線 
時期差	一点鎖点 

- 10 古代の竪穴住居跡のカマド方向は、カマド本体中心(焚口)から煙道先端(煙出し)を結んだ線の方向の傾きとした。
- 11 古代の土器区分は、土師器・須恵器・あかやき土器に分類した。「あかやき土器」の名称は、ロクロ使用の酸化煙焼成土器(坏類、甕類、鉢)に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 12 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存1/4以上かつ底部まで残存するもの、甕類は口縁部残存1/4以上かつ体部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また拓本は、須恵器甕類のタタキ目等器面調整が確認できるものとした。
- 13 出土遺物の実測図化・トレースは、(株)タックエンジニアリングに委託した。また、出土炭化材の放射性炭素年代測定は、(株)加速器分析研究所に委託し、その結果報告を附章に掲載した。
- 14 出土遺物の写真撮影は、津嶋知弘が行った。
- 15 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、盛岡市道跡の学び館で保管している。
- 16 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

〔盛岡南新都市開発整備事業〕及び関係事業に係る発掘調査報告書（平成27年度未現在）

〈公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）〉

- 1995年3月「本宮熊堂B遺跡第1次発掘調査報告書—盛岡開発事業関連遺跡発掘調査—」第226集
- 1996年3月「小幡遺跡第2次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業—」第244集
- 1996年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成7年度）」第246集〔小幡遺跡6次〕
- 1996年11月「小幡遺跡第4次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第265集
- 1997年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成8年度）」第266集〔宮沢遺跡4次、本宮熊堂A遺跡7次〕
- 1998年3月「小幡遺跡第5次・第7次発掘調査報告書—盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—」第267集
- 1998年3月「大宮北遺跡・本宮熊堂A遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第281集〔大宮北遺跡4次、本宮熊堂A遺跡6次〕
- 1998年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成9年度）」第282集〔稲荷遺跡3次、野古A遺跡9次・10次〕
- 1999年3月「熊堂B遺跡第5次・台太郎遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第293集
- 1999年1月「本宮熊堂B遺跡第4次・鬼柳A遺跡第4次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第308集
- 1999年3月「台太郎遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第309集
- 1999年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成10年度）」第311集〔飯岡才川遺跡2次〕
- 2000年1月「向中野館遺跡第3次・小幡遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第338集
- 2000年3月「向中野館遺跡第4次・小幡遺跡第11次・台太郎遺跡第19次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第321集
- 2000年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成11年度）」第340集〔小幡遺跡13次・14次〕
- 2001年3月「台太郎遺跡第22次発掘調査報告書—盛岡東警察署警察官待機宿舍建設事業関連遺跡発掘調査—」第365集
- 2001年3月「台太郎遺跡第18次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第369集
- 2002年11月「台太郎遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第416集
- 2002年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成12年度）」第370集〔鬼柳A遺跡7次、本宮熊堂B遺跡9次・11次、小幡遺跡15次・16次、飯岡才川遺跡4次〕
- 2002年2月「熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第377集
- 2002年3月「飯岡才川遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第393集
- 2002年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成13年度）」第397集〔台太郎遺跡36次、細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月「台太郎遺跡第23次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第415集
- 2003年3月「台太郎遺跡第35次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第417集
- 2003年3月「台太郎遺跡第44次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第422集
- 2003年3月「細谷地遺跡発掘調査報告書—第4・5次調査—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査」第414集
- 2003年3月「飯岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第418集
- 2003年3月「飯岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第419集
- 2003年3月「野古A遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第420集
- 2003年3月「野古A遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第421集
- 2003年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成14年度）」第423集〔矢盛遺跡4次、稲荷遺跡5次〕
- 2004年2月「矢盛遺跡第3次、熊堂B遺跡発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第451集
- 2004年3月「本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第453集
- 2004年3月「細谷地遺跡第8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第454集
- 2004年3月「岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成15年度）」第455集〔稲荷遺跡6次、本宮熊堂B遺跡19次、台太郎50次・52次、野古A遺跡19次・20次、飯岡才川遺跡5次・6次、細谷地遺跡7次〕

- 2004年12月「本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第467集
- 2005年2月「本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書—国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—」第458集
- 2005年2月「台太郎遺跡第51次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第468集
- 2005年3月「『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成16年度）』第469集〔稲荷遺跡8・9次、台太郎遺跡53次、矢盛遺跡5次〕
- 2005年12月「矢盛遺跡第6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第488集
- 2006年2月「飯岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第489集
- 2006年2月「本宮熊堂A遺跡第24次・本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書—般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—」第470集
- 2006年3月「台太郎遺跡第54次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第486集
- 2006年3月「本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第487集
- 2006年3月「平成17年度発掘調査報告書」第490集〔宮沢遺跡11次、本宮熊堂B遺跡30次・31次〕
- 2007年2月「飯岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第494集
- 2007年3月「細谷地遺跡第9次・第10次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第500集
- 2007年2月「野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第501集
- 2007年3月「本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第502集
- 2007年3月「向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第503集
- 2007年2月「向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第504集
- 2008年1月「飯岡才川遺跡第12次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第515集
- 2008年1月「矢盛遺跡第10・11次・向中野館遺跡第9次・台太郎遺跡第58次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第516集
- 2008年1月「飯岡才川遺跡第7・13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書—般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査—」第508集
- 2008年1月「細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第513集
- 2008年2月「細谷地遺跡第15次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第514集
- 2008年3月「平成19年度発掘調査報告書」第524集〔細谷地遺跡18次、矢盛遺跡14次〕
- 2009年2月「矢盛遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第534集
- 2009年2月「細谷地遺跡第16・17次発掘調査報告書—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査—」第535集
- 2009年3月「平成20年度発掘調査報告書」第546集〔飯岡才川遺跡15次、矢盛遺跡20次、焼野遺跡1・2次〕
- 2009年12月「矢盛遺跡第18・19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第555集
- 2010年2月「細谷地遺跡第19・20次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第556集
- 2010年3月「向中野館遺跡第10・11次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第557集
- 2010年3月「平成21年度発掘調査報告書」第571集〔矢盛遺跡25・26次〕
- 2011年3月「細谷地遺跡第24・25次・向中野館遺跡第12・13次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第577集
- 2011年2月「矢盛遺跡第23・24次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第578集
- 2011年3月「台太郎遺跡第66次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第579集
- 2011年2月「飯岡才川遺跡第16次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第580集
- 2012年3月「矢盛遺跡第27次野古A遺跡第30次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第594集
- 2012年3月「細谷地遺跡第26次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第596集
- 2012年3月「平成23年度発掘調査報告書」第603集〔矢盛遺跡29次〕
- 2013年3月「飯岡才川遺跡第17～19次発掘調査報告書—盛岡南新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査—」第618集

〔盛岡市教育委員会〕

- 1998年3月「盛岡市埋蔵文化財調査年報—平成5・6年度—」〔南仙北道跡12・13・14次〕
- 2002年3月「盛岡市内道跡群—平成13年度発掘調査報告—」〔台太郎道跡40・41次〕
- 2005年3月「盛岡市内道跡群—平成15年度・16年度発掘調査報告—」〔台太郎道跡55次〕
- 2007年3月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅰ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①—大宮北道跡・小幡道跡・宮沢道跡・鬼柳A道跡—」〔大宮北道跡8・9次、小幡道跡8・12・17次、宮沢道跡5次、鬼柳A道跡5次〕
- 2008年3月「盛岡市内道跡群—平成18・19年度発掘調査報告—」〔大宮北道跡11・13次〕
- 2009年3月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅱ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②—稲荷道跡・本宮熊堂A道跡・本宮熊堂B道跡・野古A道跡・飯岡沢田道跡・飯岡才川道跡・向中野館道跡・細谷地道跡・矢盛道跡・南仙北道跡—」〔稲荷道跡1・1次補足、本宮熊堂A道跡2・2次補足、本宮熊堂B道跡3・3次補足・8・11次、飯岡沢田道跡1・2次、飯岡才川道跡1次、向中野館道跡1・2次、細谷地道跡2次、矢盛道跡2次、南仙北道跡15～17・22～24・27・28・30～32・35次〕
- 2010年11月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅲ—盛岡南新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査③—台太郎道跡—」〔台太郎道跡9～14・17・20・21・24・25・27～34次〕
- 2012年5月「台太郎道跡—「フローラルアベニュー向中野」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—」〔台太郎道跡73次〕
- 2012年9月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅳ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査①—台太郎道跡—」〔台太郎道跡37～39・42・43・45～49・56・57次〕
- 2014年1月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅴ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査②—大宮北道跡・小幡道跡・宮沢道跡・鬼柳A道跡・稲荷道跡・本宮熊堂A道跡・本宮熊堂B道跡・野古A道跡—」〔大宮北道跡10次、小幡道跡18・21・22次、宮沢道跡6～10・12次、鬼柳A道跡8次、稲荷道跡4・7・10～12次、本宮熊堂A道跡16・22次、本宮熊堂B道跡21・23・28次、野古A道跡13・14・16～18・21・22・25～28次〕
- 2014年3月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅵ—盛岡南新都市開発整備事業平成13～18年度発掘調査③—飯岡沢田道跡・飯岡才川道跡・細谷地道跡・矢盛道跡・南仙北道跡—」〔飯岡沢田道跡4・6～8・11次、飯岡才川道跡10・11次、細谷地道跡11次、矢盛道跡7・8次、南仙北道跡37～39次〕
- 2014年3月「台太郎道跡—株式会社クリナップ盛岡営業所建設工事に伴う緊急発掘調査報告書—」〔台太郎道跡77次〕
- 2014年9月「盛岡市内道跡群—平成24・25年度発掘調査報告書—」〔台太郎道跡78・79次〕
- 2015年3月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅶ—盛岡南新都市開発整備事業平成19～21年度発掘調査—大宮北道跡・小幡道跡・宮沢道跡・本宮熊堂B道跡・台太郎道跡・飯岡沢田道跡・飯岡才川道跡・細谷地道跡・矢盛道跡・夕覚道跡—」〔大宮北道跡11～14・15次、小幡道跡23次、宮沢道跡13次、本宮熊堂B道跡32・33次、台太郎道跡59～65・67～70次、飯岡沢田道跡12次、飯岡才川道跡14次、細谷地道跡21～23次、矢盛道跡15～17・21・22次、夕覚道跡1～6次〕
- 2015年9月「台太郎道跡—「フローラルアベニュー向中野2丁目」宅地造成に伴う緊急発掘調査報告書—」〔台太郎道跡80次〕
- 2016年9月「盛南地区道跡群発掘調査報告書Ⅷ—盛岡南新都市開発整備事業平成22～24年度発掘調査①—台太郎道跡・飯岡沢田道跡・夕覚道跡—」〔台太郎道跡71・72・74～76次、飯岡沢田道跡13次、夕覚道跡7・10次〕

目次

第1章 経過

第1節 調査の経過	1
第2節 発掘調査作業の経過	2
第3節 資料整理作業の経過	2
第4節 体制	3

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境	5
第2節 歴史的環境	8

第3章 調査成果

第1節 細谷地遺跡（第27・28・31次調査）	10
第2節 矢盛遺跡（第28・30・31次調査）	24
第3節 焼野遺跡（第3次調査）	40

第4章 総括

1 調査のまとめ	41
----------	----

表

遺構図版

遺物図版

写真図版

附章

細谷地遺跡第31次調査出土炭化材の放射性炭素年代（AMS測定）と ウィグルマッチングによる暦年代推定	229
細谷地遺跡第31次調査出土炭化材の樹種同定	239
矢盛遺跡第31次調査出土炭化材の放射性炭素年代（AMS測定）と ウィグルマッチングによる暦年代推定	243
矢盛遺跡第31次調査出土炭化材の樹種同定	249

報告書抄録

表 目 次

挿表1	盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成22～24年度〕	2
挿表2	盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表	6
挿表3	古代堅穴建物跡一覧表	48
挿表4	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・掘立柱列跡一覧表(1)	49
挿表5	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・掘立柱列跡一覧表(2)	50
第1表	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区堅穴建物跡主柱穴規模等一覧表	53
第2表	細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区掘立柱跡掘方規模等一覧表	53
第3表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区堅穴建物跡主柱穴規模等一覧表	53
第4表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(1)	54
第5表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(2)	55
第6表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(3)	56
第7表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(4)	57
第8表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(5)	58
第9表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(6)	59
第10表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区堅穴建物跡柱穴規模等一覧表	59
第11表	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区ビット計測表	60
第12表	細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区ビット計測表	60
第13表	細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区ビット計測表	60
第14表	細谷地遺跡第31次調査Ⅲ区ビット計測表	60
第15表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(1)	61
第16表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(2)	62
第17表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(3)	63
第18表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(4)	64
第19表	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区ビット計測表	64
第20表	矢盛遺跡第30次調査Ⅰ区ビット計測表	64
第21表	矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区ビット計測表	64
第22表	細谷地遺跡第27次調査遺構土層観察表	65
第23表	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区遺構土層観察表(1)	65
第24表	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区遺構土層観察表(2)	66
第25表	細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区遺構土層観察表	67
第26表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(1)	68
第27表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(2)	69
第28表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(3)	70
第29表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(4)	71
第30表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(5)	72

第31表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(6).....	73
第32表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(7).....	74
第33表	細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区遺構土層観察表.....	75
第34表	細谷地遺跡第31次調査Ⅲ区遺構土層観察表.....	76
第35表	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区遺構土層観察表.....	77
第36表	矢盛遺跡第30次調査Ⅰ・Ⅱ区遺構土層観察表.....	78
第37表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(1).....	78
第38表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(2).....	79
第39表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(3).....	80
第40表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(4).....	81
第41表	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ・Ⅱ区出土土器観察表.....	81
第42表	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ・Ⅱ区出土土器観察表.....	82
第43表	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区出土近世陶磁器観察表.....	82

目 次

挿図1	盛南地区道跡群位置図……………	7	第23図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
挿図2	道跡位置図……………	9	RA208竪穴建物跡……………	113	
第1図	細谷地道跡全体図……………	85	第24図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
第2図	矢盛道跡全体図……………	89	RA215竪穴建物跡……………	114	
第3図	焼野道跡全体図……………	93	第25図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
第4図	細谷地道跡第27次調査全体図……………	94	RA216竪穴建物跡……………	115	
第5図	細谷地道跡第27次調査		第26図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RD508～511土坑……………	95	RA217竪穴建物跡……………	116		
第6図	細谷地道跡第28次Ⅰ区・29次調査全体図……………	96	第27図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
第7図	細谷地道跡第28次調査Ⅰ区全体図、ビット……………	97	RA218竪穴建物跡……………	117	
第8図	細谷地道跡第28次調査Ⅰ区		第28図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RA107竪穴建物跡(1)……………	98	RA220竪穴建物跡……………	118		
第9図	細谷地道跡第28次調査Ⅰ区		第29図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RA107竪穴建物跡(2)……………	99	RA221竪穴建物跡……………	119		
第10図	細谷地道跡第28次調査Ⅰ区		第30図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RA202竪穴建物跡……………	100	RA203・107竪穴建物跡、RE015竪穴遺構……………	120		
第11図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区北部全体図、		第31図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
ビット……………	101	RD523・524土坑……………	121		
第12図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区南部全体図、		第32図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RG090溝跡、ビット……………	102	RD525・526土坑墓、ビット……………	122		
第13図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区		第33図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区	
RA181竪穴建物跡(1)……………	103	RG091大溝跡、RG093・094溝跡……………	123		
第14図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区		第34図	細谷地道跡第31次調査Ⅱ区・	
RA181竪穴建物跡(2)……………	104	32次調査Ⅱ区全体図……………	124		
第15図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区		第35図	細谷地道跡第31次調査Ⅱ区全体図……………	125
RC009・010掘立柱列跡……………	105	第36図	細谷地道跡第31次調査Ⅱ区		
第16図	細谷地道跡第28次調査Ⅱ区		RD527～530土坑……………	126	
RD512～517土坑……………	106	第37図	細谷地道跡第31次調査Ⅱ区		
第17図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区・		RG065・066・068溝跡、ビット……………	127	
32次調査Ⅰ区全体図……………	107	第38図	細谷地道跡第31次調査Ⅱ区		
第18図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区全体図……………	108	RG036溝跡、ビット……………	128	
第19図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区		第39図	細谷地道跡第31次調査Ⅲ区全体図……………	129
RA204竪穴建物跡……………	109	第40図	細谷地道跡第31次調査Ⅲ区		
第20図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区		RE014竪穴状遺構、RD531・535土坑……………	130	
RA205竪穴建物跡……………	110	第41図	細谷地道跡第31次調査Ⅲ区		
第21図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区		RD532～534・536～539土坑……………	131	
RA206竪穴建物跡……………	111	第42図	細谷地道跡第31次調査Ⅲ区		
第22図	細谷地道跡第31次調査Ⅰ区		RG061・062・095溝跡、ビット……………	132	
RA207竪穴建物跡……………	112	第43図	矢盛道跡第28次調査全体図……………	133	
		第44図	矢盛道跡第28次調査Ⅰ区北部全体図……………	134	

第45回	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区南部全体図……………	135	第68回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RE004竪穴建物跡……………	158
第46回	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区 RD263・266土坑……………	136	第69回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RE025竪穴建物跡、RI070井戸跡……………	159
第47回	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区 RD267・269陥し穴、RD270・272土坑……………	137	第70回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RD291・292陥し穴、 RD293・294・300・301土坑……………	160
第48回	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区RG084溝跡……………	138	第71回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RD295・299・302・306土坑……………	161
第49回	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区ビット……………	139	第72回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区東部 RG029・031溝跡、RZ002道路跡、堰跡……………	162
第50回	矢盛遺跡第28次調査Ⅱ区全体図……………	140	第73回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区西部RG016堀跡、 RG034・035・090・094溝跡、堰跡……………	163
第51回	矢盛遺跡第28次調査Ⅱ区 RD273・281土坑……………	141	第74回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(1)……………	164
第52回	矢盛遺跡第28次調査Ⅱ区RG085大溝跡……………	142	第75回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(2)……………	165
第53回	矢盛遺跡第30次調査Ⅰ区全体図……………	143	第76回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(3)……………	166
第54回	矢盛遺跡第30次調査Ⅰ区 RX001方形周溝、ビット……………	144	第77回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(4)……………	167
第55回	矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区全体図……………	145	第78回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(5)……………	168
第56回	矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区 RD288・290土坑、RG074溝跡、ビット……………	146	第79回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(6)……………	169
第57回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区全体図……………	147	第80回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(7)……………	170
第58回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB007・067掘立柱建物跡……………	148	第81回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(8)……………	171
第59回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB080・084掘立柱建物跡……………	149	第82回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(9)……………	172
第60回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB076・079掘立柱建物跡……………	150	第83回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(10)……………	173
第61回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB077・083掘立柱建物跡、 RC016・018掘立柱列跡……………	151	第84回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(11)……………	174
第62回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB078・081・082掘立柱建物跡、 RC017掘立柱列跡……………	152	第85回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(12)……………	175
第63回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB073・085掘立柱建物跡、 RC014掘立柱列跡……………	153	第86回	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区出土土器……………	179
第64回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB068掘立柱建物跡、 RC015掘立柱列跡……………	154	第87回	細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区出土土器……………	179
第65回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB069・072掘立柱建物跡、 RC009・013掘立柱列跡……………	155	第88回	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 RA205・206出土土器……………	179
第66回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB070・071・074掘立柱建物跡……………	156	第89回	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 RA204出土土器……………	180
第67回	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 RB075掘立柱建物跡、 RC008・010・012掘立柱列跡……………	157	第90回	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 RA207・208出土土器……………	181
			第91回	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 RA215・216・218出土土器……………	182
			第92回	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 RA217・221、RD525出土土器……………	183
			第93回	細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区 RG065出土土器……………	183
			第94回	矢盛遺跡第31次調査出土近世陶磁器……………	184

写真図版目次

第1図版	盛南開発地区航空写真…………… 187	第13図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(6)…………… 199 RA207竪穴建物跡 カマドと煙道 主柱穴位置。カマド軸芯材
第2図版	細谷地遺跡第27次調査…………… 188 調査区全景 RD509・510土坑土層断面	第14図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(7)…………… 200 RA208竪穴建物跡 カマドと煙道 カマド、カマド支脚
第3図版	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区(1)…………… 189 Ⅰ区全景	第15図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(8)…………… 201 RA215竪穴建物跡 カマドと煙道 カマド焼土面、カマド支脚
第4図版	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区(2)…………… 190 RA107竪穴建物跡 カマドFa カマドFa煙道	第16図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(9)…………… 202 RA216竪穴建物跡 カマドと煙道、カマド、煙道
第5図版	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区(3)…………… 191 RA107竪穴建物跡 カマドb カマドb煙道	第17図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(10)…………… 203 RA217竪穴建物跡 カマドと煙道 カマド、カマド支脚
第6図版	細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区(4)…………… 192 RA202竪穴建物跡 カマド カマド煙道	第18図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(11)…………… 204 RA218竪穴建物跡 カマドと煙道 遺物出土状況、須恵器壺底部出土状況
第7図版	細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区…………… 193 Ⅱ区北部北半全景 RA181竪穴建物跡 Ⅱ区北部南半全景 Ⅱ区南部全景	第19図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(12)…………… 205 RA220竪穴建物跡
第8図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(1)…………… 194 第31次調査Ⅰ区・第32次調査Ⅰ区全景	第20図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(13)…………… 206 RA221竪穴建物跡 カマドと煙出し、石組カマド
第9図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(2)…………… 195 第31次調査Ⅰ区・第32次調査Ⅰ区全景	第21図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(14)…………… 207 RD525土坑墓、RD525土層断面 RD526土坑墓、RD526土層断面 RG091大溝跡、RG091土層断面
第10図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(3)…………… 196 RA204竪穴建物跡 カマドと煙道、遺物出土状況 土師器甕出土状況、炭化材出土状況	第22図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅱ・Ⅲ区…………… 208 Ⅱ区全景 RG065・066・068溝跡、土層断面 Ⅲ区全景
第11図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(4)…………… 197 RA205竪穴建物跡 カマドa、カマドFa煙道 炭化材出土状況	第23図版	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区(1)…………… 209 Ⅰ区北部全景、Ⅰ区中部全景、Ⅰ区南部全景
第12図版	細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(5)…………… 198 RA206竪穴建物跡 カマドと煙道 カマド支脚、鉄鏝出土状況		

第24図版	矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区(2)……………	210
	RD268陥し穴、RD267陥し穴、調査風景	
第25図版	矢盛遺跡第30次調査……………	211
	Ⅰ区全景、RX001方形周溝、Ⅱ区全景	
第26図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(1)……………	212
	Ⅰ区全景	
第27図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(2)……………	213
	Ⅰ区全景	
第28図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(3)……………	214
	RB007掘立柱建物跡、RB067掘立柱建物跡 RB068掘立柱建物跡、RB068柱掘方土層断面 RB069掘立柱建物跡、RB070掘立柱建物跡 RB071掘立柱建物跡、RB072掘立柱建物跡	
第29図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(4)……………	215
	RB073掘立柱建物跡、RB075掘立柱建物跡 RB076掘立柱建物跡、RB076柱掘方土層断面 RB078掘立柱建物跡、RB079掘立柱建物跡 RC010掘立柱列跡	
第30図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(5)……………	216
	RE004竪穴建物跡、RE025竪穴建物跡 RI070井戸跡・土層断面	
第31図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(6)……………	217
	RG016堀跡・RG035溝跡 RG016土層断面、RG035土層断面 RG090溝跡・堀跡、RG090土層断面	
第32図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(7)……………	218
	RG091溝跡・堀跡、RG091土層断面 RZ002道路跡(RG030-031溝跡)・RG029溝跡 RG029土層断面、RG030土層断面、 RG031土層断面	
第33図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区(8)……………	219
	RD291陥し穴、RD292陥し穴 RD303土坑、RD306土坑、調査風景	
第34図版	細谷地遺跡出土遺物(1)……………	220
第35図版	細谷地遺跡出土遺物(2)……………	221
第36図版	矢盛遺跡出土遺物……………	222
第37図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 遺構変遷案(1)……………	223
第38図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 遺構変遷案(2)……………	224
第39図版	矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区 遺構変遷案(3)……………	225

第1章 経過

第1節 調査の経過

「盛岡南新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市、平成4年4月合併）の3者が、当時の地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ、現在は独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い、公団は実施計画を作成、翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り、事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては、昭和50年の国土庁長官・建設者からの行政指導に則して、公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」、およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7（3）

県、市及び村は、環境の保全及び文化財の保護につき、協力して所要の調整を行い、事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書確認書」（平成3年12月11日） 記の5

「覚書」の記の7の（3）の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について、国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については、公団が県、市及び村に委託するものとし、その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため、県、市及び村は、土地区画整理事業の認可までに、公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し、これを県、市、村及び公団で確認の上、他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより、事業の円滑な推進を図るものとする。

なお、事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には、県、市及び村は、適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果、遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し、その結果を受けての本調査を市及び公団から委託を受けて、現在の公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。しかし、本調査対象面積が広大であることから、平成10年度以降は市教育委員会も本調査を開始し、平成11年度以降は市教育委員会も公団（都市機構）と受委託契約を締結し、県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施した。なお野外調査は、平成24年度の矢盛遺跡第31次調査をもって完了している。

第2節 発掘調査作業の経過

盛岡南新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成5年度から継続して実施された。土地区画整理の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行った。

しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行ってきた。

本書で報告の対象としている各遺跡の平成22～24年度の調査成果の概要は、挿表1のとおりである。

挿表1 盛南地区遺跡群発掘調査一覧表〔平成22～24年度〕

遺跡名	略号	次数	年度	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺構・遺物	調査原因	調査主体	報告書
船谷地	OHY	27	H22	本調査	向中野字野原35-5	275	2010.7.12～ 2010.7.28	古代以降土坑4	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		28	H23	本調査	向中野字船谷地40-5 他 (対象2,901)	1,501	2011.7.19～ 2011.12.9	古代型竪穴建物跡2・土坑2、古 代以降柱列跡1・土坑4・溝跡1、 ピット、沢状地形	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		29	H23	本調査	向中野字船谷地39 他 (対象2,362)	2,104	2011.7.19～ 2011.11.18	古代型竪穴建物跡2・溝跡1、古 代以降溝跡2、ピット	土地区画整理 (道明地区)	市教委	別途報告 予定
		30	H23	試掘確認	向中野字船谷地69-1 他 (対象4,629)	747	2011.7.26、 2011.11.7～9	なし	土地区画整理 (道明地区)	市教委	別途報告 予定
		31	H24	本調査	向中野字船谷地40-5 他 (対象5,457)	4,524	2012.5.1～ 2012.9.18	縄文時代竪穴建物跡1、古代 型竪穴建物跡15・竪穴遺構2・ 土坑8・溝跡8、古代以降土坑9・ 溝跡2、ピット、沢状地形	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		32	H24	本調査 試掘確認	向中野字船谷地69-3 他 (対象17,584)	5,721	2012.5.1～ 2012.9.18	縄文時代土坑1、古代型竪 穴建物跡11・土坑1・溝跡1、古 代以降溝跡2、ピット、沢状地 形(一部トレンチ調査)	土地区画整理 (道明地区)	市教委	別途報告 予定
矢盛	IYM	27	H22	本調査	飯岡新田2地割19-2 他	9,845	2010.8.10～ 2010.11.10	縄文時代陥し穴13、古代溝跡 1、中近世竪立柱建物跡3・溝 跡3、近世以降竪穴遺構3・ 溝跡13	土地区画整理 (盛南開発)	理文団	第594巻
		28	H22	本調査	向中野字野原55-1他	11,213	2010.8.17～ 2010.12.17	縄文時代陥し穴1、近世以降 土坑18・溝跡2	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		29	H23	本調査	向中野字野原42-10 他	2,797	2011.7.1～ 2011.7.29	近世竪立柱建物跡2	土地区画整理 (盛南開発)	理文団	第603巻
		30	H23	本調査	飯岡新田4地割1-2他 (対象2,270)	709	2011.12.25～ 2011.12.28	古代以降方形周溝1・土坑3・ 溝跡1、ピット	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
		31	H24	本調査	飯岡新田4地割6-1他 (対象3,236)	2,725	2012.9.18～ 2012.12.26	縄文時代陥し穴2、中世竪立 柱建物跡19・柱列跡9・竪穴 建物跡2、土坑14・塚跡1・溝 跡10・井戸跡1・遺跡跡2、ピ ット(一部トレンチ調査)	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書
焼野	IYE	3	H23	本調査	飯岡新田4地割55他 (対象1,922)	409	2011.11.14	なし(トレンチ調査)	土地区画整理 (盛南開発)	市教委	本書

第3節 資料整理作業の経過

当市教育委員会が、当該事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公団(都市機構)と発掘調査の受委託契約を締結し、公団(都市機構)事業範囲(都市計画道路)の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理作業のみを行っていた。

平成12年12月24日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にある文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・取蔵保管の拠点として使用してきた場所である。当然、本事業の発掘調査成果(図

面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、罹災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の「盛岡市中央公園」内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にともなう発掘調査と資料整理作業、および罹災資料の復元作業を継続して行った。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る罹災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が罹災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

上記のうち、指針①②については平成22年度までに計3分冊として刊行を終了している。指針③については計5分冊の報告書を平成24～28年度に刊行している。本報告書は、指針③に基づく計9分冊目（平成22～24年度調査2分冊の2分冊目）の報告書である。

第4節 体制

〔委 託 者〕 独立行政法人都市再生機構

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事 務 局〕 盛岡市教育委員会事務局歴史文化課

〔調 査〕 盛岡市遺跡の学び館

〔助 言〕 文化庁、岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協 力〕 発掘調査、資料整理、報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げます。

〔発掘調査担当者（本書掲載分）〕

細谷地遺跡	第27次調査（平成22年度）	菊地幸裕・鈴木賢治
	第28次調査（平成23年度）	花井正香
	第31次調査（平成24年度）	花井正香・三品花菜子
矢盛遺跡	第28次調査（平成22年度）	菊地幸裕・鈴木賢治
	第30次調査（平成23年度）	花井正香
	第31次調査（平成24年度）	花井正香・三品花菜子
焼野遺跡	第3次調査（平成23年度）	花井正香

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成28年度）

教育長 千葉 仁一
 教育部長 豊岡 勝敏
 教育次長 中野 玲子

歴史文化課（事務局）

〔記念物・文化財・博物館施設業務〕

課長	杉本 浩
課長補佐（埋蔵文化財担当，兼務）	北田 牧子
課長補佐	吉田 宏明
副主幹（兼務）	菊地 幸裕
文化財主査（兼務）	室野 秀文
文化財主査	三浦 陽一
文化財主査（兼務）	津嶋 知弘
文化財主査（兼務）	神原雄一郎
学芸主査	岡 聡
文化財主査	権頭 祐子
文化財主査	今野 公顕
文化財主査（兼務）	花井 正香
学芸員〔再任〕	大沼 信忠
文化財主任（兼務）	佐々木亮二
主任	寺島 幸子
主事（兼務）	佐藤 美沙
文化財主事（兼務）	鈴木 俊輝
主事	菊池 祥宏
文化財調査員	鳥取 邦美
文化財調査員	千葉 茉耶
文化財調査員	戸澤 博子
事務嘱託	齊藤 見大

遺跡の学び館（施設）

〔埋蔵文化財業務〕

館長（兼務）	杉本 浩
館長補佐	北田 牧子
副主幹	菊地 幸裕
文化財主査	室野 秀文
文化財主査	津嶋 知弘
文化財主査	神原雄一郎
文化財主査	花井 正香
文化財主任	佐々木亮二
主事	佐藤 美沙
文化財主事	鈴木 俊輝
学芸調査員	樋下 理沙
学芸調査員	坂本 志野
文化財調査員	日野杉潤子
文化財調査員	今松 佑太
文化財調査員	及川 栗里

第2章 遺跡群の位置と環境

第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口298,572人（平成22年国勢調査）、面積886.47km²の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

「盛岡南新都市開発整備事業」は、盛岡市の中心市街地南西部の313.5haを対象にした土地区画整理事業である。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着工、平成25年10月に事業完了している。この事業に伴い、区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成5年度から県埋文センターと市教育委員会が実施し、平成24年度に野外調査が終了した。

「盛岡地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮、本宮4丁目・6丁目・7丁目、向中野1丁目・2丁目・3丁目・5丁目、北飯岡1丁目、本宮字野古、下鹿妻字北、向中野字野原・字細谷地・字鶴子・字幅、飯岡新田2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目に所在する（挿図1）。なお所在地名は、土地区画整理事業完了地区の住居表示整備により、平成23年2月、平成24年2月、平成25年2月に旧字名から変更となっており、その変遷は挿表2のとおりである。

盛岡は、岩手県から宮城県を南流する北上川に中津川・雫石川・鑿川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。雫石川は奥羽山脈から東流し、烏泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石流堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘）が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺の山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河道の定まらない雫石川の下刻や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに画された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

挿表2 盛南地区遺跡群所在地住居表示整備一覧表

遺跡名	所在地			
	平成23年(2011)1月以前	平成23年(2011)2月 住居表示整備	平成24年(2012)2月 住居表示整備	平成25年(2013)2月 住居表示整備
大宮北	本宮字大宮・字小幡	本宮字大宮, 本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
小幡	本宮字小幡	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
宮沢	本宮字宮沢	本宮6丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
鬼柳A	本宮字鬼柳	本宮字鬼柳, 本宮6丁目・7丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂A	本宮字熊堂	本宮4丁目	確定, 変更なし	確定, 変更なし
本宮熊堂B	本宮字熊堂・字福荷, 向中野字千刈田	本宮4丁目・6丁目, 本宮 字熊堂・字福荷, 向中野 字千刈田	本宮4丁目・6丁目・7丁目, 向中野3丁目	確定, 変更なし
福荷	本宮字福荷	対象外, 変更なし	本宮7丁目	確定, 変更なし
野古A	本宮字野古, 下鹿妻字北	対象外, 変更なし	本宮7丁目, 向中野3丁目, 北飯岡1丁目, 本宮字野 古, 下鹿妻字北	確定, 変更なし
飯岡沢田	飯岡新田1地割	対象外, 変更なし	向中野3丁目, 北飯岡1丁 目	確定, 変更なし
飯岡才川	飯岡新田1地割・2地割	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 向中野5丁 目	確定, 変更なし
台太郎	向中野字千刈田・字向中 野・字台太郎, 向中野1 丁目・2丁目	対象外, 変更なし	向中野1丁目・2丁目・5 丁目	確定, 変更なし
向中野館	飯岡新田2地割	対象外, 変更なし	向中野5丁目	確定, 変更なし
細谷地	飯岡新田2地割, 向中野 字野原・字細谷地	対象外, 変更なし	向中野5丁目, 向中野字 野原・字細谷地	向中野5丁目・7丁目, 向中野字細谷地
矢盛	飯岡新田2地割・3地割・ 4地割, 向中野字野原	対象外, 変更なし	北飯岡1丁目, 飯岡新田2 地割・3地割・4地割, 向 中野字野原	北飯岡1丁目・2丁目, 向中野7丁目
焼野	飯岡新田4地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡4丁目
夕覚	飯岡新田4地割・5地割	対象外, 変更なし	対象外, 変更なし	北飯岡3丁目・4丁目, 飯岡新田5地割
南仙北	向中野字鶴子, 南仙北2 丁目	対象外, 変更なし	向中野4丁目, 向中野字 鶴子, 南仙北2丁目	向中野4丁目・6丁目, 南仙北2丁目



挿図1 盛南地区遺跡群位置図
 (新街区は盛岡南新都市開発整備事業)

第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊堂A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住建物跡（住居）や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴建物跡を主体とした集落が増加する。この時期の集落は、大型竪穴建物跡を中心としてその周囲に中～小型の竪穴建物跡が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向があり、血縁的一族が集落を構成したと考えられる。

平安時代初頭の延暦22年（803）、本遺跡群の西方に「志波城」（下太田方八丁他）が造営される。志波城は、東北地方統治のために都の律令政府が造営した古代城柵であり、当時「蝦夷（エミシ）」と呼ばれていた人々の社会に一定の影響を与えたと考えられる。「日本紀略」によると、坂上田村麻呂が「造志波城使」となり志波城は造営され、その規模は陸奥国最大級のものであったことが発掘調査により明らかとなっている。しかし北を流れる現在の雫石川（当時としては北上川の本流）の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で征夷将軍文室綿麻呂の建議により徳丹城（矢巾町西徳田）に移転したことが、「日本後紀」に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止していることが発掘調査で確認されており、本地域を含む北上盆地一帯は、鎮守府胆沢城（奥州市水沢区九蔵田）による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴建物跡を主体とした集落が増加していく。竪穴建物跡の規模の大小差は縮小するようになり、重複するものが多く見られるようになる。その中でも、向中野館遺跡の低湿地からは古代の水辺祭祀に関係する遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡の円形周溝墓群や火葬骨蔵器など、本地域内の集落機能の分化もみられる。また、9世紀後葉から10世紀中葉にかけては、各地区の拠点的な集落が形成されるようになり、カマドを何度も作り替える大型竪穴建物跡がみられるようになる。細谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2間×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、高床倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、盛南開発地域の北西隣、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、官衙的な大型掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、新興在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、盛南開発地域の西隣にある大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形に堀を巡らす居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡と掘立柱建物群が検出されており、出土遺物等から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、雫石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中（街道）や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲屋などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡など近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発事業が施工される直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。



挿図2 遺跡位置図 (1:50,000)

第3章 調査成果

第1節 細谷地遺跡（第27・28・31次調査）

1. 遺跡の立地

細谷地遺跡は、志波城跡の南東約2.5kmに位置し、北に向中野館遺跡が隣接、北西に飯岡才川遺跡、南西に矢盛遺跡、南東に南仙北遺跡が囲んでいる。なお、志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上にあり、その南端縁辺部にあたり、遺跡の東側は北上川旧河道に面している。遺跡範囲は東西約600m、南北約280mをはかる（第1図）。遺跡の西部・中央部が盛岡南新都市開発整備事業区域（都市再生機構施工）、南東部が都市再生整備計画事業区域（盛岡市施工、道明地区土地区画整理事業）となっている。なお、道明地区土地区画整理事業に伴い実施した第29・30次調査（平成23年度）、第32次調査（平成24年度）の調査成果は別途報告予定である。

2. 調査内容

（1）第27次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の中央南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第1図）。調査面積は275㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、古代以降の土坑4基（RD508～511）である（第4図）

・土坑

RD508（第5図）

位置 調査区南部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.85m、短軸0.55m、深さ.007m 埋土 A1層（第22表）
遺物 なし 時期 古代以降

RD509（第5図）

位置 調査区南部 重複関係 RD510（古） 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.25m、短軸0.55m、深さ.007m 埋土 A1・2層、B1・2層（第22表）
遺物 なし 時期 古代以降

RD510（第5図）

位置 調査区南部 重複関係 RD509（新） 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.5m、短軸1.15m、深さ0.25m 埋土 A1層、B2層（第22表）
遺物 なし 時期 古代以降

RD511 (第5図)

位置 調査区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整形円形
規模 長軸0.7m, 短軸0.6m, 深さ0.1m **埋土** A1層 (第22表)
遺物 なし **時期** 古代以降

(2) 第28次調査 (平成23年度)

今次調査区は、遺跡の南東部及び中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第1図)。調査区は、遺跡南東部北側のⅠ区、遺跡中央部の旧農免道路であったⅡ区に分かれており、総調査面積は1,501㎡(対象面積2,901㎡)。各調査区について重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、Ⅱ区にあった既存道路側溝と既存埋設水道管部分は、調査対象から除外した。また、既存道路建設時の削平や既存水道管理設工事等の攪乱があり、Ⅱ区の遺構の残存状況は非常に悪いものであった。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、Ⅰ区が古代の竪穴建物跡2棟(RA107・202)、古代以降のピット、Ⅱ区が古代の竪穴建物跡1棟(RA181)・土坑2基(RD512・513)、古代以降の掘立柱列跡2基(RC009・010)・土坑4基(RD514～517)・溝跡1条(RG090)、ピットである(第6・7・11・12図)

Ⅰ・Ⅱ区の総計は、古代の竪穴建物跡3棟(RA107・202・181)・土坑2基(RD512・513)、古代以降の掘立柱列跡2基(RC009・010)・土坑4基(RD514～517)・溝跡1条(RG090)、ピットである。

Ⅰ区

・竪穴建物跡

RA107 (第8・9図)

位置 Ⅰ区北部 **重複関係** なし
平面形 隅丸方形(カマドの作り替えあり)、南西端部は県理文センター第10次調査(平成17年度)で精査済、カマドb煙出し先端部は市教委第31次調査Ⅰ区(平成24年度)で精査
規模 東西5.05～5.3m, 南北4.45m, 深さ0.3～0.4m
カマド方向 カマドa(新): E9.0°S, 東カマド, 長い煙道(1.3m, 煙道底面が床面より一段高い)
カマドb(中): N6.0°E, 北カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.3m, 煙道底面が床面より一段高くなってから急傾斜でスロープ状に下がり煙出しがピット状に深い)
カマドc(古): E4.5°S, 東カマド, 長い煙道(トンネル状, 0.9m, 煙道底面がスロープ状に下がる)
カマド カマドa(新): 右袖のみ残存, 焚口の焼土面あり
カマドb(中): 両袖の基底部のみ残存, 焚口の焼土面あり
カマドc(古): 両袖とも残存せず
埋土 A1・2層, B1・2層, C1・2層, D1層, E1層, F1層, J1～8層, K1・2層, L1層, J'1～11層, K'1・2層, J''1～10層(第24表)
床面 硬化面・床構築土あり, カマドのある北壁東部・東壁北部を除き周溝あり

柱穴 主柱穴4口 (p1~4, 第1表), ビット6口 (p5~10)

出土遺物 (第86図, 第41表) 土師器ロクロ内黒環(001)・小型甕(002)・甕・砂底甕底部, あかやき土器環・甕破片, 須恵器環・長頸瓶・壺・大甕破片

時期 9世紀中葉~後葉

RA202 (第10図)

位置 I区南部 重複関係 なし

平面形 隅丸方形, 東端部は市教委第32次調査(平成24年度, 道明地区)で精査

規模 北西-南東3.35m, 北東-南西3.15m, 深さ0.25~0.33m

カマド方向 N46.5W, 北西カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.4m, 煙道底面がスロープ状に下がり, 煙出しがビット状に深い)

埋土 A1・2層, B1層, C1・2層, D1層, E1層, J1~8層, K1・2層, L1層(第23表)

床面 床構築土あり, 周溝あり **柱穴** ビット4口(p1~4)

出土遺物 土師器ロクロ内黒環・甕, 須恵器環, あかやき土器環破片

時期 8世紀後葉~9世紀前葉か

・ビット

I区内に古代以降のビット3口を検出した(第7図)。各ビットの規模は第11表のとおりである。

II区

・竪穴建物跡

RA181 (第13・14図)

位置 II-北1区南部 重複関係 なし

平面形 隅丸方形, 南東端部と北東カマドの煙道のみ検出, 西側の大部分は県埋文センター第25次調査(平成21年度)で精査済

規模 北西-南東約4.0m, 深さ0.15m(第25次調査と合わせた全体形は北西-南東8.0~8.4m, 北東-南西8.0~8.2m)

カマド方向 カマドa(25次新): N42.0°W, 北西カマド, 長い煙道(1.9m, 底面がスロープ状に下がる)

カマドb(25次古): N35.0°W, 北西カマド, 長い煙道(0.8m, 底面がスロープ状に下がる)

カマドc(28次): N45.0°E, 北東カマド, 長い煙道(トンネル状, 約1.5m, 煙道底面がスロープ状に下がる)

カマド カマドa: 両袖残存, 焚口の焼土面あり

カマドb: 両袖とも残存せず, 焼土面なし

カマドc: カマド袖と焼土面は調査区外で不明

埋土 A1・2層, B1層, C1層, J1~9層, J'1~4層, L1層(第25表), 第25次調査では埋土の一部に十和田a火山灰と考えられる灰白色粉状バミスが混じる。

床面 床構築土あり, カマドaの右側に貯蔵穴(p4, 25次), カマドc右脇に貯蔵穴(p5, 28次)あり

柱穴 主柱穴3口(p1~3, 25次), 貯蔵穴2基(p4・5)

出土遺物 (第87図, 第41表) 土師器ロクロ内黒坏 (003:刻書「井」)・甕, あかやき土器坏・高台付坏・甕破片,
第25次調査では土師器ロクロ内黒高台付坏, あかやき土器坏 (黒書「寸」), 須恵器甕・大甕出土
時期 9世紀中葉～後葉

・掘立柱列跡

RC009 (第15図)

位置 II-南区中央部 **重複関係** なし **構造** 桁行2間
総長 5.25m, **柱間** (北から) 2.85m+2.4m **桁行方向** N35.0°W **掘方** 3基 (第2表)
時期 古代以降

RC010 (第15図)

位置 II-北1区南部 **重複関係** なし **構造** 桁行2間
総長 5.7m, **柱間** (北から) 3.0m+2.7m **桁行方向** W40.5°N **掘方** 3基 (第2表)
時期 古代か

・土坑

RD512 (第16図)

位置 II-北1区中央部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形
規模 長軸1.25m, 短軸0.9m, 深さ0.1m **埋土** A1層 (第25表)
遺物 (第87図, 第41表) 土師器甕 (004), あかやき土器坏破片 **時期** 9世紀代か

RD513 (第16図)

位置 II-北1区北部 **重複関係** なし **平面形** 不整方形
規模 一辺1.0~1.1m, 深さ0.15m **埋土** A1層, B1層, C1層, D1層 (第25表)
遺物 土師器坏・甕, 須恵器坏, あかやき土器坏破片 **時期** 古代

RD514 (第16図)

位置 II-北1区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形
規模 長軸0.7m, 短軸0.5m, 深さ0.18m **埋土** A1・2層, B1層, C1層, D1層 (第25表)
遺物 あかやき土器坏破片 **時期** 古代以降

RD515 (第16図)

位置 II-北2区南部 **重複関係** なし **平面形** 不整楕円形
規模 長軸1.8m, 短軸1.1m以上, 深さ0.6m
埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1層, E1層 (第25表) **遺物** なし **時期** 古代以降

RD516 (第16図)

位置 II-北2区中央部 重複関係 なし 平面形 不整長円形

規模 長軸1.2m以上、短軸0.6m、深さ0.28m 埋土 A1層、B1～3層、C1層 (第25表)

遺物 なし 時期 古代以降

RD517 (第16図)

位置 II-南区中央部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸2.9m、短軸1.6m、深さ0.08m 埋土 A1・2層 (第25表)

遺物 なし 時期 古代以降

・溝跡

RG090 (第12図)

位置 II-南区南部 重複関係 なし

規模等 東西に走る。幅0.3～0.35m、延長2.35m、深さ0.12m

埋土 A1層、B1層 (第25表) 遺物 なし 時期 古代以降

・ピット

II区内に古代以降のピット17口を検出した (第11・12図)。各ピットの規模は第12表のとおりである。ピット埋土より土師器甕、あかやき土器杯 (第87図005・第41表)・甕、須恵器甕破片が少量出土している

・遺構外

II区の沢状地形及び検出面より、土師器杯・甕、須恵器杯・壺・甕、あかやき土器杯の破片が出土した。

(3) 第31次調査 (平成24年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した (第1図)。調査区は、遺跡中央部南東側のI区、遺跡中央部南側のII区、遺跡中央部南西側のIII区に分かれており、総調査面積は4,524㎡ (対象面積5,457㎡)。各調査区について重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、I区が縄文時代の堅穴建物跡1棟 (RA203)、古代の堅穴建物跡12棟 (RA107・204～208・215～218・220・221)・堅穴状遺構1基 (RE015)・土坑墓2基 (RD525・526)・大溝1条 (RG091N)、古代以降の土坑2基 (RD523・524)・溝2条 (RG093・094)、II区が弥生時代後期～古代の沢状地形1箇所、古代の土坑4基 (RD527～530)・溝跡4条 (RG036・065～068)、古代以降のピット21口、III区が古代の堅穴状遺構1基 (RE014)、古代以降の土坑9基 (RD531～539)・溝跡3条 (RG061・062・095)・ピット15口である (第17・18・34・35・39図)。I～III区の総計は、縄文時代の堅穴建物跡1棟 (RA203)、弥生時代後期～古代の沢状地形1箇所、古代の堅穴建物跡12棟 (RA107・204～208・215～218・220・221)・堅穴状遺構2基 (RE015・014)・土坑墓2基 (RD525・526)・土坑4基 (RD527～530)・溝跡4条 (RG036・065～068)・大溝1条 (RG091N)、古代以降の土坑11基 (RD523・524・531～539)・溝5条 (RG093・094・061・062・095)となる。

I 区

・竪穴建物跡

RA203 (第30回)

位置 I区北部 **重複関係** RA221 (新) **平面形** 不整形か (大部分が削平)
規模 南北約1.7m, 東西0.75m以上 (削平), 深さ0.13m
埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1層 (第26表) **床面** ビット1口 (p1), 炉は不明
出土遺物 縄文時代晩期深鉢形土器破片 **時期** 縄文時代晩期

RA107 (第30回)

位置等 I区西南部, 煙出し先端部のみ精査 (竪穴建物跡全体の詳細は本書第28次調査I区を参照)
規模 煙出し東西0.5m, 南北0.2m以上 (第28次調査I区に続く), 深さ0.5m **埋土** J層
出土遺物 土師器甕破片, あかやき土器坏破片 **時期** 9世紀中～後葉

RA204 (第19回)

位置 I区西南部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形, 南東辺に張り出し部あり (出入口か)
規模 北西-南東3.7m, 北東-南西3.95m, 深さ0.35m
カマド方向 W42.5°N, 北西カマド, 長い煙道 (1.4m, 煙道底面が煙出しへ向かってやや上り坂となり煙出しがビット状に深い)
カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり
埋土 A1層, B1・2層, C1層, D1層, E1・2層, F1層, G1層, J1~12層, K1・2層, L1層 (第26表)
床の状態 床構築土あり, 張り出し部に続く硬化面あり, カマド付近を除き全周に周溝あり, 床面東部に焼土面・中央部に炭化材あり
柱穴 ビット5口 (p1~5, 主柱穴なし)
出土遺物 (第89回, 第42表) 土師器非ロクロ内黒坏 (009)・塊 (010)・甕 (011~013)
時期 8世紀後葉~9世紀前葉

RA205 (第20回)

位置 I区南部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形
規模 北西-南東3.25m, 北東-南西3.35m, 深さ0.1m
カマド方向 カマドa (新): N42.0°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.6m, 底面が煙出しに向かってスロープ状に下がる)
カマドb (古): S40.5°E, 南東カマド, 長い煙道 (0.95m, 底面が煙出しに向かってスロープ状に下がる)
カマド カマドa (新): 両袖残存, 土器・礫を芯材とする, 焚口の焼土面あり
カマドb (古): 袖残存せず, 焚口の焼土面あり
埋土 A1層, B1層, J1~4層, K1~4層, L1層, J'1~3層 (第26表)
床の状態 床構築土あり, 南部中央に焼土面あり, 床面に多量の炭化材が残存
柱穴 ビット5口 (p1~5, 主柱穴なし)

出土遺物 (第88図, 第42表) 土師器甕 (006)・非ロクロ内黒坏破片

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RA206 (第21図)

位置 I区東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.1～3.3m, 北東-南西3.15～3.2m, 深さ0.2m

カマド方向 W42.5°N, 北西カマド, 長い煙道 (1.25m, 底面が煙出しに向かってやや下がる)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり

埋土 A1層, B1層, C1・2層, D1層, E1層, F1層, J1～10層, K1・2層, L1層 (第27表)

床面 床構築土あり

柱穴 ビット4口 (p1～4, 主柱穴なし), 床構築土下ビット1口 (p5, 地鎖跡か)

出土遺物 (第88図, 第42表) 土師器非ロクロ内黒坏 (007)・小型甕 (008)・甕破片, 須恵器壺破片, 鉄鏝

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RA207 (第22図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 不整隅丸方形

規模 北西-南東3.8～3.95m, 北東-南西4.1～4.45m, 深さ0.35～0.4m

カマド方向 W32.0°N, 北西カマド, 長い煙道 (1.4m, 本来はトンネル状, 底面が煙出しに向かって下がる)

カマド 両袖残存, 土師器甕を倒立させ芯材とする, 焚口の焼土面あり

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1層, J1～12層, K1・2層, L1層 (第27表)

床面 硬化面・床構築土あり, 楕円周に周溝あり

柱穴 主柱穴3口 (p1～3, 第3表)

出土遺物 (第90図, 第42表) 土師器非ロクロ内黒坏 (014)・甕 (015-016)・球胴甕破片, あかやき土器甕 (017)

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RA208 (第23図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東2.7～2.9m, 北東-南西2.9m, 深さ0.35～0.37m

カマド方向 N44.0°W, 北西カマド, 長い煙道 (1.05m, 底面が煙出しに向かって少し下がる)

カマド 右袖残存, 焚口の焼土面・支脚 (土師器甕) あり

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, J1～6層, K1～3層, L1・2層 (第28表)

床面 硬化面・床構築土あり 柱穴 ビット7口 (p1～7, 主柱穴なし)

出土遺物 (第90図, 第42表) 土師器非ロクロ内黒坏 (018)・甕 (019), 炭化材

時期 8世紀後葉～9世紀前葉

RA215 (第24図)

位置 I区東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形, 北東壁の一部が割平

規模 北西-南東2.35m, 北東-南西2.5～2.6m, 深さ0.17～0.35m

カマド方向 S27.0°E. 南東カマド。長い煙道（1.4m、本来はトンネル状、やや上りぎみの底面が途中からスロープ状に下がる）

カマド 両袖残存（礫・粘土を芯材とする）、焚口の焼土面・支脚（礫・土師器環）あり

埋土 A1層、B1層、C1・2層、D1層、E1・2層、F1層、J1～8層、K1～3層、L1層（第28表）

床面 硬化面・床構築土あり 柱穴 なし

出土遺物（第91図、第42表） 土師器ロクロ内黒環（020）・甍破片、あかやき土器環（021）・甍破片、須恵器環・壺・大甍破片、砥石

時期 9世紀中葉

RA216（第25図）

位置 I区東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西～南東4.55～4.65m、北東～南西4.3～4.5m、深さ0.05～0.15m

カマド方向 S23.0°E. 南東カマド。長い煙道（1.3m、煙道底面が床面より一段高くなり煙出しに向かって緩やかに下がっていく）

カマド 南壁の西側に偏在、両袖残存、焚口の焼土面あり

埋土 A1・2層、B1層、C1層、D1層、E1層、F1層、J1～9層、K1～4層、L1層（第29表）

床面 床構築土あり、硬化面あり、特にカマド左方・南壁中央付近に非常に硬い面があり、出入口か

柱穴 主柱穴4口（p1～4、第3表）、柱配置が南壁側に偏在、ピット10口（p5～14、うちp9・13・14は貯蔵穴か）

出土遺物（第91図、第42表） 土師器ロクロ内黒環（023）・碗（022）・甍破片、あかやき土器環・甍破片、須恵器環（024）、墨書土器「(不明)」(025)

時期 9世紀中葉

RA217（第26図）

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北東～南西2.7～2.75m、北西～南東3.0～3.1m、深さ0.42m

カマド方向 E37.0°N. 北東カマド（北東辺壁北端部に設置）、長い煙道（1.6m、トンネル状、底面が床面より一段高くなり、緩やかに上った後、一段下がり、煙出しに向かって緩やかに下がる）

カマド 両袖残存、焚口の焼土面あり、土師器甍に粘土と砂（K'層）を充填・倒立させ支脚とする

埋土 A1・2層、B1・2層、C1層、D1・2層、E1層、F1層、G1層、J1～14層、K1・2層、K'1・2層、L1層（第29表）

床の状態 北西辺壁際から中央部にかけて硬化面あり（北西辺中央が出入口か）、床構築土あり

柱穴 ピット5口（p1～5、主柱穴なし）

出土遺物（第92図、第42表） 土師器ロクロ内黒環（027）・甍（029）、須恵器環（028墨書「(不明)」）、あかやき土器環・甍破片

時期 9世紀中葉か

RA218 (第277図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 不整隅丸長方向(カマド部分を残し拡張している)

規模 RA218a(新, 拡張後): 東西2.85~2.95m, 南北4.2~4.7m, 深さ0.1~0.18m

RA218b(古, 拡張前): 東西2.4~2.5m, 南北3.75~3.85m, 深さ0.1~0.18m

カマド方向 E13.0°N, 東カマド, 長い煙道(1.4m, トンネル状, 底面が床面から一段上がってすぐに煙出しに向かってスロープ状に下がり, 煙出しがビット状に深い)

カマド 両袖残存, 焚口の焼土面あり, 砥石を支脚とする

埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1層, E1層, J1~8層, K1~4層, L1・2層(第30表)

床の状態 床構築土(2時期)あり, 硬化面あり, 西辺壁際にステップ状の段差あり(出入口か)

柱穴 RA218a(新, 拡張後): 主柱穴4口(p1~4, 第3表)

RA218b(古, 拡張前): 主柱穴4口(p4~7, 第3表)

出土遺物(第91図, 第42表) 須恵器環(026)・壺・甕, 土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 砥石

時期 9世紀中葉か

RA220 (第288図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 不整隅丸方形

規模 北西-南東3.2~3.25m, 北東-南西3.2m, 深さ0.1~0.15m

カマド方向 カマドa(新): N35.0°Wか(一部攪乱により削平), 北西カマド(北西壁の北半部を少し張り出しカマド設置), 短い煙道(約0.45m, 底面が煙出しに向かってスロープ状に上がる)

カマドb(古): N35.0°W, 北西カマド, 長い煙道(1.25m, 底面が煙出しに向かって緩やかに下り煙出しがビット状に深い)

カマド カマドa(新): 左袖の一部が残存(一部は攪乱により削平), 焚口の焼土面あり

カマドb(古): 袖残存なし, 焚口の焼土面あり

埋土 A1層, B1~3層, C1層, D1層, E1層, J1~4層, K1層, L1層, J'1~9層(第30表)

床の状態 床構築土あり 柱穴 ビット5口(p1~5, 主柱穴なし)

出土遺物 土師器環・甕, あかやき土器環・甕破片 時期 9世紀中葉~後葉か

RA221 (第299図)

位置 I区北部 重複関係 RA203(古) 平面形 不整隅丸方形

規模 東西3.05m, 南北3.05~3.35m, 深さ0.3~0.35m

カマド方向 E6.0°S, 東カマド, 長い煙道(1.0m, トンネル状, 底面が床面より一段上がってから煙出しに向かってスロープ状に下がる)

カマド 東辺壁北寄りに設置, 両袖残存(袖と天井は礎を芯材とする), 焚口の焼土面あり

埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1層, H1層, J1~9層, K1~3層, L1層(第31表)

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 柱穴 主柱穴4口(p1~4, 第3表)

出土遺物(第92図, 第42表) 土師器クロ内黒環(030, 墨書「七」)・甕, あかやき土器環(031・032)・甕, 須恵器甕破片, フイゴ羽口破片

時期 9世紀中葉～後葉か

・竪穴状遺構

RE015 (第30図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形か(南西部が攪乱により削平)

規模 北西-南東2.1m, 北東-南西1.0m以上, 深さ0.08~0.13m

埋土 A1層, B1層, C1層, D1層, L1層(第31表) 底面の状態 底面構築土あり 柱穴 なし

出土遺物 土師器坏・甕破片 時期 古代

・土坑

RD523 (第31図)

位置 I区東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.2m, 短軸0.8m, 深さ0.31m 埋土 A1層, B1・2層(第31表)

出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器坏破片 時期 古代以降

RD524 (第31図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 不整隅丸長方形

規模 長辺1.45m, 短辺1.2m, 深さ0.16~0.2m 埋土 A1・2層, B1層, C1層(第31表)

出土遺物 なし 時期 古代以降

・土坑墓

RD525 (第32図)

位置 I区西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸2.9m, 短軸1.0m, 深さ0.55~0.65m

埋土 人為堆積, A1~3層, B1層, C1層, D1~3層, E1・2層, F1層(第32表)

出土遺物(第92図, 第42表) 須恵器坏(033), あかやき土器坏(034), 土師器甕破片

時期 9世紀中葉

RD526 (第32図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸2.2m, 短軸1.0~1.2m, 深さ0.13~0.5m, 底面が北から南へ傾斜する

埋土 人為堆積, A1層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1層(第32表)

出土遺物 須恵器甕, 土師器坏, あかやき土器甕破片

時期 9世紀代か

・大溝跡

RG091N (第33図)

位置 I区南東部 重複関係 なし

規模等 幅0.9～1.5m, 延長72.0m以上 (RG091S含む全長), 深さ0.5m, 北北東から南西へやや蛇行しながら走る (第32次調査I区RG091Sへ続く)

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1・2層, F1層, G1層 (第32表), A1・2層に灰白色粉状バミス (十和田a火山灰) が混じる

出土遺物 土師器甕, 須恵器壺, あかやき土器坏破片 時期 9世紀後半

・溝跡

RG093 (第33図)

位置 I区西部 重複 なし

規模等 幅0.3～0.5m, 延長10.0m, 深さ0.08～0.26m, 南西から北東に走る

埋土 A1層, B1・2層 (第32表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

RG094 (第33図)

位置 I区西部 重複 RA218 (新)

規模等 幅0.38～0.57m, 延長10.0m, 深さ0.22m, 西南西から東南東へ走る

埋土 A1・2層, B1・2層 (第32表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

・ピット

I区内に古代以降のピット1口を検出した (第32図)。ピットの規模は, 径0.25m・深さ0.25mである。

II区

・土坑

RD527 (第36図)

位置 II区南西部 重複関係 なし 平面形 不整円形

規模 径0.8～0.85m, 深さ0.23m 埋土 A1層, B1層, C1層 (第33表)

出土遺物 なし 時期 古代

RD528 (第36図)

位置 II区南西部 重複関係 RG065 (古) 平面形 不整楕円形

規模 長軸2.5m, 短軸1.0～1.5m, 深さ0.42m

埋土 A1層, B1・2層, C1層, D1・2層, E1層 (第33表), B1・2層に灰白色粉状バミス (十和田a火山灰) が混じる

出土遺物 なし 時期 9世紀後半

RD529 (第36図)

位置 II区南東部 重複関係 RG065 (古) 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.2m, 短軸1.05m, 深さ0.1~0.3m 埋土 A1・2層 (第33表)
出土遺物 なし 時期 古代

RD530 (第36図)

位置 II区南西部 重複関係 なし 平面形 不整円形
規模 径1.05~1.2m, 深さ0.1~0.15m
埋土 A1層 (第33表), 灰白色粉状バミス (十和田a火山灰) が混じる
出土遺物 なし 時期 9世紀後葉から10世紀初頭

・溝跡

RG036 (第38図)

位置 II区北東部 重複関係 なし
規模等 幅0.7~1.0m, 延長12.5m以上 (調査区外), 深さ0.1~0.2m
埋土 A1層, B1層 (第33表) 出土遺物 あかやき土器甕破片 時期 古代

RG065 (第37図)

位置 II区南部 重複関係 RD529 (新), RG066 (古)
規模等 幅0.5~1.0m, 延長22.5m, 深さ0.1~0.35m
埋土 A1~3層, B1・2層, C1層, D1層 (第33表)
出土遺物 (第93図, 第42表) あかやき土器坏 (035), 土師器坏破片 時期 9世紀中葉か

RG066 (第37図)

位置 II区南部 重複関係 RG065 (新)
規模等 幅0.4~0.5m, 延長11.2m以上 (調査区外), 深さ0.2~0.45m
埋土 A'1・2層, B'1層, C'1層, D'1層 (第33表) 出土遺物 なし 時期 古代

RG068 (第37図)

位置 II区南部 重複関係 なし
規模等 幅0.5~1.7m, 延長21.0m以上 (調査区外), 深さ0.3~0.4m
埋土 A1・2層, B1~3層, C1・2層, D1層, E1層, F1層 (第33表), A1・2層に灰白色粉状バミス (十和田a火山灰) が混じる
出土遺物 なし 時期 9世紀後半

・ピット

II区内に古代以降のピット21口を検出した (第37・38図)。各ピットの規模は第13表のとおりである。

・沢状地形

Ⅱ区内において幅10～17mで北北西から南へ走る自然の沢状地形（第35図）。近隣の調査区で弥生時代後期と古代の土器等が出土しているため精査を行ったが、堆積土（第33表）から遺物は出土しなかった。

Ⅲ区

・竪穴状遺構

RE014（第40図）

位置 Ⅲ区北西部 重複関係 なし

平面形 不整形（西半分は県埋文第26次調査で精査、突出部あり）

規模 南北3.2m、東西3.4m（県埋文第26次調査含む）、深さ0.1～0.15m

埋土 A1層、B1層（第34表）、B1層に灰白色粉状パミス（十和田a火山灰）がわずかに混じる

柱穴 ビット1口（県埋文第26次調査） 出土遺物 なし 時期 10世紀初頭

・土坑

RD531（第40図）

位置 Ⅲ区北部 重複関係 なし 平面形 不整形円形か（調査区外）

規模 東西2.95m、南北0.9m以上（調査区外）、深さ0.15m

埋土 A1・2層（第34表） 出土遺物 なし 時期 古代以降

RD532（第41図）

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形

規模 長軸0.9m、短軸0.58m、深さ0.3m 埋土 A1層、B1・2層（第34表）

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD533（第41図）

位置 Ⅲ区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形円形

規模 長軸0.83m、短軸0.4m、深さ0.22m 埋土 A1層、B1層、C1・2層（第34表）

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD534（第41図）

位置 Ⅲ区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形円形

規模 長軸0.8m、短軸0.62m、深さ0.27m 埋土 A1層、B1層、C1層（第34表）

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD535（第40図）

位置 Ⅲ区西部 重複関係 なし 平面形 不整形円形

規模 長軸1.2m、短軸0.75m、深さ0.2m 埋土 A1・2層（第34表）

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD536 (第41図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 RG062 (古) 平面形 不整楕円形か

規模 長軸1.1m以上 (調査区外), 短軸0.86m, 深さ0.17~0.36m

埋土 A1層, B1層, C1・2層 (第34表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

RD537 (第41図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 東西1.1m, 南北2.05m, 深さ0.32~0.42m 埋土 A1・2層, B1層, C1・2層 (第34表)

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD538 (第41図)

位置 Ⅲ区北西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.05m, 短軸0.72m, 深さ0.3m 埋土 A1層, B1層 (第34表)

出土遺物 なし 時期 古代以降

RD539 (第41図)

位置 Ⅲ区東部 重複関係 RG061 (新) 平面形 不整楕円形

規模 長軸0.97m, 短軸0.72m, 深さ0.25m 埋土 A1・2層, B1層 (第34表)

出土遺物 なし 時期 古代以降

・溝跡

RG061 (第42図)

位置 Ⅲ区東部 重複関係 RD539 (古)

規模等 幅0.32~0.44m, 延長4.42m, 深さ0.2m, 北東から南西に走る

埋土 A1層, B1層, C1層 (第34表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

RG062 (第42図)

位置 Ⅲ区南東部 重複関係 RD536 (新)

規模等 幅0.24~0.33m, 延長2.5m以上 (調査区外), 深さ0.2m, 蛇行しながら東西に走る

埋土 A1・2層, B1層 (第34表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

RG095 (第42図)

位置 Ⅲ区北東部 重複関係 なし

規模等 幅0.24~0.36m, 延長2.3m (攪乱削平), 深さ0.14m, 北北西から南に走る

埋土 A1層, B1層 (第34表) 出土遺物 なし 時期 古代以降

・ビット

Ⅲ区内に古代以降のビット15口を検出した (第42図)。各ビットの規模は第14表のとおりである。

第2節 矢盛遺跡（第28・30・31次調査）

1. 遺跡の立地

矢盛遺跡は、志波城跡の南東約2.2kmに位置し、北に飯岡才川遺跡、北東に細谷地遺跡が囲み、南東やや離れた位置に夕覚遺跡がある。志波城跡や周囲の遺跡と同様に低位沖積段丘上であり、その南東部にあたり、遺跡の周囲は旧河道に面している。遺跡範囲は東西約450m、南北約500mをはかる（第2図）。

2. 調査内容

(1) 第28次調査（平成22年度）

今次調査区は、遺跡の東部及び北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第2図）。調査区は、遺跡東部のⅠ区、遺跡北部東側のⅡ区、遺跡北部西側のⅢ区に分かれており、総調査面積は11,213㎡。各調査区について重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、Ⅲ区では遺構・遺物は確認されなかった。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、国道46号線西バイパス用地の東に隣接するⅠ区が縄文時代の陥し穴3基（RD267～269）、近世以降の土坑7基（RD263～266・270～272）・溝跡1条（RG084）、国道46号線西バイパス用地の西方に位置するⅡ区が近世以降の土坑9基（RD273～281）・大溝跡1条（RG085）である（第43～45・50図）。

Ⅰ・Ⅱ区の総計は縄文時代の陥し穴3基（RD267～269）、近世以降の土坑16基（RD263～266・270～281）・溝跡1条（RG084）・大溝跡1条（RG085）となる。

Ⅰ区

・陥し穴

RG267（第47図）

位置 Ⅰ区南東部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ4.05m、幅0.7～0.9m、深さ0.6～0.9m

埋土 A1層、B1・2層、C1・2層、D1層（第35表） 出土遺物 なし 時期 縄文時代

RG268（第47図）

位置 Ⅰ区南東部 重複関係 なし 平面形 溝状 規模 長さ3.85m、幅0.65m、深さ1.05m

埋土 A1層、B1・2層、C1層、D1層、E1層、F1層、G1層、H1層、I1層（第35表）

出土遺物 なし 時期 縄文時代

RG269（第47図）

位置 Ⅰ区南東部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ2.85m、幅0.6～0.8m、深さ0.35m 埋土 A1層、B1・2層、C1層（第35表）

出土遺物 なし 時期 縄文時代

・土坑

RD263 (第46図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.55m, 短軸1.05m, 深さ0.6~0.9m

埋土 A1層, B1~3層, C1層, D1層, E1層 (第35表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD264 (第46図)

位置 I区北部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ1.05m以上, 幅0.5~0.55m, 深さ0.15m 埋土 A1層, B1層 (第35表)

出土遺物 なし 時期 近世以降

RD265 (第46図)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径1.0~1.1m, 深さ0.2~0.25m

埋土 A1層, B1層, C1層, D1層 (第35表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD266 (第46図)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 東西1.66m, 南北2.3m, 深さ0.4~0.85m

埋土 A1・2層, B1層, C1・2層, D1層, E1層 (第35表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD270 (第47図)

位置 I区南東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.4m, 短軸1.1m, 深さ0.35~0.4m 埋土 A1・2層, B1層 (第35表)

出土遺物 なし 時期 近世以降

RD271 (第47図)

位置 I区南東部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.95~1.0m, 深さ0.18m

埋土 A1・2層 (第35表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD272 (第47図)

位置 I区南東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.7m, 短軸1.1m, 深さ0.27m 埋土 A1・2層, B1層 (第35表)

出土遺物 なし 時期 近世以降

・溝跡

RG084 (第48図)

位置 I区南西部 重複関係 なし

規模等 幅0.2~0.55m, 延長23.4m以上, 深さ0.1~0.25m, 西南西から東北東に走る

埋土 A1層, B1層 (第35表) 出土遺物 なし 時期 近世以降

・ピット

I区内に近世以降のピット18口を検出した(第49図)。各ピットの規模は第19表のとおりである。

II区

・土坑

RD273 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形 規模 径1.0~1.1m, 深さ0.2m

埋土 A1・2層, B1・2層 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD274 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形 規模 径0.8~0.9m, 深さ0.22m

埋土 A1層, B1・2層 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD275 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形 規模 径0.5m, 深さ0.18m

埋土 A1・2層, B1層 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD276 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形

規模 長軸2.6m, 短軸1.3m, 深さ0.32m 埋土 A1~3層, B1~3層, C1層 出土遺物 なし

時期 近世以降

RD277 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 溝状 規模 長さ2.1m, 幅0.65m, 深さ0.33m

埋土 A1・2層, B1・2層 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD278 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整形円形 規模 径0.6~0.68m, 深さ0.24m

埋土 A1層, B1~3層 出土遺物 なし 時期 近世以降

RD279 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 溝状

規模 長さ20.2m, 幅0.38~0.45m, 深さ0.24m 埋土 A1層, B1・2層 出土遺物 なし

時期 近世以降

RD280 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整長円形
規模 長軸1.1m、短軸0.79m、深さ0.28～0.32m 埋土 A1層、B1・2層 出土遺物 なし
時期 近世以降

RD281 (第51図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.8～1.0m、深さ0.38m
出土遺物 なし 時期 近世以降

・大溝跡

RG085 (第52図)

位置 II区北東部 重複関係 なし 規模 幅0.8～1.4m、延長22.0m以上、深さ0.36～0.54m
埋土 A1～3層、B1層 出土遺物 なし 時期 近世以降

(2) 第30次調査 (平成23年度)

今次調査区は、遺跡の中央部及び北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した(第2図)。調査区は、遺跡中央部のI区、遺跡北部のII区に分かれており、総調査面積は709㎡(対象面積2,270㎡)。各調査区について重機により表土を除去し、遺構検出を行った。

a. 遺構と遺物

検出された遺構は、I区が古代以降の方形周溝1基(RX001)、ピット、II区が古代以降の土坑3基(RD288～290)、溝跡1条(RG074)、ピットである(第53・55図)。

I区

・方形周溝

RX001 (第54図)

位置 I区東部 重複関係 なし
規模等 全体形東西6.3m、南北6.0m。溝幅0.75～0.95m、深さ0.15～0.3m
埋土 A1・2層(第36表) 遺物 なし 時期 古代以降

・ピット

I区内に古代以降のピット9口を検出した(第54図)。各ピットの規模は第20表のとおりである。

II区

・土坑

RD288 (第56図)

位置 II区西部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.9m、深さ0.12m
埋土 A1層(第36表) 遺物 なし 時期 古代以降

RD289 (第56図)

位置 II区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形
規模 長軸2.33m, 短軸1.63m, 深さ0.6m
埋土 A1層(第36表) 遺物 なし 時期 古代以降

RD290 (第56図)

位置 II区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形
規模 長軸1.37m, 短軸0.9m, 深さ0.03~0.07m
埋土 A1層(第36表) 遺物 なし 時期 古代以降

・溝跡

RG074 (第56図)

位置 II区北部 重複関係 なし
規模等 南西から北東に走る。幅0.4~0.9m, 延長12.75m以上, 深さ0.1~0.25m
埋土 A1・2層(第36表) 遺物 なし 時期 古代以降

・ピット

II区内に古代以降のピット5口を検出した(第56図)。各ピットの規模は第21表のとおりである。

(3) 第31次調査(平成24年度)

今次調査区は、遺跡の南部・北部及び中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査(一部トレンチ調査)として実施した(第2図)。調査区は、遺跡南部のI区、遺跡北部のII区、遺跡中央部のIII区に分かれており、総調査面積は2,725㎡(対象面積3,236㎡)。I区・II区について重機により表土を全面除去し、遺構検出を行ったが、II区は既存住宅や埋設管工事等による削平及び攪乱を受けており、遺構・遺物が確認されなかった。また、III区は重機により幅約2.0mの試掘トレンチ4本を設定し、地表下0.49~0.88mの黄褐色シルト層及び砂礫層上面で遺構・遺物の有無を確認したが、III区北部に旧河道が検出されたものの、南部は既存住宅等による削平や攪乱があり、遺構・遺物は確認されなかった。

a. 遺構と遺物

I区で検出された遺構は、縄文時代の陥し穴2基(RD291・292)、中世の掘立柱建物跡20棟(RB007・067~085)・掘立柱列跡10基(RC008~010・012~018)・竪穴建物跡2棟(RE004・025)・土坑14基(RD294~306)・堀跡1条(RG016)・溝跡10条(RG029~031・034・035・090~094)、井戸跡1基(R1070)、道路跡(RZ002)、中世以降のピットである(第57図)。

・掘立柱建物跡

RB007 (第58図)

位置 調査区南東部、東半部が埋埋文センター第10・11次調査区内 重複関係 なし
構造 桁行3間・梁行1間の身舎に、桁行4間・梁行3間の廻り縁が付く

規模 身舎：桁行総長9.0m、柱間3.0m等間 梁行4.8m
廻り縁：桁行－北側柱筋総長10.8m、柱間西から2.7+2.85+2.85+2.4m
南側柱筋総長11.1m、柱間西から2.55+2.7+3.15+2.7m
梁行総長6.6m、柱間－西側柱筋北から2.4+2.25+1.95m
東側柱筋北から2.1+2.1+2.4m

建物方向 W30.0°N、東西棟 **掘方** 22基（31次は8基、県10・11次が4基、第4表）

時期 中世

RB067（第58回）

位置 調査区南東部 **重複関係** なし **構造** 桁行2間・梁行1間

規模 桁行総長3.3m、柱間北側柱筋西から1.35+1.95m 梁行1.65m

建物方向 W29.0°N、東西棟 **掘方** 6基（第4表） **時期** 中世

RB068（第64回）

位置 調査区西部 **重複関係** RB069（古か）、RB071（古か）、RD301

構造 桁行3間・梁行1間の身舎に北廂と西廂が付く

規模 身舎：桁行総長8.1m、柱間2.7m等間 梁行3.9m
北廂：柱間0.75m 西廂：柱間0.9m

建物方向 W34.0°N、東西棟 **掘方** 14基（第4表） **時期** 中世

RB069（第65回）

位置 調査区西部 **重複関係** RB068（新か）、RC015（新か）

構造 桁行2間・梁行1間 **規模** 桁行総長4.5m、柱間北から2.1+2.4m 梁行3.15m

建物方向 N33.0°E、南北棟 **掘方** 6基（第5表） **時期** 中世

RB070（第66回）

位置 調査区西部 **重複関係** なし **構造** 桁行2間・梁行1間

規模 桁行総長5.1m、柱間西側柱筋2.1+3.0m・東側柱筋2.25+2.85m 梁行2.7m

建物方向 N5.5°E、南北棟 **掘方** 6基（第5表） **時期** 中世

RB071（第66回）

位置 調査区西部 **重複関係** RB068（新か）、RC009（新か）、015（新か）

構造 桁行2間・梁行1間

規模 桁行西側柱筋総長6.6m・柱間3.3m等間、東側柱筋総長6.9m・柱間北から3.3+3.6m
梁行2.7m

建物方向 N12.0°E、南北棟 **掘方** 6基（第5表） **時期** 中世

RB072 (第65図)**位置** 調査区西部 **重複関係** なし **構造** 桁行3間・梁行1間**規模** 桁行総長6.9m, 柱間西側柱筋北から2.7+1.8+2.4m・東側柱筋北から2.7+2.1+2.1m
梁行2.7m**建物方向** N38.5°E, 南北棟 **掘方** 8基 (第5表) **時期** 中世**RB073** (第63図)**位置** 調査区西部 **重複関係** RD092 **構造** 桁行2間・梁行北側柱筋2間・南側柱筋1間**規模** 桁行総長5.1m, 柱間北から2.7+2.4m

梁行北側柱筋総長2.4m・柱間1.2m等間, 南側柱筋2.4m

建物方向 N31.0°E, 南北棟 **掘方** 7基 (第5表) **時期** 中世**RB074** (第66図)**位置** 調査区西部 **重複関係** なし **構造** 桁行1間・梁行1間**規模** 桁行2.4m 梁行2.1m **建物方向** W22.0°S, 東西棟 **掘方** 4基 (第5表) **時期** 中世**RB075** (第67図)**位置** 調査区北西部, 北部が県埋文センター第12・13次調査区内 **重複関係** RD023**構造** 桁行3間・梁行1間**規模** 桁行総長7.2m, 柱間西側柱筋北から4.65 (2間) + 2.55m・東側柱筋北から2.25+2.55+2.4m,
梁行4.2m**建物方向** N39.0°E, 南北棟 **掘方** 6基 (31次は5基, 県12・13次が1基, 第6表)**時期** 中世**RB076** (第60図)**位置** 調査区北東部 **重複関係** なし **構造** 桁行3間・梁行1間の身舎に東廂**規模** 身舎: 桁行総長6.6m, 柱間西から2.25+2.25+2.1m, 梁行3.75m 東廂: 柱間1.5m**建物方向** W23.0°N, 東西棟 **掘方** 10基 (第6表) **時期** 中世**RB077** (第61図)**位置** 調査区北東部**重複関係** RB079 (古か)・079 (新か)・080 (新か)・084 (新か),

RD291 (古)・306, R1070

構造 桁行4間・梁行北側柱筋2間・南側柱筋1間**規模** 桁行-西側柱筋総長11.4m, 柱間北から2.85+2.85+2.7+3.0m

東側柱筋総長11.7m, 柱間北から2.7+3.0+2.7+3.3m

梁行-北側柱筋総長4.65m, 柱間西から2.4+2.25m

南側柱筋4.8m

建物方向 N19.0°E, 南北棟 掘方 11基 (第6表) 時期 中世

RB078 (第62回)

位置 調査区北東部 重複関係 RB077 (新か)・084 (新か) 構造 桁行1間・梁行1間

規模 桁行3.9m, 梁行2.7m 建物方向 N13.5E, 南北棟 掘方 4基 (第6表)

時期 中世

RB079 (第60回)

位置 調査区北東部

重複関係 RB079 (古か)・080 (新か)・081 (古か)・083 (古か), RI070

構造 桁行4間・梁行2間で間仕切りあり

規模 桁行総長7.2m, 柱間北側柱筋西から3.3(2間)+1.8+2.1m

南側柱筋西から1.2+2.1+3.9(2間)m

梁行総長4.05m, 柱間北から2.25+1.8m

建物方向 W24.5°N, 東西棟 掘方 11基 (第6表) 時期 中世

RB080 (第59回)

位置 調査区北東部

重複関係 RB077 (古か)・079 (古か), RD036 (古か), RE025 (古か),

RD015 (同期)

構造 桁行2間・梁行1間

規模 桁行総長5.1m, 柱間西側柱筋北から2.4+2.7m・東側柱筋北から2.25+2.85m 梁行3.0m

建物方向 N29.5°E, 南北棟 掘方 6基 (第7表) 時期 中世

RB081 (第62回)

位置 調査区北東部 重複関係 RB079 (新か)・082 (新か)・083 (新か)

構造 桁行2間・梁行1間 規模 桁行総長4.8m, 柱間北から2.1+2.7m 梁行1.95m

建物方向 N13.5°E, 南北棟 掘方 6基 (第7表) 時期 中世

RB082 (第62回)

位置 調査区北東部, 北東部が原埋文センター第10・11次調査区内

構造 桁行4間・梁行北側柱筋1間・南側柱筋2間

規模 桁行-西側柱筋総長7.5m, 柱間北から1.95+1.65+1.8+2.1m

東側柱筋総長7.8m, 柱間北から2.1+1.5+2.1+2.1m

梁行-北側柱筋3.6m 南側柱筋総長3.9m, 柱間西から2.4+1.5m

建物方向 N21.5°E, 南北棟 掘方 11基 (31次調査は8基, 県10・11次調査が3基, 第7表)

時期 中世

RB083 (第61回)

位置 調査区北東部、北東部が県埋文センター第10・11次調査区内

重複関係 RB079 (新か)・081 (古か)・082 (古か)・084 (新か)、RI070、
RG031 (新か)、RZ002 (新か)

構造 桁行3間・梁行2間

規模 桁行-西側柱筋総長6.3m、柱間北から2.25+1.65+2.4m

東側柱筋総長6.0m、柱間北から1.5+1.5+3.0m

梁行-北側柱筋総長4.8m、柱間西から2.7+2.1m

南側柱筋総長4.5m、柱間西から2.4+2.1m

建物方向 N21.0°E、南北棟 掘方 10基 (31次調査は7基、県10・11次が3基、第7表)

時期 中世

RB084 (第59回)

位置 調査区北東部

重複関係 RB077 (古か)・078 (古か)・082 (古か)・083 (古か)、RD291 (古)

構造 桁行2間・梁行2間

規模 桁行西側柱筋総長5.55m (2間)、東側柱筋総長5.7m・柱間北から3.15+2.55m

梁行総長5.1m、北側柱筋柱間西から2.85+2.25m・南側柱筋柱間2.55m等間

建物方向 N29.0°E、南北棟 掘方 7基 (第7表) 時期 中世

RB085 (第63回)

位置 調査区西部、北側大部分が県埋文センター第10・11次調査区 重複関係 なし

構造 桁行3間・梁行北側柱筋1間・南側柱筋2間

規模 桁行総長7.5m、西側柱筋柱間北から2.55+2.25+2.7m・東側柱筋柱間北から2.4+2.55+2.55m

梁行北側柱筋3.6m、南側柱筋総長3.6m・柱間1.8m等間

建物方向 N27.0°E、南北棟 掘方 8基 (31次は2基、県10・11次が6基、第8表)

時期 中世

・掘立柱列跡 (板堀)

RC008 (第67回)

位置 調査区北西部 重複関係 なし

構造 桁行3間 規模 総長9.9m、柱間西から3.15+3.15+3.6m

桁行方向 W46.0°N、東西方向 掘方 4基 (第8表) 時期 中世

RC009 (第65回)

位置 調査区北西部、RB072の西隣 重複関係 RB071 (古か)、RC015 (新か)

構造 桁行3間 規模 総長9.0m、柱間3.0m等間

桁行方向 N41.5°E、南北方向 掘方 4基 (第8表) 時期 中世

RC010 (第67回)

位置 調査区北西部 重複関係 RG035 (新か)

構造 桁行6間 規模 総長15.0m, 柱間北から2.4+2.4+2.7+2.55+2.55+2.4m

桁行方向 N44.5°E, 南北方向 掘方 7基 (第8表) 時期 中世

RC012 (第67回)

位置 調査区北西部, 北部が県埋文センター第12・13次調査区 重複関係 なし

構造 桁行3間 規模 総長11.7m, 柱間西から4.2+3.3+4.2m

桁行方向 W52.5°N, 東西方向 掘方 4基 (31次は3基, 県12・13次が1基, 第8表)

時期 中世

RC013 (第65回)

位置 調査区西部, RB069の西隣 重複関係 なし

構造 桁行3間 規模 総長12.3m, 柱間北から3.75+4.35+4.2m

桁行方向 N37.5°E, 南北方向 掘方 4基 (第8表) 時期 中世

RC014 (第63回)

位置 調査区西部, 北部が県埋文センター第10・11次調査区内, RB073の西隣 重複関係 なし

構造 桁行3間 規模 総長10.5m, 柱間北から3.75+3.15+3.6m

桁行方向 N24.0°E, 南北方向 掘方 4基 (31次は3基, 県10・11次が1基, 第8表)

時期 中世

RC015 (第64回)

位置 調査区西部, RB068の南隣

重複関係 RB069 (古か)・071 (古か), RC009 (古か)

構造 桁行5間 規模 総長15.6m, 柱間西から3.3+3.0+3.3+2.7+3.3m

桁行方向 W32.5°N, 東西方向 掘方 6基 (第8表) 時期 中世

RC016 (第61回)

位置 調査区北東部, RB077の西隣 重複関係 なし

構造 桁行5間 規模 総長10.5m, 柱間北から1.95+2.4+1.95+2.7+1.2m

桁行方向 N19.0°E, 南北方向 掘方 6基 (第9表) 時期 中世

RC017 (第62回)

位置 調査区北東部東側県埋文センター第10・11次調査区内, RB082の東隣

重複関係 RC018 (新か), RZ002 (新か)

構造 桁行3間 規模 総長6.3m, 柱間北から2.4+1.8+2.1m

桁行方向 N21.0°E, 南北方向 掘方 4基 (第9表) 時期 中世

RC018 (第61回)

位置 調査区北東部東側県埋文センター第10・11次調査区内, RB083の東隣

重複関係 RC017 (古か), RG030 (新か), RZ002 (新か)

構造 桁行2間 規模 総長6.3m, 柱間3.15m等間

桁行方向 N20.0°E, 南北方向 掘方 3基 (第9表) 時期 中世

・竪穴建物跡

RE004 (第68回)

位置 I区北東隅, 北半部が県埋文センター第10・11次調査で精査済

重複関係 RG015堀跡 (新, 県10・11次) 平面形 出入口状の張り出しがある隅丸方形

規模 北東-南西3.6m以上, 北西-南東3.8m, 深さ0.2m 出入口方向 南西出入口

埋土 A1・2層, B1・2層, C1層, D1層, E1層, F1層, G1層 (第37表)

床の状態 中央部に硬化面あり, 壁際に周溝あり

柱穴 7口 (31次は3口, 県10・11次は4口, 第10表) 出土遺物 棒状鉄製品, 炭化材

時期 中世

RE025 (第69回)

位置 I区北東隅, 北半部は県埋文センター第10・11次調査で未検出 重複関係 RB080 (新)

平面形 不整隅丸方形か 規模 北東-南西2.0m以上, 北西-南東3.7m, 深さ0.05m

出入口方向 張り出し不明 埋土 A1層, B1層, C1層 (第37表)

貯蔵穴 床面北西部に1基 (p6) 柱穴 5口 (第10表) 出土遺物 なし 時期 中世

・井戸跡

RI070 (第69回)

位置 I区北東部 重複関係 RB077・079・083 (古) 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.9m, 短軸1.6m, 深さ1.3m

埋土 A1層, B1・2層, C1・2層, D1層, E1層, F1層, G1層, H1層, I1・2層, J1層, K1層 (第37表)

出土遺物 なし 時期 中世

・陥し穴

RD291 (第70回)

位置 I区北東部 重複関係 RB077 (新)・084 (新)

平面形 溝状 規模 長さ2.85m, 幅0.5~0.6m, 深さ0.7m

埋土 A1層, B1・2層, C1層, D1・2層, E1層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 縄文時代

RD292 (第70図)

位置 I区南部 重複関係 なし 平面形 溝状 規模 長さ2.3m, 幅0.55m, 深さ0.95m
埋土 A1層, B1層, C1・2層, D1層, E1層, F1層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 縄文時代

・土坑

RD293 (第70図)

位置 I区北西部 重複関係 RB075 平面形 不整楕円形
規模 長軸2.95m, 短軸1.85m, 深さ0.2~0.3m
埋土 A1層, B1層, C1層, D1層, E1層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 中世

RD294 (第70図)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.8m以上, 短軸0.55m, 深さ0.2m
埋土 A1層, B1層, C1・2層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 中世

RD295 (第71図)

位置 I区北西部 重複関係 RG016 (新)・035 (新) 平面形 不整長方形
規模 長軸1.3m, 短軸0.8m, 深さ0.3m
埋土 A1・2層, B1層, C1層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 中世

RD296 (第71図)

位置 I区北西部 重複関係 RG016 (新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.6m, 短軸0.75m, 深さ0.2m
埋土 A1層, B1層, C1層, D1層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 中世

RD297 (第71図)

位置 I区北西部 重複関係 RG016 (新)・035 (新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.7m, 短軸0.45m, 深さ0.2m
埋土 A1層, B1・2層 (第38表) 出土遺物 なし 時期 中世

RD298 (第71図)

位置 I区北西部 重複関係 RG016 (新)・035 (新) 平面形 不整円形
規模 径0.8m, 深さ0.1m 埋土 A1層, B1層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 中世

RD299 (第71図)

位置 I区北西部 重複関係 RG016 (新) 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.25m, 短軸0.5m以上, 深さ0.15m 埋土 A1層, B1層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 中世

RD300 (第70回)

位置 I区北西部 重複関係 RG034 (新) 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.8m, 短軸0.5m, 深さ0.2m 埋土 A1層, B1・2層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 中世

RD301 (第70回)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整円形
規模 径0.55~0.65m, 深さ0.2m 埋土 A1・B1層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 中世

RD302 (第71回)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整円形
規模 径0.5~0.6m, 深さ0.25m 埋土 A1・2層, B1層 (第38表) 出土遺物 なし
時期 中世

RD303 (第71回)

位置 I区北西部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸0.8m, 短軸0.45m, 深さ0.35m 埋土 A1層, B1層, C1層 (第38表)
出土遺物 なし 時期 中世

RD304 (第71回)

位置 I区南東部 重複関係 なし 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.3m, 短軸0.7m, 深さ0.35m 埋土 A1・2層, B1層, C1層, D1層 (第38表)
出土遺物 なし 時期 中世

RD305 (第71回)

位置 I区南部 重複関係 なし 平面形 不整円形 規模 径0.95m, 深さ0.45m
埋土 A1・2層, B1層, C1~3層, D1層, E1層, F1~3層 (第39表)
出土遺物 なし 時期 中世

RD306 (第71回)

位置 I区北東部 重複関係 RB077 平面形 不整楕円形
規模 長軸1.2m, 短軸0.85m, 深さ0.3m 埋土 A1・2層, B1・2層, C1層 (第39表)
出土遺物 なし 時期 中世

・堀跡

RG016 (第73区)

位置 I区北西部 重複関係 RD295~299 (古), RG090 (古)

規模等 幅2.2~2.4m, 延長16.5m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.6m, 北東から南西に走る。

県埋文センター調査区のRG015堀跡とともに環濠屋敷の区画施設を形成。

埋土 A1・2層, B1~3層, C1・2層, D1~3層, E1・2層, F1層 (第39表)

出土遺物 土師器瓦破片 時期 中世

・溝跡

RG029 (第72区)

位置 I区南東部 重複関係 RG030 (古)

規模等 幅0.4~0.7m, 延長26.2m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.15~0.2m, 北東から南西へやや湾曲しながら走る。

埋土 A1・2層, B1層 (第39表) 出土遺物 あかやき土器破片, 鉄釘 時期 中世

RG030 (第72区)

位置 I区南東部, RZ002道路跡東側溝 重複関係 RG029 (新), RC018 (県埋文調査区)

規模等 幅0.4~0.6m, 延長28.3m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.2~0.25m, 北東から南西へやや湾曲しながらRG031と平行に走る。

埋土 A1層, B1層, C1・2層, D1層 (第39表) 出土遺物 あかやき土器破片

時期 中世

RG031 (第72区)

位置 I区南東部, RZ002道路跡西側溝 重複関係 RB082・083

規模等 幅0.3~0.5m, 延長24.0m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.08~0.12m, 南西端部付近で途切れながら北東から南西へやや湾曲しながらRG030と平行に走る。

埋土 A1層, B1層, C1層 (第39表) 出土遺物 なし 時期 中世

RG034 (第73区)

位置 I区北西部 重複関係 RD030 (古)

規模等 幅0.2~0.4m, 延長16.0m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.1m, 途切れながら北東から南西に走る。

埋土 A1・2層, B1層 (第39表) 出土遺物 なし 時期 中世

RG035 (第73区)

位置 I区北西部 重複関係 RC010 (古), RG090 (同時期), RD295・297・298 (古)

規模等 幅0.35~0.6m, 延長16.9m以上 (県埋文センター調査区へ続く), 深さ0.15m, 北東から南西へ走る。

RG090・091とともに区画施設を形成する。

埋土 A1・2層, B1層 (第39表) 出土遺物 なし 時期 中世

RG090 (第73図)

位置 I区北西～南東部 重複関係 RG016 (新), RG035・094 (同時期)

規模等 幅0.3～0.6m, 延長34.2m, 深さ0.1～0.2m, 北西から南東へ走る。RG091の延長と考えられ、RG035とともに区画施設を形成する。

埋土 A1・2層, B1層, C1・2層 (第40表, RG091と共通) 出土遺物 なし 時期 中世

RG091 (第73図)

位置 I区北西部 重複関係 なし

規模等 幅0.4～0.6m, 延長11.4m, 深さ0.1m, 北西から南東へ走る。RG090の延長と考えられ、RG035とともに区画施設を形成する。

埋土 A1・2層, B1層, C1・2層 (第40表, RG090と共通) 出土遺物 なし 時期 中世

RG092 (第73図)

位置 I区北部中央 重複関係 RB073 (古)

規模等 幅0.3m, 延長1.2m, 深さ0.15m, 東西に走る小溝。埋土 A1・2層, B1層 (第40表)

出土遺物 なし 時期 中世

RG093 (第73図)

位置 I区南西部 重複関係 なし

規模等 幅0.3～0.4m, 延長1.7m, 深さ0.1～0.2m, 北東から南西に走る小溝。東方のRG094と平行関係 (溝の芯々距離は3.9m) にある。

埋土 A1層, B1層, C1層 (第40表) 出土遺物 なし 時期 中世

RG094 (第73図)

位置 I区南西部 重複関係 RG090 (同時期)

規模等 幅0.3～0.5m, 延長2.3m, 深さ0.1～0.15m, 北東から南西に走る小溝。西方のRG093と平行関係 (溝の芯々距離は3.9m) にある。

埋土 A1層, B1層 (第40表) 出土遺物 なし 時期 中世

・道路跡

RZ002 (第72図)

位置 I区南東部 重複関係 RB082・083, RC017・018 (県埋文調査区)

規模等 RG030を東側溝, RG029を西側溝とする道路状遺構で, 路面幅0.9～1.2m。北東部の延長は県埋文センター調査区となり, RZ001土橋跡 (環濠となるRG015堀跡の途切れる部分) へと続いている。

時期 中世

・ピット

I区内に中世以降のピット359口を検出した(第74～85図)。各ピットの規模は、第15～18表のとおりである。

・遺構外

I区の掘乱及び旧堰跡より、あかやき土器坏破片のほか、常滑大甕(第94図038・第43表、17～18世紀)、瀬戸美濃鉄釉擂鉢(第94図037・第43表、17～18世紀前半)、肥前染付広東碗(第94図036・第43表、18世紀後半～19世紀)などの近世陶磁器がわずかに出土している。

第3節 焼野遺跡（第3次調査）

1. 遺跡の立地

焼野遺跡は、志波城跡の南東約2.6kmに位置し、北方に矢盛遺跡、南東方約100mの位置に夕覚遺跡がある。低位沖積段丘上にあるが、周囲を小規模な旧河道に囲まれた中洲状となっている。この遺跡は、一般国道46号盛岡西バイパス建設事業に伴い、平成19年度に岩手県教育委員会が試掘確認調査を実施して新規に見えられたものであり、平成20年度に岩手県埋蔵文化財センターが第1・2次調査を実施している。遺跡範囲は東西約80m、南北約140mをはかる（第3図）。

2. 調査内容

(1) 第3次調査（平成23年度）

今次調査区は、遺跡の北部及び南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査（トレンチ調査）として実施した（第3図）。調査区は、岩手県埋蔵文化財センターが実施した第2次調査区に隣接しており、調査対象面積1,922㎡について、重機により幅2.0mの試掘トレンチ6本を設定し（調査面積408㎡）、地表下0.42～0.98mの黄褐色シルト層及び砂礫層上面で遺構・遺物の有無を確認した。その結果、その大半が過去の耕作や工事等による削平や攪乱を受けており、遺構・遺物が確認されなかったため、調査対象範囲について調査終了地区とした。

第4章 総括

1. 調査のまとめ

盛岡市教育委員会で行った平成22～24年度の細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。

以下、遺構の精査を行った各遺跡本調査の内容のまとめを行い、総括とする。なお、精査を行った古代の堅穴建物跡（住居）の一覧は挿表3のとおりである。また古代土器群の年代観は、津嶋2013・2015に従った。

細谷地遺跡第27次調査

細谷地遺跡の中央南部で実施した第27次調査では、古代以降の土坑4基（RD508～511）を検出した。土坑はすべて調査区南端部で検出され、出土遺物もなく、その詳しい年代や性格は不明である。

細谷地遺跡第28次調査

第28次調査は、遺跡南東部北側のⅠ区、中央部の旧農免道道路であったⅡ区に大きく分かれており、検出された遺構の総計は、古代の堅穴建物跡3棟（RA107・202・181）・土坑2基（RD512・513）、古代以降の掘立柱列跡2基（RC009・010）・土坑4基（RD514～517）・溝跡1条（RG090）、ピットとなる。

【Ⅰ区】

県埋文センターによる第10次調査区の東に隣接し、古代の堅穴建物跡2棟（RA107・202）、古代以降のピットを検出した。

Ⅰ区の南部に検出された古代の堅穴建物RA202は、一辺3.15～3.35mの中型住居。北西カマドで煙道がトンネル状、煙出しはピット状に深くなっている。床面に主柱穴はないが、壁際全周に周溝がめぐる。出土土器が土師器・須恵器の破片のみではっきりしないが、北西カマドであることから、年代的に8世紀後葉～9世紀前葉の可能性がある。

Ⅰ区北部に検出された堅穴建物RA107は、一辺4.45～5.3mの大型住居である。カマドは3時期の煙道が検出され、古い順にc（東カマド）→b（北カマド）→a（東カマド）と変遷している。煙道の構造がそれぞれ異なっており、最も古いカマドcの煙道はトンネル状で堅穴床面から煙道底面がスロープ状に煙出しに向かって下がっている。次のカマドbの煙道は底面が床面より一段高くなってから急傾斜でスロープ状に下がり、煙出しがピット状に深い。その次のカマドaの煙道は底面が床面より一段高くなるが煙出しに向かって傾斜はない。床面には硬化面が広がり、壁際には周溝がある。また、深さ0.4～0.55mの主柱穴を4口持ち、うち東側の2本が東壁際に偏っている。硬化面の広がりから見て、出入口が東側のカマド脇にあったと推定される。出土土器は、ロクロ成形で底部がヘラケズリ再調整の土師器内黒環（001）、土師器砂底葉の底部、須恵器・あかやき土器の破片が出土しており、9世紀中葉～後葉の年代が考えられる。

【Ⅱ区】

旧農免道路部分の延長約200mにわたる調査区であり、北部が県埋文センター第25次調査区の東に隣接し、古代の堅穴建物跡1棟（RA181）・土坑2基（RD512・513）、古代以降の掘立柱列跡2基（RC009・010）・

土坑4基 (RD514~517)・溝跡1条 (RG090)、ピットを検出した。

古代の竪穴建物RA181は、Ⅱ-北1区に全体の南東端部と北東カマドの煙道・煙出し部分のみを検出したもので、西側の大部分は埋土文センター第25次調査で精査されている。全体形を見ると、一辺80~84mの特大住居である。カマドは3時期の煙道が検出されたこととなり、古い順にc (北東カマド:28次)→b (北西カマド:25次)→c (北西カマド:25次)との変遷が考えられる。床面にはカマド脇に貯蔵穴があるほか、主柱穴が3口検出されており、水道管本管敷設の攪乱範囲にもう1口あったと推定されることから、4本柱であったと考えられる。第25次調査では埋土の一部に十和田a火山灰 (To-a, 915年降下) が混じることが確認されている。出土遺物は、第28次調査でロクロ成形の土師器内黒坏 (003, 刻書「卍」) があるほか、第25次調査で土師器高台付坏、あかやき土器坏 (黒書「寸」)、須恵器甕・大甕破片がみられ、9世紀中葉~後葉の年代が考えられる。

RA181の北西に検出されたRD512土坑からは土師器甕 (004) の同一個体破片がまとまって出土しており、また周辺のピットからはあかやき土器坏 (004) が出土しており、ともに9世紀代の年代が考えられる。

RC010掘立柱列は、不整形形の掘方の大きさ0.5~0.8m、深さ0.5~0.65mをはかり、柱間が3.0+2.7mと広いことから、年代的に古代のものである可能性がある。

細谷地遺跡第31次調査

第31次調査は、遺跡中央部南東側のⅠ区、中央部南側のⅡ区、中央部南西側のⅢ区に大きく分かれており、検出された遺構の総計は、縄文時代の竪穴建物跡1棟 (RA203)、弥生時代後期~古代の沢状地形1箇所、古代の竪穴建物跡12棟 (RA107・204~208・215~218・220・221)・竪穴状遺構2基 (RE015・014)・土坑墓2基 (RD525・526)・土坑4基 (RD527~530)・溝跡4条 (RG036・065~068)・大溝1条 (RG091N)、古代以降の土坑11基 (RD523・524・531~539)・溝5条 (RG093・094・061・062・095) となる。

〔Ⅰ区〕

埋土文センター第10次調査区の東、及び市教委第28次調査Ⅰ区の北東に隣接し、縄文時代の竪穴建物跡1棟 (RA203)、古代の竪穴建物跡12棟 (RA107・204~208・215~218・220・221)・竪穴状遺構1基 (RE015)・土坑墓2基 (RD525・526)・大溝1条 (RG091N)、古代以降の土坑2基 (RD523・524)・溝2条 (RG093・094) を検出した。

古代の竪穴建物 (住居) のうち、複数の煙道が検出され、カマドの作り替えが認められるのは、11棟中3棟 (RA205・218・220) のみである。

8世紀後葉~9世紀前葉の年代が考えられる竪穴建物は、RA204~208の5棟であり、調査区内全域に点在している。その規模は、一辺3.0m以上・5.0m未満の中型住居が4棟 (RA204~207)、一辺3.0m未満の小型住居が1棟 (RA208) である。煙道がのびるカマド方向の傾きは、RA205 b (古期) を除き、すべて北西方向である。煙道はすべて長いものであり、カマド袖もRA205 b (古期) を除き、すべて残存していた。カマド袖の芯材として、RA205 aは土器・礫、RA207は倒立させた土師器甕を使用。またRA208では、カマド支脚として倒立させた土師器甕を使用している。床の硬化面があるのはRA204・207・208の3棟。主柱穴を持つのはRA207のみ、周溝があるのはRA204・207の2棟である。RA207は、一辺の最大が4.45mと中型住居の中でも規模が大きく、床の硬化面・主柱穴・周溝がすべてあり、検出面からの掘り込みも0.35~0.4mと深いことから、8世紀代から続くエミシの伝統的なしっかりした構造をもつ竪穴建物と言え、中心的な住居と考えられる。RA204は、主柱穴はないものの、RA207に次ぐ規模の竪穴建物であり、カマドと反対側の壁

に出入口状の張り出しがあるという特徴がみられる。

RA204は出土炭化材の放射性炭素 (^{14}C) 年代測定、RA205は加えてウィグルマッチングによる暦年代推定を行った(附章参照)。RA204C層出土炭化材の放射性炭素 (^{14}C) 年代測定による暦年代範囲 ($2\sigma=95.4\%$) は、資料No.1-1が607~644calAD、資料No.1-2が619~675calAD。RA205床面出土炭化材のウィグルマッチングによる最外年輪部の暦年代範囲 ($2\sigma=95.4\%$) は、資料No.2が661~690calAD、資料No.10が648~678calADであった。出土土器からの年代観(8世紀後葉~9世紀前葉)と比較すると、それぞれの最新値でも100年以上古い結果である。測定を行った炭化材の樹種同定によると(附章参照)、資料No.1-1・1-2・2-10とも広葉樹のコナラ節(日本ではコナラ、ミズナラ、カシワ、ナラガシワの4種)との結果であり、出土状況とともに竪穴建物の建築部材(又首、垂木)であったと推定される。

9世紀中葉~後葉の年代が考えられる竪穴建物は、RA215~218・220・221の6棟であり、調査区の北部にまとまっている。その規模は、一辺3.0m以上・5.0m未満の中型住居が5棟(RA216~218・220・221)、一辺3.0m未満の小型住居が1棟(RA215)である。煙道がのびるカマド方向の傾きは、南東方向が2棟(RA215・216)、東方向が2棟(RA218・222)、北東方向が1棟(RA217)、北西方向が1棟(RA220)とまとまりを持たない。煙道は、RA220新期aカマドのみ短い煙道で、他はすべて長い煙道であり、RA217・218・221では煙道がくり抜きのトンネル状となっている。また、RA220古期bカマド以外はすべてカマド袖が残存していた。カマド袖の芯材として、RA215は礫と粘土を、RA221は礫を石組みして使用している。また、カマド支脚として、RA215は礫とあかやき土器坏を、RA217は土師器甕を、RA218は砥石を使用している。貯蔵穴があるのはRA216のみ、またRA220以外はすべて床の硬化面がある。主柱穴はRA216・218新旧・221にあるが、周溝のあるものはない。

RA221は出土炭化材の放射性炭素 (^{14}C) 年代測定による暦年代推定を行った(附章参照)。RA221F層出土炭化材の放射性炭素 (^{14}C) 年代測定による暦年代範囲 ($2\sigma=95.4\%$) は、資料No.13-1が669~770calAD、資料No.13-2が683~868calAD。出土土器からの年代観(9世紀中葉~後葉)と比較すると、最新値がほぼ同年代という結果である。測定を行った炭化材の樹種同定によると(附章参照)、資料No.13-1・13-2とも広葉樹のコナラ節との結果であり、埋土下層から出土した炭化材であることから、竪穴建物の建築部材であったと推定される。

調査区南東部から第32次調査I区(道明地区)に走るRA091大溝跡は、幅0.9~1.5m、深さ0.5mをはかる。埋土A層に十和田a火山灰(915年降下)が多く混じることから、9世紀後半の年代が考えられる。北西から南東に長い細谷地の古代集落を区画する施設といえるが、現在の区画整理事業(盛岡南新都市と道明地区)の境界に近く、古代から現代に至るまで人々に影響を与えたラインといえる。

【II区】

県埋文センター第10次調査区の南西、県埋文センター第14次調査区の西、及び市教委第28次調査II区南部の東に隣接し、弥生時代後期~古代の沢状地形I箇所、古代の土坑4基(RD527~530)・溝跡4条(RG036・065~068)、古代以降のピット21口を検出した。

調査区南部において、RG065・066とRG068が並走して東西に走っており、その幅は溝の中心線間で4.5~6.0mをはかる。隣接する調査区にこれらの延長となるような餌溝状の遺構は検出されていない。この並走する溝跡は、南北に走る低みであった沢状地形を容易に通行人に通行できるようにするため、溝の中に根太となる木材を置いて土台とし、その上に板や丸太を渡した木道状の施設であった可能性を想定したい。近接するRD527~530土坑もそれに関連する痕跡かもしれない。

【Ⅲ区】

県埋文センター第14次調査区の西、県埋文センター第24次調査区の南東、県埋文センター第26次調査区の東、及び市教委第27次調査区の北に隣接し、古代の堅穴状遺構1基（RE014）、古代以降の土坑9基（RD531～539）・溝跡3条（RG061・062・095）・ピット15口を検出した。

調査区西側に検出されたRE014堅穴状遺構は、その西半部が県埋文センター第26次調査で精査されている。土師器片がわずかに出土し、埋土B層に十和田a火山灰（915年降下）が混じることから、10世紀初頭の年代と考えられる。全体では不整形の一部に張り出し部とピットがあるが、その性格は不明である。

その他の土坑・溝跡からも遺物の出土はなく、詳しい年代や性格は不明である。

矢盛遺跡第28次調査

第28次調査は、遺跡東部のⅠ区、北部東側のⅡ区で遺構が検出され、その総計は縄文時代の陥し穴3基（RD267～269）、近世以降の土坑16基（RD263～266・270～281）・溝跡1条（RG084）・大溝跡1条（RG085）となる。

【Ⅰ区】

国道46号線西バイパス用地である県埋文センター第14次調査D区の東に隣接し、縄文時代の陥し穴3基（RD267～269）、近世以降の土坑7基（RD263～266・270～272）・溝跡1条（RG084）を検出した。

陥し穴は、3基がⅠ区南東部に西北西から東南東に並んで検出された。3基とも溝状の平面形であり、0.35～1.05mの深さとなっている。埋土からの出土遺物はないが、形状から縄文時代の年代が考えられる。その他の土坑・溝跡の埋土からも出土遺物がなく、その詳しい年代と性格は不明（近世以降か）である。

【Ⅱ区】

国道46号線西バイパス用地の西方に位置する県埋文センター第12・13次調査区の北西、県埋文センター第23・24次調査区南東に隣接し、近世以降の土坑9基（RD273～281）・大溝跡1条（RG085）を検出した。

Ⅱ区の北東隅に、北北西から南南東に走るRG085大溝を検出した。幅0.8～1.4m・深さ0.36～0.54mとしつかりした規模を持つが、隣接する県埋文センター調査区にはその延長が検出されておらず、出土遺物もないことから、詳しい年代と性格は不明（近世以降か）である。大溝周囲に検出された土坑についても同様である。

矢盛遺跡第30次調査

第30次調査は、遺跡中央部のⅠ区、遺跡北部のⅡ区に大きく分かれており、検出された遺構の総計は、古代以降の方形周溝1基（RX001）、土坑3基（RD288～290）、溝跡1条（RG074）、ピットとなる。

【Ⅰ区】

県埋文センター第10～13次調査区の北西に隣接し、古代以降の方形周溝1基（RX001）、ピットを検出した。方形周溝RX001は、Ⅰ区の東端部に検出され、全体形が東西6.3m、南北6.0m、溝幅0.75～0.95m、深さ0.15～0.3mとなっている。埋土等からの出土遺物がなく、周溝内部からはピットが1口検出されたのみであり、詳しい年代や性格は不明である。近世以降に安置された社や祠等の区画溝であろうか。

【Ⅱ区】

第22次調査区の南に隣接し、古代以降の土坑3基（RD288～290）、溝跡1条（RG074）、ピットを検出した。埋土等からの出土遺物がなく、詳しい年代や性格は不明である。

矢盛遺跡第31次調査

矢盛遺跡の南部で実施した第31次調査Ⅰ区は、県埋文センター第10～13次調査区の南西に隣接し、縄文時代の陥し穴2基（RD291・292）、中世の掘立柱建物跡20棟（RB007・067～085）・掘立柱列跡10基（RC008～010・012～018）・竪穴建物跡2棟（RE004・025）・土坑14基（RD294～306）・堀跡1条（RG016）・溝跡10条（RG029～031・034・035・090～094）、井戸跡1基（RI070）、道路跡（RZ002）、中世以降のピットを検出した。

Ⅰ区周辺は、県埋文センターの調査により中世後半（16世紀頃）の堀を巡らせた居館（環濠屋敷）跡と、それ以前の集落が重複して広がっていることがわかっている（岩手県埋文2008・2009）。第31次調査Ⅰ区においても、調査区の東部と西部にまとまって掘立柱建物跡や掘立柱列跡（板塀）などが重複して検出され、遺構からの出土遺物がほとんどなく詳細は不明なもの、中世後半の年代が考えられる。しかし、それら建物等の柱掘方が直接重複し、前後関係がわかるものはない。そこで各遺構について、①建物方向・桁行方向の傾きのまとまり、②建物と板塀のセット関係、③区画施設の変遷、という3つの観点から時期変遷（3期、5小期）を想定したものが図版37～39及び挿表4・5である。以下、想定した各期の様相を記述する。

■ a 期

a 期は、調査区北部にRG015堀がめぐる居館（環濠屋敷）の成立・存続期と想定され、その南のエリアが南北方向の堀や溝、道路によりさらに区画されていたと考えられる。

【a-1期】（第37図版上、挿表4）

a-1期はa 期新段階と想定され、西の区画施設はRG016堀、東の区画施設はRG029溝により3つに区画されている。西側のRG016堀は、環濠であるRG015堀に匹敵する規模であり、その東側の区画を居館（環濠屋敷）と同等のエリアに取り込む役割が想定される。また、東側のRG029溝は、RG016堀の東側のエリアをさらに東西に分割する（東に新しい区画を成立させる）区画施設として設けられたと考えられる。

RG029溝の東側の新しい区画で検出されたのがRB007建物で、桁行3間・梁行1間、四面廂（縁）が付く格式の高いものである。東西棟で建物方向の傾きは30.0°。南に隣接するRB067建物は、RB007の附属建物と考えられる。

RG029溝の西側の区画の東半部、RG015堀に近い位置に、RI070井戸をはさんでRG080建物とRG084建物が南北に並んでいる。ともに南北棟で建物方向の傾きがそれぞれ29.5°・29.0°と、RB007建物に近似している。井戸があることから、厨の施設であろうか。

RG029溝の西側の区画の西半部、北のRG015堀に近い位置に南北棟のRB085建物、西のRG016堀に近い位置に東西棟のRB068建物があり、この2棟の建物がL字状に囲む広場を通過しないと、区画の奥（東方）、さらにRZ001土橋を通過して北の居館（環濠屋敷）エリアに入ることができない構造となっている。RB068建物は、桁行3間・梁行1間で北廂と西廂が付き、東側区画のRB007建物に次ぐ格式と規模を持つものである。東西棟で建物方向の傾きは34.0°。桁行5間のRC015板塀が附属する。RB085建物は、桁行3間・梁行1間の南北棟で、建物方向の傾きが27.0°と東側のRB080建物に近い。

【a-2期】（第37図版下、挿表4）

a-2期はa 期古段階と想定され、西の区画施設はRG035溝、東の区画施設はRZ002道路状遺構により3つに区画されている。RG035溝は、a-1期と想定したRG016堀の東隣に検出された溝跡であるが、南端部で直角に交差するRG090溝とともに、居館（環濠屋敷）の南にその附属的区画を成立させる役割が想定される。なお、RG090溝に中央部で直交するRG093・094溝により区画される方形の内部には、塚や祠などの施設があっ

たと考えられる。また、東側のRZ002道路状遺構は、居館（環濠屋敷）内部からRZ001土橋を通過して南の区画に出る通路であるとともに、RG035溝の東側のエリアを東西に分割するものと考えられる。

RG035溝の東側の区画の東半部、RG015堀とRZ002道路状遺構に近い位置に、RG079建物とRG076建物が南北に平行して並んでいる。ともに東西棟であるが、北のRB079建物は間仕切りがあり、南のRB076建物はRZ002道路側に面する東扉がある。建物方向の傾きはそれぞれ24.5°、23.0°と近似している。

RG035溝の東側の区画の西半部に、板扉を伴う南北棟の建物が3棟検出されている。板扉はいずれも建物の西側にあり、目隠し扉というより冬季の季節風（西風）を防ぐものと考えられる。建物方向の傾きは、RB069とRB073がそれぞれ33.0°、31.0°と近似し、桁行3間のRB072は38.5°となっている。

RG035溝の西側の区画には、南北棟のRB075建物とRC008板扉が検出されている。桁行3間であるRB075の建物方向の傾きは39.0°と、東の区画のRB072建物に近い。RC008板扉については、RB075建物に付属するもの、またはRG091溝とともにこのエリアの南端を区画する施設の一つ、と考えられる。

■b期

b期は、a期の居館（環濠集落）に先行する時期と想定され、板扉により調査区内が東西に区画されていたと考えられる。

【b-1期】（第38図版上、挿表5）

b-1期はb期新段階と想定され、RC010板扉の東側の区画の東半部に、板扉を伴うRB077建物とRB083建物が東西に近接して並んでいる。ともに南北棟であり、また桁行4間と規模がやや大きい。建物方向の傾きはそれぞれ19.0°、21.0°と近似している。

RC010板扉の東側の区画の西半部には、南北棟のRB071建物があったと考えられ、建物方向の傾きは12.0°である。

【b-2期】（第38図版下、挿表5）

b-2期はb期古段階と想定され、RC010板扉の東側の区画の東半部に、板扉を伴うRB082建物があり、やはり桁行4間で建物方向の傾きが21.5°と、b-1期の建物との類似性が高い。

RC010板扉の東側の区画の西半部には、南北棟のRB070建物があったと考えられ、建物方向の傾きは5.5°である。

■c期

【c期】（第39図版上、挿表5）

c期は、b期の板扉区画に先行する時期と想定され、自然発生的な一般集落の段階と考えられる。調査区北東隅の2棟の竪穴建物RE004・025はこの時期と考えられ、その南側に対応するように2棟の建物RB078・081が並行して並ぶ。建物方向の傾きはともに13.5°とa・b期より西に振れており、かつ小規模である。調査区中央部にやや離れて位置するRB074建物も、a・b期の規格外に合わず、当該期と想定される。

以上は、第31次調査I区内のみの変遷案であるが、県埋文センター調査区では6期変遷案（県埋文2008）、及び独立柱建物の5類型分類（県埋文2009）が提示されており、今後総合的な検討を進める必要がある。

各遺構の年代の詳細については、陶磁器等の出土がなく明確ではないが、変遷案でc期（最古期）と想定した竪穴建物RE004出土炭化材の放射性炭素（¹⁴C）年代測定による暦年代推定を行った（附参照）。RE004D層出土炭化材の放射性炭素（¹⁴C）年代測定による暦年代範囲（2σ=95.4%）は、1173~1245calADであり、12世紀後葉~13世紀中葉との結果であった。県埋文の調査では、集落の年代が全体的に中世後半の

16世紀頃とされているが、最新期と想定される居館（環濠集落）の時期はともかく、それに先行する集落の年代は、中世前半の13世紀前後にまで遡る可能性がある。なお、測定を行った炭化材の樹種同定によると（附章参照）、落葉広葉樹のモクレン属との結果であり、日本ではホオノキ、オオヤマレンゲ、シデコブシ、コブシ、タムシバの5種が分布するが、木材は軽軟で強度と保存性が低いとのことである。埋土下層からの出土ではあるが、堅穴建物の建築部材というより、燃料材であった可能性が高い。

【引用・参考文献】

- 津嶋知弘 2004 「志波城と蝦夷社会」『古代蝦夷と律令国家』蝦夷研究会編 高志書院
- 津嶋知弘 2013 「古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その1）－雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料を中心に－」盛岡市遺跡の学び館学芸レポートVol.2（盛岡市ホームページ）
- 津嶋知弘 2015 「古代「斯波（志波）」郡北部の土器群変遷（その2）－雫石川南岸所在遺跡の盛岡市教育委員会発掘調査資料②－」盛岡市遺跡の学び館学芸レポートVol.4（盛岡市ホームページ）
- 盛岡市遺跡の学び館 2007 「まちづくりと考古学－盛岡開発と遺跡発掘調査－」第6回企画展図録
- 盛岡市教育委員会編 2016 「志波城跡と蝦夷（エミシ）」盛岡市文化財シリーズ第43集

挿表3 古代堅穴建物跡一覧表

遺跡名	次数区	遺構名	カマド方向	煙道	カマド袖	一辺長 (m)	貯蔵穴	床硬化面	主柱穴	周溝	灰白色火山灰 (十和田 a)	時期
鎌谷地	26 I	RA107a	E 9.0° S 東	長い煙道	右袖残存	4.45~5.3	なし	硬化面あり	4口	周溝あり	なし	9世紀中～ 後葉
		RA170b	N 6.0° E 北	長い煙道 (トンネル状)	両袖基礎部 残存	4.45~5.3	なし	硬化面あり	4口	周溝あり	なし	9世紀中～ 後葉
		RA107c	E 4.5° S 東	長い煙道 (トンネル状)	なし	4.45~5.3	なし	硬化面あり	4口	周溝あり	なし	9世紀中～ 後葉
		RA202	N 46.5° W 北西	長い煙道 (トンネル状)	なし	3.15~3.35	なし	なし	なし	周溝あり	なし	9世紀代
隈25	RA181a	N 42.0° W 北西	長い煙道	両袖残存	8.0~8.4	2基	なし	3口	なし	一部	9世紀中～ 後葉	
	RA181b	N 35.0° W 北西	長い煙道	なし	8.0~8.4	2基	なし	3口	なし	一部	9世紀中～ 後葉	
26 II	RA181c	N 45.0° E 北東	長い煙道 (トンネル状)	不明	8.0~8.4	2基	なし	3口	なし	なし	9世紀中～ 後葉	
31 I	RA204	W 42.5° N 北西	長い煙道	両袖残存	3.7~3.95	なし	硬化面あり	なし	周溝あり	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA205a	N 42.0° W 北西	長い煙道	両袖残存	3.25~3.35	なし	なし	なし	なし	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA205b	S 40.5° E 南東	長い煙道	なし	3.25~3.35	なし	なし	なし	なし	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA206	W 42.5° N 北西	長い煙道	両袖残存	3.1~3.3	なし	なし	なし	なし	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA207	W 32.0° N 北西	長い煙道	両袖残存	3.8~4.45	なし	硬化面あり	3口	周溝あり	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA208	N 44.0° W 北西	長い煙道	右袖残存	2.7~2.9	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	なし	8世紀後葉～ 9世紀前葉
	RA215	S 27.0° E 南東	長い煙道	両袖残存	2.35~2.6	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	なし	9世紀中葉
	RA216	S 23.0° E 南東	長い煙道	両袖残存	4.3~4.65	3基か	硬化面あり	4口	なし	なし	なし	9世紀中葉
	RA217	E 37.0° N 北東	長い煙道 (トンネル状)	両袖残存	2.7~3.1	なし	硬化面あり	なし	なし	なし	なし	9世紀中葉
	RA218a	E 13.0° N 東	長い煙道 (トンネル状)	両袖残存	2.85~4.7	なし	硬化面あり	4口	なし	なし	なし	9世紀中葉
	RA218b	E 13.0° N 東	長い煙道 (トンネル状)	両袖残存	2.4~3.85	なし	硬化面あり	4口	なし	なし	なし	9世紀中葉
	RA220a	N 35.0° W 北西	短い煙道	左袖残存	3.20	なし	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀中～ 後葉
	RA220b	N 35.0° W 北西	長い煙道	なし	3.20	なし	なし	なし	なし	なし	なし	9世紀中～ 後葉
	RA221	E 6.0° S 東	長い煙道 (トンネル状)	両袖残存	3.05~3.35	なし	硬化面あり	4口	なし	なし	なし	9世紀中～ 後葉

挿表4 矢盛遺跡第31次調査I区掘立柱建物跡・掘立柱列跡一覽表(1)

遺跡名	次数	遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	部方	区域	位置	区画編號 掘穴・井戸	備考
矢盛	31 I	RB007建物	W30.0° N 東西北	身倉：桁行2間×梁行1間 廊下：桁行4間×梁行3間	身倉：桁行延長9.0m、柱間3.0m等間 梁行4.8m 廊下：桁行・北側柱延長10.8m、柱間2.7+2.85+2.85+2.4m 南側柱延長11.1m、柱間2.55+2.7+3.15+2.7m 梁行延長6.6m、柱間・西側柱間2.4+2.35+1.95m 東側柱間2.1+2.1+2.4m	22基	東	a-1期	RG015區 R2001土塙 RG025区溝溝 RG06區 R070井戸	一部遺 10-11次
		RB000建物	N 29.5° E 南北棟	桁行2間×梁行1間	桁行延長5.1m、柱間・西側柱間2.4+2.7m 梁行3.0m 東側柱間2.56+2.85m	6基	東	a-1期		
		RB004建物	N 29.0° E 南北棟	桁行2間×梁行2間	桁行・西側柱間延長5.5m (2間) 東側柱間延長5.7m、柱間3.15+2.55m 梁行延長5.1m、柱間・北側柱間2.85+2.25m 南側柱間2.55m等間	7基	東	a-1期		
		RB005建物	N 27.0° E 南北棟	桁行3間×梁行北1間/南2間	桁行延長7.5m、柱間・西側柱間2.55+2.25+2.7m 東側柱間2.4+2.55+2.55m 梁行・北側柱間3.6m 南側柱間延長3.6m、柱間1.8m等間	8基	西	a-1期		一部遺 10-11次
		RB008建物	W34.0° N 東西北	身倉：桁行2間×梁行1間 北廊 西廊	身倉：桁行延長8.1m、柱間2.7m等間 梁行3.9m 北廊柱間0.75m 西廊柱間0.9m	14基	西	a-1期		
		RC015柵壁	W32.5° N 東西	桁行6間	延長15.6m、柱間3.3+3.0+3.3+2.7+3.3m	6基	西	a-1期		
		遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	部方	区域	位置	区画編號 掘穴・井戸	備考
		RB079建物	W24.5° N 東西北	桁行4間×梁行2間 間仕切り	桁行延長7.2m、柱間・北側柱間3.3 (2間) +1.8+2.1m 南側柱間1.2+2.1+3.9 (2間) m 梁行延長4.05m、柱間2.25+1.8m	11基	東	a-2期	RG015區 R2001土塙 R2002溝溝 RG005溝 RG091溝 RG090溝 RG093溝 RG094溝	
		RB076建物	W33.0° N 東西北	身倉：桁行2間×梁行1間 東廊	身倉：桁行延長6.6m、柱間2.25+2.25+2.1m 梁行3.75m 東廊柱間1.5m	10基	東	a-2期		
		RB073建物	N 31.0° E 南北棟	桁行2間×梁行北1間/南1間	桁行延長5.1m、柱間2.7+2.4m 梁行・北側柱間延長2.4m、柱間1.2m等間 南側柱間2.4m	7基	西	a-2期		
RC014柵壁	N 24.0° E 南北	桁行4間	延長10.5m、柱間3.75+3.15+3.6m	4基	西	a-2期				
RB072建物	N 38.5° E 南北棟	桁行3間×梁行1間	桁行延長6.9m、柱間・西側柱間2.7+1.8+2.4m 桁行2.7m 東側柱間2.7+2.1+2.1m	8基	西	a-2期				
RC009柵壁	N 41.5° E 南北	桁行3間	延長9.0m、柱間3.0m等間	4基	西	a-2期				
RC013柵壁	N 37.5° E 南北	桁行3間	延長12.3m、柱間3.75+4.35+4.2m	4基	西	a-2期				
RB075建物	N 39.0° E 南北棟	桁行3間×梁行1間	桁行延長7.2m、柱間・西側柱間4.65(2間)+2.55m 梁行4.2m 東側柱間2.25+2.55+2.4m	6基	西	a-2期		一部遺 12-13次		
RC008柵壁	W46.0° N 東西	桁行6間	延長9.9m、柱間3.15+3.15+3.6m	4基	西	a-2期		一部遺 12-13次		

挿表5 矢盛遺跡第31次調査I区掘立柱建物跡・掘立柱列跡一覽表(2)

遺跡名	次数	遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	掘方	区域	交通	区画施設 掘穴、井戸	備考
矢盛	31	RC010板壁	N 44.5° E 南北	桁行4間	桁行起長15.0m, 柱間2.4+2.4+2.7+2.55+2.55+2.4m	7基	西	b期		区画施設
		RC02板壁	W 52.5° N 東西	桁行3間	桁行起長11.7m, 柱間4.2+3.3+4.2m	4基	西	b期		区画施設
		遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	掘方	区域	交通	区画施設 掘穴、井戸	備考
		RB07建物	N 19.0° E 南北棟	桁行4間×梁行北側/南1間	桁行-西側柱間起長11.4m, 柱間2.85+2.85+2.7+3.0m 東側柱間起長11.7m, 柱間2.7+3.0+2.7+3.3m 梁行-北側柱間起長4.05m, 柱間2.4+2.25m -南側柱間4.8m	11基	東	b-1期		RC010板壁 RC012板壁
		RC016板壁	N 19.0° E 南北	桁行3間	起長10.5m, 柱間1.95+2.4+1.95+2.7+1.2m	6基	東	b-1期		一部集
		RB083建物	N 21.0° E 南北棟	桁行3間×梁行2間	桁行-西側柱間起長6.3m, 柱間2.25+1.05+2.4m 東側柱間起長6.0m, 柱間1.5+1.5+3.0m 梁行-北側柱間起長4.8m, 柱間2.7+2.1m 南側柱間起長4.5m, 柱間2.4+2.1m	10基	東	b-1期		10・11次
		RC018板壁	N 20.0° E 南北	桁行2間	起長6.3m, 柱間3.15m等間	3基	東	b-1期		集
		RB071建物	N 12.0° E 南北棟	桁行2間×梁行1間	桁行-西側柱間起長6.6m, 柱間3.3m等間 梁行2.7m 東側柱間起長6.9m, 柱間3.3+3.6m	6基	西	b-1期		10・11次
		遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	掘方	区域	交通	区画施設 掘穴、井戸	備考
		RB082建物	N 21.5° E 南北棟	桁行4間×梁行北側/南1間	桁行-西側柱間起長7.5m, 柱間1.95+1.05+1.8m+2.1m 東側柱間起長7.8m, 柱間2.1+1.5+2.1+2.1m 梁行-北側柱間3.6m -南側柱間起長3.9m, 柱間2.4+1.5	11基	東	b-2期		RC010板壁 RC012板壁
		RC017板壁	N 21.0° E 南北	桁行3間	起長6.3m, 柱間2.4+1.8+2.1m	4基	東	b-2期		10・11次
		RB070建物	N 5.5° E 南北棟	桁行2間×梁行1間	桁行起長5.1m, 柱間-西側柱間2.1+3.0m 梁行2.7m 東側柱間2.25+2.85m	6基	西	b-2期		
		遺構名	建物方向	構造	規模・柱間	掘方	区域	交通	区画施設 掘穴、井戸	備考
		RB078建物	N 13.5° E 南北棟	桁行1間×梁行1間	桁行3.9m 梁行2.7m	4基	東	c期		RED04掘穴 RED05掘穴
		RB081建物	N 13.5° E 南北棟	桁行2間×梁行1間	桁行起長4.8m, 柱間2.1+2.7m 梁行1.95m	6基	東	c期		
RB074建物	W 22.0° S 東西棟	桁行1間×梁行1間	桁行2.4m 梁行2.1m	4基	西	c期				

表

第1表 細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA107竪穴住居跡	p1	0.30	0.50	不整円形	あり
	p2	0.28	0.48	不整円形	あり
	p3	0.28	0.55	不整円形	あり
	p4	0.26	0.40	不整円形	あり

第2表 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区掘立柱列跡掘方規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RC009掘立柱列跡	掘方1	0.22	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.24	0.07	不整円形	×
	掘方3	0.22	0.08	不整円形	×
RC009掘立柱列跡	掘方1	0.50~0.80	0.60	不整楕円形	×
	掘方2	0.50	0.50	不整円形	×
	掘方3	0.65	0.65	不整円形	×

第3表 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区竪穴建物跡主柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RA207竪穴住居跡	p1	0.30	0.15	不整円形	あり
	p2	0.27	0.10	不整円形	×
	p3	0.36	0.17	不整円形	あり
RA216竪穴建物跡	p1	0.17~0.27	0.30	不整楕円形	×
	p2	0.20~0.35	0.26	不整楕円形	×
	p3	0.25~0.37	0.45	不整楕円形	×
	p4	0.30~0.35	0.15	不整円形	×
RA218竪穴建物跡	p1	0.34	0.22	不整円形	×
	p2	0.25	0.16	不整円形	×
	p3	0.3~0.35	0.16	不整円形	×
	p4	0.30	0.16	不整円形	×
	p5	0.28	0.15	不整円形	×
	p6	0.22~0.25	0.13	不整円形	×
	p7	0.30	0.10	不整円形	×
RA221竪穴建物跡	p1	0.22	0.10	不整円形	×
	p2	0.22~0.28	0.10	不整円形	×
	p3	0.25~0.45	0.15	不整楕円形	×
	p4	0.20	0.10	不整円形	×

第4表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(1)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RB007掘立柱建物跡：身舎 (一部県10・11次)	掘方1	0.30~0.35	0.50	不整円形	×
	掘方2	0.25	0.30	不整円形	×
	掘方3 (県P560)	0.30	—	不整円形	—
	掘方4	0.28	0.40	不整円形	あり
	掘方5 (県P561)	0.30	—	不整円形	—
	掘方6 (県P10)	0.25~0.30	—	不整円形	—
	掘方7 (県P563)	0.30~0.35	—	不整円形	—
	掘方8 (県P570)	0.30	—	不整円形	—
RB007掘立柱建物跡：廻り縁 (一部県10・11次)	掘方9	0.25	0.25	不整円形	×
	掘方10	0.25	0.15	不整円形	×
	掘方11	0.25~0.30	0.25	不整円形	×
	掘方12	0.25	0.30	不整円形	あり
	掘方13 (県P558)	0.20~0.25	—	不整円形	—
	掘方14	0.25~0.30	0.30	不整円形	×
	掘方15 (県P559)	0.25~0.30	—	不整円形	—
	掘方16 (県P566)	0.30	—	不整円形	—
	掘方17 (県P562)	0.28~0.40	—	不整楕円形	—
	掘方18 (県P569)	0.25~0.45	—	不整楕円形	—
	掘方19 (県P564)	0.30	—	不整円形	—
	掘方20 (県P565)	0.25~0.30	—	不整円形	—
	掘方21 (県P572)	0.25~0.30	—	不整円形	—
	掘方22 (県P571)	0.30	—	不整円形	—
RB067掘立柱建物跡	掘方1	約0.20~0.40	約0.30	不整楕円形か	不明
	掘方2	0.30	0.15	不整円形	×
	掘方3	0.20~0.25	0.15	不整円形	×
	掘方4	0.35	0.15	不整円形	×
	掘方5	0.30	0.10	不整円形	×
	掘方6	0.28	0.20	不整円形	×
RB068掘立柱建物跡：身舎	掘方1	0.20~0.25	0.25	不整円形	あり
	掘方2	0.30~0.35	0.40	不整円形	あり
	掘方3	0.30~0.35	0.60	不整円形	あり
	掘方4	0.30~0.35	0.60	不整円形	あり
	掘方5	0.40	0.50	不整円形	あり
	掘方6	0.25	0.30	不整円形	あり
	掘方7	0.30	0.25	不整円形	あり
	掘方8	0.25~0.30	0.25	不整円形	あり
RB068掘立柱建物跡：西廂	掘方9	0.20	0.15	不整円形	あり
	掘方10	0.20	0.25	不整円形	あり
RB068掘立柱建物跡：北廂	掘方11	0.20~0.25	0.40	不整円形	あり
	掘方12	0.25~0.30	0.40	不整円形	あり
	掘方13	0.25	0.10	不整円形	あり
	掘方14	0.25	0.25	不整円形	×

第5表 矢盛遺跡第31次調査 I 区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表 (2)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RB069掘立柱建物跡	掘方1	0.30	0.20	不整円形	×
	掘方2	0.20	0.10	不整円形	×
	掘方3	0.30	0.12	不整円形	×
	掘方4	0.30	0.25	不整円形	×
	掘方5	0.20~0.25	0.20	不整円形	×
	掘方6	0.30~0.35	0.15	不整円形	×
RB070掘立柱建物跡	掘方1	0.20~0.25	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.30	0.10	不整円形	×
	掘方3	0.25~0.30	0.10	不整円形	×
	掘方4	0.30~0.40	0.20	不整楕円形	×
	掘方5	0.25~0.30	0.10	不整円形	×
	掘方6	0.30~0.45	0.22	不整楕円形	×
RB071掘立柱建物跡	掘方1	0.25	0.35	不整円形	あり
	掘方2	0.25	0.25	不整円形	あり
	掘方3	0.20	0.18	不整円形	×
	掘方4	0.20~0.30	0.15	不整楕円形	×
	掘方5	0.30	0.18	不整円形	×
	掘方6	0.25	0.08	不整円形	×
RB072掘立柱建物跡	掘方1	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.20~0.25	0.10	不整円形	×
	掘方3	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方4	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方5	0.25~0.30	0.10	不整円形	×
	掘方6	0.30	0.15	不整円形	×
	掘方7	0.40~0.50	0.20	不整楕円形	×
	掘方8	0.25	0.10	不整円形	×
RB073掘立柱建物跡	掘方1	0.20~0.30	0.13	不整円形	×
	掘方2	0.28	0.20	不整円形	×
	掘方3	0.35~0.40	0.18	不整円形	×
	掘方4	0.25~0.40	0.22	不整円形	×
	掘方5	0.50~0.60	0.30	不整楕円形	×
	掘方6	0.20	0.08	不整円形	×
	掘方7	0.30	0.15	不整円形	×
RB074掘立柱建物跡	掘方1	0.35~0.40	0.15	不整円形	×
	掘方2	0.30~0.40	0.15	不整楕円形	×
	掘方3	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方4	0.35~0.40	0.18	不整円形	×

第6表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(3)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RB075掘立柱建物跡 (一部県12・13次)	掘方1 (県P508)	0.30	—	不整形円形	—
	掘方2	0.20	0.10	不整形円形	×
	掘方3	0.20	0.25	不整形円形	あり
	掘方4	0.20~0.25	0.25	不整形円形	×
	掘方5	0.25	0.30	不整形円形	あり
	掘方6	0.25	0.25	不整形円形	×
RB076掘立柱建物跡：身舎	掘方1	0.25	0.25	不整形円形	×
	掘方2	0.35	0.45	不整形円形	あり
	掘方3	0.25~0.30	0.20	不整形円形	あり
	掘方4	0.30	0.35	不整形円形	あり
	掘方5	0.25~0.30	0.23	不整形円形	あり
	掘方6	0.30	0.45	不整形円形	あり
	掘方7	0.30~0.35	0.45	不整形円形	あり
	掘方8	0.30	0.45	不整形円形	あり
RB076掘立柱建物跡：西廂	掘方9	0.25~0.30	0.30	不整形円形	×
	掘方10	0.20~0.25	0.22	不整形円形	あり
RB077掘立柱建物跡	掘方1	0.30	0.45	不整形円形	あり
	掘方2	約0.25	0.20	不整形円形か	×
	掘方3	0.25~0.30	0.62	不整形円形	あり
	掘方4	0.35~0.40	0.52	不整形円形	×
	掘方5	0.40	0.50	不整形円形	あり
	掘方6	0.25	0.34	不整形円形	×
	掘方7	0.25	0.42	不整形円形	×
	掘方8	0.30	0.55	不整形円形	あり
	掘方9	0.30~0.35	0.40	不整形円形	×
	掘方10	0.35~0.40	0.40	不整形円形	×
	掘方11	0.25~0.30	0.54	不整形円形	×
RB078掘立柱建物跡	掘方1	0.25	0.30	不整形円形	あり
	掘方2	0.20~0.30	0.35	不整形円形	あり
	掘方3	0.25	0.50	不整形円形	あり
	掘方4	0.25~0.30	0.35	不整形円形	あり
RB079掘立柱建物跡 間仕切り	掘方1	0.25	0.25	不整形円形	×
	掘方2	0.25~0.30	0.40	不整形円形	×
	掘方3	0.20~0.25	0.20	不整形円形	×
	掘方4	0.30	0.10	不整形円形	×
	掘方5	0.15	0.20	不整形円形	あり
	掘方6	0.25	0.15	不整形円形	×
	掘方7	0.30	0.35	不整形円形	あり
	掘方8	0.25	0.30	不整形円形	×
	掘方9	0.25~0.30	0.35	不整形円形	あり
	掘方10	0.25	0.24	不整形円形	あり
	掘方11	0.25~0.30	0.45	不整形円形	あり

第7表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(4)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RB080掘立柱建物跡	掘方1	0.20	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.30	0.40	不整円形	あり
	掘方3	0.20~0.25	0.38	不整円形	あり
	掘方4	0.20~0.30	0.10	不整楕円形	×
	掘方5	0.30~0.35	0.42	不整円形	×
	掘方6	0.25	0.15	不整円形	×
RB081掘立柱建物跡	掘方1	約0.30	0.35	不整円形	あり
	掘方2	約0.35	0.50	不整円形	あり
	掘方3	約0.30	0.32	不整円形	あり
	掘方4	0.25	0.24	不整円形	×
	掘方5	0.25	0.62	不整円形	×
	掘方6	0.25	0.25	不整円形	×
RB082掘立柱建物跡 (一部県10・11次)	掘方1	0.30~0.40	0.24	不整円形	あり
	掘方2	0.25~0.30	0.40	不整円形	あり
	掘方3	0.25	0.18	不整円形	×
	掘方4	約0.35	0.55	不整円形	×
	掘方5	0.35~0.50	0.50	不整楕円形	あり
	掘方6	約0.30	0.30	不整円形	×
	掘方7 (県P544)	約0.35	—	不整円形	—
	掘方8 (県P549)	約0.40	—	不整円形	—
	掘方9 (県P552)	約0.30	—	不整円形	—
	掘方10	約0.50	0.50	不整楕円形か	あり
	掘方11	約0.35	0.40	不整楕円形	×
RB083掘立柱建物跡 (一部県10・11次)	掘方1	約0.20	0.40	不整楕円形か	×
	掘方2	0.25~0.30	0.20	不整楕円形	×
	掘方3	0.25	0.26	不整楕円形	×
	掘方4	0.25~0.35	0.40	不整楕円形	あり
	掘方5	0.25~0.30	0.32	不整楕円形	あり
	掘方6	0.30	0.26	不整楕円形	×
	掘方7 (県P547)	約0.30	—	不整楕円形	—
	掘方8 (県P550)	0.25~0.30	—	不整楕円形	—
	掘方9 (県P553)	0.30	—	不整楕円形	—
	掘方10	0.25	0.38	不整楕円形か	×
RB084掘立柱建物跡	掘方1	0.30~0.60	0.18	不整楕円形	×
	掘方2	0.20	0.10	不整楕円形	×
	掘方3	0.25~0.30	0.06	不整楕円形	×
	掘方4	0.15	0.10	不整楕円形	×
	掘方5	0.25~0.30	0.32	不整楕円形	×
	掘方6	0.20~0.25	0.40	不整楕円形	×
	掘方7	0.30~0.40	0.35	不整楕円形	あり

第8表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(5)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RB085掘立柱建物跡 (一部県10・11次)	掘方1 (県P610)	0.35	—	不整円形	—
	掘方2 (県P612)	0.20~0.30	—	不整楕円形	—
	掘方3 (県P615)	0.25	—	不整円形	—
	掘方4	0.30	0.38	不整円形	×
	掘方5 (県P620)	0.35~0.40	—	不整円形	—
	掘方6 (県P624)	0.20~0.40	—	不整楕円形	—
	掘方7 (県P630)	0.25~0.35	—	不整楕円形	—
	掘方8	0.30	0.42	不整円形	×
遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RC008板塼跡 (一部県12・13次)	掘方1 (県P445)	0.25	—	不整円形	—
	掘方2	0.20	0.08	不整円形	×
	掘方3	0.30	0.15	不整円形	×
	掘方4	0.25	0.15	不整円形	×
RC009板塼跡	掘方1	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.25	0.15	不整円形	×
	掘方3	0.25~0.30	0.15	不整円形	×
	掘方4	0.25~0.30	0.10	不整円形	×
RC010板塼跡	掘方1	0.20	0.20	不整円形	あり
	掘方2	0.35~0.40	0.12	不整円形	×
	掘方3	0.20	0.15	不整円形	×
	掘方4	0.25~0.35	0.15	不整楕円形	×
	掘方5	0.20	0.05	不整円形	×
	掘方6	約0.30	0.10	不整円形か	×
	掘方7	0.20~0.30	0.10	不整楕円形	×
RC012板塼跡	掘方1	0.20~0.25	0.15	不整円形	×
	掘方2	0.20	0.15	不整円形	×
	掘方3	0.20	0.15	不整円形	×
	掘方4	0.25	0.10	不整円形	×
RC013板塼跡	掘方1	0.30	0.25	不整円形	×
	掘方2	0.30	0.15	不整円形	×
	掘方3	0.20~0.25	0.10	不整円形	×
	掘方4	0.35	0.18	不整円形	×
RC014板塼跡	掘方1 (県P608)	0.25	—	不整円形	—
	掘方2	0.30	0.22	不整円形	×
	掘方3	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方4	0.30~0.40	0.22	不整楕円形	×
RC015板塼跡	掘方1	0.25	0.10	不整円形	×
	掘方2	0.30	0.10	不整円形	×
	掘方3	0.30	0.20	不整円形	×
	掘方4	0.25	0.15	不整円形	×
	掘方5	0.30	0.12	不整円形	×
	掘方6	0.15~0.20	0.08	不整円形	×

第9表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区掘立柱建物跡・柱列跡掘方規模等一覧表(6)

遺構	柱穴	径 (m)	深さ (m)	平面形	柱痕跡
RC016板場跡	掘方1	0.35	0.40	不整円形	×
	掘方2	0.30	0.25	不整円形	×
	掘方3	0.30	0.40	不整円形	あり
	掘方4	0.30~0.35	0.62	不整円形	あり
	掘方5	0.30	0.52	不整円形	あり
	掘方6	0.20	0.14	不整円形	×
RC017板場跡 (全体が県10・11次)	掘方1 (県P545)	0.25~0.40	—	不整楕円形	—
	掘方2 (県P551)	0.25~0.40	—	不整楕円形	—
	掘方3 (県P555)	0.20~0.30	—	不整円形	—
	掘方4 (県P556)	0.25~0.30	—	不整円形	—
RC018板場跡 (全体が県10・11次)	掘方1 (県P548)	0.25~0.30	—	不整円形	—
	掘方2 (県P554)	0.30	—	不整円形	—
	掘方3 (県P557)	0.25~0.30	—	不整円形	—

第10表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区竪穴建物跡柱穴規模等一覧表

遺構	柱穴	径(m)	深さ(m)	平面形	柱痕跡
RE004竪穴建物跡 (一部県10・11次)	P1 (県)	0.40	—	不整円形	—
	P2 (県)	0.30	—	不整円形	—
	P3 (県)	0.03~0.40	—	不整円形	—
	P4 (県)	0.40~0.45	—	不整円形	—
	P5	0.20	0.20	不整円形	×
	P6	0.25	0.20	不整円形	×
	P7	0.30~0.40	0.60	不整楕円形	あり
RE025竪穴建物跡	P1	0.35	0.40	不整円形	あり
	P2	0.30	0.55	不整円形	あり
	P3	0.35~0.50	0.45	不整楕円形	あり
	P4	0.30~0.45	0.45	不整楕円形	あり
	P5	0.30	0.55	不整円形	×

第11表 細谷地遺跡第28次調査Ⅰ区ビット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.28	0.24	2	0.32	0.14	3	0.24	0.14

第12表 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区ビット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.45~0.60	0.15	7	0.35~0.50	0.13	13	0.25	0.08
2	0.30	0.18	8	0.30	0.10	14	0.25	0.10
3	0.35	0.15	9	0.25	0.12	15	0.22	0.10
4	0.25	0.30	10	0.60	0.33	16	0.18	0.21
5	0.30	0.18	11	0.35	0.20	17	0.40~0.50	0.12
6	0.35	0.05	12	0.35	0.17			

第13表 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区ビット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.25	0.13	8	0.20	0.15	15	0.25~0.35	0.27
2	0.25	0.15	9	0.63~0.71	0.15	16	0.24	0.15
3	0.16	0.09	10	0.45~0.5	0.15	17	0.25~0.36	0.07
4	0.18	0.08	11	0.36	0.11	18	0.27~0.32	0.18
5	0.43~0.52	0.20	12	0.36	0.07	19	0.35	0.15
6	0.25	0.11	13	0.21~0.34	0.07	20	0.39	0.09
7	0.21	0.10	14	0.38	0.10	21	0.20	0.07

第14表 細谷地遺跡第31次調査Ⅲ区ビット計測表

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.50~0.75	0.22	6	0.25	0.12	11	0.24	0.21
2	0.22	0.14	7	0.28	0.13	12	0.24	0.09
3	0.35	0.17	8	0.20	0.10	13	0.35~0.50	0.16
4	0.25	0.24	9	0.24	0.06	14	0.40	0.20
5	0.30~0.38	0.20	10	0.55	0.20	15	0.26	0.17

第15表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(1)

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
1	0.36	0.09	38	0.14~0.24	0.08	75	0.50	0.14
2	0.24	0.28	39	0.20	0.10	76	0.26	0.11
3	0.26	0.08	40	0.35	0.26	77	0.40	0.08
4	0.24	0.20	41	0.26	0.14	78	0.20	0.10
5	0.26	0.08	42	0.27~0.36	0.21	79	0.20	0.07
6	0.30	0.54	43	0.16	0.13	80	0.40	0.11
7	0.24	0.10	44	0.20~0.30	0.25	81	0.30	0.15
8	0.24	0.13	45	0.22	0.26	82	0.28	0.20
9	0.60	0.14	46	0.24	0.13	83	0.20	0.13
10	0.40	0.10	47	0.30~0.42	0.12	84	0.20~0.33	0.20
11	0.22	0.06	48	0.24	0.12	85	0.30	0.20
12	0.24	0.13	49	0.28	0.11	86	0.20	0.06
13	0.30	0.07	50	0.28	0.18	87	0.33~0.44	0.15
14	0.26	0.07	51	0.28	0.09	88	0.40	0.23
15	0.27	0.07	52	0.60	0.05	89	0.25	0.11
16	0.26	0.19	53	0.26	0.07	90	0.45~0.54	0.17
17	0.26	0.40	54	0.76	0.16	91	0.30	0.17
18	0.26	0.23	55	0.18~0.24	0.08	92	0.27~0.40	0.15
19	0.29	0.06	56	0.30	0.15	93	0.47~0.55	0.11
20	0.20	0.07	57	0.26	0.11	94	0.25	0.10
21	0.34	0.19	58	0.26	0.17	95	0.25	0.11
22	0.22	0.10	59	0.60	0.22	96	0.20	0.07
23	0.22	0.08	60	0.27	0.18	97	0.24	0.07
24	0.54	0.10	61	0.40	0.21	98	0.20	0.13
25	0.28	0.17	62	0.62	0.15	99	0.28	0.20
26	0.20	0.15	63	0.32	0.20	100	0.22	0.15
27	0.29~0.54	0.29	64	0.92	0.25	101	0.23	0.09
28	0.24	0.29	65	0.24	0.10	102	0.27	0.13
29	0.28	0.20	66	0.42	0.15	103	0.18	0.28
30	0.20	0.30	67	0.40	0.21	104	0.17	0.09
31	0.27	0.23	68	0.30	0.08	105	0.26	0.10
32	0.52	0.13	69	0.14~0.30	0.15	106	0.20	0.08
33	0.30	0.10	70	0.34~0.62	0.23	107	0.30	0.19
34	0.25	0.12	71	0.30	0.13	108	0.25	0.15
35	0.20~0.32	0.12	72	0.30	0.06	109	0.28	0.41
36	0.22~0.36	0.07	73	0.33	0.07	110	0.20	0.10
37	0.28	0.09	74	欠番	—	111	0.31	0.11

第16表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(2)

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
112	0.25	0.10	149	0.18	0.16	186	0.20	0.12
113	0.27	0.23	150	0.24	0.12	187	0.22	0.16
114	0.30~0.42	0.16	151	0.18~0.26	0.18	188	0.28	0.27
115	0.29~0.40	0.08	152	0.26	0.31	189	0.24	0.11
116	0.24	0.12	153	0.32	0.38	190	0.25	0.23
117	0.22	0.10	154	0.24	0.25	191	0.30	0.32
118	0.20~0.32	0.10	155	0.32	0.24	192	0.27	0.18
119	0.24~0.30	0.16	156	0.24	0.22	193	0.36~0.52	0.14
120	0.24	0.20	157	0.24	0.50	194	0.26	0.32
121	0.26	0.10	158	0.28	0.28	195	0.31	0.19
122	0.67	0.18	159	0.22	0.12	196	0.22	0.12
123	0.29	0.11	160	0.24~0.34	0.20	197	0.28	0.14
124	0.28	0.09	161	0.46	0.59	198	0.14	0.09
125	0.27	0.11	162	0.26	0.36	199	0.36	0.16
126	0.29~0.39	0.13	163	0.28	0.42	200	0.30	0.11
127	0.31	0.11	164	0.26~0.32	0.10	201	0.28	0.18
128	0.36	0.23	165	0.24	0.11	202	0.29	0.08
129	0.26~0.42	0.11	166	0.28	0.32	203	0.34~0.70	0.12
130	0.32	0.13	167	0.16~0.25	0.12	204	0.48	0.28
131	0.24	0.13	168	0.22	0.36	205	0.18~0.28	0.08
132	0.22	0.04	169	0.24	0.18	206	0.20	0.10
133	0.44	0.20	170	0.32	0.24	207	0.32	0.13
134	0.22	0.08	171	0.30	0.10	208	0.22~0.34	0.28
135	0.38	0.18	172	0.38	0.12	209	0.24	0.09
136	0.42	0.08	173	0.32	0.11	210	0.24	0.17
137	0.20	0.10	174	0.22	0.28	211	0.26	0.20
138	0.22	0.09	175	0.28~0.70	0.68	212	0.49~0.76	0.26
139	0.26	0.22	176	0.18	0.22	213	0.28	0.08
140	0.32	0.13	177	0.29	0.38	214	0.30	0.11
141	0.24	0.13	178	0.30	0.28	215	0.32	0.18
142	0.28~0.36	0.18	179	0.32	0.54	216	0.30	0.10
143	0.31	0.16	180	0.16~0.24	0.19	217	0.22	0.08
144	0.26	0.50	181	0.19~0.26	0.35	218	0.26	0.12
145	0.24	0.26	182	0.30	0.30	219	0.30	0.18
146	0.20	0.08	183	0.24	0.38	220	0.30	0.12
147	0.23	0.08	184	0.26	0.22	221	0.24	0.14
148	0.28	0.11	185	0.26	0.18	222	0.22	0.11

第17表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(3)

No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)	No.	径 (m)	深さ (m)
223	0.39	0.14	260	0.36	0.40	297	0.32	0.46
224	0.23	0.14	261	0.20	0.13	298	0.26	0.23
225	0.30	0.13	262	0.25	0.14	299	0.26	0.09
226	0.33~0.45	0.11	263	0.37~0.63	0.18	300	0.29	0.42
227	0.35	0.13	264	0.22~0.30	0.44	301	0.23	0.24
228	0.32	0.19	265	0.19	0.14	302	0.20	0.14
229	0.24	0.13	266	0.19	0.11	303	0.28	0.40
230	0.33	0.22	267	0.16~0.26	0.10	304	0.29	0.40
231	0.25	0.12	268	0.20~0.30	0.22	305	0.25	0.15
232	0.40	0.18	269	0.25	0.22	306	0.25~0.33	0.36
233	0.33	0.12	270	0.25	0.20	307	0.20	0.13
234	0.23~0.33	0.22	271	0.20~0.28	0.46	308	0.20	0.14
235	0.32	0.20	272	0.33	0.42	309	0.26	0.36
236	0.55~0.80	0.28	273	0.19~0.25	0.20	310	0.20	0.18
237	0.36~0.46	0.22	274	0.29~0.45	0.50	311	0.23	0.48
238	0.25	0.12	275	0.23~0.30	0.26	312	0.10~0.18	0.21
239	0.30~0.60	0.12	276	0.26	0.22	313	0.23	0.12
240	0.28	0.11	277	0.26	0.14	314	0.46	0.11
241	0.40	0.20	278	0.30	0.55	315	0.36~0.48	0.45
242	0.32~0.47	0.10	279	0.31	0.57	316	0.22~0.28	0.12
243	0.24	0.08	280	0.23	0.31	317	0.35	0.46
244	0.30	0.10	281	0.19~0.33	0.11	318	0.30	0.48
245	0.38~0.53	0.17	282	0.33	0.50	319	0.25	0.42
246	0.24~0.32	0.17	283	0.29	0.35	320	0.27	0.26
247	0.27	0.29	284	0.33~0.50	0.48	321	0.33~0.49	0.48
248	0.32	0.21	285	0.29	0.36	322	0.26	0.28
249	0.28	0.19	286	0.24~0.35	0.32	323	0.23	0.42
250	0.22	0.13	287	0.17	0.08	324	0.28	0.17
251	0.27	0.39	288	0.29	0.36	325	0.35~0.47	0.60
252	0.29~0.45	0.23	289	0.33	0.40	326	0.28~0.43	0.43
253	0.23	0.42	290	0.34	0.40	327	0.25	0.14
254	0.27	0.10	291	0.25~0.35	0.29	328	0.27	0.26
255	0.27	0.15	292	0.23	0.41	329	0.20	0.12
256	0.22	0.10	293	0.20	0.36	330	0.22	0.38
257	0.27	0.33	294	0.23	0.42	331	0.29	0.30
258	0.27	0.35	295	0.44	0.10	332	0.24	0.13
259	0.23	0.14	296	0.20	0.08	333	0.32	0.22

第18表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット計測表(4)

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
334	0.37~0.47	0.13	344	0.42	0.14	354	0.38	0.24
335	0.24	0.16	345	0.20~0.32	0.11	355	0.28	0.12
336	0.20	0.10	346	0.24	0.10	356	0.27	0.20
337	0.26	0.24	347	0.28	0.43	357	0.30	0.11
338	0.26	0.16	348	0.30~0.38	0.14	358	0.28~0.70	0.16
339	0.34	0.11	349	0.24	0.16	359	0.22	0.08
340	0.66	0.42	350	0.29	0.35	360	0.24	0.12
341	0.30	0.13	351	0.28	0.13	361	0.24	0.12
342	0.22	0.10	352	0.31	0.11			
343	0.44	0.12	353	0.24	0.19			

第19表 矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区ビット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.25	0.10	7	0.45	0.20	13	0.55~0.70	0.25
2	0.50~0.60	0.20	8	0.50	0.15	14	0.45	0.10
3	0.50	0.15	9	0.35~0.50	0.10	15	0.40	0.20
4	0.50	0.10	10	0.50~0.55	0.20	16	0.40~0.55	0.30
5	0.45~0.55	0.15	11	0.40~0.55	0.20	17	0.40~0.95	0.25
6	欠番	—	12	0.35	0.10	18	0.35	0.20

第20表 矢盛遺跡第30次調査Ⅰ区ビット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.45	0.2	4	0.3	0.25	7	0.25	0.2
2	0.3	0.2	5	0.25	0.3	8	0.35	0.15
3	0.3	0.4	6	0.25	0.15	9	0.25	0.2

第21表 矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区ビット計測表

No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)	No.	径(m)	深さ(m)
1	0.25	0.15	3	0.45	0.55	5	0.35	0.25
2	0.45~0.70	0.25	4	0.45	0.58			

第22表 細谷地遺跡第27次調査遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RD508土坑	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
RD509土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	1	中	中	礫が少量混じる
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	5	中	中	礫が少量混じる
	B1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	10	粗～中	軟～中	礫が少量混じる
	B2	10YR4/4褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	15	粗～中	軟～中	礫が多量に混じる
RD510土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	3	中	中	礫が少量混じる
	B1	10YR4/4褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	—	10	粗～中	軟～中	礫が多量に混じる
RD511土坑	A1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第23表 細谷地遺跡第28次調査 I 区遺構土層観察表 (1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
竪穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	10	中～硬	中～密	炭化物少量混じる
	A2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒～粒状	20	中～硬	密	
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	粒～塊状	5	中	密	炭化物混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	粒状	3			
	C1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	15	中～硬	中～密	炭化物が多量に、 焼土粒少量混じる
				10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒～小塊状	5			
	C2	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒状	7	中	中～密	炭化物少量混じる
				10YR4/4褐色	SiLシルト質壤土	塊状	3			
	D1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒～小塊状	10	中	中	
	E1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	粒～小塊状	15	中～硬	密	周溝
	J1	10YR2/3黒褐色	SiCLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	5	中～硬	中～密	カマド崩壊土
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	塊状	10			
	J2	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	10	中～硬	中～密	カマド崩壊土
	J3	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	5	中～硬	中～密	カマド崩壊土
				10YR3/4暗褐色	SiLシルト質壤土	粒～塊状	15			
J4	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	塊状	10	中	密	炭化物混じる、 カマド崩壊土	
J5	10YR4/6褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒状	5	中	密	炭化物混じる、 カマド崩壊土	
J6	10YR5/8黄褐色	SiLシルト質壤土	2.5YR2/4極暗赤褐色	焼土	—	3	中	密	カマド崩壊土	
J7	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒状	2	中	密	カマド崩壊土	
J8	10YR3/3暗褐色	SiLシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質壤土	粒状	3	中	密	カマド崩壊土	
			10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	粒～小塊状	10				
L1	10YR8/6黄褐色	SiLシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質壤土	粒～小塊状	10	硬	密	床構築土	
			10YR2/1黒色	SiCLシルト質壤土	塊状	5				

第24表 細谷地遺跡第28次調査 Ⅰ区遺構土層観察表 (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RA107 聖穴遺物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質礫土	塊状	10	硬	密	炭化物少量混じる 焼土粒が少量、炭 化物が少量混じる	
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	粒～塊状	20	硬	密		
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	15	中～硬	密	焼土粒～塊が多 量に混じる	
	B2	10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	5	中	中～密		
	C1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質礫土	粒～小塊状	3	硬	密	焼土粒少量混じる	
	C2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質礫土	粒状	5	中～硬	密		
	D1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	3	中	中～密		
	E1	10YR4/6褐色	SILシルト質礫土	10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	塊状	15	中	中	焼土層	
	F1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	7	中	中		
	L1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	10	硬	密	床礫構土	
	RA107a 新期カマド 燻道	J1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	10YR4/4褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	20	中	中～密	焼土粒～塊が少量 混じる。床礫土
		J2	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質礫土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	塊状	5	中	密	カマド崩壊土
		J3	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質礫土	10YR4/3明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	7	中	中	カマド崩壊土
		J4	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	20	中～硬	密	焼土粒～炭化物少量 混じる。カマド崩壊土
J5		10YR4/2灰黄褐色	SILシルト質礫土	5YR3/2暗赤褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	10	中	中～密	焼土粒～炭化物多量 混じる。カマド崩壊土	
J6		5YR3/4暗赤褐色	SILシルト質礫土	7.5YR3/3暗褐色	SILシルト質礫土	粒状	7	中	中	焼土粒少量混 じる。カマド崩壊土	
J7		5YR5/3明赤褐色	SILシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	5	中	中	カマド崩壊土	
K1		10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒状	10	硬	密	カマド崩壊土	
K2		5YR5/6明赤褐色	SILシルト質礫土	10YR4/4褐色	SILシルト質礫土	塊状	20	硬	密	小塊が混じる。 カマド構土	
RA107b 中期カマド 燻道		J1	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質礫土	7.5YR3/3暗褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	15	中	中	焼土粒～炭化物少量 混じる
		J2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	20	中～硬	密	焼土粒混じる
		J3	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	15	中	中	
	J4	10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	10YR4/6褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	20	硬	密	焼土粒～炭化物混 じる	
	J5	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	10	中	中	炭化物多量に混 じる	
	J6	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	10YR4/4褐色	SILシルト質礫土	塊状	10	中	中～密		
	J7	10YR2/3黄褐色	SICLシルト質礫土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	7	中	中		
	J8	10YR5/8黄褐色	SILシルト質礫土	10YR4/4褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	10	中	中		
	J9	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	塊状	15	中	中～密	炭化物混じる	
	J10	7.5YR3/3暗赤褐色	SICLシルト質礫土	5YR3/4暗赤褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	20	中	中	焼土粒～炭化物混 じる	
	J11	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質礫土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	塊状	15	中	中	炭化物多量に混 じる	
	RA107c 旧期カマド 燻道	K1	10YR5/4明黄褐色	SILシルト質礫土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	粒状	7	硬	密	カマド構構土
K2		10YR2/3黄褐色	SICLシルト質礫土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	30	中～硬	密	小塊混じる。カマド崩壊土	
J*1		7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	5YR6/3明赤褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	15	中	中～密	炭化物多量に混 じる	
J*2		7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	5YR3/4暗赤褐色	SILシルト質礫土	塊状	20	中	中		
J*3		10YR3/4暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR2/1黒色	SILシルト質礫土	塊状	30	中	中		
J*4		10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～小塊状	7	中	密		
J*5		10YR4/3明黄褐色	SICLシルト質礫土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	塊状	15	中	中	炭化物～焼土粒 少量混じる	
J*6		10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質礫土	塊状	3	中～硬	密		
J*7		10YR5/4明黄褐色	SILシルト質礫土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質礫土	粒～塊状	10	中	中	炭化物混じる	
J*8		10YR3/3暗褐色	SICLシルト質礫土	10YR4/4褐色	SILシルト質礫土	粒状	7	硬	密	炭化物～焼土粒少量 混じる	
J*9	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質礫土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質礫土	粒～塊状	5	中	中～密			
J*10	10YR2/1黒色	SICLシルト質礫土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質礫土	粒状	10	中	中～密	炭化物が多量に、 焼土粒が少量混 じる		

第25表 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA181 聖穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～粒状	10	中～硬	密	
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	硬	密	
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	中～硬	密	φ1.5cm障が混じる
	C1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	3	中	中	
	J1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～粒状	10	中	中～密	焼土粒が微量混じる。カマド崩壊土
	J2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	30	中	密	
	J3	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	中	中	焼土粒・炭化物少量混じる
	J4	7.5YR3/1黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中～硬	密	炭が少量混じる
	J5	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	中	
	J6	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	20	中	中～密	
	J7	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	25	中	密	
	J8	7.5YR3/1黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	中	焼土粒混じる
	J9	5YR4/3い赤褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	炭化物・焼土粒塊が混じる
	J'1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～粒状	7	中	中～密	焼土粒塊・炭化物が混じる
J'2	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中		
J'3	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中～硬	密		
J'4	5YR4/3い赤褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	中	中		
L1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	硬	密	床構築土	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD512土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	硬	密	焼土粒・炭化物混じる
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	30	軟～中	中	焼土粒・炭化物多量、障少量混じる
RD513土坑	A1	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	7.5YR5/6明褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	30	軟～中	中	炭化物少量混じる
	B1	7.5YR3/1黄褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	炭化物少量混じる
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中	炭化物層、焼土粒塊混じる
	D1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	25	中	中～密	
	E1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	
RD514土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～粒状	5	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～粒状	5	硬	密	
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	20	中	中～密	
	C1	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	中	中	
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	7	中	中～密	
RD515土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	砂が多く混じる
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	硬	密	砂が多く混じる
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	7	硬	密	障少量混じる
	C1	10YR5/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中～硬	密	
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中～硬	中～密	
	E1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3Cい黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	25	中	密	砂が少量混じる
	F1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密	
RD516土坑	A1	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中～硬	密	
	B1	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中～密	
	B2	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/1黄褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中～密	
	B3	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	30	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	
RD517土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	密	炭化物少量混じる
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	30	中	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG090溝跡	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	7	中～硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	硬	密	

第26表 細谷地遺跡第31次調査 I 区遺構土層観察表 (1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA203 竪穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒～粒状	5	硬	密	焼土粒・炭化物少量混じる
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR6/4いり青褐色	SILシルト質埴土	粒～小塊状	10	硬	密	炭化物少量混じる
	B1	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	粒状	7	中	中～密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	7	中	密	
	D1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	塊状	10	中～硬	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA204 竪穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	5	硬	密	
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	粒状	7	硬	密	
	B2	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒～小塊状	10	硬	密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/4いり青褐色	SILシルト質埴土	粒～粒状	20	硬	密	土器多く出土
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	15	中～硬	中	土器多く出土
	E1	10YR5/4いり青褐色	SILシルト質埴土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	塊状	10	中	中	
	E2	10YR5/4いり青褐色	SILシルト質埴土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	15	中	中～密	
	F1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	塊状	20	中	中	
	G1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	15	中～硬	中～密	周溝埋土
				10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	粒状	5			
	J1	7.5YR3/3	SICLシルト質埴土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	塊状	20	硬	密	カマド崩壊土
	J2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴土	塊状	15	中	中	焼土粒少量混じる
				10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	粒状	3	中～硬	中	
	J3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	30	硬	密	
				10YR7/4	SILシルト質埴土	塊状	10	硬	密	
	J4	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒状	7	中	中	焼土粒微量混じる
	J5	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/4いり青褐色	SILシルト質埴土	粒～粒状	10	中	中	炭化物少量・砂少量混じる
	J6	10YR6/6明黄褐色	SIL砂埴土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	粒～小塊状	10	中	中	炭化物混じる
	J7	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	10YR5/4いり青褐色	SILシルト質埴土	塊状	5	中	中～密	焼土粒少量混じる
	J8	10YR6/6明黄褐色	SIL砂埴土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	粒状	7	中	中	
	J9	10YR5/4いり青褐色	SIL砂埴土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	15	中	密	炭化物少量混じる
	J10	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	7.5YR3/3	SICLシルト質埴土	塊状	15	中	密	カマド天井部か
	J11	7.5YR4/3	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒状	20	中	中	焼土粒・炭化物少量混じる
J12	7.5YR5/3	SILシルト質埴土	5YR3/4	SILシルト質埴土	粒状	7	中	中	焼土粒多量・炭化物少量混じる	
L1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴土	塊状	25	硬	密	床構築土	
			10YR4/3いり青褐色	SILシルト質埴土	粒～小塊状	7	硬	密		
K1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴土	塊状	25	中	密	砂が少量混じる	
K2	10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	硬	密		
RA205 竪穴建物跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	5	中	中	炭化物混じる
	B1	10YR2/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	20	中～硬	中	炭化物混じる
	J1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	7.5YR3/3	SILシルト質埴土	粒～塊状	15	中～硬	中	カマドa崩壊土 炭化物混じる
				10YR4/4褐色	SILシルト質埴土	粒状	5			
	J2	7.5YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒状	5	中	中	炭化物混じる
				2.5YR4/6	焼土	粒状	5			
	J3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒～塊状	15	中	中	炭化物混じる
				10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	粒状	5			
	J4	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴土	粒状	3	中	中	
				10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	粒状	5			
	K1	7.5YR4/3	SILシルト質埴土	7.5YR3/1	SICLシルト質埴土	粒～小塊状	20	中～硬	密	被熱で一部赤変
	K2	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	10YR5/3いり青褐色	SILシルト質埴土	塊状	7	硬	密	
	K3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴土	10YR5/3いり青褐色	SILシルト質埴土	塊状	15	硬	密	
				10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	粒状	3	硬	密	
	K4	10YR4/3いり青褐色	SILシルト質埴土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴土	粒状	5	硬	密	床構築土
	L1	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	塊状	15	硬	密	床構築土
	J'1	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	10	硬	中	カマドb崩壊土 炭化物混じる
			5YR5/8	焼土	粒状	3				
J'2	5YR5/8	焼土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	20	中～硬	中		
			10YR4/4褐色	SICLシルト質埴土	粒状	5				
J'3	5YR5/8	焼土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴土	粒～塊状	20	中～硬	中		
			10YR4/4褐色	SICLシルト質埴土	粒状	5				

第27表 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RA206 壁穴建物跡	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	硬	密		
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	20	硬	密		
	C1	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密	粘土・炭化物多量に混じる	
	D1	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	硬	密	粘土・炭化物多量に混じる	
	E1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	7	硬	密		
	F1	10YR5/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	30	中～硬	密		
	J1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	中～密		
	J2	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	20	中	中～密	炭化物少量混じる	
	J3	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	7	中	中	カマド崩壊土	
	J4	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	5	硬	密	粘土・炭化物多量に混じる	
	J5	5YR3/3暗赤褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	炭化物混じる	
	J6	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	7.5YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中		
	J7	7.5YR3/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	10	硬	密	粘土・炭化物少量混じる	
	J8	5YR3/4	SILシルト質埴壤土	10YR5/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	中～密	粘土・炭化物多量に混じる	
	J9	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	7	硬	密	粘土・炭化物少量混じる	
	J10	5YR4/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	粘土・炭化物多量に混じる	
	K1	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	中	カマド構築土	
	K2	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	30	硬	密	カマド構築土	
	L1	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20	硬	密	床構築土	
p5 (地盤跡)	A'1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/1褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中～硬	密	炭化物少量混じる	
	B'1	5YR4/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土 (混)	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	粘土・炭化物少量混じる	
B'2	5YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土 (混)	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	5	中	中	炭化物多量混じる		
RA207 壁穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	中～硬	密		
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	20	中	密	炭化物混じる	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中～密		
	B2	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	粒状	10	中	密	
	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	7	中	密		
	D1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密		
	D2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密		
	D2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	密		
	E1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	25	中	中		
	F1	10YR4/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/2灰黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中		
	F1	10YR4/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	30	中	中		
	G1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中		
	G1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	20	中	中～密	高濃埋土	
	J1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	20	中	中～密	カマド崩壊土	
J2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	密	炭化物少量混じる		
J3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	5	中	密			
J3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中～密	粘土・炭化物多量に混じる		
J4	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	粘土・炭化物多量に混じる		
J4	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	10	中	中	カマド天井部か		
J5	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中			
J6	5YR3/3暗赤褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	5	中	中			
J7	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	7.5YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	密	粘土・炭化物多量に混じる		
J8	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR6/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	密	炭化物少量混じる		
J9	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	小塊状	7	中	中	炭化物微量混じる		
J10	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/3ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	3	中	密			
J10	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中			
J11	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	中～密	炭化物少量混じる		
J11	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密			
J12	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	7	中～硬	密	炭化物混じる		
L1	10YR5/4ふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20	硬	密	床構築土		
K1	10YR6/4ふい青褐色	SICシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	小塊状	10	硬	密			
K2	10YR6/6明黄褐色	SL砂壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	7	硬	密			

第28表 細谷地遺跡第31次調査 I区遺構土層観察表 (3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA208 壁穴建物跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中	粗～中	
	A2	10YR2/1黒色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	中	粗～中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	密	焼土粒少量・炭化物少量混じる
	B2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10	中	密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/4いり青褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	密	
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3いり青褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中～硬	密	砂混じる
	E1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	中	砂混じる
	J1	10YR2/2黒褐色	SiCシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粉～粒状	7	中～硬	密	焼土微量・炭化物少量混じる。酸化鉄少量、ヤカグライ化
	J2	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCシルト質埴壤土	塊状	10	硬	密	炭化物少量混じる
	J3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	
	J4	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	中	
	J5	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	中	炭化物少量混じる
	J4	10YR3/2黒褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	小塊状	20	中	中	
	J6	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	中～密	焼土粒少量・炭化物少量混じる
	K1	10YR5/4いり青褐色	SiL砂埴土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	5	硬	密	カマド構築土
	K2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	20	硬	密	カマド構築土
	K3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中～密	カマド構築土
	L1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴壤土	塊状	25	硬	密	床構築土
	L1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	3			
L2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中～硬	密	床構築土	
L2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	10				
RA215 壁穴建物跡	A1	7.5YR5/3いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	15	中	密	焼土粒・炭化物多量に混じる
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粉～粒状	5	中	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密	炭化物混じる
	B1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	3			
	C1	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	中	焼土粒・炭化物多量に混じる
	C2	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	塊状	7	中	中	炭化物少量混じる
	D1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴壤土	粉～粒状	10	中～硬	密	
	E1	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	小塊状	20	中	中	
	E2	10YR5/4いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	中～密	砂が少量混じる
	F1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	25	中～硬	密	
	J1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中	中	炭化物少量混じる
	J2	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	焼土粒・炭化物少量に混じる
	J3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中	炭化物少量混じる
	J4	10YR4/6褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	塊状	20	硬	密	
J4	2.5Y7/1明赤灰色	HC重埴土(粘土)	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	燻煙天井部崩落	
J5	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SiLシルト質埴壤土	粒状	7	中	中～密	焼土粒・炭化物少量混じる	
J6	5YR3/3暗赤褐色	SiLシルト質埴壤土	7.5YR4/3褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～小塊状	10	中	中	焼土粒・炭化物多量に混じる	
J7	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	塊状	10	中	中～密	炭化物少量混じる	
J8	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	10YR5/3いり青褐色	SiLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中	中	焼土粒・炭化物・砂混じる	
K1	10YR6/1暗灰色	HC重埴土(粘土)	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密		
K2	10YR7/1灰白色	HC重埴土(粘土)							—	
K3	10YR6/6明黄褐色	SiCシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	中～硬	密		
L1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質埴壤土	粒～塊状	20	硬	密	床構築土	

第29表 細谷地遺跡第31次調査 I区遺構土層観察表 (4)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA216 竪穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	炭化物混じる
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10 5	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粒状	20 3	中	中	炭化物混じる
	C1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	中	
	D1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	
	E1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5	中	中	炭化物混じる
	F1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 7.5YR3/4暗褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粒状	5 10	中	中	炭化物混じる
	J1	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色 10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土 SL砂壤土	塊状	10 7	中	中	焼土混じる カマド崩壊土
	J2	10YR4/6褐色	SL砂壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	炭土微量に混じる
	J3	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 7.5YR3/4暗褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒～塊状	3 10	中	中	炭化物混じる
	J4	10YR4/4褐色	SL砂壤土	10YF3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中	焼土微量混じる
	J5	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色 5YR4/8赤褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒状	5 15	中	中	炭化物混じる
	J6	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色 10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粒状	15 10	中	中	炭化物・焼土が 混じる
	J7	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色 5YR4/8赤褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒状	5 15	中	中	炭化物・焼土が 混じる
	J8	7.5YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色 7.5YR3/4暗褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒～塊状	10 10	中	中	炭化物混じる
	J9	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/4暗褐色	焼土	粒～塊状	15	中	中	
	K1	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色 5YR4/6赤褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒～塊状	10 10	中	中	カマド構築土
	K2	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色 5YR4/6赤褐色	SILシルト質埴壤土 焼土	粒～塊状	15 3	中	中	
	K3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	中	
	K4	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/8明黄褐色 10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土 SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10 5	中	中	炭化物混じる
L1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	床構築土
RA217 竪穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	7	中	密	焼土少量混じる
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cふい青褐色 10YR3/4暗褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	塊状	3 10	中	密	焼土・炭化物が混じる
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色 10YR3/3暗褐色	SILシルト質埴壤土 SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	3 15	中	中～密	
	B2	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	5	中	中	
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cふい青褐色 10YF5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土 SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	15 5	中	密	
	D1	10YR5/6黄褐色	SL砂壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	10	中～硬	密	
	D2	10YR5/6黄褐色	SL砂壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	中	密	
	E1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	3	硬	密	
	F1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	15	中	密	
	G1	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10	中	中～密	
	J1	10YR6/3C黄褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10	硬	密	3YR7-滑石混入・赤褐色土 粒・炭化物少量混じる
	J2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	7.5YR5/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	10	中	中	焼土・炭化物が混じる
	J3	5YR5/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/4Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	中～硬	密	炭化物少量混じる
	J4	5YR4/6赤褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR4/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	25	軟	中	炭化物少量混じる
	J5	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/6褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	7	中～硬	密	
	J6	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	15	中	中	焼土・炭化物が混じる
	J7	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	10	中	中～密	
	J8	5YR4/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20	中	中	炭化物少量混じる
	J9	5YR4/6赤褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR4/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	25	軟	中	炭化物少量混じる
	J10	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粉～粒状	5	硬	密	
J11	7.5YR3/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	10YR4/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中～密		
J12	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	7	中～硬	中	焼土混じる	
J13	5YR4/4Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	10	中	中	炭化物多量に混じる	
J14	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20	硬	密		
K1	10YR6/4Cふい青褐色	SICシルト質埴壤土	10YF5/6黄褐色	SICLシルト質埴壤土	小塊状	10	硬	密	カマド構築土	
K2	10YR6/3Cふい青褐色	SICシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	5	硬	密		
K	10YR6/4Cふい青褐色	HC重粘土	10YR4/4褐色	HC重粘土	粒～小塊状	10	中～硬	密	支脚薬部充填粘土 支脚薬部充填砂土	
K	2	10YR6/6黄褐色	S砂土	10YR4/3Cふい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	7	中	密	
L1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR5/3Cふい青褐色 10YR3/2黒褐色	SILシルト質埴壤土 SILシルト質埴壤土	粒～塊状	20 5	硬	密	床構築土	

第30表 細谷地遺跡第31次調査 I 区遺構土層観察表 (5)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RA218 壁穴建物跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	3	中	中		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	2				
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	中		
				10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10				
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	軟～中	中		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	3	中～硬	中		
				10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	3				
	D1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	2	中	粗～中		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	2				
	E1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SL砂礫土	粒～塊状	20	中	粗～中		
				10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	J1	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	5YR4/8赤褐色	焼土	粒状	5	中	中		カマド崩壊土
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	3				
	J2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR3/3暗褐色	SILシルト質堆積土	粒状	2	中	中		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	2				
	J3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中	中		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	J4	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5	中	中		
10YR4/6褐色				SILシルト質堆積土	粒～塊状	15					
J5	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	中			
			10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	3					
J6	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	3	中	中			
			10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10					
J7	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	5	中	中			
			10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5					
J8	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中	炭化物混じるカマド構築土		
			5YR4/8赤褐色	焼土	粒状	5					
K2	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	中	炭化物混じる		
			5YR4/8赤褐色	焼土	粒状	3					
K3	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中～密			
			10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	7					
K4	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	7.5YR5/8明褐色	焼土	粒状	3	中	中～密	支脚据え方埋土		
			10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	10					
L1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	10	中～硬	中～密	RA218a床構築土		
			10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	20					
L2	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質堆積土	粒状	10	硬	密	RA218b床構築土		
			10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10					
RA220 壁穴建物跡	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒状	5	中	中～密		
				10YR4/4褐色	SL砂礫土	粒状	10				
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SL砂礫土	粒状	7	中	中～密	炭化物微量混じる	
				10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒状	10				
	B2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中～密		
				10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	B3	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	17	中	中		
				10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	17				
	C1	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中	中		
				10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	D1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	5	中～硬	中		
				10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	15				
	E1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中～密		
				10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10				
	J1	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	7	中	中	炭化物混じるカマド崩壊土	
				10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10				
	J2	7.5YR4/6褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	20	中	中～密	焼土多く混じる	
				10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒～塊状	15				
	J3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中	密		
10YR3/3暗褐色				SICLシルト質堆積土	粒状	20					
J4	10YR4/6褐色	SL砂礫土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中～硬	中～密			
			10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10					
K1	10YR4/6褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	5	中	粗～中	焼土微量に混じるカマド構築土		
			10YR5/6黄褐色	SL砂礫土	粒～塊状	7					
L1	—	—	—	—	—	—	中	密	— 床構築土		
			—	—	—	—				—	
カマドB	J1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	密		
				10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	15				
	J2	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	密		
				7.5YR5/8明褐色	焼土	粒状	3				
	J3	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SL砂礫土	粒状	5	中	密	炭化物・焼土混じる	
				10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	20				
	J4	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10	中	中	炭化物混じる	
				10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	15				
	J5	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	中	焼土多量に混じる	
				10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15				
J6	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	6	中	中	炭化物・焼土混じる		
			10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	7					
J7	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中	焼土混じる		
			10YR2/2黒褐色	SILシルト質堆積土	粒状	3					
J9	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	7.5YR3/4暗褐色	焼土	粒状	5	中	中			
			10YR2/2黒褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5					

第31表 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(6)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RA221 竪穴建物跡	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	15	中～硬	密	
				10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	5			
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	20	硬	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	粉～粒状	10			
	B1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	塊状	15	中～硬	密	焼土粒・炭化物少量混じる
				10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	小塊状	3			
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	10	中	中～密	炭化物少量混じる
	D1	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	20	中	密	焼土粒・炭化物多量に混じる
	E1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質堆積土	塊状	10	中～硬	密	炭化物少量に混じる
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	3			
	F1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR5/3におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	15	中～硬	密	焼土粒・炭化物少量混じる
				10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～小塊状	5			
	G1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/3におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	密	
				10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	粉～粒状	7			
	H1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	中	焼土塊・炭化物多量に混じる
	J1	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	中	カマド天井部腐植土
5YR3/4暗赤褐色				SiLシルト質堆積土	塊状	7				
J2	5YR4/6赤褐色	SiLシルト質堆積土	7.5YR4/3褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	10	中	粗～中	炭化物多量に混じる	
J3	5YR5/6明赤褐色	SiLシルト質堆積土	5YR3/4暗赤褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	軟～中	粗～中	炭化物多量に混じる	
			5YR5/4におい赤褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	15				
J4	10YR3/4暗褐色	SiLシルト質堆積土	7.5YR4/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	25	中	粗～中	焼土粒・炭化物多量に混じる	
J5	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	7.5YR4/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	中～密	焼土粒・炭化物微量混じる	
J7	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	20	中	中	焼土少量混じる	
J8	5YR4/4におい赤褐色	SiLシルト質堆積土	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	中	炭化物少量混じる	
			7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	10				
J9	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	10	中	中	炭化物少量混じる	
K1	7.5YR4/3褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	7	硬	密	焼土粒・炭化物微量混じる	
K2	10YR6/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	3	硬	密		
K3	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	中～硬	密	カマド芯・支脚腐植土	
L1	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	硬	密	床構築土	
			10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	小塊状	7				
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RE015 竪穴状遺構	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	塊状	20	硬	密	焼土粒少量混じる
				10YR5/3におい黄褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	3			
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～塊状	10	硬	密	
	C1	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/3におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	20	中～硬	密	
D1	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	密		
L1	10YR5/6黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR4/3におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	7	硬	密	底面構築土	
			10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	7				
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD523土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～塊状	15	中	中	焼土粒少量混じる
				10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	小塊状	5			
	B3	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SiLシルト質堆積土	粒～塊状	10	硬	密	
RD524土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	7	中～硬	密	
	A2	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/4におい黄褐色	SiLシルト質堆積土	塊状	20	硬	密	
B1	5YR3/4暗赤褐色	SiLシルト質堆積土	7.5YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	中	中	焼土粒・炭化物混じる	
			10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	小塊状	15				

第32表 細谷地遺跡第31次調査 I 区遺構土層観察表 (7)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他	
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%				
RD525土坑墓	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10	硬	密	炭化物少量混じる 以下全層人為堆積	
				10YR5/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	3				
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	15	硬	密	炭化物少量混じる	
				10YR5/3いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	3				
	A3	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	硬	密	焼土粒・炭化物 炭化物混じる	
				10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粒状	7				
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	5YR4/6赤褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	20	中～硬	密	炭化物混じる	
	C1	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中	中		
	D1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	30	硬	密	焼土粒微量混じる	
	D2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	25	中～硬	密		
	D3	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15	非常硬	密		
	E1	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	硬	密		
	E2	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR5/3いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	20	硬	密		
	F1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	3	中～硬	密	炭化物微量混じる	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	3	中～硬	密	以下全層人為堆積	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	15	硬	密		
B2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	20	中～硬	中～密	炭化物多量に混じる		
C1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	中	中～密			
D1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	30	中	中	焼土粒微量混じる		
E1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	中	炭化物混じる		
F1	5YR3/3いり赤褐色	SILシルト質堆積土	7.5YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10	中	中	二次堆積の焼土層		
G1	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	密	焼土粒・炭化物 多量に混じる		
RG091大溝跡	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	中～硬	密	十和田火火山灰	
				灰白色	粉状パミス	粉～粒状	5				
	A2	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	7	中～硬	密	十和田火火山灰	
				灰白色	粉状パミス	粒～塊状	20				
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	5	硬	密		
	B2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/3いり黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	15	硬	密	砂が少量混じる	
	C1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	15	硬	密		
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR6/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	30	中	中		
	E1	10YR5/6黄褐色	SIL砂礫土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	15	中	中～密		
	E2	10YR5/6黄褐色	SIL砂礫土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	3	中	密		
	F1	10YR3/3暗褐色	S砂土	10YR5/4いり黄褐色	S砂土	粒状	7	中	中	砂層	
	G1	10YR2/1黒色	SICシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	密	砂礫が多量に混じる	
	RG093溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	10	中	密	
		B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	15	硬	密	
		B2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	30	中～硬	密	
		A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	硬	密	
A2		10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	20	中	密		
B1		10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中～硬	密		
RG094溝跡	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	10	中～硬	密		
				10YR3/3暗褐色	SILシルト質堆積土	粒状	15				
	B2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	15	中	中～密		
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5				

第33表 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD527土坑	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粉～粒状	5	硬	密	焼土粒・炭化物微量混入
	B1	10YR3/1黄褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/4い青褐色	SILシルト質埴埴土	粒～小塊状	7	中～硬	密	
	C1	10YR5/4い青褐色	SILシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	小塊状	7	硬	密	
RD528土坑	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	10	硬	密	炭化物少量混入
	B1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	15	硬	密	十和田火山灰
				灰白色	粉状バミス	粉状	2			
	B2	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粉状	10	硬	密	十和田火山灰
				灰白色	粉状バミス	層状	40			
	C1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/3い青褐色	SILシルト質埴埴土	粒状	20	中	密	
	D1	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/4い青褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	15	中	中	ややグライ化
D2	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	粒～塊状	5	中	中	ややグライ化	
E1	10YR4/1褐色	SICシルト質埴埴土	10YR6/4い青褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	10	中	中	ややグライ化	
RD529土坑	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	20	中	密	焼土粒・炭化物微量に混入
	A2	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	10	中	中	
RD530土坑	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴埴土	粒～小塊状	10	硬	密	炭化物少量混入
				灰白色	粉状バミス	粉～粒状	3			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG036溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴埴土	粒状	5	中～硬	中～密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴埴土	粒～塊状	15	硬	中～密	
RG065溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粒～小塊状	15	中	密	グライ化、酸化鉄混入
	A2	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	20	中	密	グライ化、酸化鉄混入
	A3	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/3い青褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	10	中～硬	中	グライ化、酸化鉄混入
	B1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR2/2黒褐色	HC重埴土	塊状	15	軟～中	密	グライ化、酸化鉄混入
	B2	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粒～塊状	20	硬	密	
	C1	10YR2/1黒色	HC重埴土	10YR7/2い青褐色	HC重埴土	粒～小塊状	20	軟	中	砂が少量混入、グライ化、酸化鉄混入
	D1	10YR7/2い青褐色	SL砂埴土	10YR3/2黒褐色	HC重埴土	粒～小塊状	5	中	密	砂が少量混入、グライ化、酸化鉄混入
RG066溝跡	A'1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR4/3い青褐色	SICシルト質埴埴土	小塊状	10	中	密	グライ化、酸化鉄混入
	A'2	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR4/3い青褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	15	中	密	グライ化、酸化鉄混入
	B'1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR5/2灰黄褐色	SICシルト質埴埴土	粒～小塊状	3	中	密	グライ化、酸化鉄混入
	C'1	10YR2/1黒色	HC重埴土	10YR5/6黄褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	20	軟～中	密	グライ化、酸化鉄混入
	D'1	10YR7/2い青褐色	SL砂埴土	10YR3/2黒褐色	HC重埴土	粒状	7	軟	粗～中	グライ化、酸化鉄混入
RG068溝跡	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	15	中	密	十和田火山灰
				灰白色	粉状バミス	粉～粒状	3			
	A2	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR3/4暗褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	5	中	密	十和田火山灰
				灰白色	粉状バミス	層状	25			
	B1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	10	軟～中	密	ややグライ化、酸化鉄多量に混入
	B2	10YR3/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	3	軟～中	密	ややグライ化、酸化鉄多量に混入
	B3	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/3い青褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	20	軟～中	密	ややグライ化、酸化鉄多量に混入
	C1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	粒～塊状	15	中	密	グライ化、酸化鉄混入
				10YR5/2灰黄褐色	SILシルト質埴埴土	塊状	10			
	C2	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	5	中	密	グライ化、酸化鉄混入
				10YR5/2灰黄褐色	SILシルト質埴埴土	塊状	10			
	D1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR4/3い青褐色	SICシルト質埴埴土	粒～小塊状	7	軟～中	密	ややグライ化、酸化鉄混入
	E1	10YR2/1黒色	SICシルト質埴埴土	10YR5/2灰黄褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	30	軟～中	密	ややグライ化、酸化鉄混入
	F1	10YR5/1褐色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粒状	15	軟	中	グライ化、酸化鉄混入
				10YR5/6黄褐色	SICシルト質埴埴土	塊状	10			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
状況地形	埋土	10YR2/2黒褐色	SICシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質埴埴土	粒～小塊状	10	硬	密	自然堆積

第34表 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RE014 壁穴状遺構	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SL砂礫土	粒～塊状	10	軟～中	粗～中	
				10YR4/4褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	7			
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10			
				10YR4/4褐色	SL砂礫土	粒～塊状	10			
				灰白色	粉状バミス	—	1			炭化物混じる 十和田a火山灰
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD531土坑	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	7	中～硬	密	φ3.5cm棒が通じる φ1.3cm棒が少量混じる
	A2	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	10			
RD532土坑	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中～硬	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	25			
RD533土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10	中	中～密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	粒状	5				
	C1	10YR6/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10			
	C2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/3い青褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	7			
RD534土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	3	硬	密	
	B1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	5			
	C1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	15			
RD535土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SILシルト質埴壤土	塊状	15	硬	密	
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	3			
RD536土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10	中～硬	密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粉～粒状	3			
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/3黄褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20			
	C2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10			
RD537土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	15	中～硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	5			
	B1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20			
	C1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/3Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	粒状	5			
RD538土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	10	中～硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	20			
	C1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	10			
RD539土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	15	軟～中	中	
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質埴壤土	粒～塊状	10			
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SL砂礫土	粒～塊状	7			
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	塊状	20			
RD595溝跡	A1	10YR6/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	7	中	中	
	B1	10YR6/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～塊状	10			
	C1	10YR6/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	7			
RD596溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	小塊状	3	硬	密	
	A2	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質埴壤土	粒～小塊状	15			
	B1	10YR6/4Cい青褐色	SILシルト質埴壤土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴壤土	粒状	10			
RD599溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴壤土	粒～小塊状	15	中～硬	密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質埴壤土	粉～粒状	7			

第35表 矢盛遺跡第28次調査 I 区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD263土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	2	中	中～密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	10	中	中～密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	2	中	中	
	B3	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	15	中	中	
	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	2	中	中	
	D1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	25	中	中	
RD264土坑	E1	10YR6/8明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	10	軟～中		
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	10	中	中	
RD265土坑	B1	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/3い黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	30	中	中	
	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	15	中	中～密	
RD266土坑	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	30	中	中～密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	15	中	中	
	D1	10YR6/8明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	10	中	中	
	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	20	中	中～密	
	A2	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	2	中	中～密	
RD267土坑	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	小塊	40	中	中	
	C1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	20	中	中	
	C2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	10	中	中	
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	8	中	中	
	E1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～塊状	15	軟～中	中	
RD268竪穴	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	5	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	2	中～硬	中～密	
		10YR4/3い黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	10	中	中	
		10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	5			
	B2	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/8明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	7	中	中	
		10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	2	中	中	
	C1	10YR7/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	1	中	中	
		10YR3/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	7	中	中	
		10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	10	中	中	
		10YR1.7/1黒色	SICLシルト質埴埴土					中	中	
		10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土					中	中	
		10YR2/1黒色	SICLシルト質埴埴土					中	中	
		II	—	—					—	—
RD269竪穴	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/3い黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	15	中	中～密	
	B1	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	10	中	中	
	B2	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	20	中	中	
	C1	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	5	中～硬	中～密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD270土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICシルト質埴埴土	粉～粒状	7	軟～中	中～中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICシルト質埴埴土	粉～粒状	10	軟～中	中～中	
RD271土坑	B1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/6黄褐色	SICシルト質埴埴土	粉～粒状	15	軟～中	中～中	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	10	中	中	
RD272土坑	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR5/8黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	35	中	中	
	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/6褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	20	中	中	
	A2	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR4/4褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～粒状	30	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG084溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	5	中	中	
	B1	10YR6/6明黄褐色	SICLシルト質埴埴土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質埴埴土	粉～小塊状	10	中	中	

第36表 矢盛遺跡第30次調査Ⅰ・Ⅱ区遺構土層観察表

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RX001 方形周溝	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	7	中	密	
	A2	10YR2/1黒色	SILシルト質壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10	中	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD286土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	20	中	中	φ1.5cm障が混じる
RD289土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20	中	中	φ1.3cm障が混じる
RD290土坑	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	中～硬	密	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG074溝跡	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	中	中～密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質壤土	小塊状	15	中	密	

第37表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表 (1)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RE004 壁穴建物跡	A1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	15	中～硬	密	炭化物少量まじる
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	3			
	A2	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	硬	密	焼土粒微量・炭化物少量まじる
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	10			
	B1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20	中	密	焼土小塊少量・炭化物微量少量まじる
	B2	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	30	中～密		炭化物微量混じる
	C1	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	15	中	中	
	D1	10YR3/1黒色	SILシルト質壤土	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	小塊状	5			
	D1	10YR2/1黒色	SILシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	中～中	密	焼土・炭化物混じる
	E1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	7	中	中	灰少量・炭化物少量混じる
	F1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	15	中～硬	中～密	
G1	10YR2/1黒色	SILシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	3				
RE025 壁穴建物跡	A1	10YR3/1黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	中～硬	密	焼土粒・炭化物少量混じる
				10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	7			
	B1	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	10	硬	密	
				10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	7			
C1	10YR6/4い黄褐色	SILシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	小塊状	15	中～密			
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
R070 井戸跡	A1	10YR2/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	硬	密	炭化物・焼土粒少量混じる
				10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10			
	B1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	20	硬	密	炭化物少量混じる
				10YR4/6褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	10			
	B2	10YR3/1黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	塊状	60	硬	密	
				10YR6/4い黄褐色	SILシルト質壤土	小塊状	15			
	C1	10YR2/1黒色	SILシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20	中～硬	中	焼土粒まじる。障φ3.5cm少量まじる
	C2	10YR2/1黒色	SILシルト質壤土	10YR4/3い黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	30	中～硬	中	障φ1.3cm少量混じる
	D1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	10YR5/2灰黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	中	中	障φ3.5cm少量・母礫物まじる。ヤマガライ化
	E1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	5			
	E1	10YR3/2黒褐色	SILシルト質壤土	10YR5/1褐灰色	SILシルト質壤土	粒～塊状	15	軟～中	中	障φ1.3cm・酸化鉄まじる
F1		砂礫								
G1	10YR6/4い黄褐色	SILシルト質壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質壤土	塊状	10	中	中	井戸壁崩壊土	
H1	10YR4/1褐灰色	HC重壤土	10YR2/2黒褐色	HC重壤土	粒～塊状	20	軟	中	酸化鉄まじる。グライ化	
I1	2.5Y3/1暗赤灰色	HC重壤土	10YR6/1褐灰色	HC重壤土	塊状	7	軟～中	中	酸化鉄まじる。グライ化	
I2	2.5Y3/1暗赤灰色	HC重壤土	10YR5/2灰黄褐色	HC重壤土	粒～塊状	20	軟～中	中	グライ化	
J1	10YR7/2い黄褐色	HC重壤土	10YR6/6明黄褐色	HC重壤土	塊状	10	中～硬	中	グライ化。井戸崩壊土	
K1	10YR3/1黒褐色	HC重壤土	10YR6/3い黄褐色	HC重壤土	粒～小塊状	7	軟	中～密	砂・炭化物まじる。グライ化	

第38表 矢盛遺跡第31次調査 I 区遺構土層観察表 (2)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD291層1穴	A1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	20	中	密	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	7	中	中～密	
	B2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	塊状	20	中	密	
	C1	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	10	中	中	
	D1	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	5	中	中	
	D2	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	7	中	密	
	E1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中	
RD292層1穴	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	20	中	密	
	B1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	10	中～硬	密	礫がまじる
	C1	10YR4/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	7	中	密	
	C2	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	密	
	D1	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	小塊状	5	硬	密	
	E1	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	中	中～密	
	F1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	塊状	15	中	中	
遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RD293土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	粒状	15	硬	密	粘土質砂礫にまじる炭化物まじる
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	5YR5/6明黄褐色	雑土	粒～塊状	30	中	中～密	炭化物まじる
	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	20	中～硬	中～密	粘土粒微量まじる
	D1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	20	中	中	
	E1	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5	中	中～密	
RD294土坑	A1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	粒状	10	—	—	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/4い青褐色	SILシルト質堆積土	塊状	20	中	密	
	C1	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中	
RD295土坑	A1	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	15	硬	密	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/4い青褐色	SILシルト質堆積土	粒状	5	中～硬	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR2/1黒色	SILシルト質堆積土	塊状	10	中	中	
RD296土坑	C1	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	25	硬	中～密	
	A1	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	5	硬	密	
	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	10	中	密	
	C1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	7	硬	中～密	
RD297土坑	D1	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10	硬	密	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR4/6褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	5	中～硬	密	
RD298土坑	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	30	中	中	
	B2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	中	
RD299土坑	A1	10YR2/3黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	15	硬	密	
	B1	10YR6/4い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	5	硬	密	
RD300土坑	A1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	10	硬	密	
	B1	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	7	硬	密	炭化物少量まじる
	B2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/3い青褐色	SILシルト質堆積土	粒状	20	中	中～密	
RD301土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中	
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	5	中	中	
RD302土坑	A1	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	20	中	中	
	A2	10YR2/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/4暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒状	15	中	密	
RD303土坑	B1	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	塊状	5	中	密	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR6/4い青褐色	SILシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	中	ややグライ化
	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中～硬	密	
RD304土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	塊状	25	中	中～密	
	C1	10YR1.7/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR4/4褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	7	中	中	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR3/1黒褐色	SICLシルト質堆積土	塊状	15	中	密	炭化物少量まじる
	A2	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～粒状	10	中	密	
RD305土坑	B1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	小塊状	10	中～硬	密	
	A1	10YR3/3暗褐色	SICLシルト質堆積土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質堆積土	粉～塊状	10	中～硬	密	
	C1	10YR2/1黒色	SICLシルト質堆積土	10YR4/3い青褐色	SILシルト質堆積土	粒～小塊状	5	中～硬	密	
D1	10YR5/4い青褐色	SILシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SICLシルト質堆積土	粒～小塊状	7	中	中		

第39表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(3)

遺構名	層名	主要土		含有土				硬軟	密度	その他		
		土色 (JIS)	土性 (略号)	土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%					
RD305土坑	A1	10YR5/4Cい黄褐色	S砂土	10YR5/1灰色	SILシルト質壤土	粒状	10	中	密	横φ1cmまじる		
	A2	10YR5/4Cい黄褐色	S砂土	10YR4/4褐色	S砂土	粒状	5	中	密			
	B1	10YR/3Cい黄褐色	S砂土	10YR4/1褐灰色	SICシルト質壤土	粒～小塊状	10	中	密			
	C1	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR4/4褐色	S砂土	粒状	15	中	密			
	C2	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/4Cい黄褐色	S砂土	粒状	20	中	密			
	D3	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR4/4褐色	S砂土	粒～小塊状	7	中	中～密			
	C1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR4/6褐色	S砂土	粒状	5	中	中			
	E1	10YR5/2灰黄褐色	SICシルト質壤土	10YR5/4Cい黄褐色	S砂土	小塊状	10	中	中			
	F1	10YR6/4Cい黄褐色	S砂土	10YR4/3Cい黄褐色	SICシルト質壤土	小塊状	5	中	密			
	F2	10YR6/4Cい黄褐色	S砂土	10YR4/2B黄褐色	SICシルト質壤土	粒～小塊状	15	中	密			
	F3	10YR6/4Cい黄褐色	S砂土	10YR6/4Cい黄褐色	SICシルト質壤土	小塊状	7	中	中～密			
	RD306土坑	A1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	小塊状	5	中～硬		密	横φ3cm少量まじる
		A2	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	中		中～密	
B1		10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	25	中	中			
B2		10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	7	中	中			
C1		10YR3/1黒色	SICシルト質壤土	10YR5/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	10	中	中～密			
RD016磁鉢		A1	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR3/4暗褐色	SICシルト質壤土	粒～小塊状	10	硬	密	炭化物少量・粘土粒微量まじる。横φ3cm少量まじる	
		A2	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR4/4褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	3	中～硬	密		
		B1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	塊状	20	中～硬	中～密		
	B2	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	15	中	中			
	B3	10YR3/4暗褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	7	中	密			
	C1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粉状	5	中	密			
	C2	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	粒～塊状	20	中	中			
	D1	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR6/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	小塊状	3	中	中			
	D2	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	塊状	30	中～硬	中			
	D3	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	25	中	中			
	D3	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	15	軟～中	中			
	D2	10YR2/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20	中	中～密			
	E1	10YR5/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	25	中	中			
E2	10YR5/3Cい黄褐色	SILシルト質壤土	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	小塊状	10	中	中				
F1	10YR6/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	10YR5/8黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	15	軟～中	中				
RG029溝跡	A1	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	粒状	5	中	中	粘土粒微量。横φ2.5cm少量まじる		
	A2	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	塊状	10	中～硬	密			
	B1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR6/6明黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	15	中	密			
	B2	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	5	中	密			
	C1	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	粒～小塊状	15	中	密			
RG030溝跡 (道路側溝)	A1	10YR3/1黒褐色	S砂土	10YR3/2黒褐色	S砂土	粒状	10	中	密	炭化物少量まじる		
	C1	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粉～粒状	5	中～硬	中			
	C2	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	小塊状	10	中	中～密			
	D1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	20	中～硬	中			
RG031溝跡 (道路側溝)	A1	10YR3/1黒褐色	SICシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	塊状	10	中	密	炭化物少量まじる		
	B1	10YR6/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	10YR3/2黒褐色	SICシルト質壤土	粒状	15	中	中			
	C1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	塊状	10	中	中			
	C1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR6/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	粒～塊状	30	中～硬	中～密			
RG034溝跡	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR6/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	15	硬	密	炭化物・粘土粒微量まじる		
	A2	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR5/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	粒～小塊状	5	中～硬	密			
	B1	10YR5/3Cい黄褐色	SILシルト質壤土	10YR3/3暗褐色	SICシルト質壤土	粒状	10	中	中			
RG035溝跡	A1	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR5/4Cい黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	10	中～硬	密	炭化物少量まじる		
	A2	10YR2/1黒色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	粒状	25	中	中～密			
	B1	10YR2/3黒褐色	SICシルト質壤土	10YR5/6黄褐色	SILシルト質壤土	塊状	30	中	中			

第40表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区遺構土層観察表(4)

遺構名	層名	主要土			含有土				硬軟	密度	その他
		土色 (JIS)	土性 (略号)		土色 (JIS)	土性 (略号)	状態	%			
RG090-091 溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/3いり黄褐色	SiCシルト質堆積土	塊状	20	中	中	ややグライ化	
	A2	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SiCシルト質堆積土	粒状	10	中	中～硬	ややグライ化	
	B1	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR6/4いり黄褐色	SiCシルト質堆積土	粒～小塊状	15	中	中	ややグライ化	
	C1	10YR6/6明黄褐色	SiCシルト質堆積土	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	粒～塊状	20	中	中	ややグライ化	
RG093溝跡	A1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SiLシルト質堆積土	粉～粒状	7	中～硬	密		
	B1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	塊状	20	硬	密		
	C1	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR6/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	10	硬	密		
RG094溝跡	A1	10YR2/1黒色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	7	中～硬	中～密		
	B1	10YR6/4いり黄褐色	SiLシルト質堆積土	10YR5/4いり黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒状	10	中	中～密		
RG092溝跡	A1	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	中～密		
				10YR5/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	粉～粒状	2				
	A2	10YR3/1黒褐色	SiCLシルト質堆積土	10YR3/3暗褐色	SiCLシルト質堆積土	粒状	15	中	密		
				10YR5/6明黄褐色	SiLシルト質堆積土	粒～小塊状	10				
B1	10YR4/6褐色	SiLシルト質堆積土	10YR2/2黒褐色	SiCLシルト質堆積土	粒～塊状	10	中	密			

第41表 細谷地遺跡第28次調査Ⅰ・Ⅱ区出土土器観察表

図番	写真記録	遺跡名	坑号	次数	遺跡区	台帳No.	形制		出土		寸法 (cm) 非定形・復元のみ					底部切縁等	断面調整		留意等・特徴				
							区分	器種	平面位置	層位	高さ	口径	口径	口径	口径		口径	口径		口径	口径	口径	口径
86	001	—	細谷地	OHY	028	I	RA107	54	土師器	杯	06-L12	B	4.3	14.0	—	5.6	2.5	3.3	ハラケズリ 高蓋	底唇付近 ハラケズリ	ハラミゴキ 黒色処理	胎土に炭母少し混 じる	
86	002	—	細谷地	OHY	028	I	RA107	5	土師器	小壺	06-L11 土器No.35	8B7F	6.5	10.1	10.5	6.8	1.0	1.6	木葉痕	口縁部子 母線ハラナリ	ハラナデ	内外面磨減。胎土 に砂多量	
87	003	35	細谷地	OHY	028	I	RA101	14	土師器	杯	K3-T18 西壁	A2	[4.1]	13.4	—	—	—	—	—	—	—	—	口縁部付 土にカーン炭灰化物 胎土に炭母混じる
87	004	—	細谷地	OHY	028	I	RG012	2	土師器	壺	K3-R12-13	A	[15.3]	15.6	15.9	—	—	—	—	—	—	—	内外面やや磨減
87	005	—	細谷地	OHY	028	I	D-03 土器	1	土師器	杯	K3-V19	B	5.1	15.0	—	5.6	2.7	2.9	底唇全切 断面調整	口縁部子 母線ハラナリ	ハラナデ	内外面やや磨減	

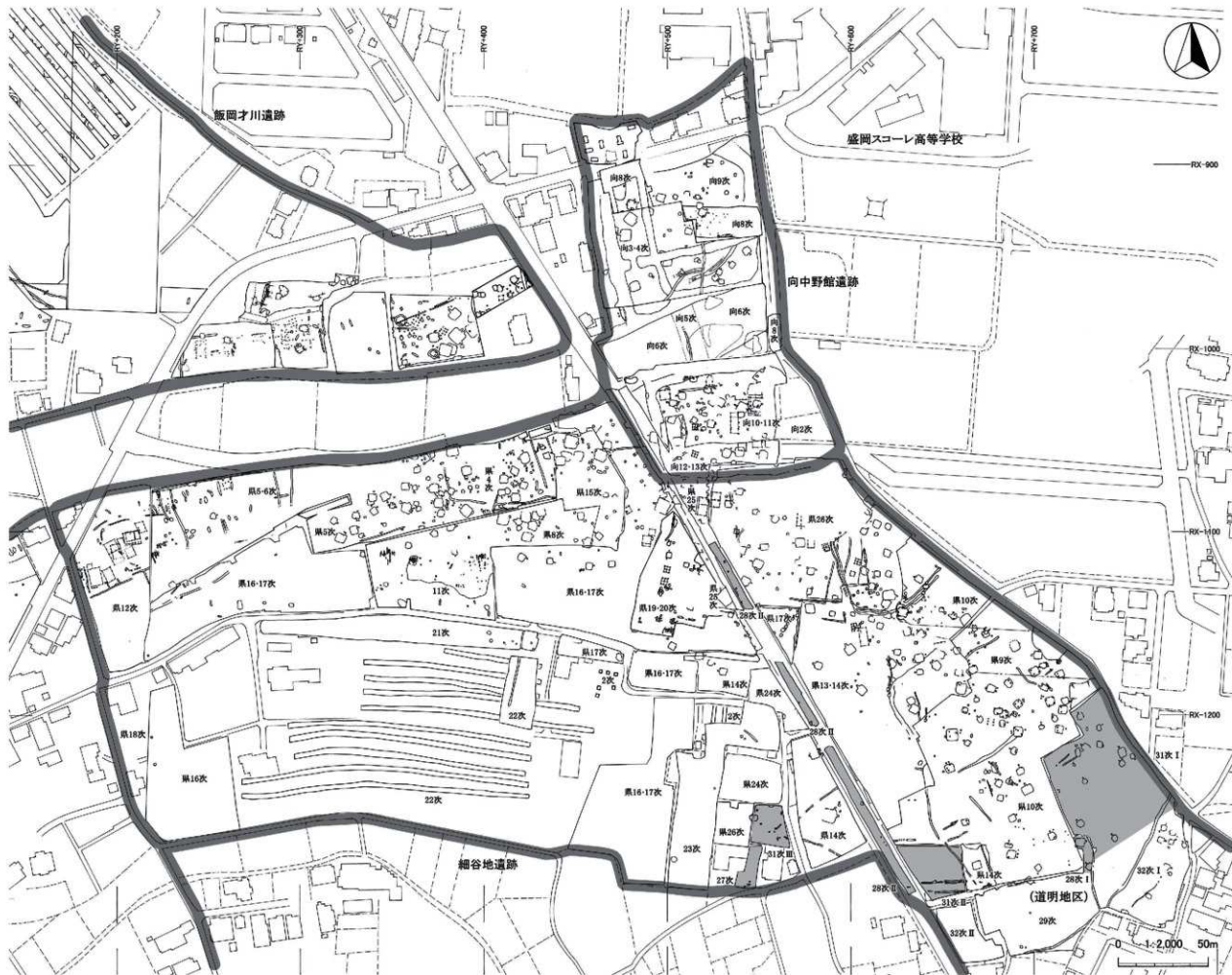
第42表 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ・Ⅱ区出土土器観察表

図番号	写真 図説	遺跡名	番号	次数	調査区	形制			出土			寸法 (cm)			形状・復元のみ		断面図等		備考等・特徴	
						区分	群様	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	底径/口径	口径/器高	底径/口径	口径/器高	底径/口径		断面図等
89 009		細谷地	OH	031	RA204	12	土師器	坏	06-06	B1	(4.1)	14.6	-	-	-	-	1.6	1.6	ヘラミダキ、 黒色土質	
89 010		細谷地	OH	031	RA204	1	土師器	壺	06-06	床面	7.8	12.5	13.1	-	-	1.6	1.6	丸蓋、黒 白口土	口縁部平直、 内面に黒い土質の 跡に黒い土質の跡	
89 011		細谷地	OH	031	RA204	4	土師器	壺	3.0m ¹ 06-17	B1	29.5	17.0	16.0	8.0	1.1	0.6	0.6	木蓋蓋付	ヘラミダキ ヘラミダキ	
89 012		細谷地	OH	031	RA204	14	土師器	壺	06-18	B	31.6	20.5	19.0	8.2	1.1	0.6	0.6	-	口縁部平直、 内面に黒い土質の 跡に黒い土質の跡	
89 013		細谷地	OH	031	RA204	2	土師器	壺	06-06	床面	30.5	21.1	18.6	8.2	1.1	0.7	0.7	-	ヘラミダキ	
89 014		細谷地	OH	031	RA205	1	土師器	壺	カマド支脚	支脚	27.8	21.0	19.3	8.0	1.1	0.8	0.8	-	ヘラミダキ	
89 015		細谷地	OH	031	RA206	9	土師器	坏	05-015	B	(3.0)	10.9	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質	
89 016		細谷地	OH	031	RA206	1	土師器	壺	土師No.1	床面	16.3	13.1	12.5	8.6	1.0	0.8	0.8	木蓋蓋付	ヘラミダキ ヘラミダキ	
89 017		細谷地	OH	031	RA207	11	土師器	壺	カマド支脚	支脚	28.5	17.0	15.2	8.2	1.1	0.6	0.6	-	ヘラミダキ、 黒色土質	
89 018		細谷地	OH	031	RA207	3	土師器	壺	カマド支脚	支脚	30.6	18.1	17.4	8.0	1.0	0.6	0.6	-	口縁部平直、 内面に黒い土質の 跡に黒い土質の跡	
89 019		細谷地	OH	031	RA207	11	土師器	壺	05-010	A2	14.3	15.2	13.9	7.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
89 020		細谷地	OH	031	RA208	13	土師器	壺	05-020	A	28.0	18.8	19.5	9.2	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	
91 020		細谷地	OH	031	RA215	6	土師器	坏	カマド支脚 P8-02	床面	5.9	17.0	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
91 021		細谷地	OH	031	RA215	5	土師器	坏	カマド支脚 P8-02	支脚	5.1	15.6	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
91 022		細谷地	OH	031	RA216	13	土師器	壺	カマド支脚 P8-02	横土師	7.0	16.0	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
91 023		細谷地	OH	031	RA216	16	土師器	壺	カマド支脚 P8-02	J	5.5	13.2	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
91 024		細谷地	OH	031	RA216	4	土師器	壺	カマド支脚 P8-02	床面	4.5	14.6	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
91 025		細谷地	OH	031	RA216	32	土師器	壺	カマド支脚 P8-02	A2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
92 027		細谷地	OH	031	RA217	2	土師器	壺	05-016	J10	5.3	13.5	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 028		細谷地	OH	031	RA217	5	土師器	壺	05-06	C	(4.5)	(3.0)	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 029		細谷地	OH	031	RA217	1	土師器	壺	カマド支脚 05-06	支脚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ
91 026		細谷地	OH	031	RA218	1	土師器	壺	3.0m ¹ 06-17	床面	5.6	14.4	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 030		細谷地	OH	031	RA221	1	土師器	壺	05-08	A	5.0	13.1	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 031		細谷地	OH	031	RA221	4	土師器	壺	05-08	B	6.6	16.5	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 032		細谷地	OH	031	RA221	7	土師器	壺	3.0m ¹ 06-17	床面	4.8	14.3	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 033		細谷地	OH	031	RD25	1	土師器	壺	05-015	E	4.7	14.9	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
92 034		細谷地	OH	031	RD25	2	土師器	壺	05-015	A3	4.6	14.7	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質
93 035		細谷地	OH	031	RD65	2	土師器	壺	05-022	B1	4.7	15.3	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ、 黒色土質

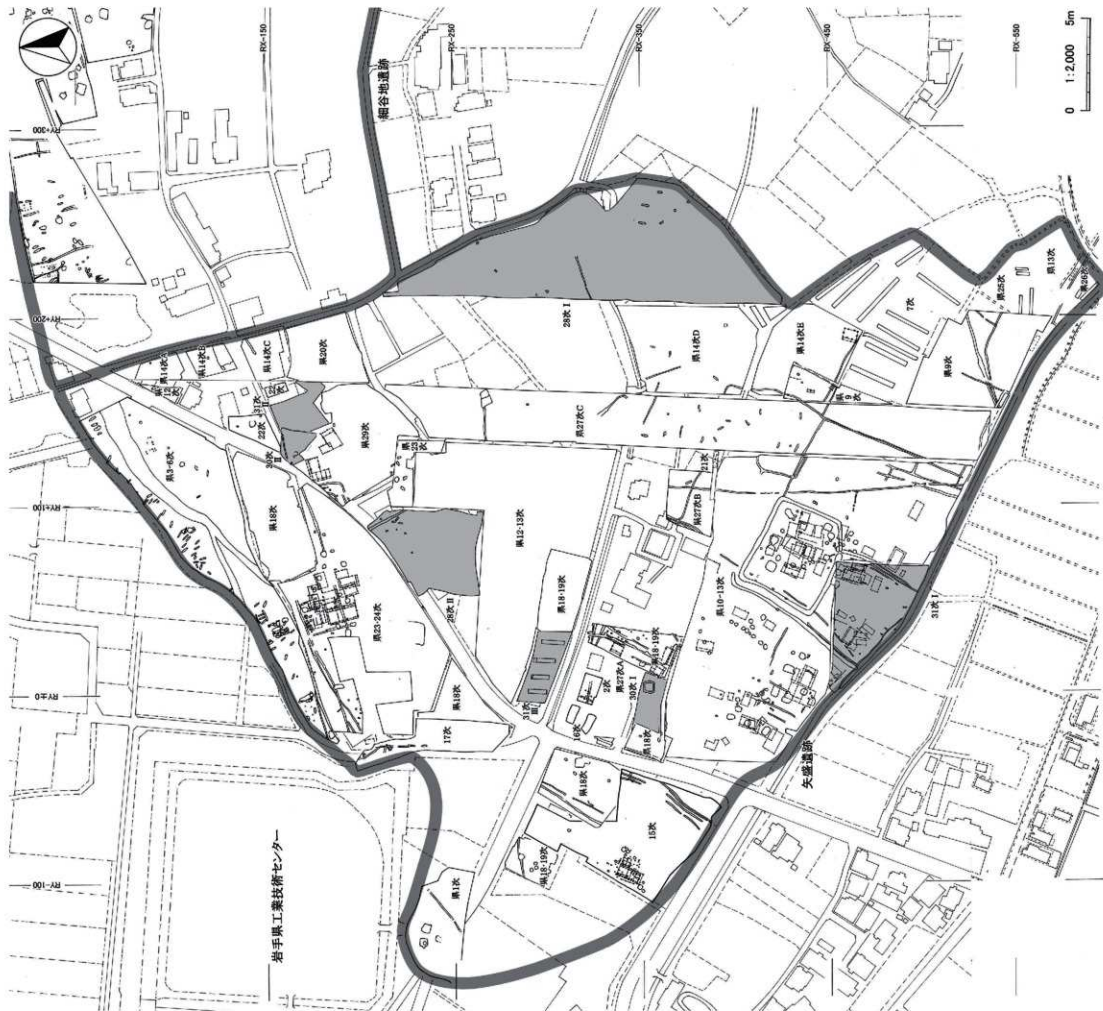
第43表 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区出土近世陶磁器観察表

図番号	写真 図説	遺跡名	番号	次数	調査区	形制			出土			寸法 (cm)			形状・復元のみ		断面図等		備考等・特徴	
						区分	群様	平面位置	層位	器高	口径	体径	底径	底径/口径	口径/器高	底径/口径	口径/器高	底径/口径		断面図等
94 036		矢盛	1W	31.1	遺跡外	3	磁器	磁器	A10-E1	埋瓦	(4.5)	-	-	-	-	-	-	-	-	18歳半、19世紀
94 037		矢盛	1W	31.1	遺跡外	7	磁器	磁器	A10-16	埋瓦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17-18世紀半、 19世紀前半
94 038		矢盛	1W	31.1	河川沿	1	陶器	陶器	A10-G6	A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ヘラミダキ 17-18世紀

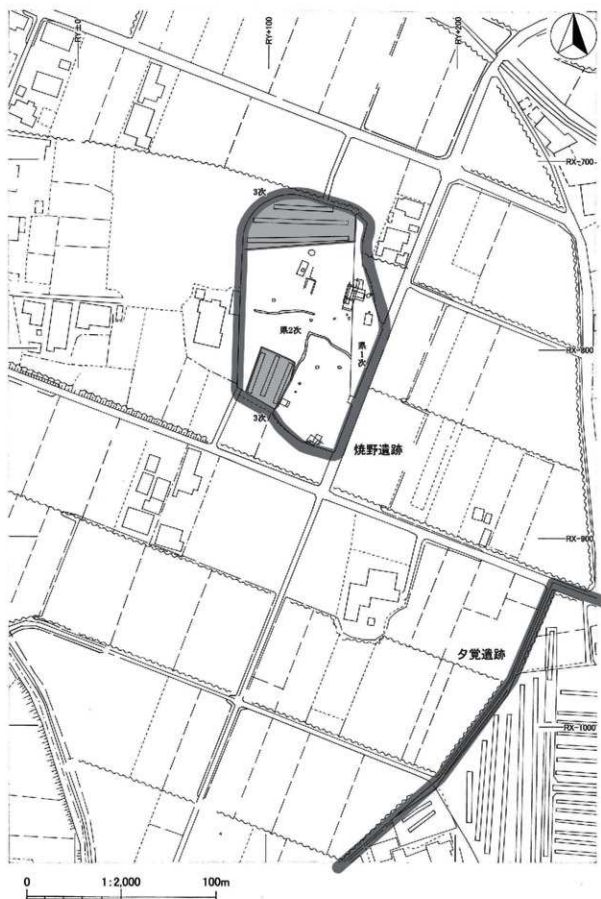
遺 構 図 版



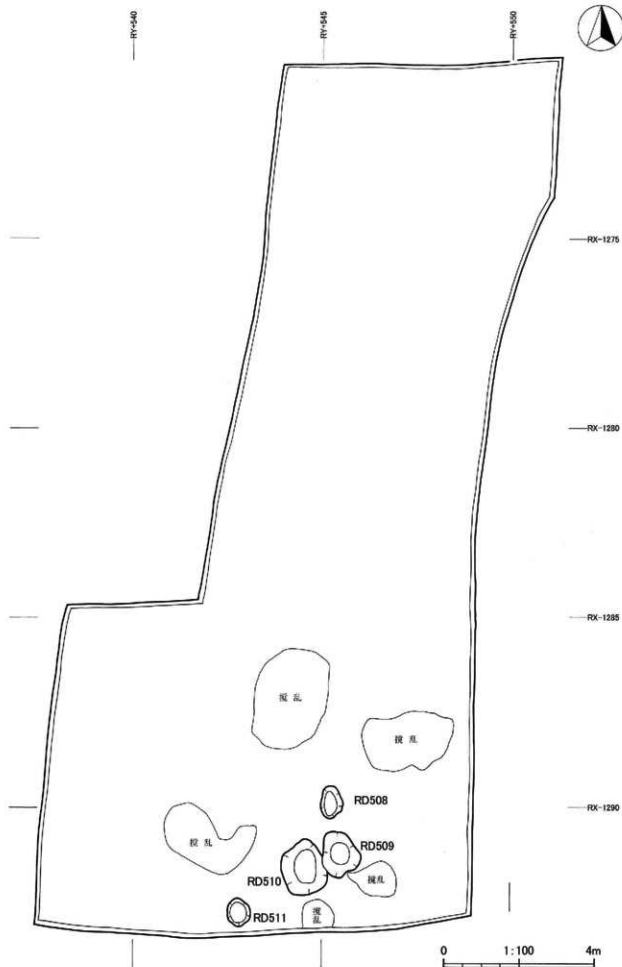
第1図 細谷地遺跡全体図



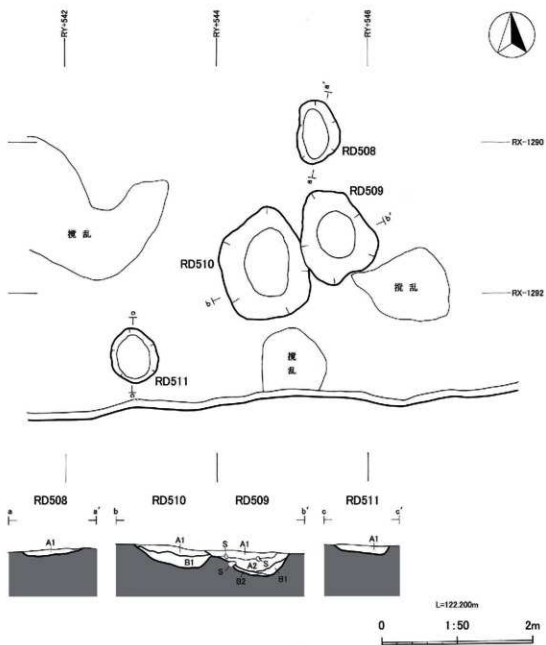
第2図 矢盛遺跡全体図



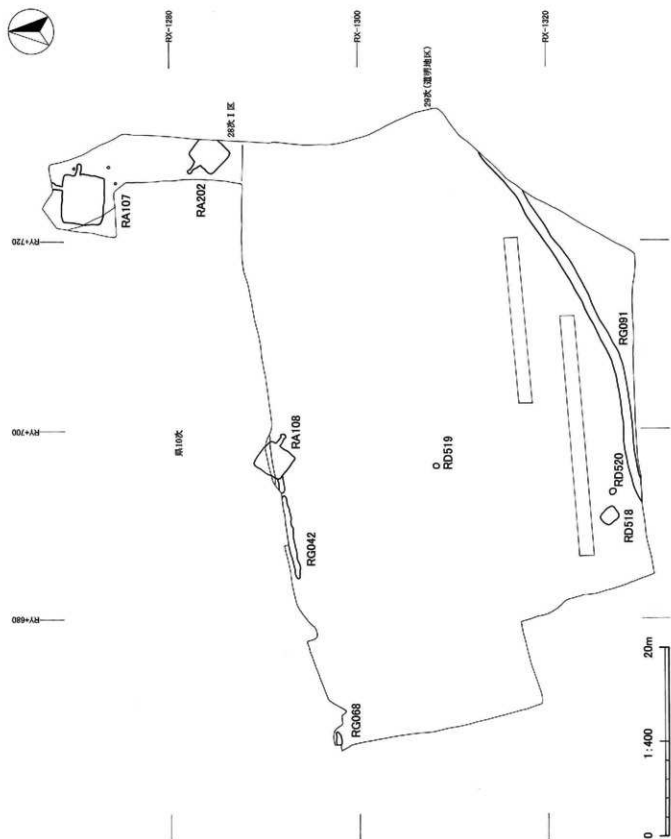
第3図 焼野遺跡全体図



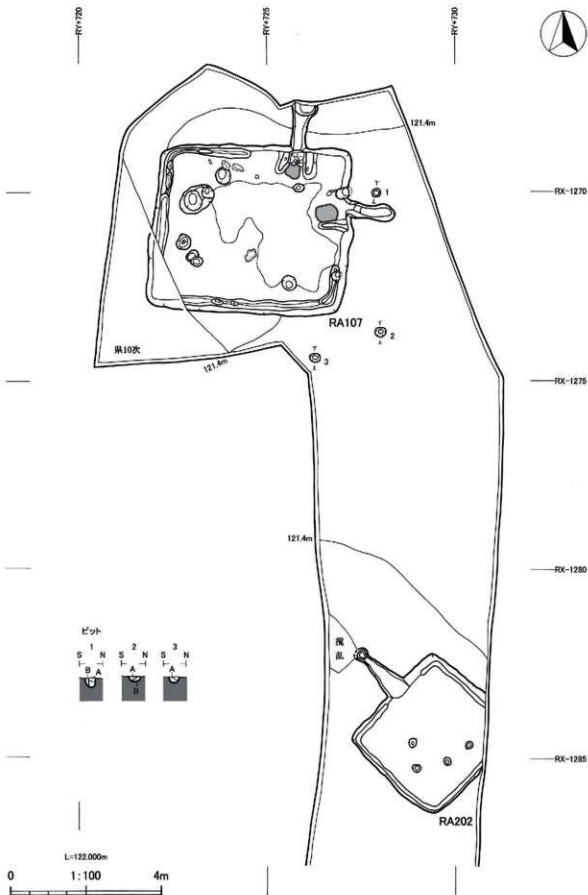
第4図 細谷地遺跡第27次調査全体図



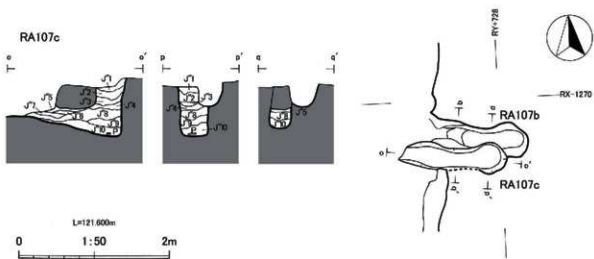
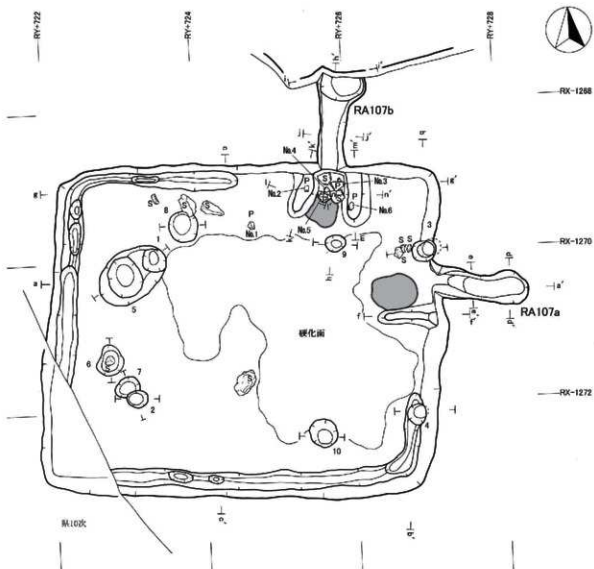
第5図 細谷地遺跡第27次調査RD508~511土坑



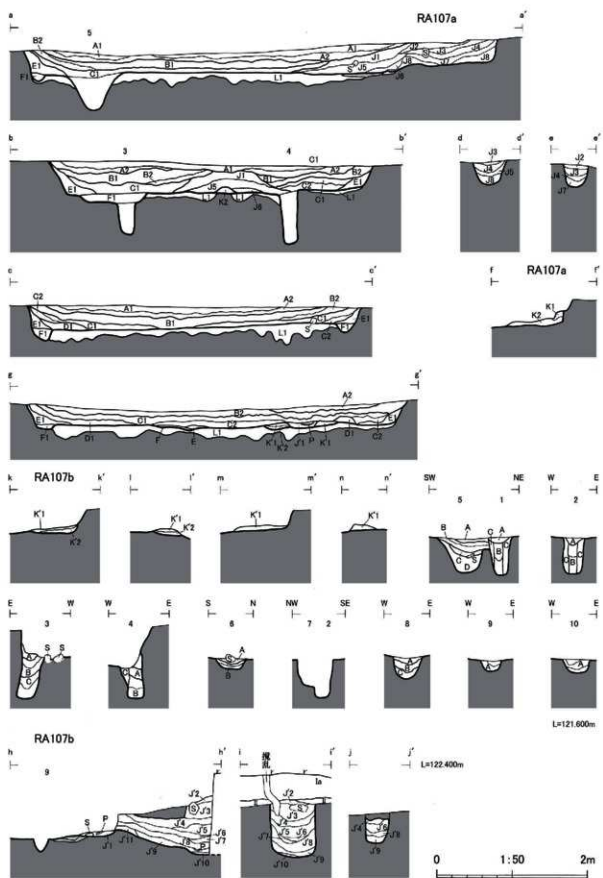
第6図 細谷地遺跡第28次I区・29次調査全体図



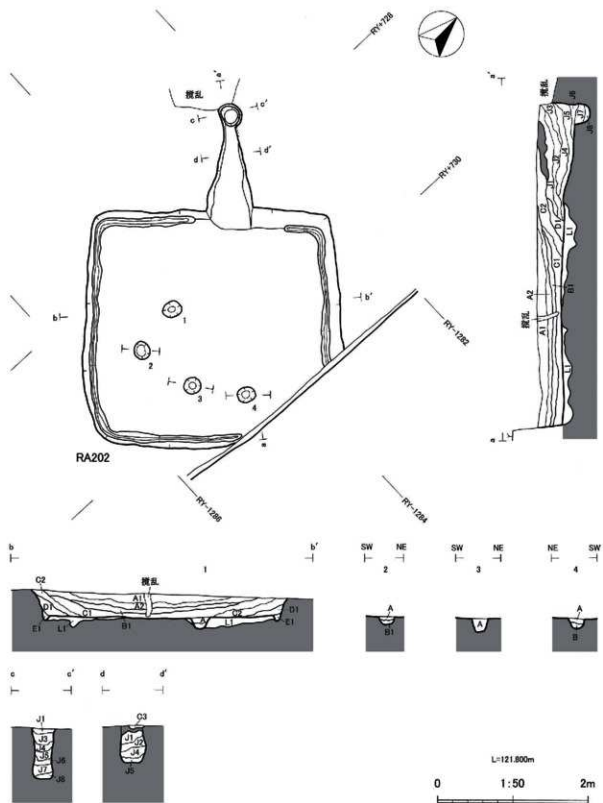
第7図 細谷地遺跡第28次調査1区全体図, ピット



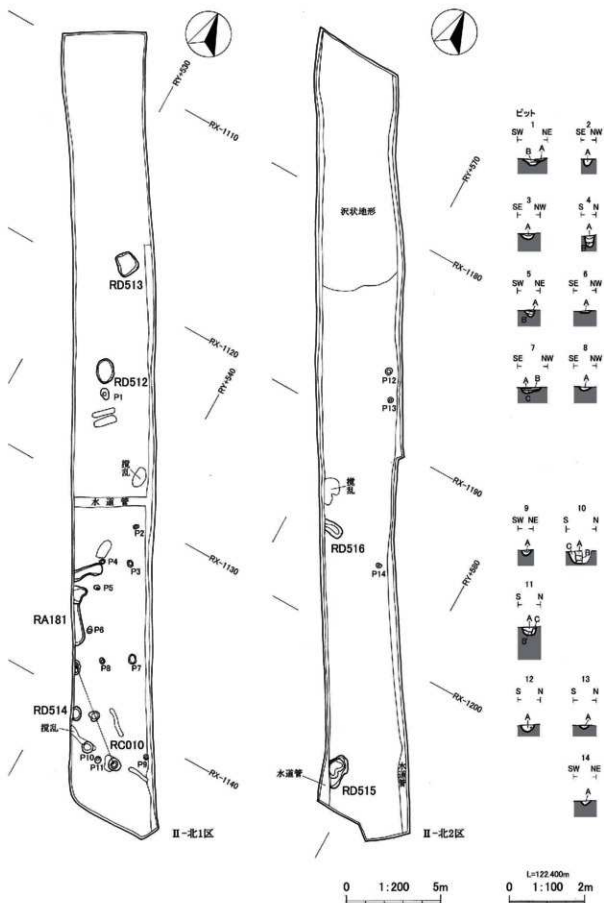
第8図 細谷地遺跡第28次調査I区RA107竪穴建物跡(1)



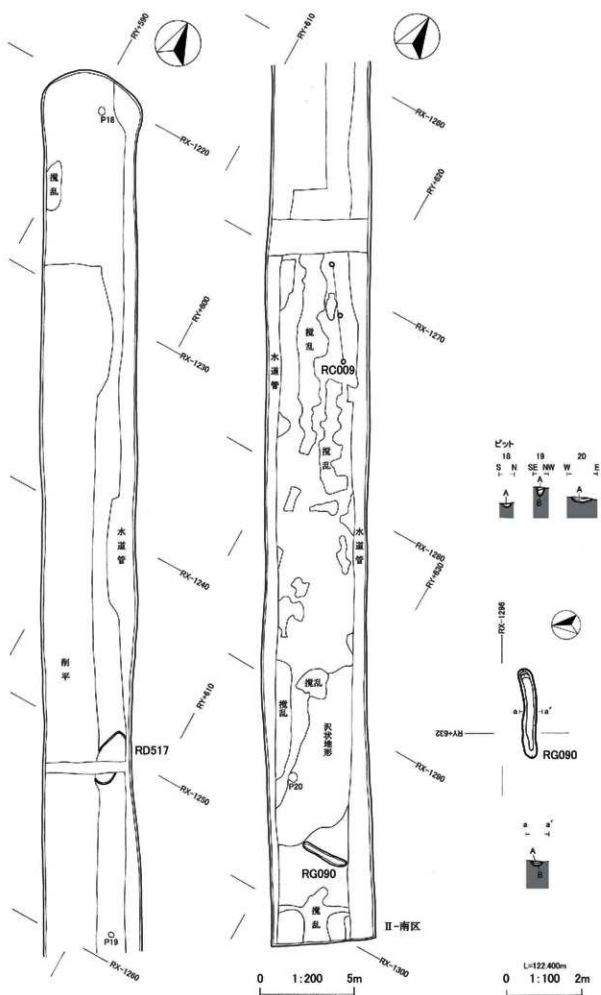
第9図 細谷地遺跡第28次調査I区RA107竪穴建物跡(2)



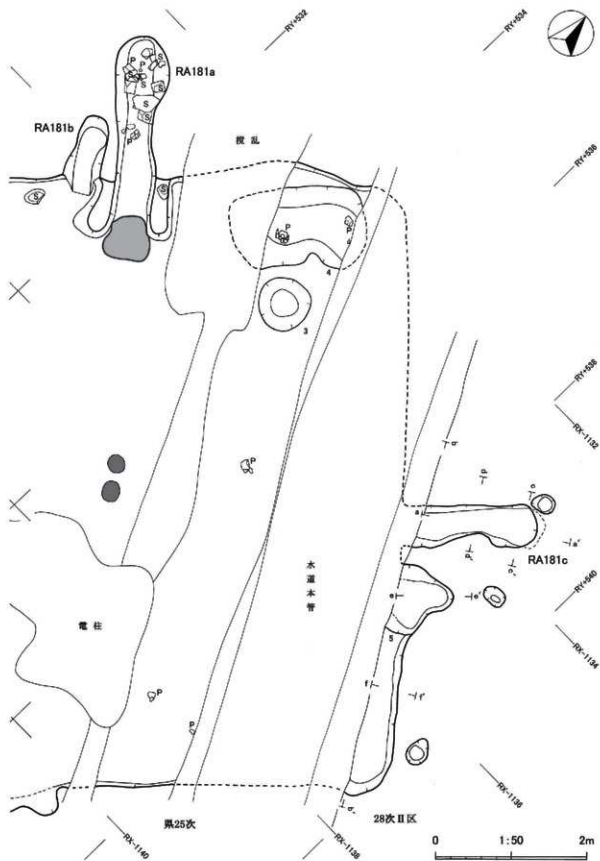
第10図 細谷地遺跡第28次調査I区RA202竪穴建物跡



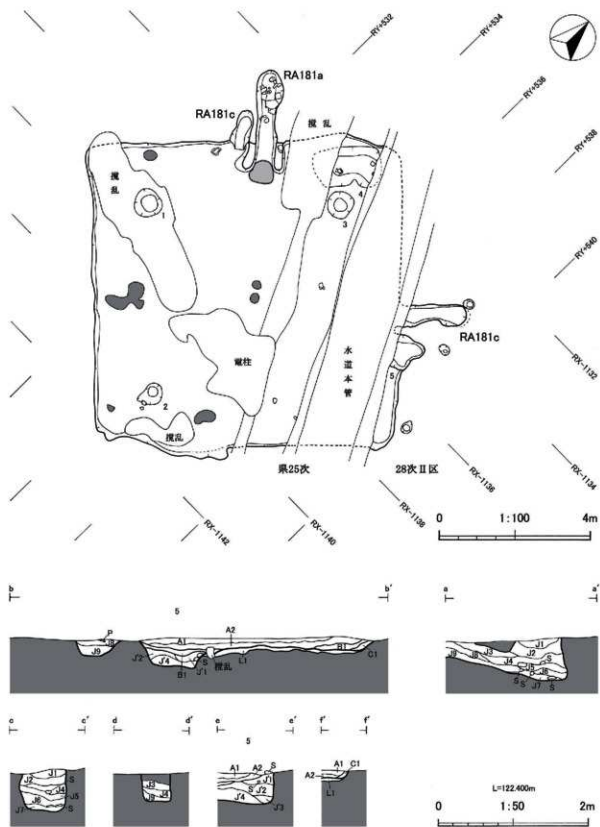
第11図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区北部全体図、ピット



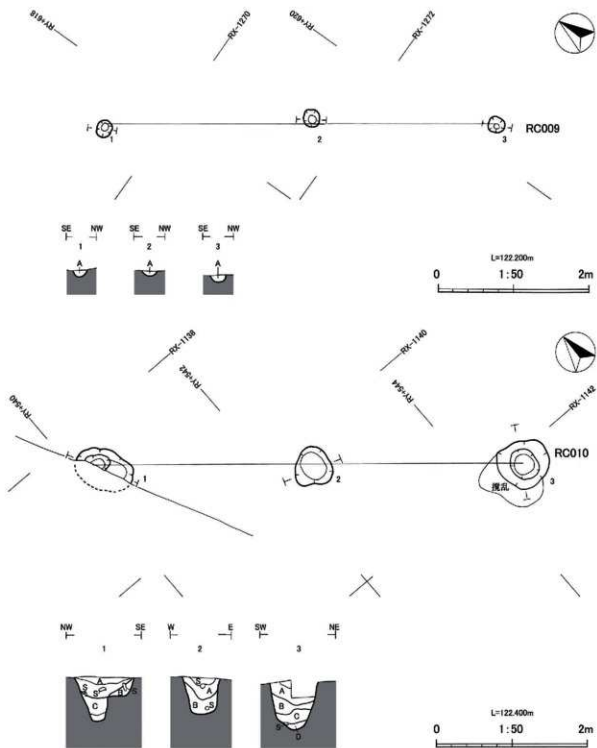
第12図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区南部全体図, RG090溝跡, ビット



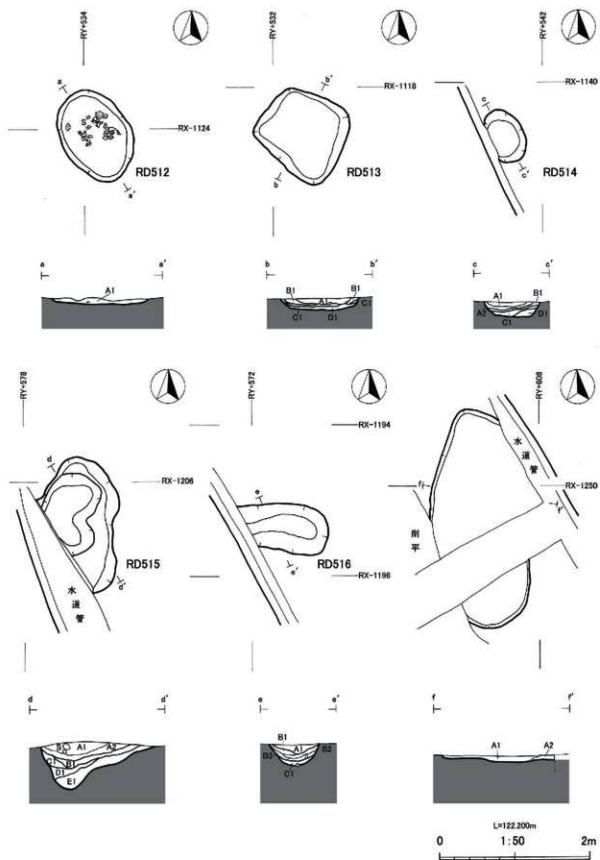
第13図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区RA181竪穴建物跡(1)



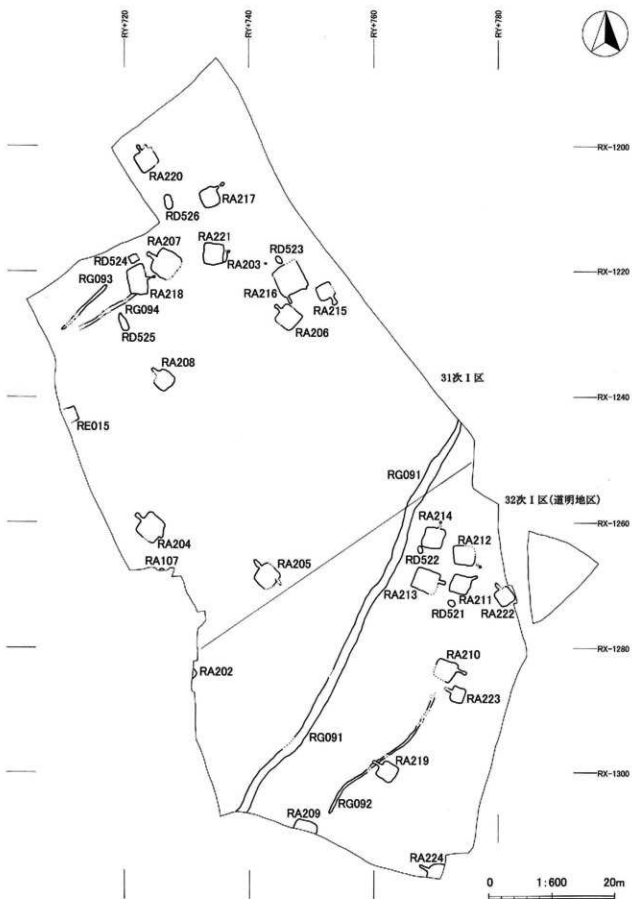
第14図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区RA181竪穴建物跡(2)



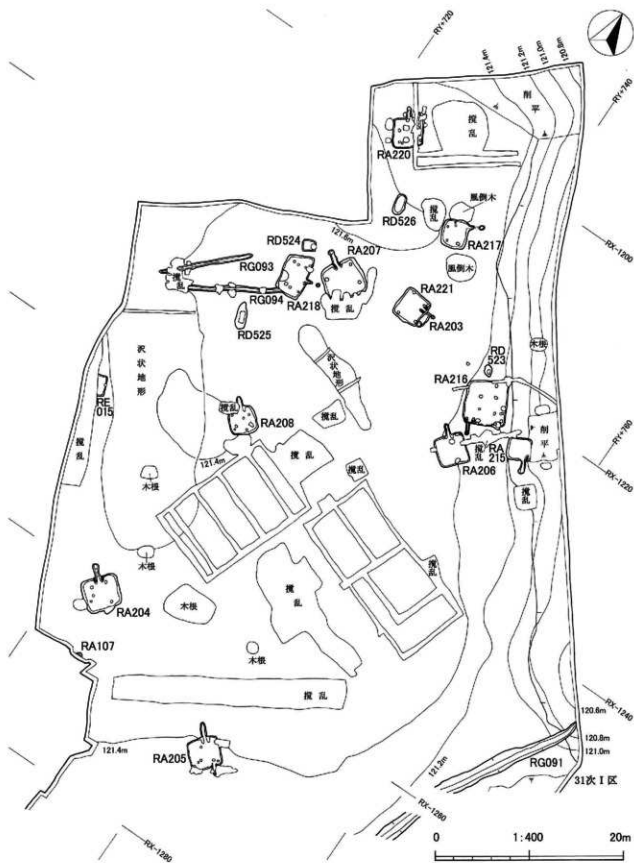
第15図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区RC009・010掘立柱列跡



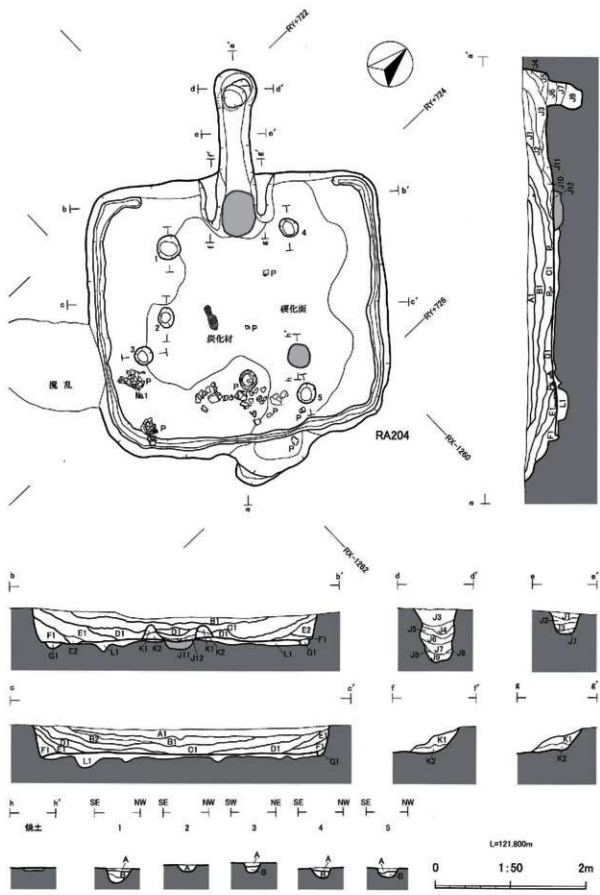
第16図 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区RD512~517土坑



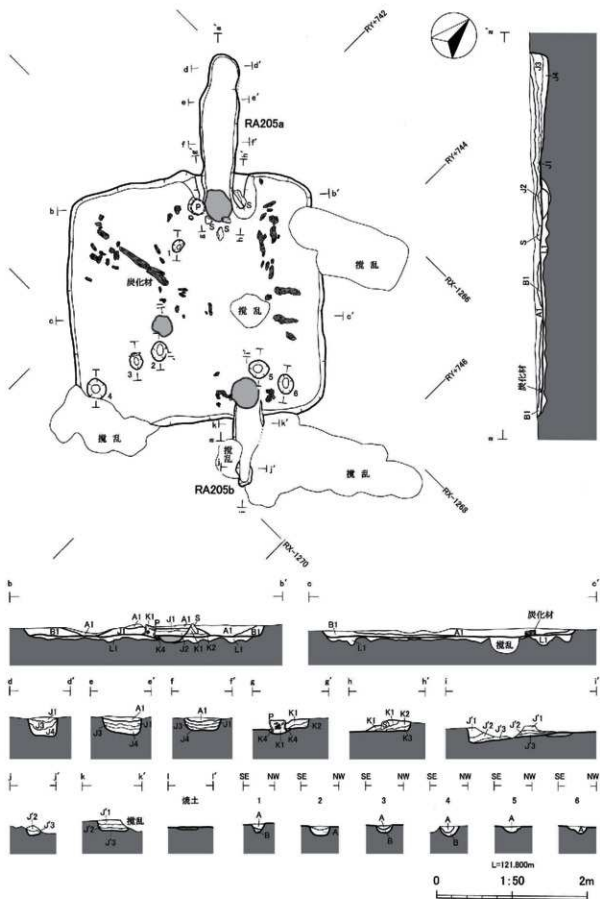
第17図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区・32次調査Ⅰ区全体図



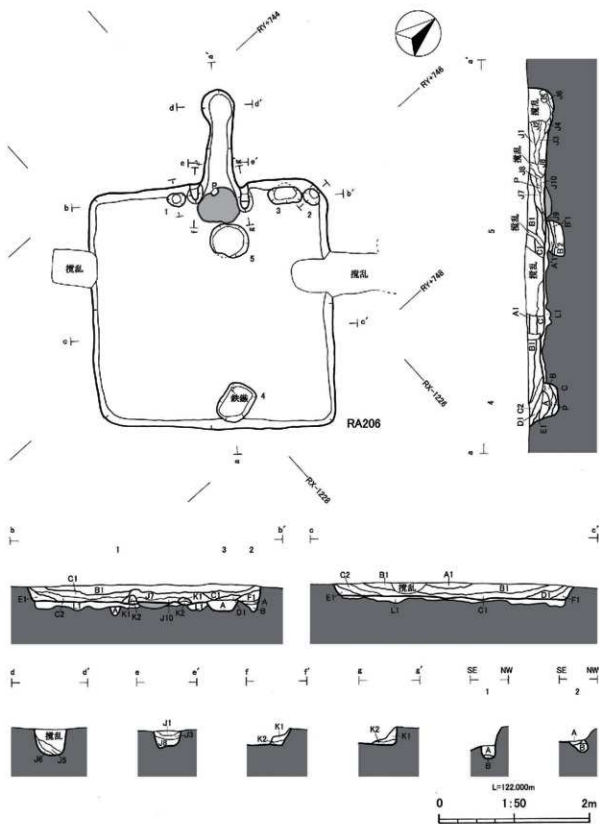
第18図 細谷地遺跡第31次調査I区全体図



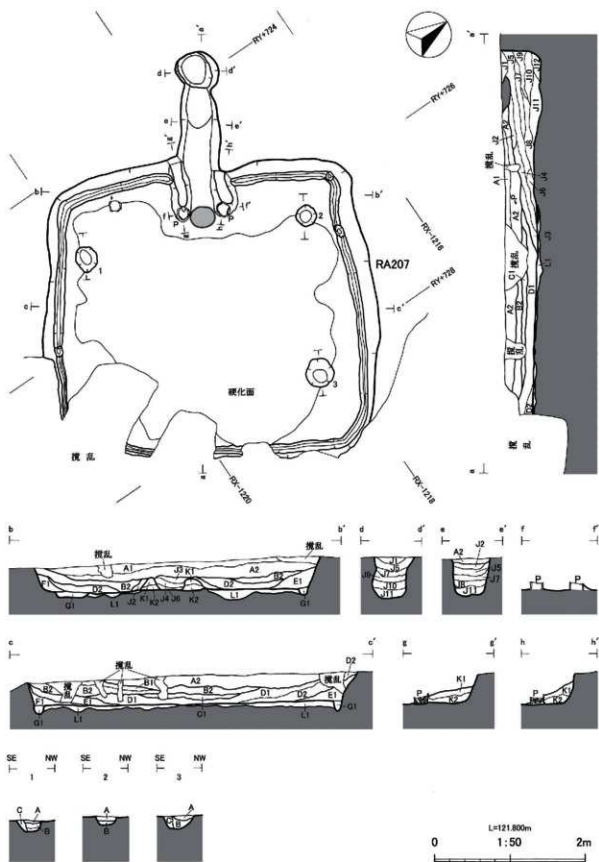
第19図 細谷地遺跡第31次調査I区RA204竪穴建物跡



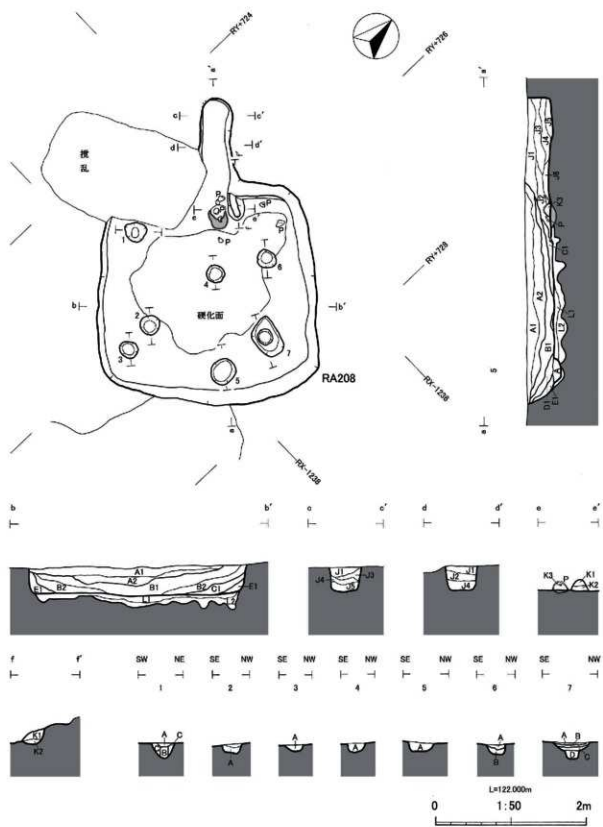
第20図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA205竪穴建物跡



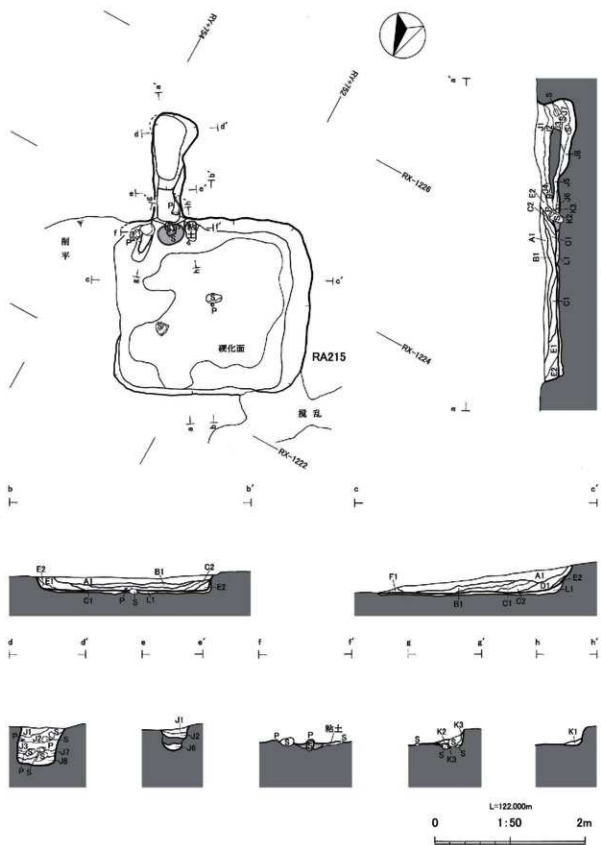
第21図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA206竪穴建物跡



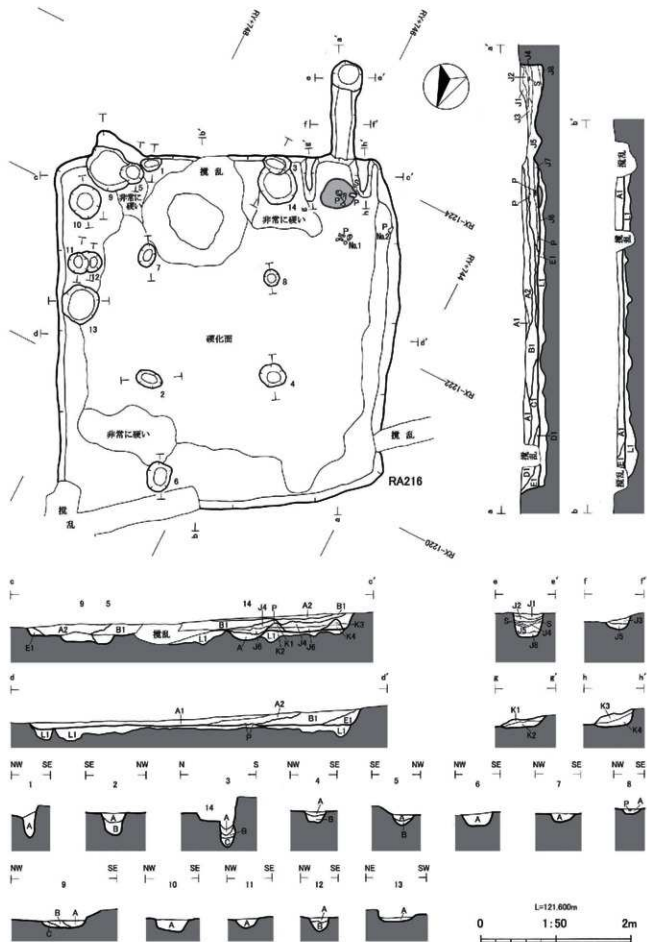
第22図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA207竪穴建物跡



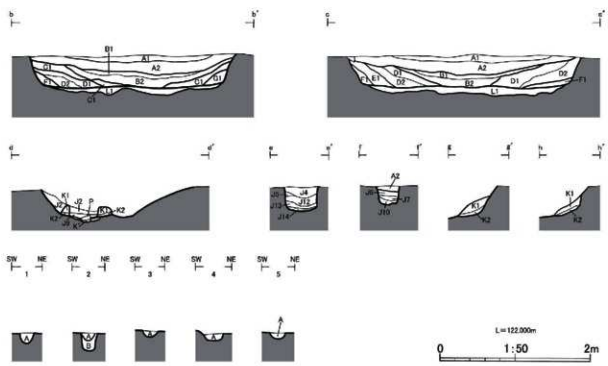
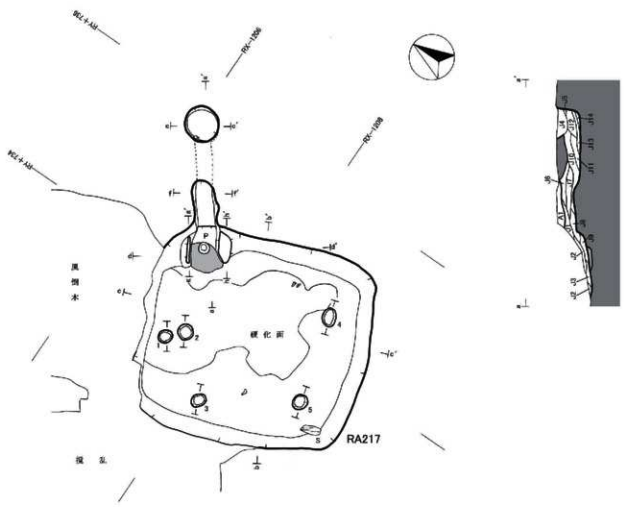
第23図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA208竪穴建物跡



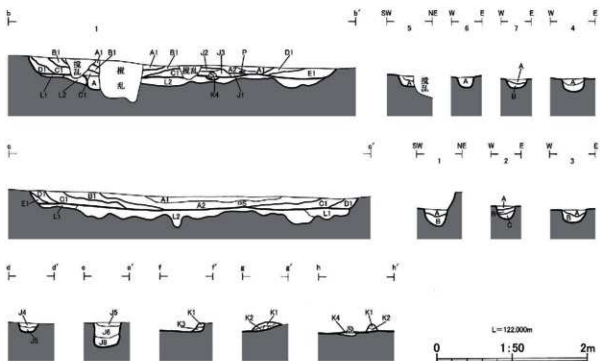
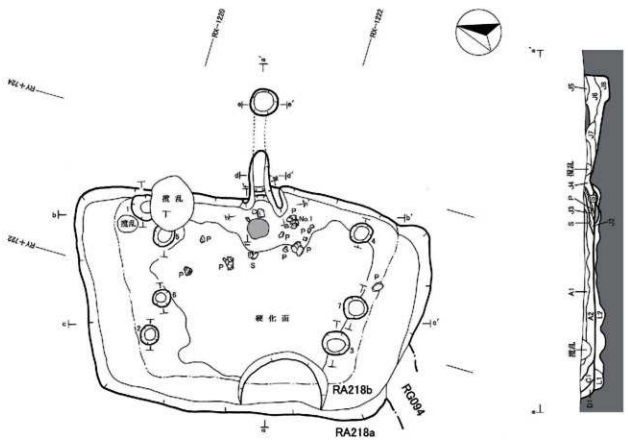
第24図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA215竪穴建物跡



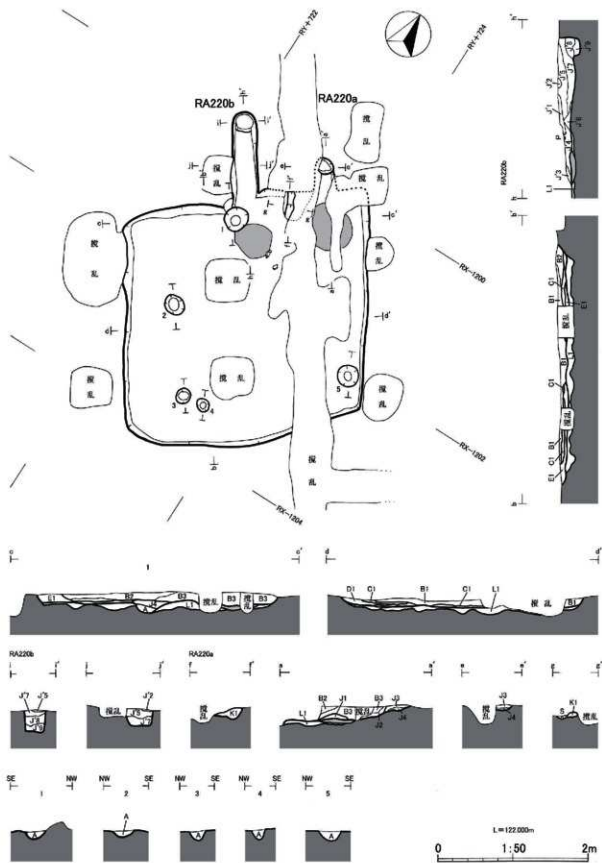
第25図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA216竪穴建物跡



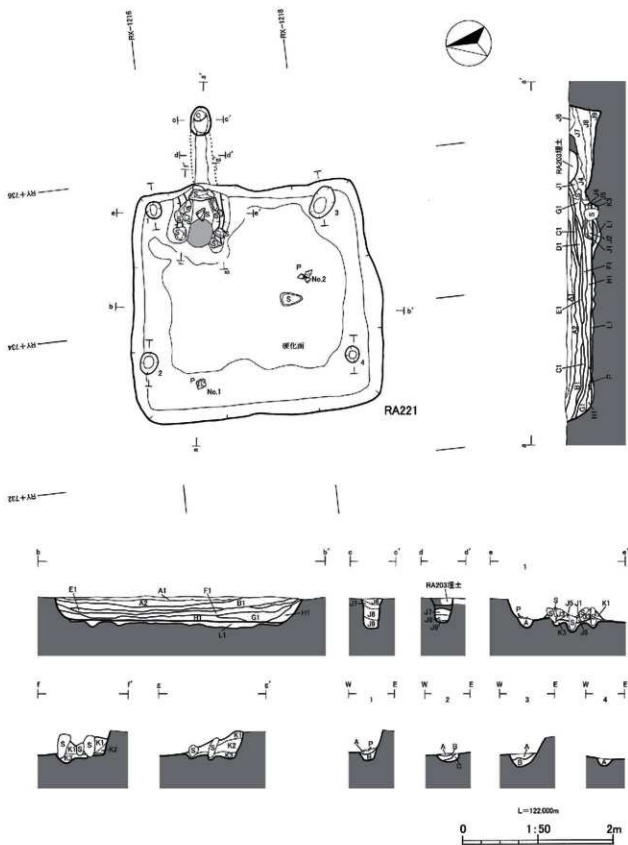
第26図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA217竪穴建物跡



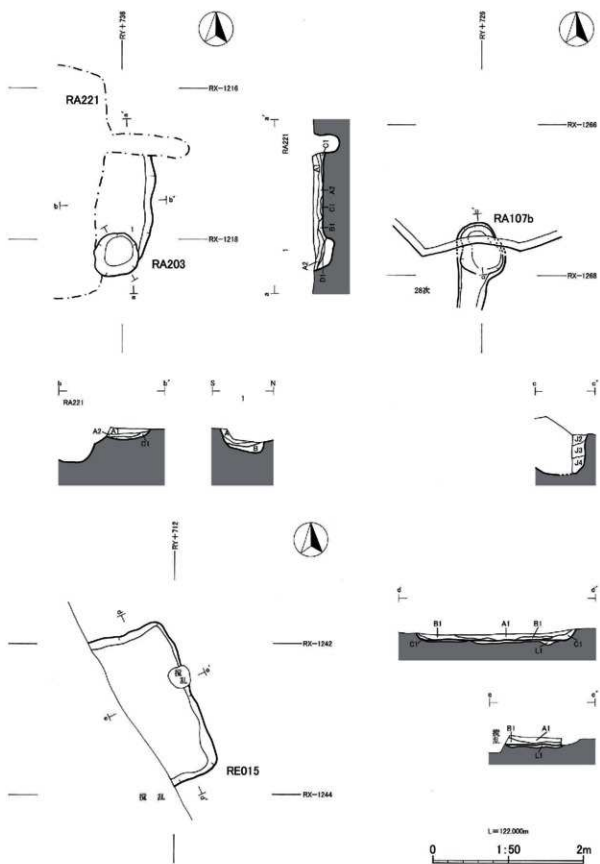
第27图 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA218竖穴建物跡



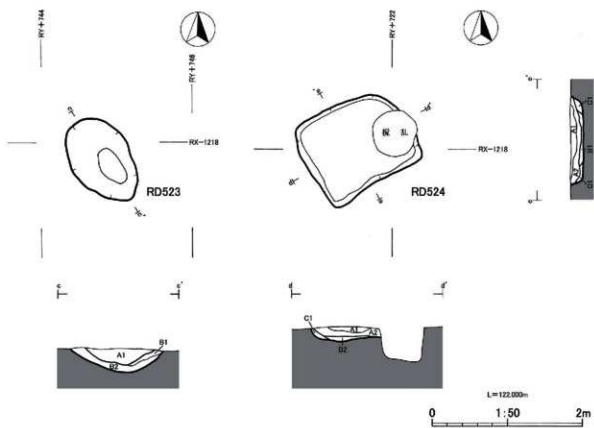
第28図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA220竪穴建物跡



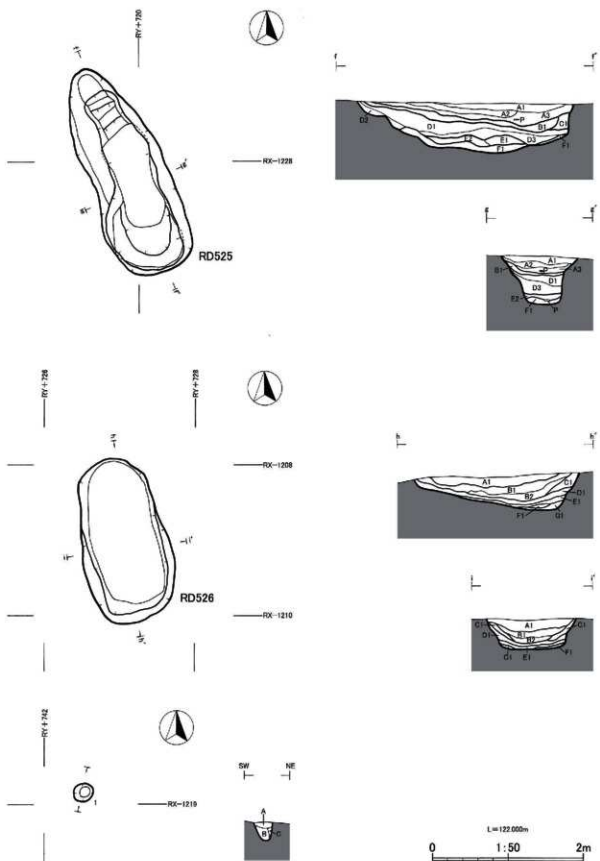
第29図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA221竪穴建物跡



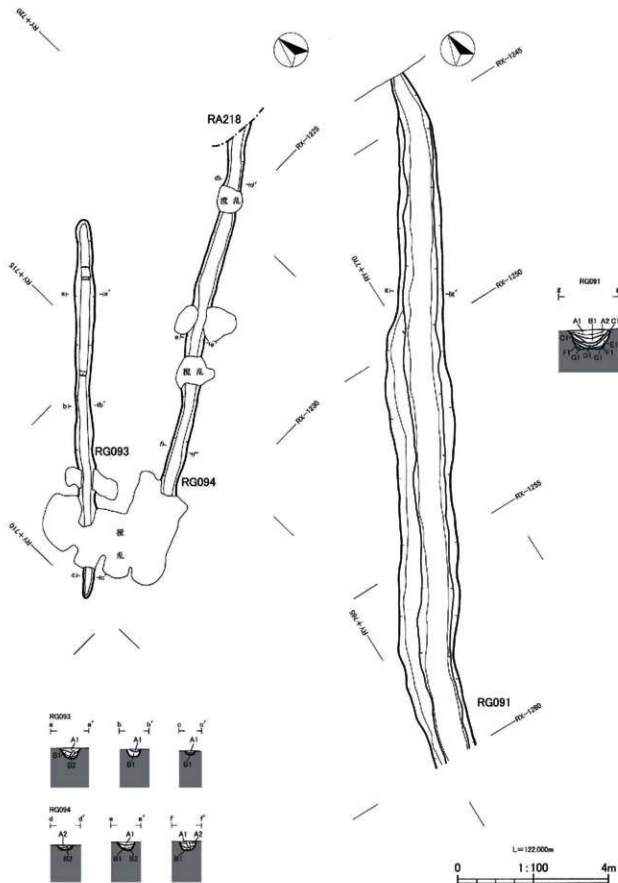
第30図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA203・107竖穴建物跡、RE015竖穴状遺構



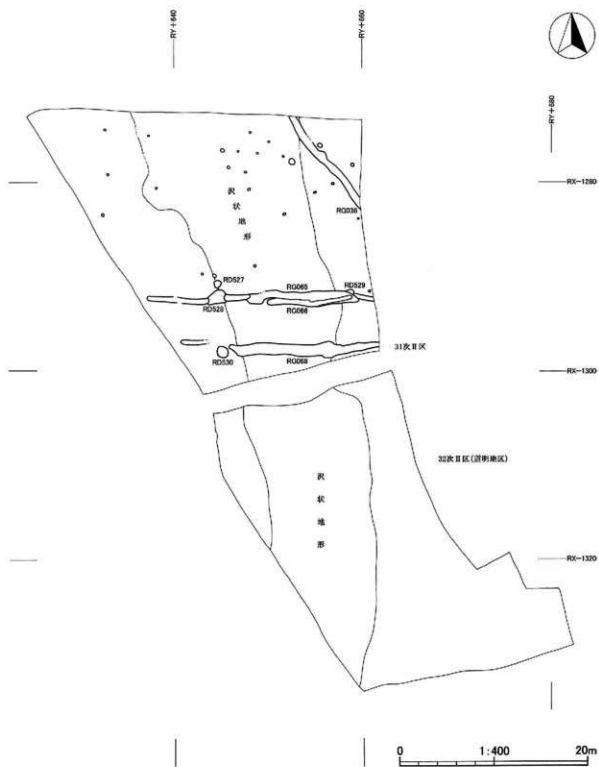
第31図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RD523・524土坑



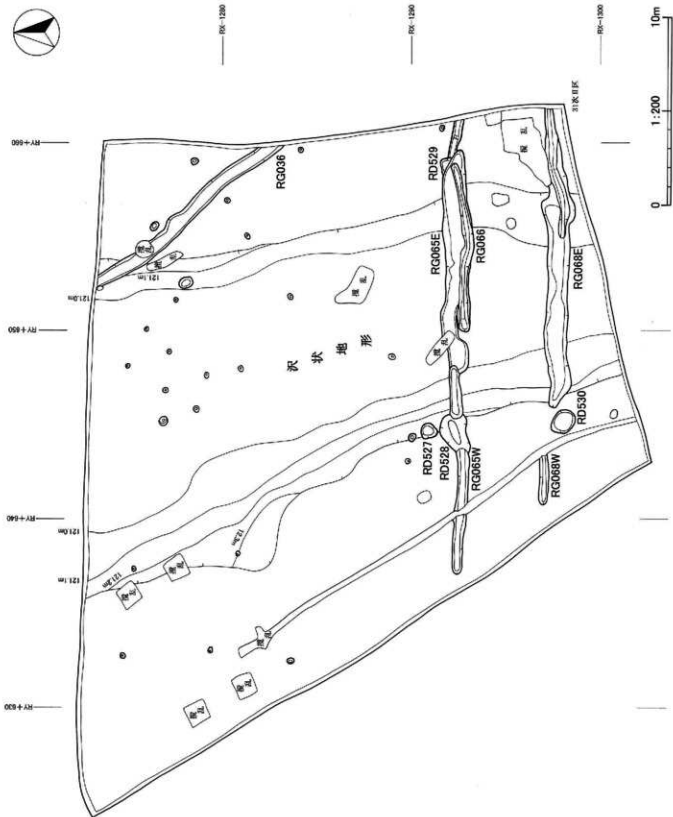
第32図 細谷地遺跡第31次調査I区RD525・526土坑墓、ピット



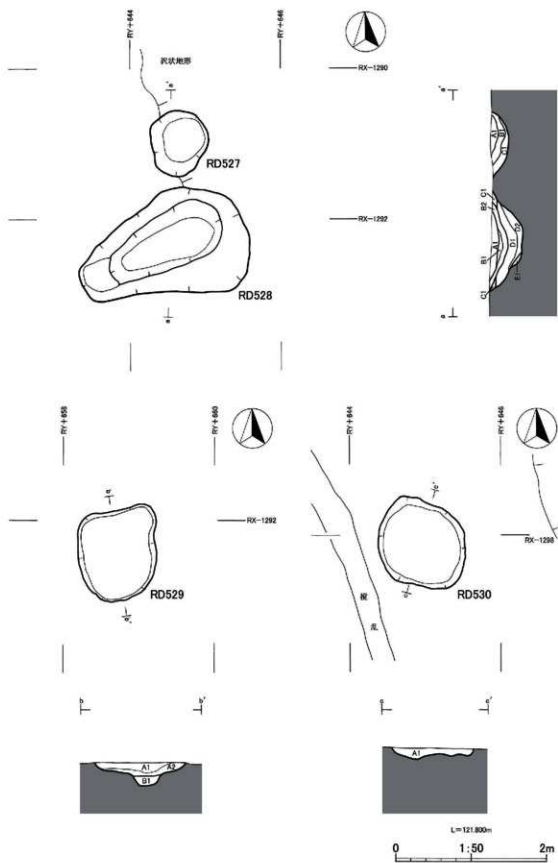
第33図 細谷地遺跡第31次調査 I 区RG091大溝跡, RG093・094溝跡



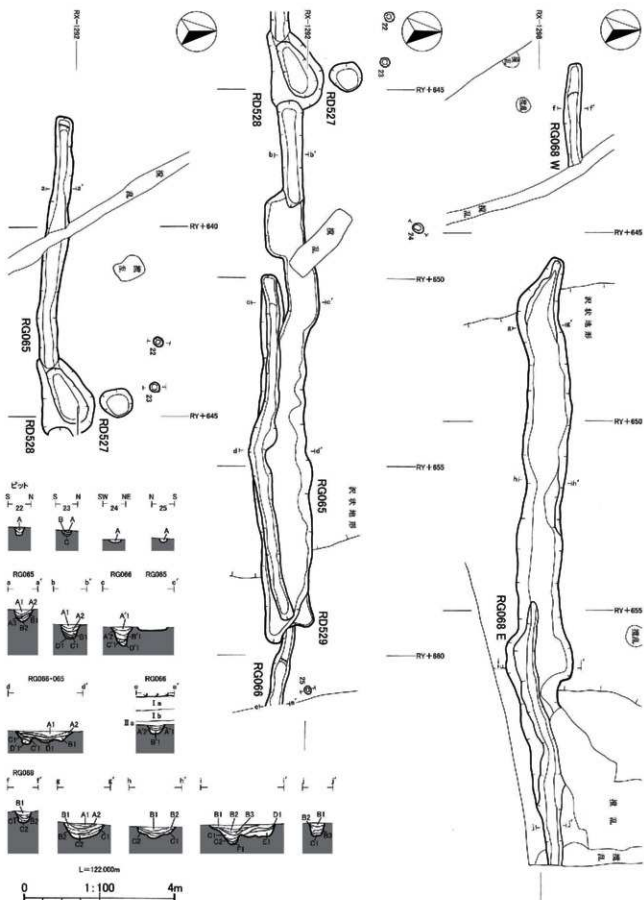
第34図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区・32次調査Ⅱ区全体図



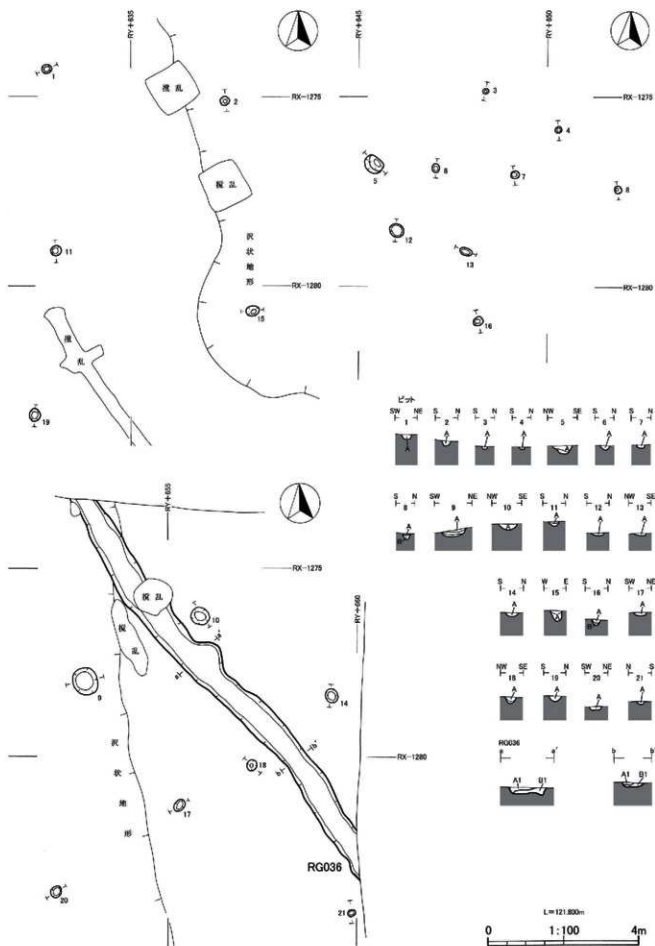
第35図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区全体図



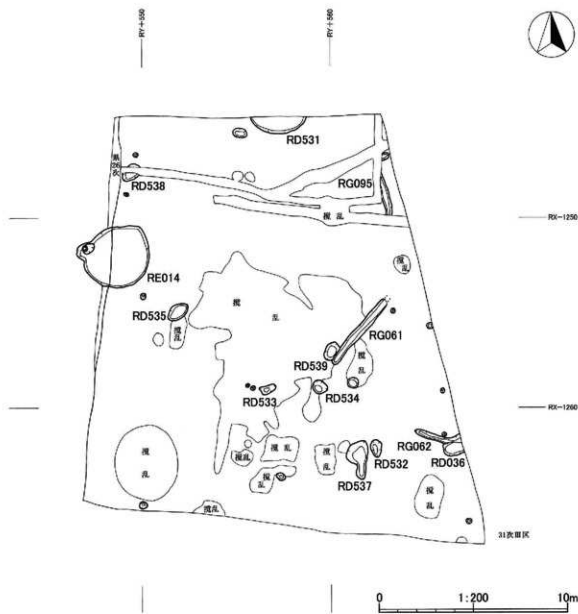
第36図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区RD527～530土坑



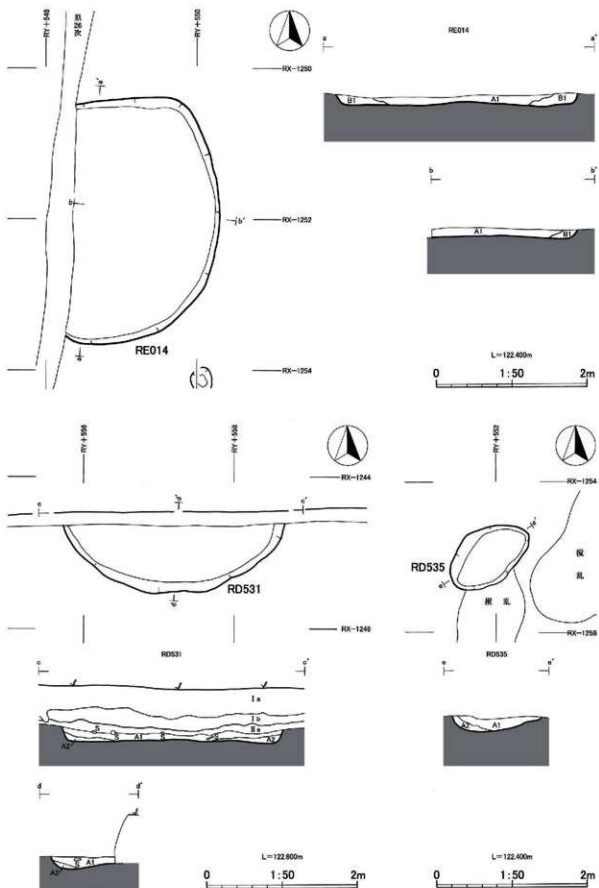
第37図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区RG065・066・068溝跡、ピット



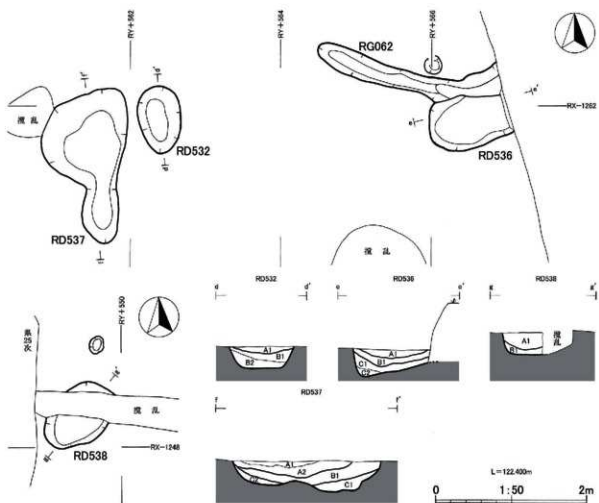
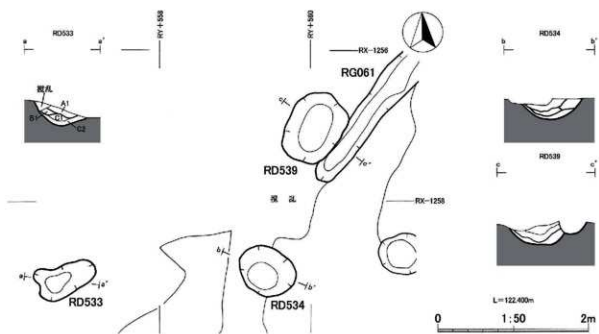
第38図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区RG036溝跡，ピット



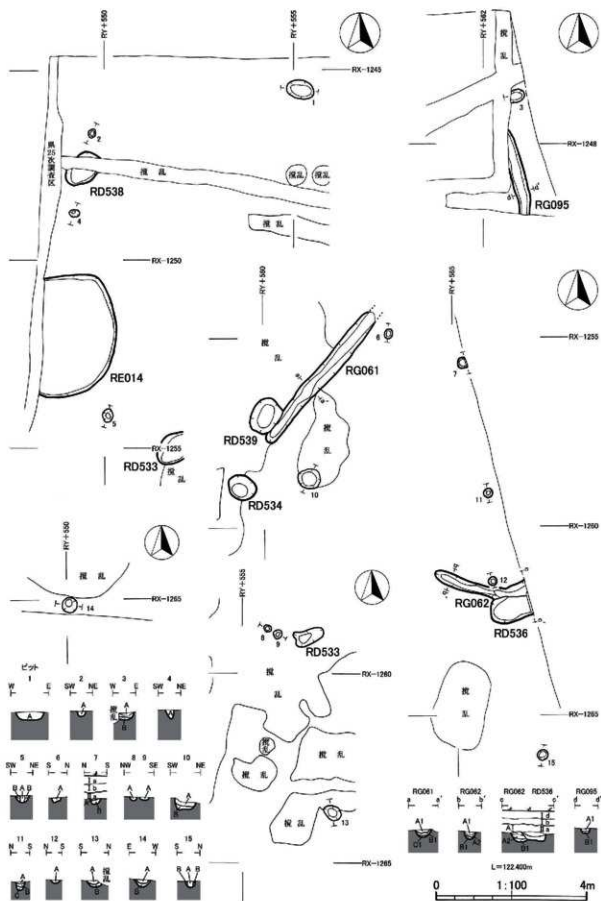
第39図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区全体図



第40図 細谷地遺跡第31次調査Ⅲ区RE014竪穴状遺構, RD531・535土坑

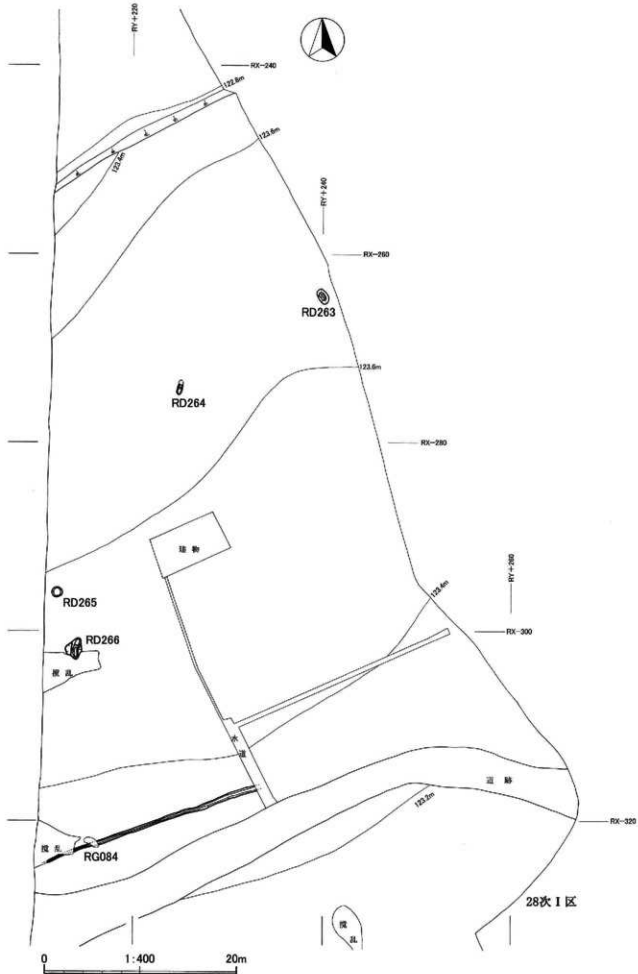


第41図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区RD532～534・536～539土坑

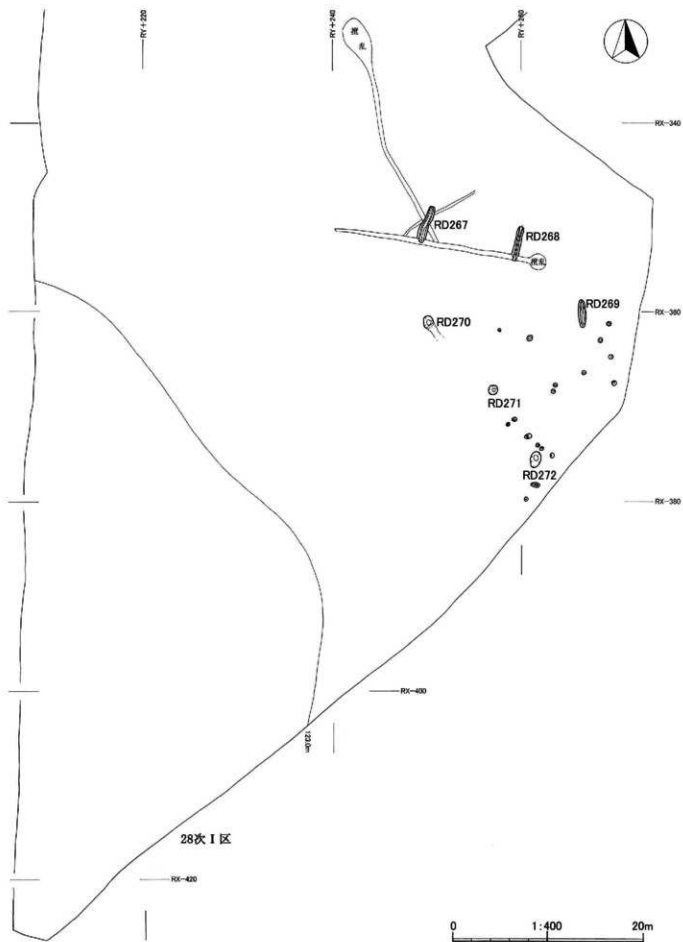




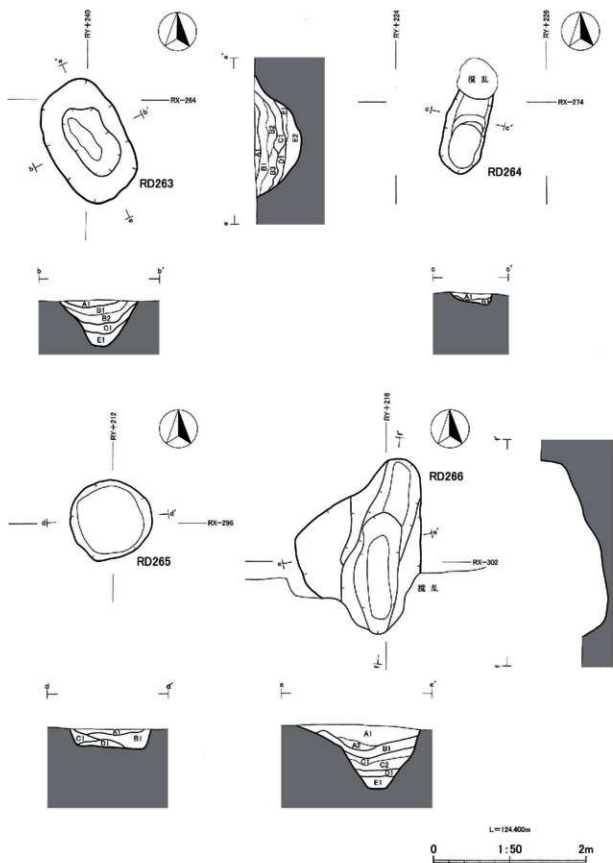
第43図 矢盛遺跡第28次調査全体図



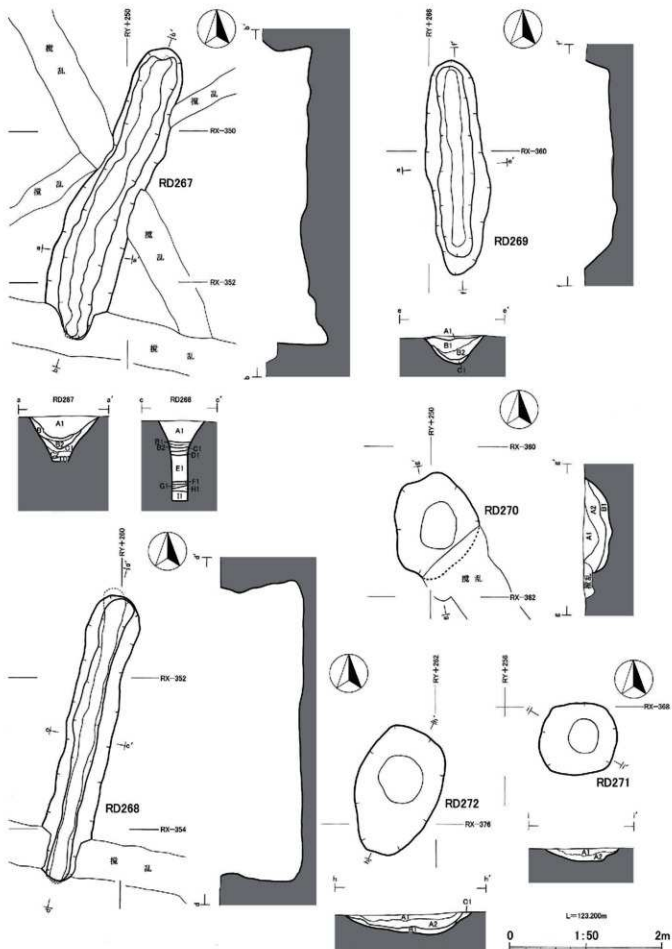
第44図 矢盛遺跡第28次調査I区北部全体図



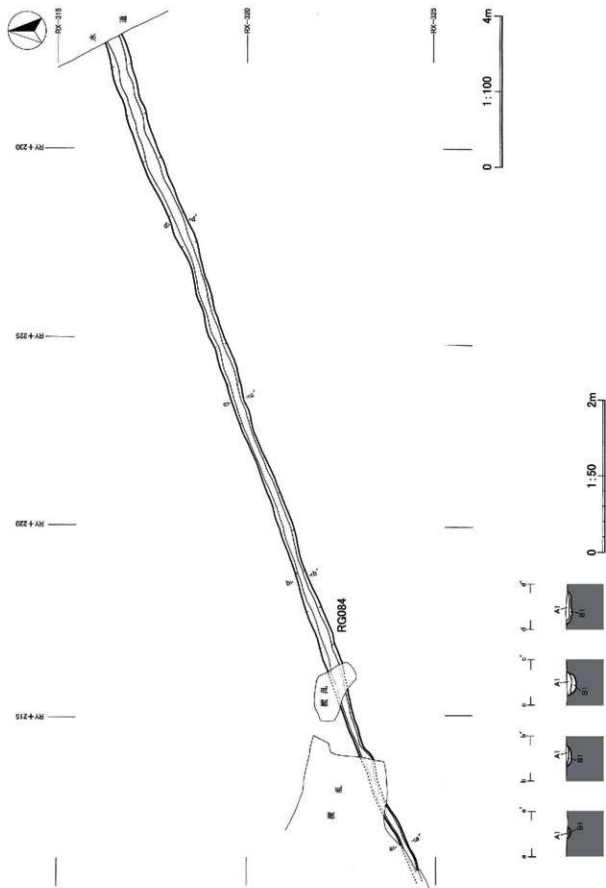
第45図 矢盛遺跡第28次調査I区南部全体図



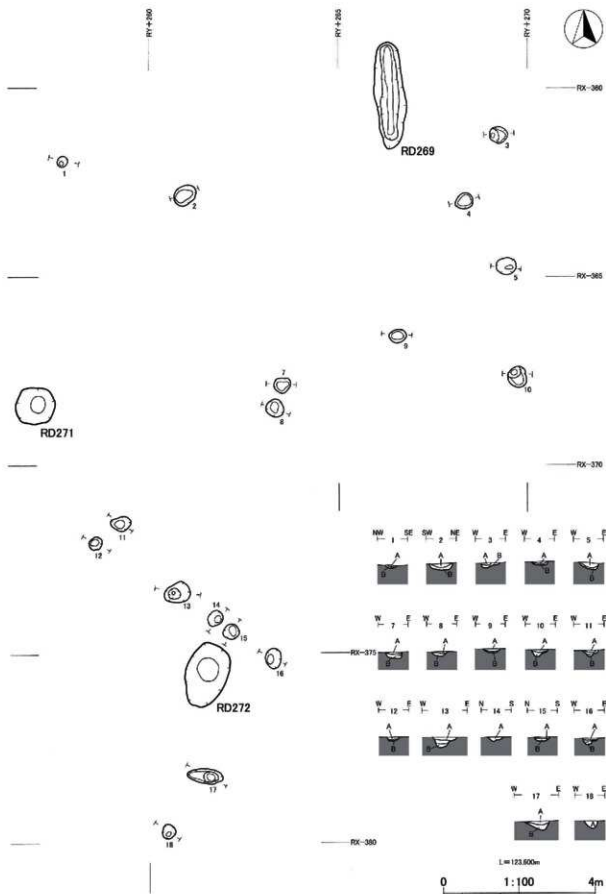
第46図 矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区RD263～266土坑



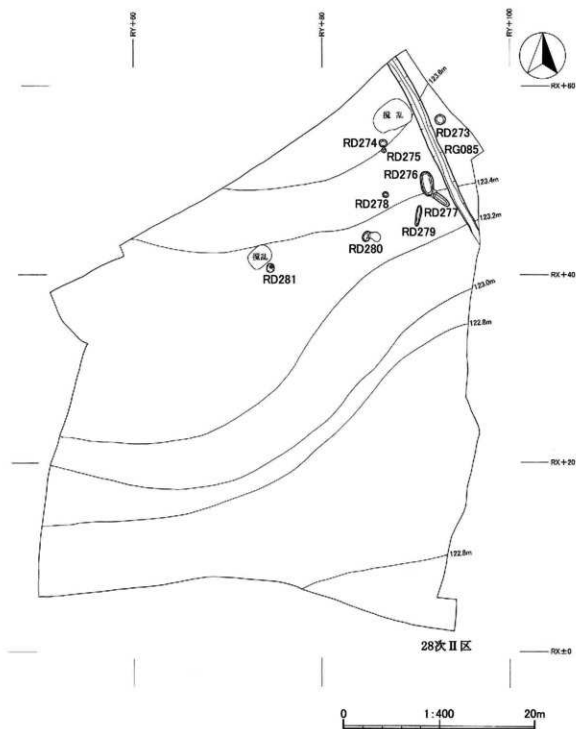
第47図 矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区RD267～269陥し穴, RD270～272土坑



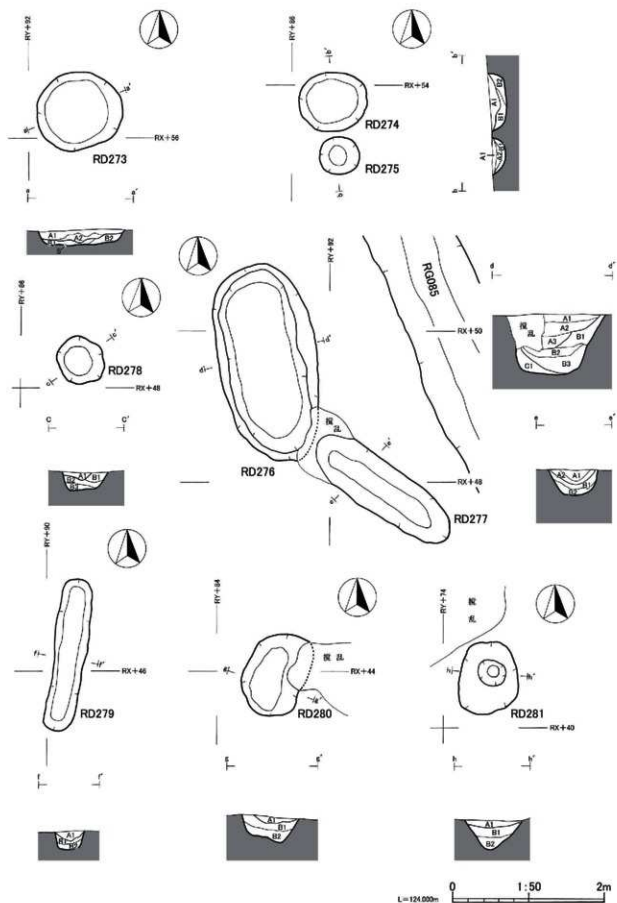
第48図 矢盛遺跡第28次調査Ⅰ区RG084溝跡



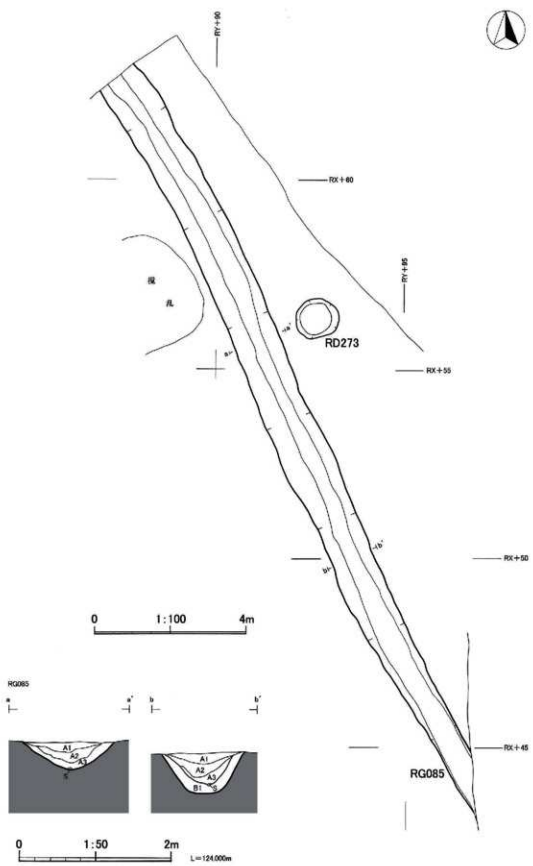
第49図 矢盛遺跡第28次調査I区ビット



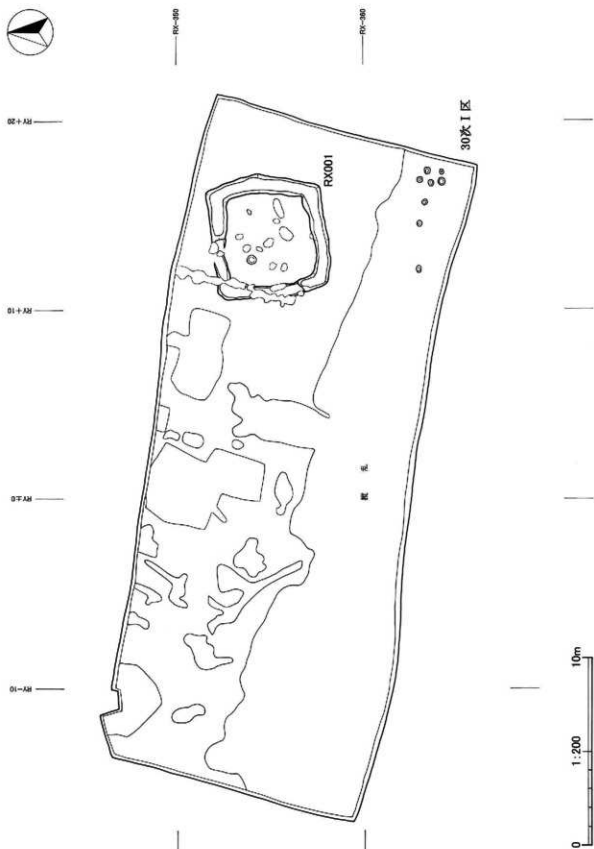
第50図 矢盛遺跡第28次調査Ⅱ区全体図



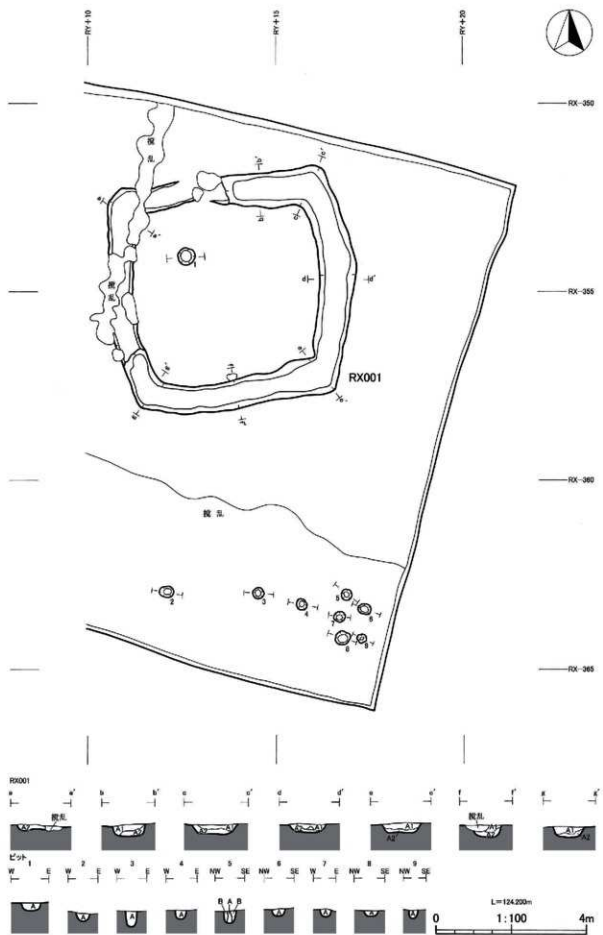
第51図 矢盛遺跡第28次調査Ⅱ区RD273~281土坑



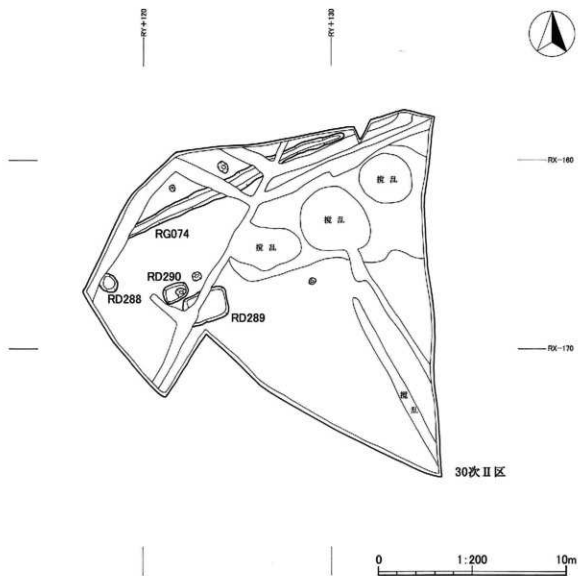
第52図 矢盛道跡第28次調査Ⅱ区RG085大溝跡



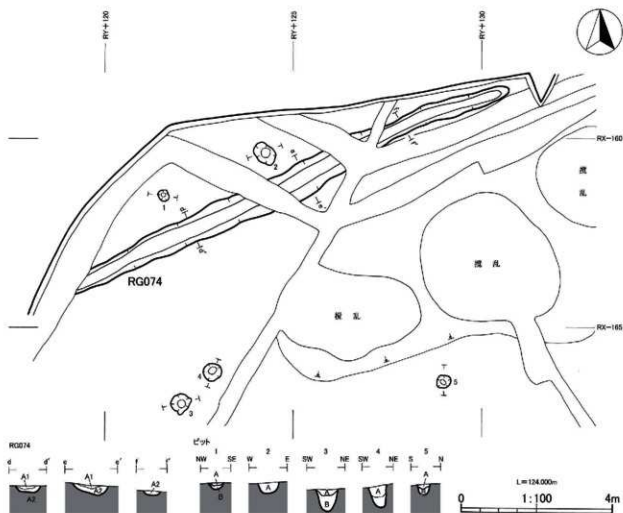
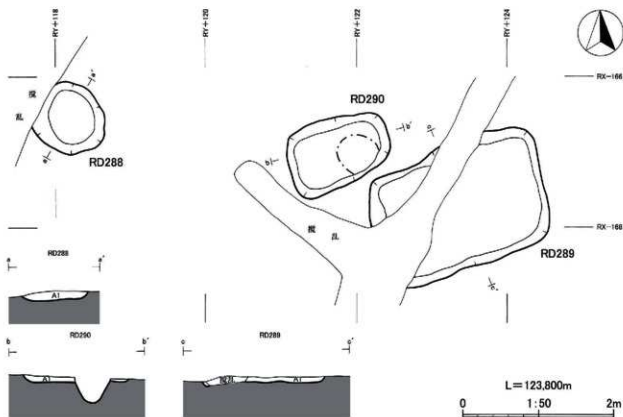
第53図 矢盛遺跡第30次調査I区全体図



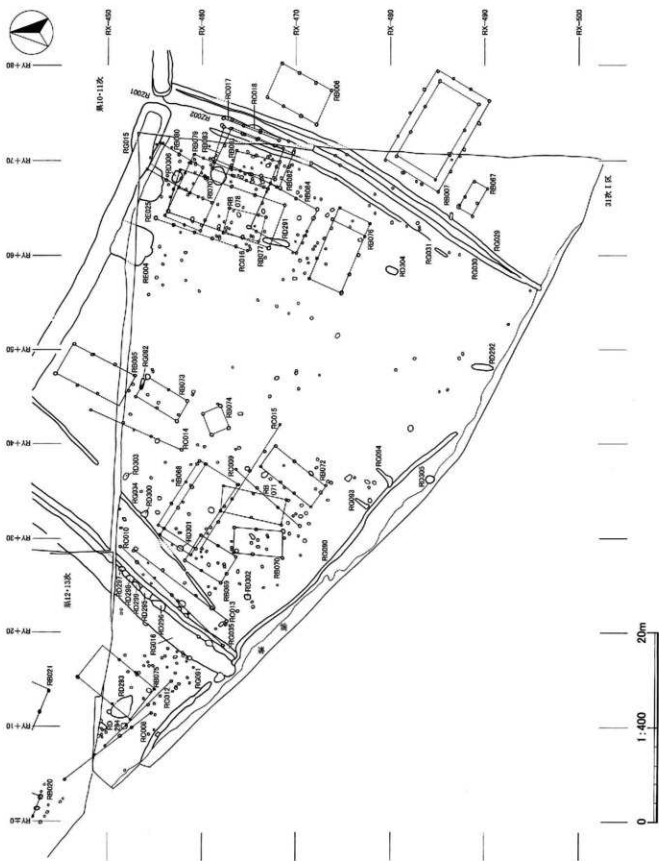
第54図 矢盛遺跡第30次調査I区RX001方形周溝、ピット



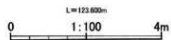
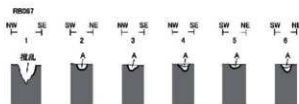
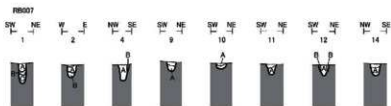
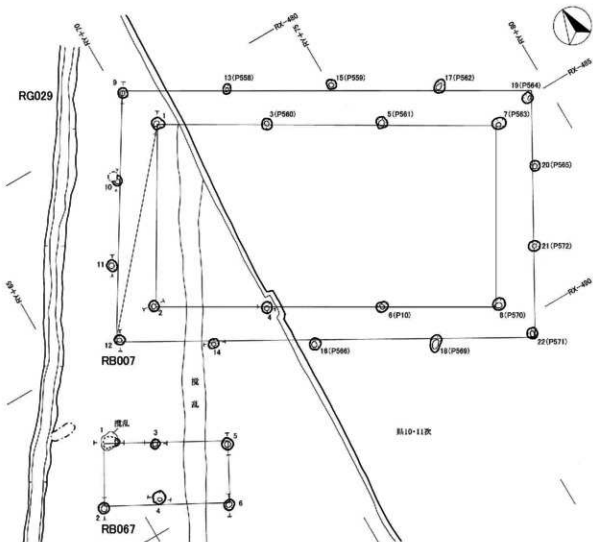
第55図 矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区全体図



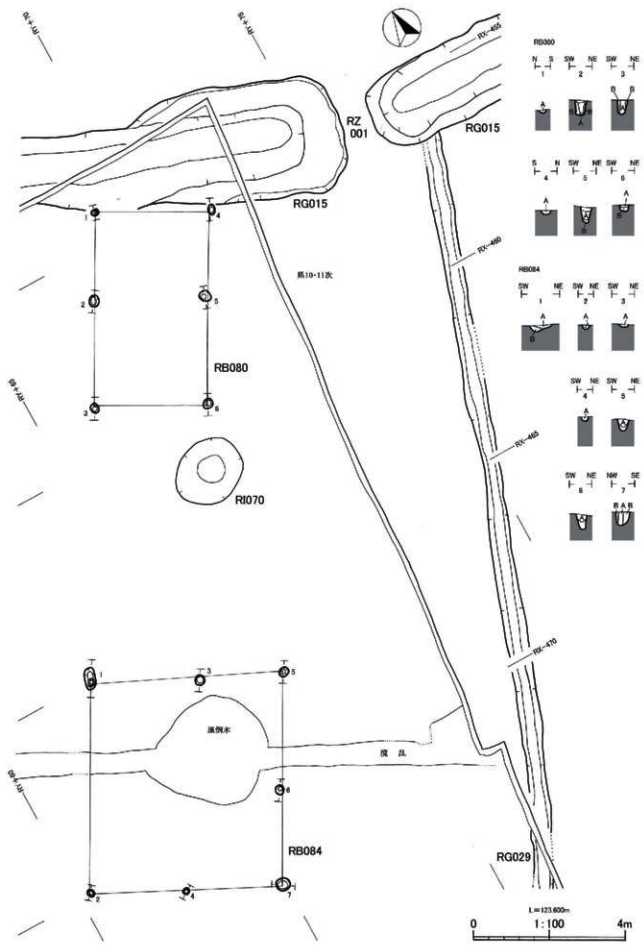
第56図 矢盛遺跡第30次調査Ⅱ区RD288~290土坑, RG074溝跡, ピット



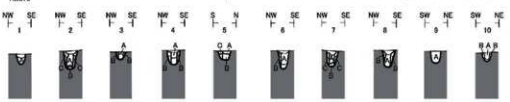
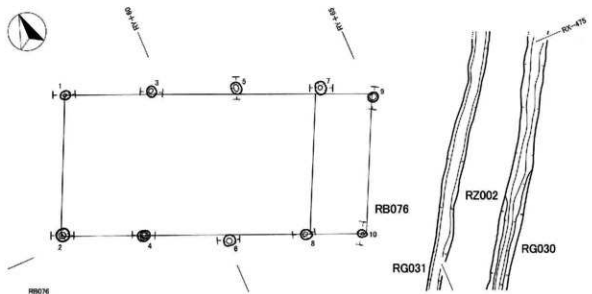
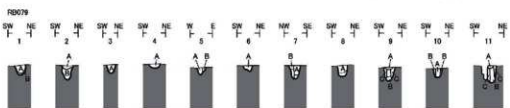
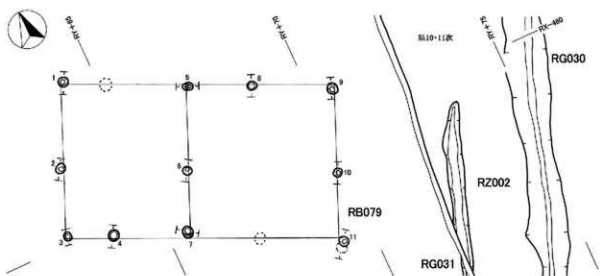
第57図 矢盛遺跡第31次調査I区全体図



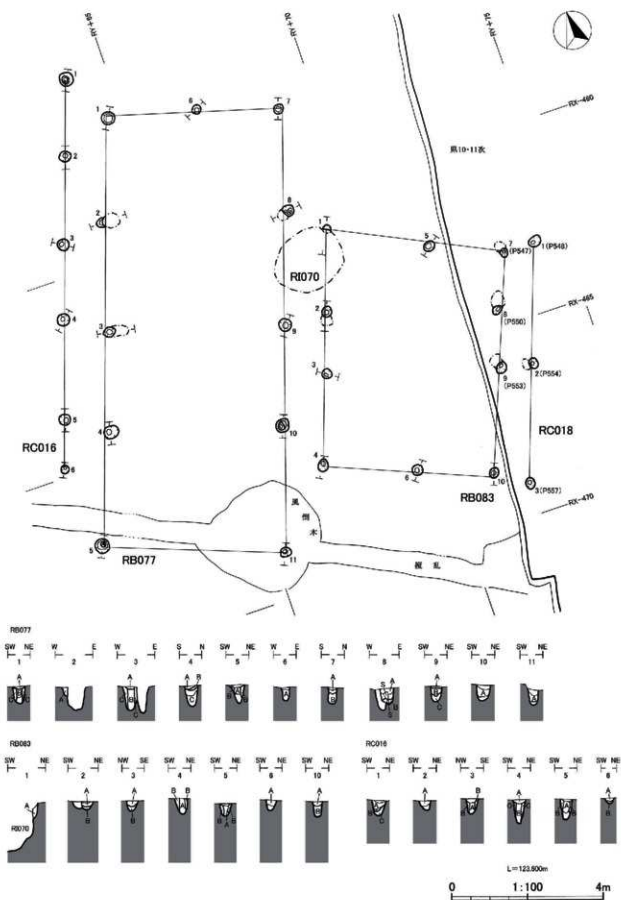
第58図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB007・067掘立柱建物跡



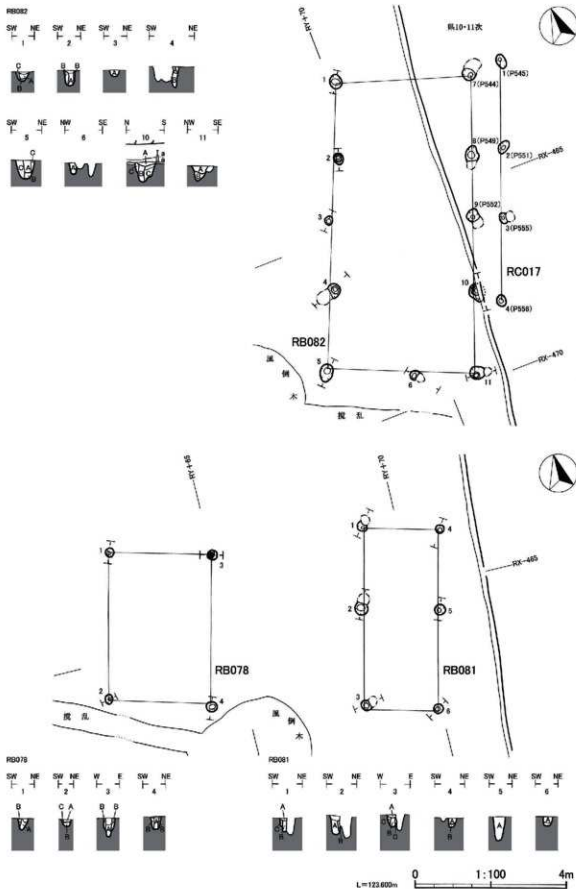
第59図 矢遺跡第31次調査I区RB080・084掘立柱建物跡

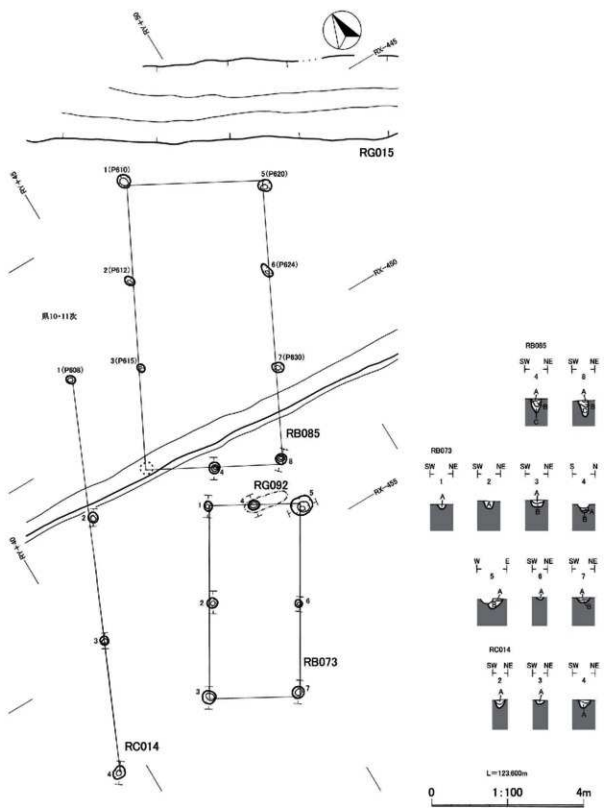


第60図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB076・079掘立柱建物跡

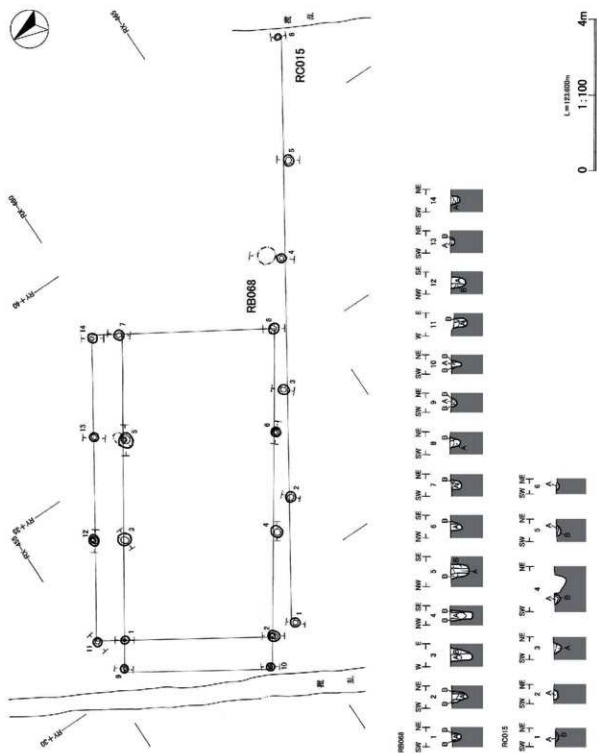


第61図 矢盛遺跡第31次調査 I 区 RB077・083掘立柱建物跡, RC016・018掘立柱列跡

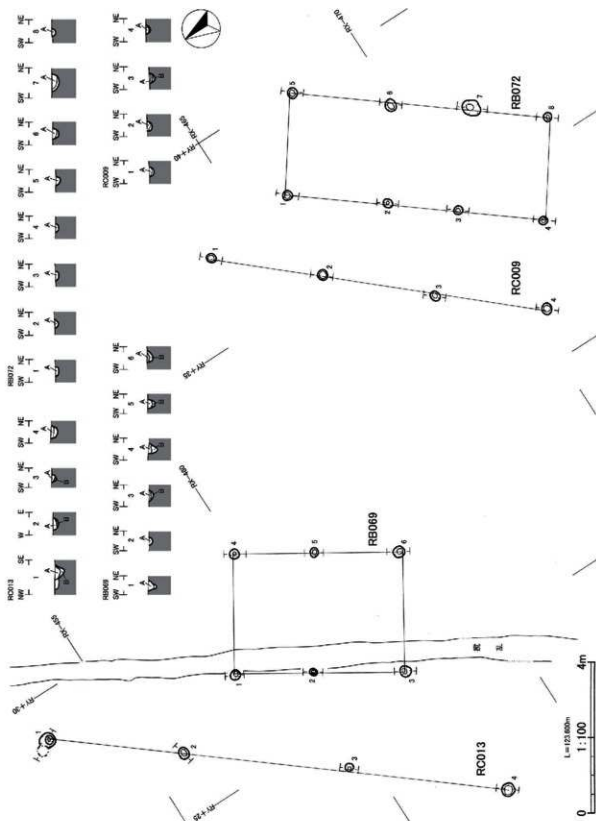




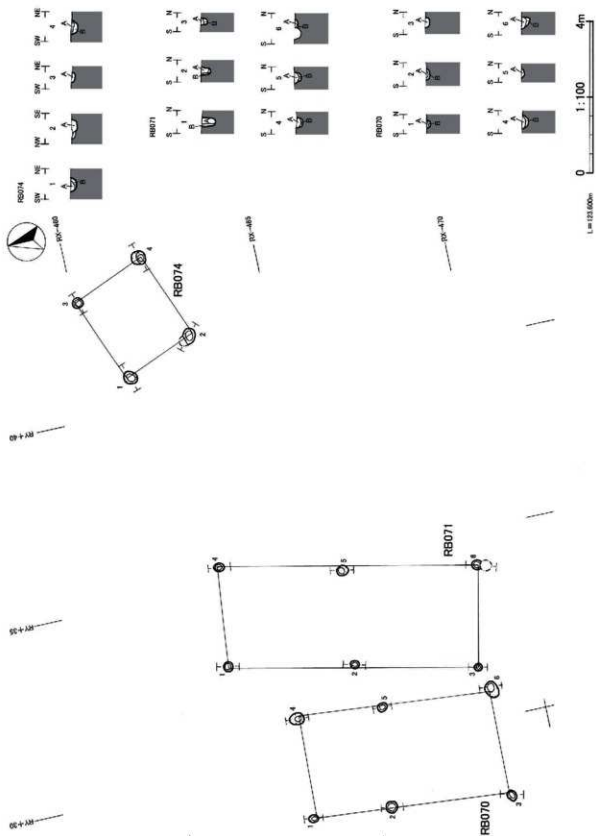
第63図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB073・085掘立柱建物跡、RC014掘立柱列跡



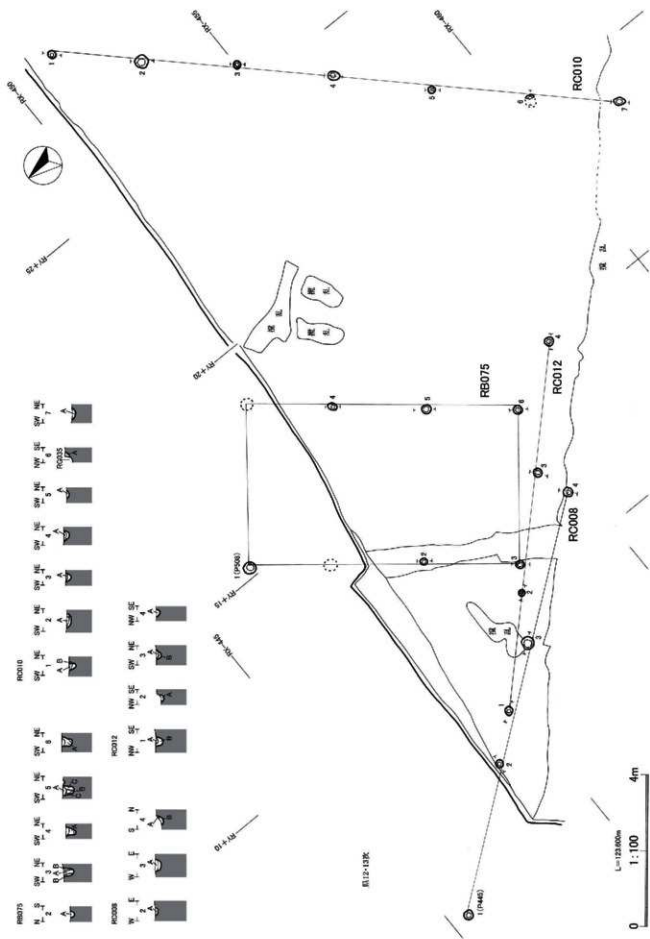
第64図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB068掘立柱建物跡，RC015掘立柱列跡



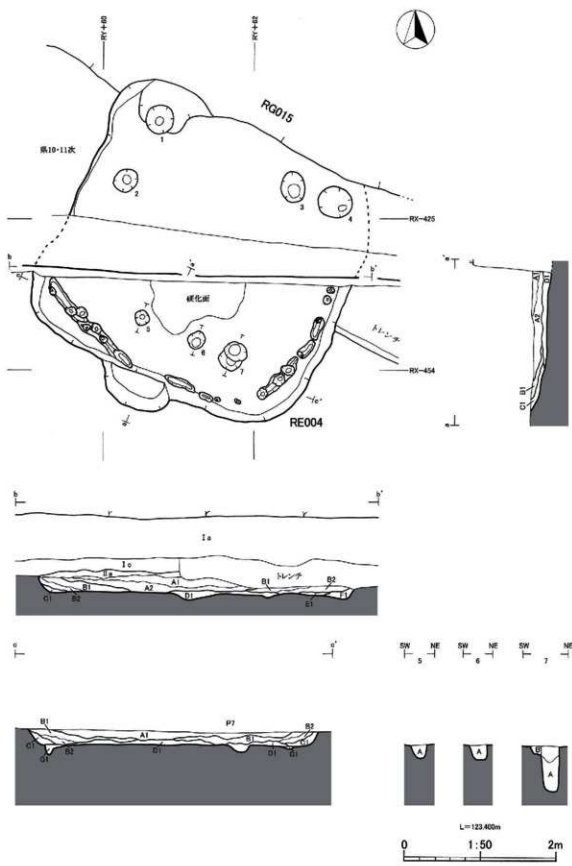
第65図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB069・072掘立柱建物跡，RC009・013掘立柱列跡



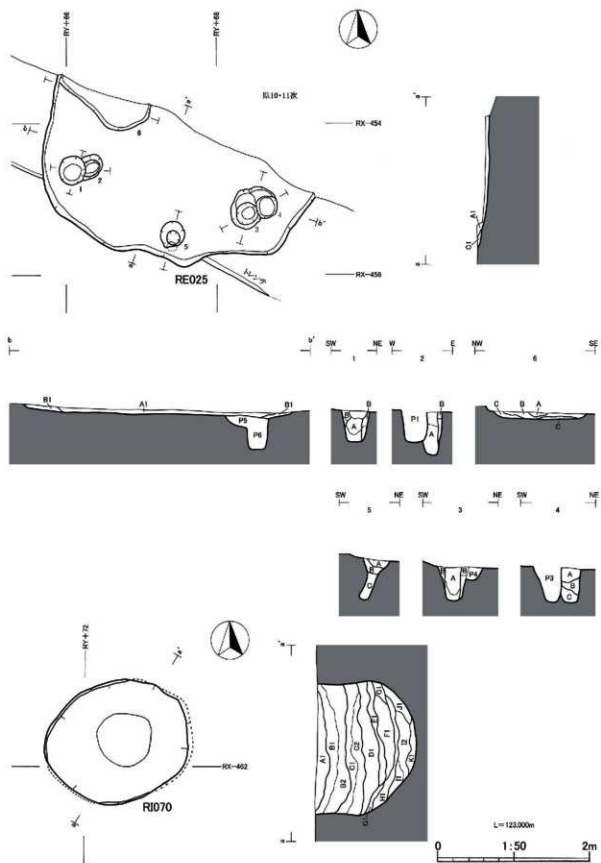
第66图 矢盛道跡第31次調査I区RB070・071・074掘立柱建物跡



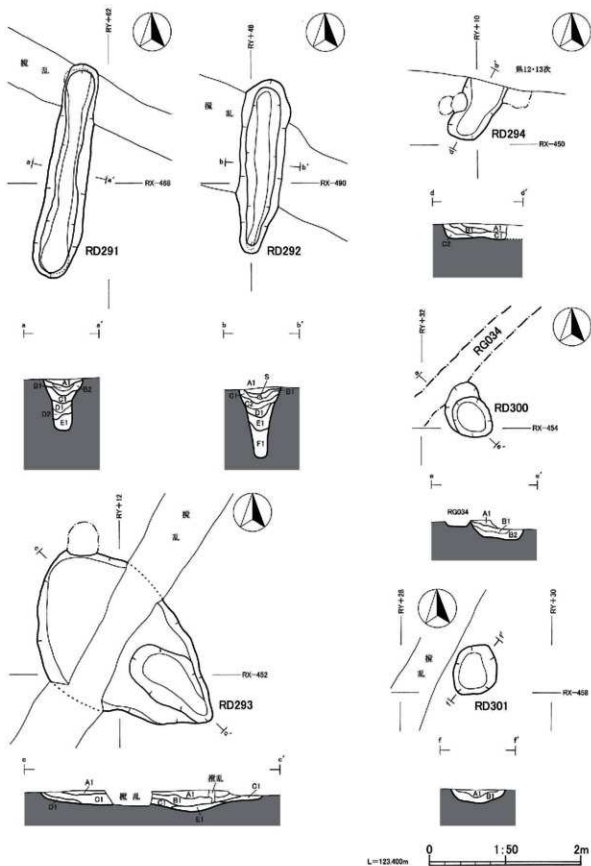
第67図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RB075掘立柱建物跡，RC008・010・012掘立柱列跡



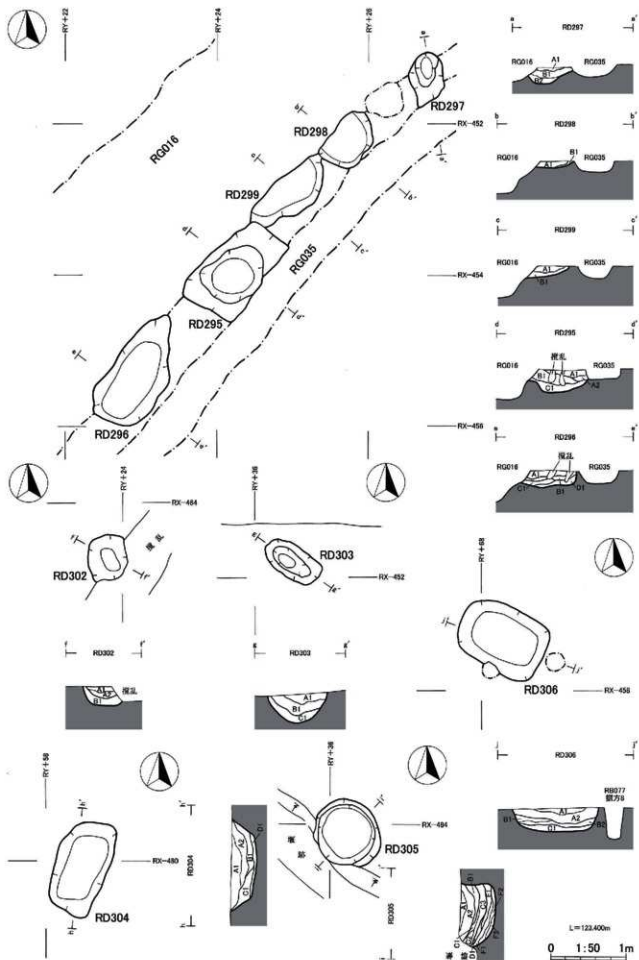
第68図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RE004竪穴建物跡



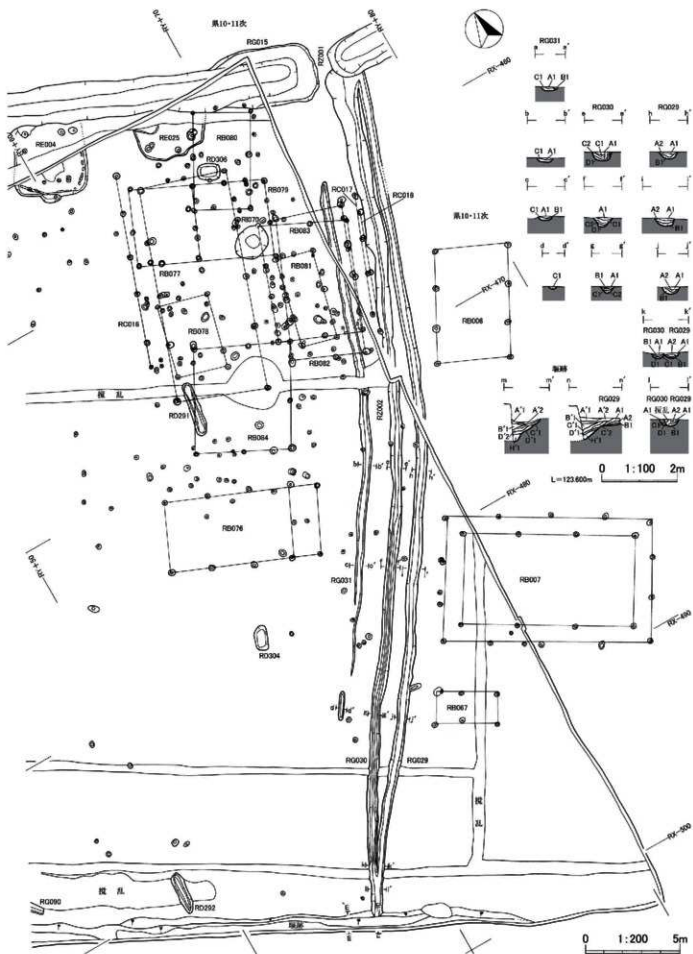
第69図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RE025竪穴建物跡, RI070井戸跡



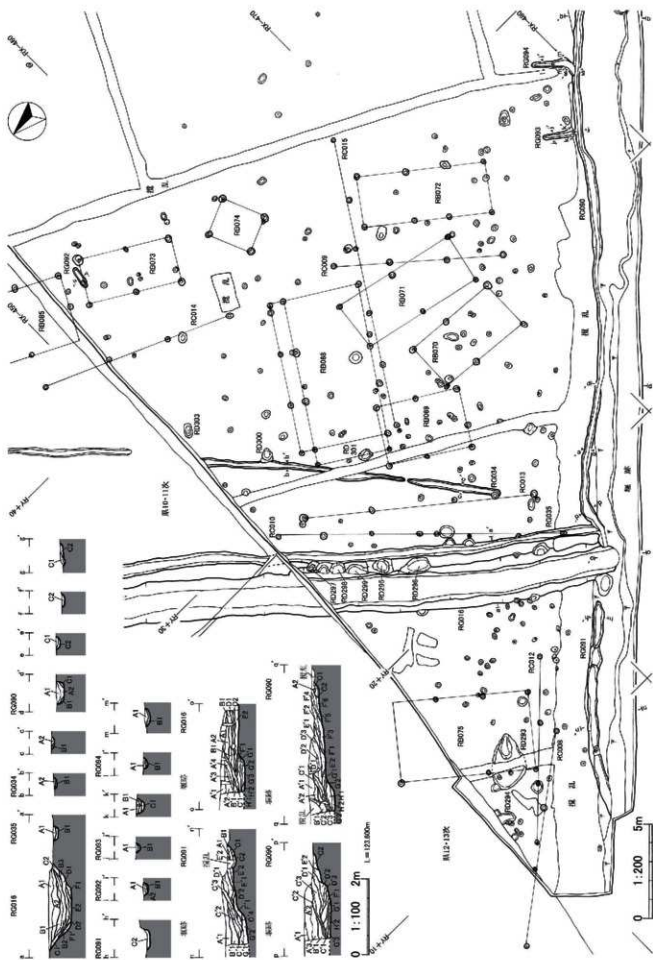
第70図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区RD291・292陥し穴、RD293・294・300・301土坑



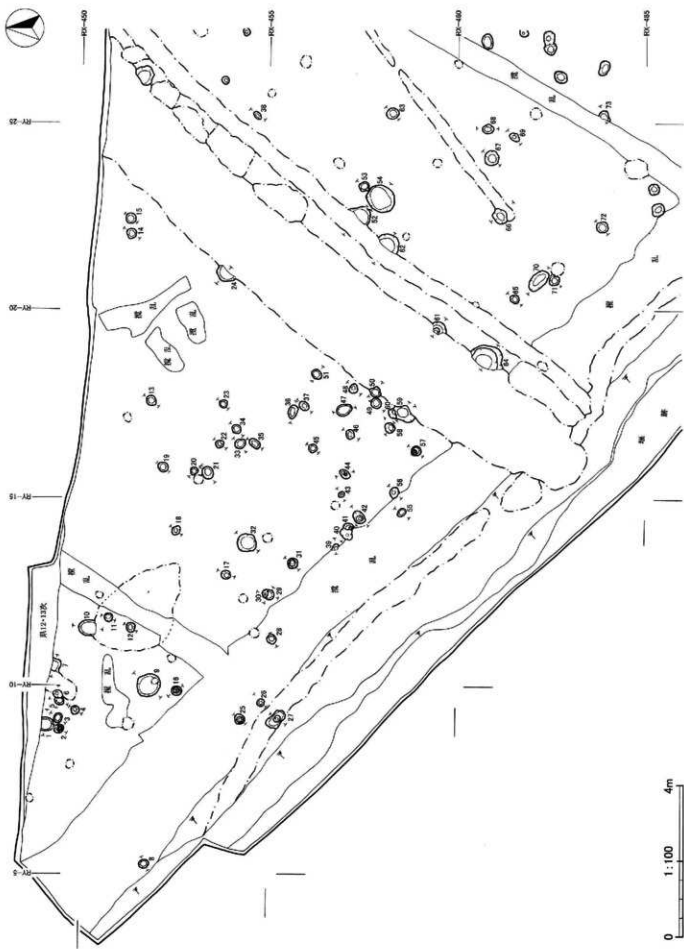
第71图 矢盛遺跡第31次調査I区RD295~299・302~306土坑



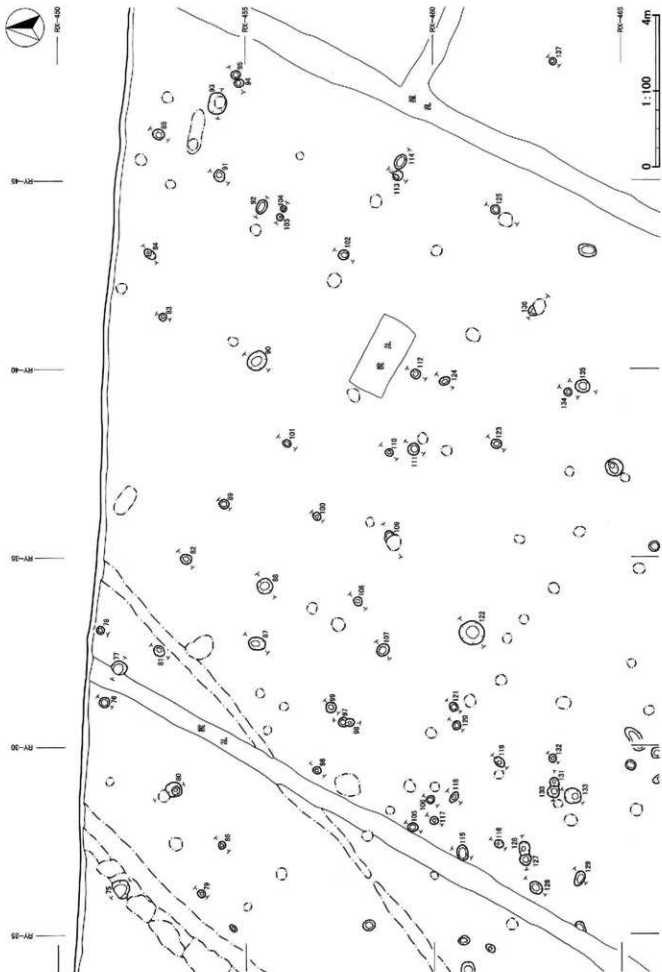
第72図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区東部RG029~031溝跡, RZ002道路跡, 堰跡



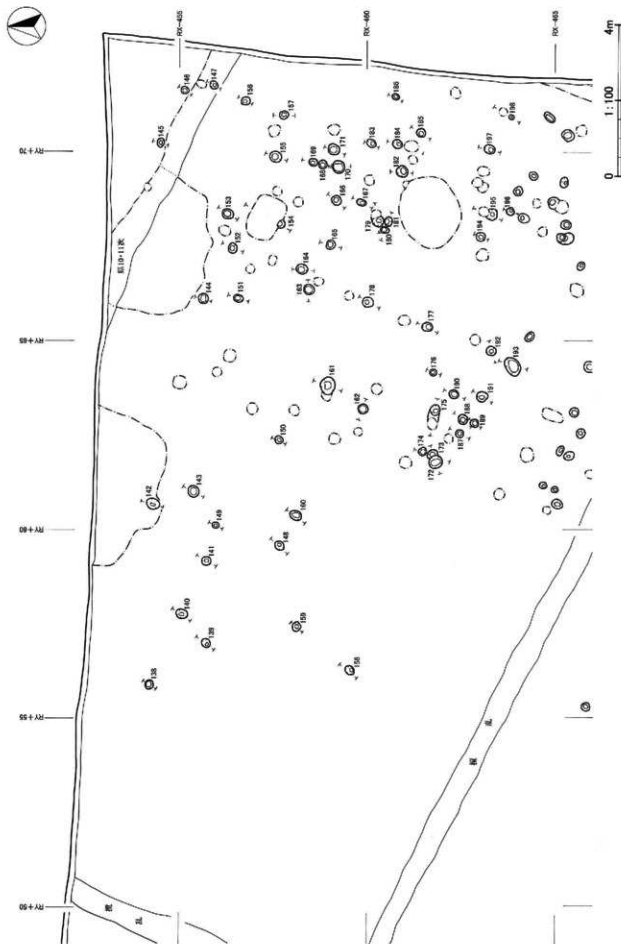
第73図 矢盛遺跡第31次調査I区西部RG016堀跡, RG034・035・090~094溝跡, 塚跡



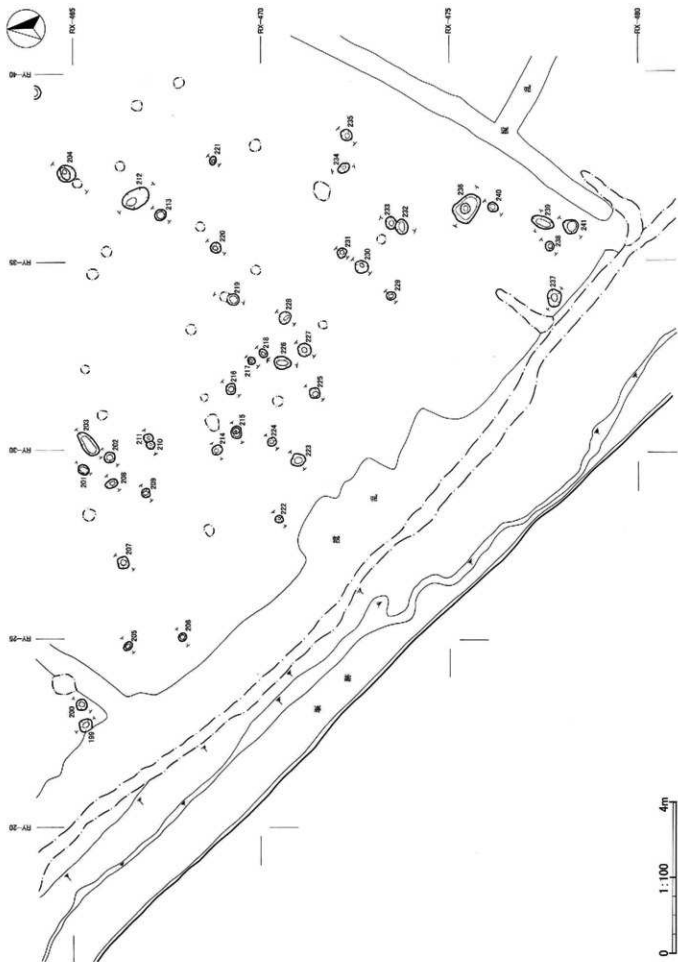
第74図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット(1)



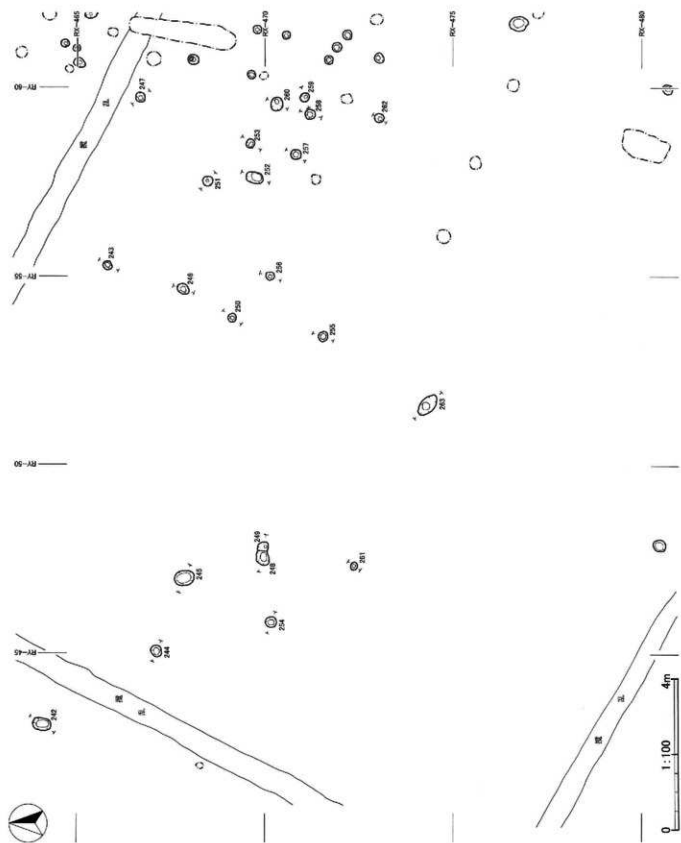
第75図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット(2)



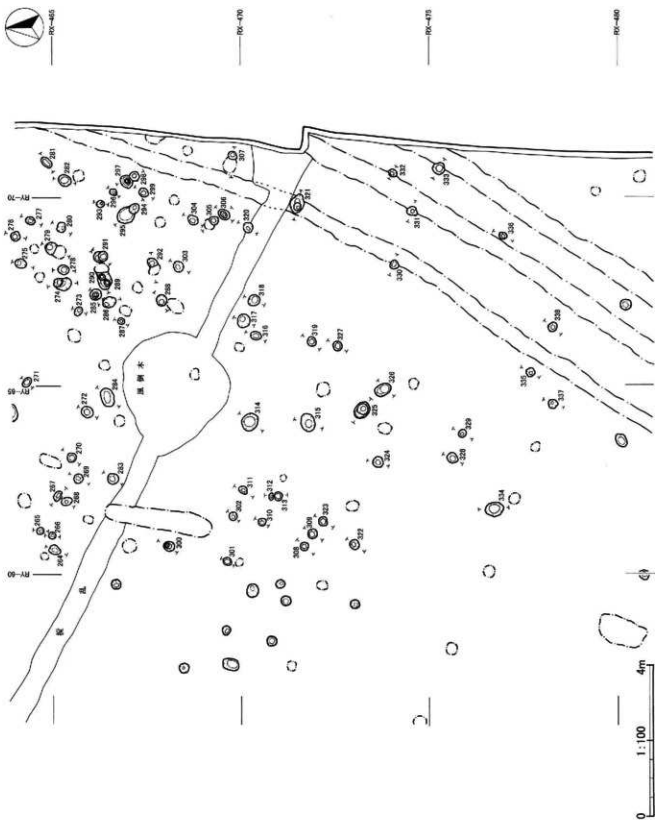
第76図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット (3)



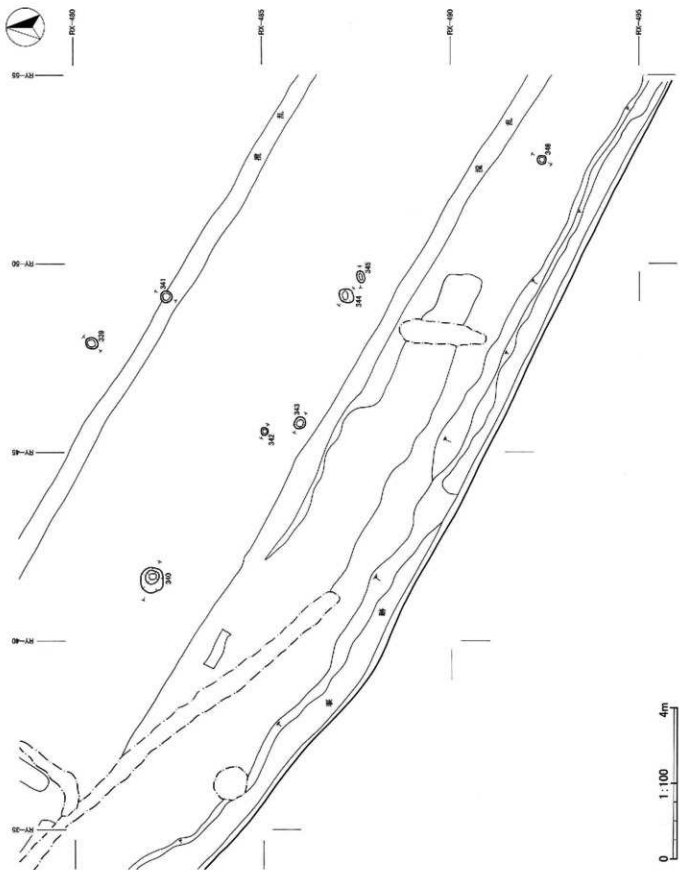
第77図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット(4)



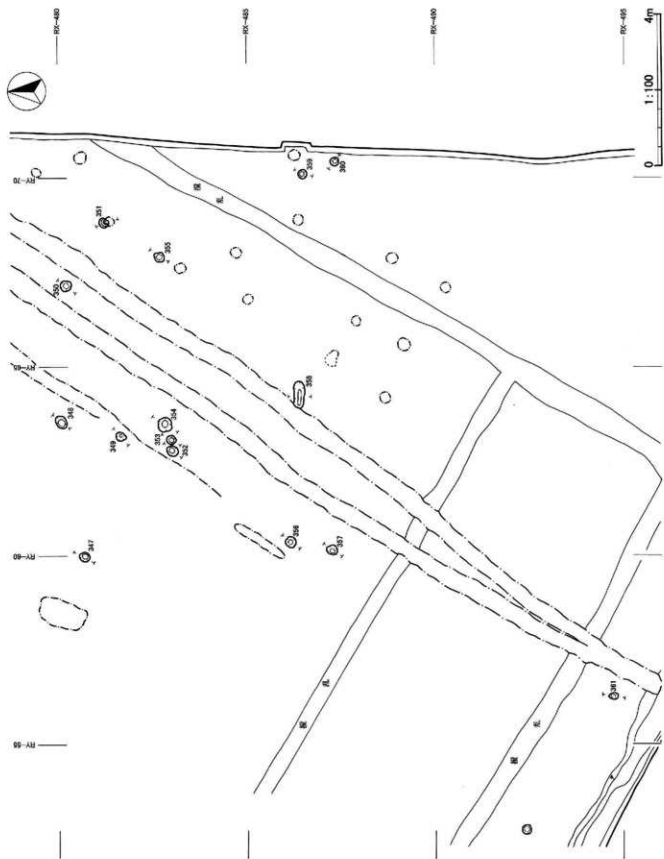
第78図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット(5)



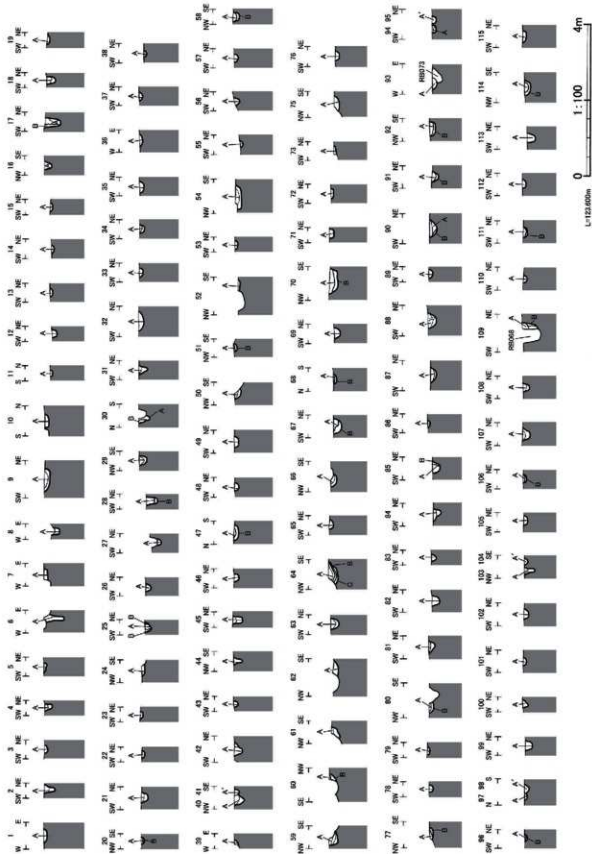
第79図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット(6)



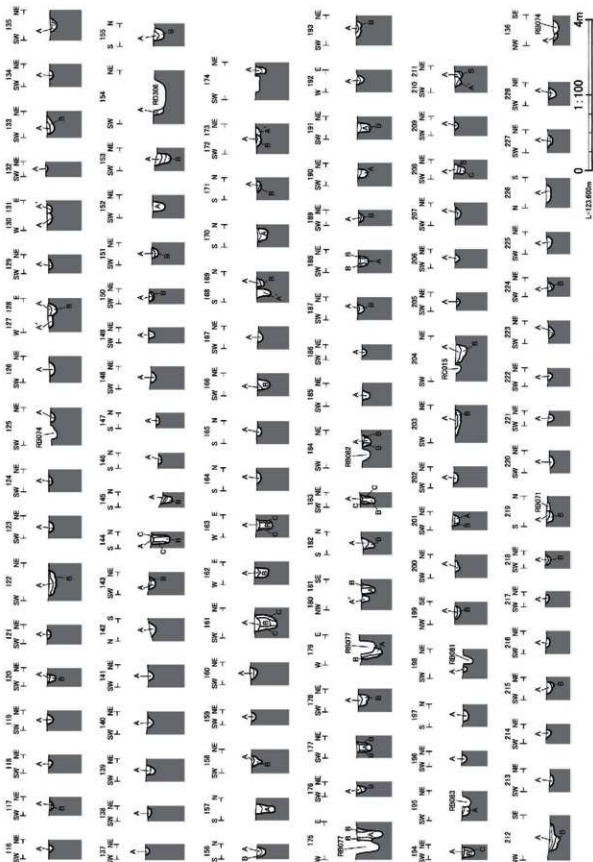
第80図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(7)



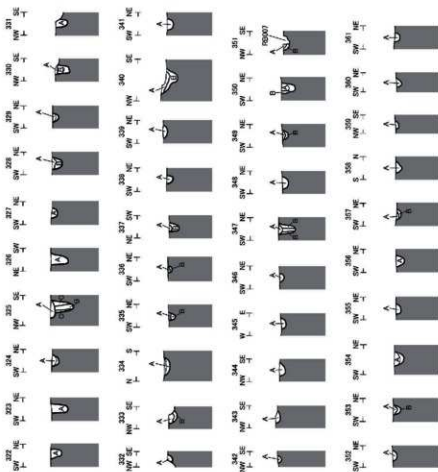
第81図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット(8)



第82図 矢盛遺跡第31次調査I区ビット (9)



第83図 矢盛遺跡第31次調査I区ピット (10)



第85図 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区ビット (12)

遺物 図 版



002 土師器小型鉢—RA107—燈蓮B埋土 (No.5)

001 土師器坪—RA107—B層



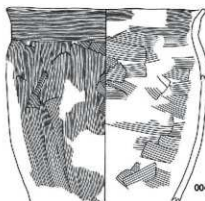
第86図 細谷地遺跡第28次調査 I 区出土土器



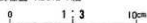
003 土師器坪—RA181—西壁A2層—刻書「井」



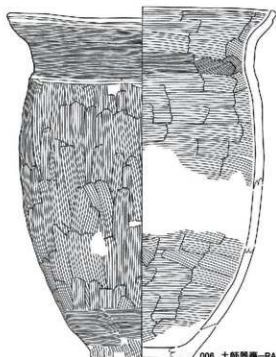
005 あかやき土器坪—ピット



004 土師器鉢—RD512—A層



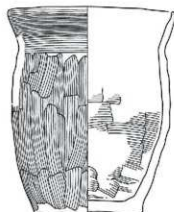
第87図 細谷地遺跡第28次調査 II 区出土土器



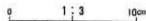
006 土師器鉢—RA205—カマド左袖支脚



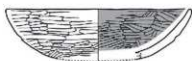
007 土師器坪—RA206—B層



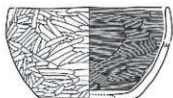
008 土師器小型鉢—RA206—床面 (No.1)



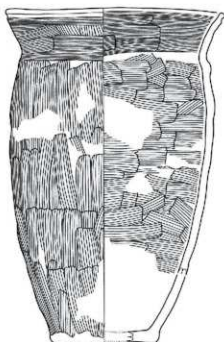
第88図 細谷地遺跡第31次調査 I 区RA205・206出土土器



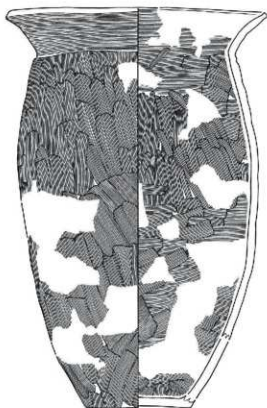
009 土師器坏—RA204-B1層



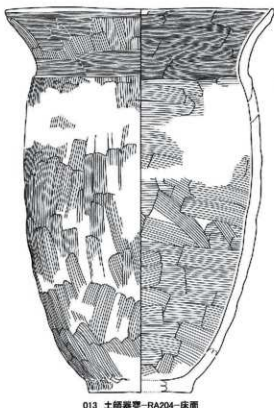
010 土師器坏—RA204-床面



011 土師器壺—RA204-B1層



012 土師器壺—RA204-B層



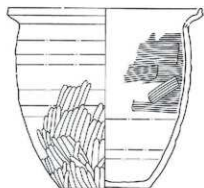
013 土師器壺—RA204-床面



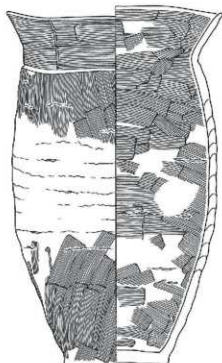
第89図 細谷地遺跡第31次調査I区RA204出土土器



014 土師器坏-RA207-カマド右袖



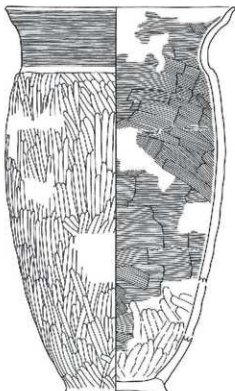
017 あかやき土師壺-RA207-A2層



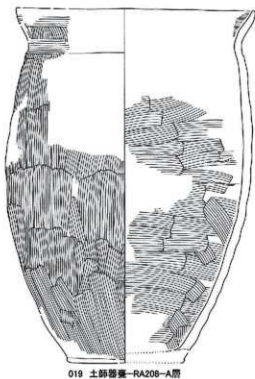
015 土師器壺-RA207-カマド左袖



018 土師器坏-RA208-床面



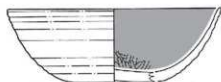
016 土師器壺-RA207-カマド右袖



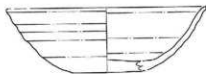
019 土師器壺-RA208-A層

0 1:3 10cm

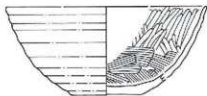
第90図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA207・208出土土器



020 土師器坪-RA215-カマド左軸輪床面



021 あかやき土器坪-RA215-カマド支脚



022 土師器坪-RA216-カマド焚口焼土面



023 土師器坪-RA216-カマドJ層



024 須恵器坪-RA216-床面 (No.2)



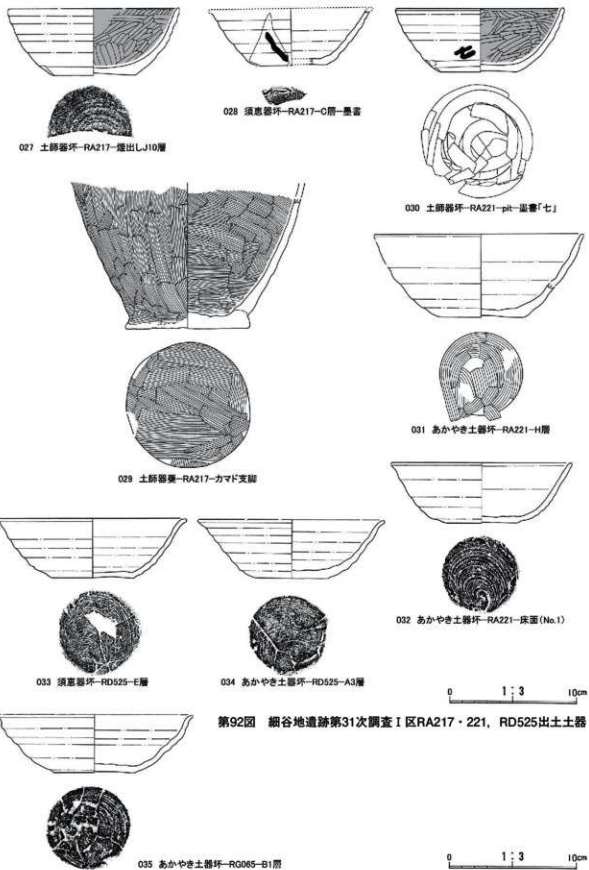
025 あかやき土器坪-RA216-A2層-墨書



026 須恵器坪-RA216-床面 (No.1)



第91図 細谷地遺跡第31次調査I区RA215・216・218出土土器

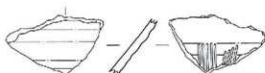


第92図 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区RA217・221, RD525出土土器

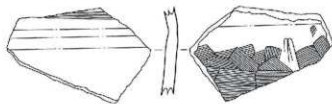
第93図 細谷地遺跡第31次調査Ⅱ区RG065出土土器



036 肥前染付広東研一撻乱内



037 瀬戸美濃鉄粉襷鉢一撻乱内



038 常滑大壺一旧河通A層



第94図 矢盛遺跡第31次調査出土近世陶磁器

写 真 图 版



第1図版 盛南開発地区航空写真（平成24年（2012）撮影，上：垂直，下：北から）



調査区全景（南から）



RD509・510土坑土層断面図
（北から）

第2図版 細谷地遺跡第27次調査

I区全景（南から）



I区全景（西から）



I区全景（北から）



第3図版 細谷地遺跡第28次調査I区（1）

RA107竪穴建物跡（西から）



カマド a（西から）



カマド a 煙道（南から）



第4図版 細谷地遺跡第28次調査I区(2)

RA107竪穴建物跡（南から）



カマドb（南から）



カマドb煙道（西から）



第5図版 細谷地遺跡第28次調査1区(3)

RA202竪穴建物跡（南西から）



カマド（南東から）



カマド煙道（南西から）



第6図版 細谷地遺跡第28次調査1区(4)



Ⅱ区北部北半全景（南東から）



RA181竪穴建物跡（東から）



Ⅱ区北部南半全景（南東から）



Ⅱ区南部全景（北西から）

第7図版 細谷地遺跡第28次調査Ⅱ区



第31次調査1区・第32次調査1区（道明地区）全景（南から）

第8図版 細谷地遺跡第31次調査1区（1）



第31次調査I区・第32次調査I区（道明地区）全景（西から）



第31次調査I区・第32次調査I区（道明地区）全景（東から）

第9図版 細谷地遺跡第31次調査I区（2）



RA204竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙道



遺物出土状況



土師器壘出土状況



炭化材出土状況

第10図版 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区 (3)



RA205竪穴建物跡（南東から）



カマダ a



カマダ a 煙道



炭化材出土状況①



炭化材出土状況②



RA206竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙道



カマド支脚（土師器甕）



鉄器出土状況



RA207竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙道



主柱穴位置



カマド袖芯材（土師器甕）



RA208竪穴建物跡（南東から）



カマドと煙道



カマド



カマド支脚（土師器甕）

第14図版 細谷地遺跡第31次調査1区 (7)



RA215竪穴建物跡（北西から）



カマドと煙道



カマド焼土面



カマド支脚（あかやき土器環）



RA216竪穴建物跡（北西から）



カマド



カマドと煙道



煙道



RA217竪穴建物跡（南西から）



カマドと煙道



カマド



カマド支脚（土師器甕）

第17図版 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区（10）



RA218鑿穴建物跡（南西から）



カマドと煙道



遺物出土状況



須恵器壺底部出土状況



RA220竪穴建物跡（南東から）



RA220竪穴建物跡（北東から）

第19図版 細谷地遺跡第31次調査Ⅰ区(12)



RA221竪穴建物跡（西から）



カマドと煙出し



石組カマド



RD525土坑墓 (北東から)



RD525土層断面 (北東から)



RD526土坑墓 (北東から)



RD526土層断面 (南から)



RG091土層断面 (南西から)



RG091調査風景



RG091大溝跡 (南西から)

Ⅱ区全景（北西から）



RG065・066・068溝跡、土層断面



Ⅲ区全景（北東から）



I区北部全景（南から）



I区中部全景（南から）



I区南部全景（南から）



第23図版 矢盛遺跡第28次調査I区(1)

RD268陥し穴（北から）



RD267陥し穴（北から）



調査風景



第24図版 矢盛遺跡第28次調査I区(2)

I区全景（北東から）



I区RX001方形周溝（南から）



II区全景（北西から）



第25図版 矢盛遺跡第30次調査



I区全景（南から）

第26図版 矢盛遺跡第31次調査I区（1）

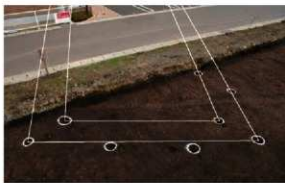


I区全景（南西から）

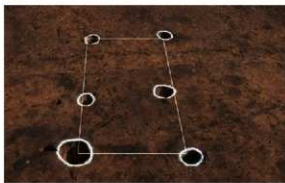


I区全景（東から）

第27図版 矢盛遺跡第31次調査I区(2)



RB007掘立柱建物跡（北西から）



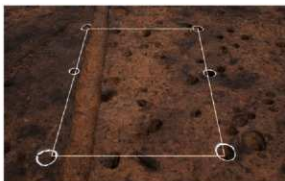
RB067掘立柱建物跡（北西から）



RB068掘立柱建物跡（南西から）



RB068柱掘方土層断面



RB069掘立柱建物跡（南西から）



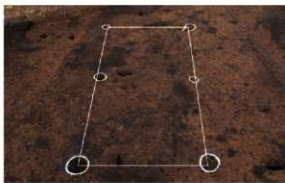
RB070掘立柱建物跡（南から）



RB071掘立柱建物跡（南から）



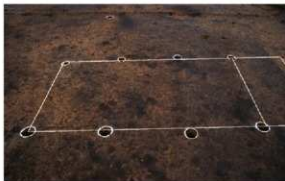
RB072掘立柱建物跡（南から）



RB073掘立柱建物跡 (南西から)



RB075掘立柱建物跡 (南西から)



RB076掘立柱建物跡 (南西から)



RB076柱掘方土層断面



RB078掘立柱建物跡 (南から)



RB079掘立柱建物跡 (南西から)



RC010掘立柱列跡 (南西から)

RE004竪穴建物跡（東から）



RE025竪穴建物跡（東から）



RI070井戸跡・土層断面



第30図版 矢盛遺跡第31次調査I区(5)



RG016堀跡・RG035溝跡（南西から）



RG016土層断面（南西から）



RG035土層断面（南西から）



RG090溝跡・堀跡（南東から）



RG090土層断面（南西から）



RG091溝跡・堀跡（南東から）



RG091土層断面（南東から）



RG029土層断面（南西から）



RZ002道路跡(RG030-031溝跡)RG029溝跡(南西から)



RG030土層断面（RZ002道路東側溝跡）



RG031土層断面（RZ002道路西側溝跡）

第32図版 矢盛遺跡第31次調査Ⅰ区（7）



RD291陥し穴 (左, 南から), RD292陥し穴 (右, 北から)



RD303土坑 (左, 南東から), RD306土坑 (右, 南東から)



調査風景 (RB068堀立柱建物跡)

第33図版 矢盛遺跡第31次調査I区 (8)



014 土師器坏-RA207



015 土師器甕-RA207



016 土師器甕-RA207



017 あかやき土器甕-RA207



018 土師器坏-RA208



019 土師器甕-RA208



024 須恵器坏-RA216



026 須恵器坏-RA218



030 土師器坏-RA221



031 あかやき土器坏-RA221



032 あかやき土器坏-RA221



033 須恵器坏-RD525



034 あかやき土器坏-RD525



035 あかやき土器坏-RG065

003 刻書「卍」(土師器坏)
第28次調査Ⅱ区RA181



030 墨書「七」(土師器坏)
第31次調査Ⅰ区RA221



左：025 墨書「(不明)」(あかやき土器坏)
第31次調査Ⅰ区RA216



右：028 墨書「(不明)」(須恵器坏)
第31次調査Ⅰ区RA217



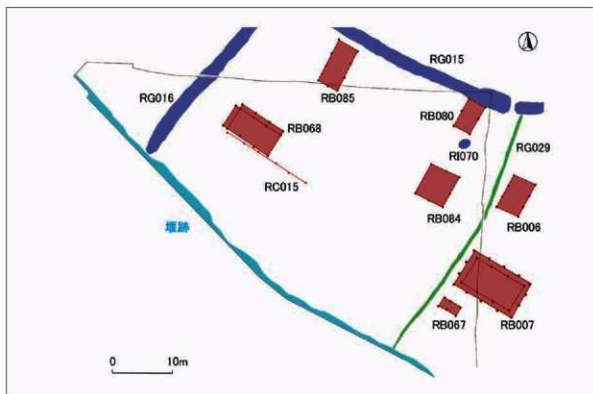
第35図版 細谷地遺跡出土遺物 (2)

第30次調査出土近世陶磁器
 肥前染付小皿 (18世紀)
 肥前染付広東碗
 (18世紀前半～19世紀前半)
 肥前染付碗 (18～19世紀)
 大塚相馬灰釉土瓶
 (18～19世紀)

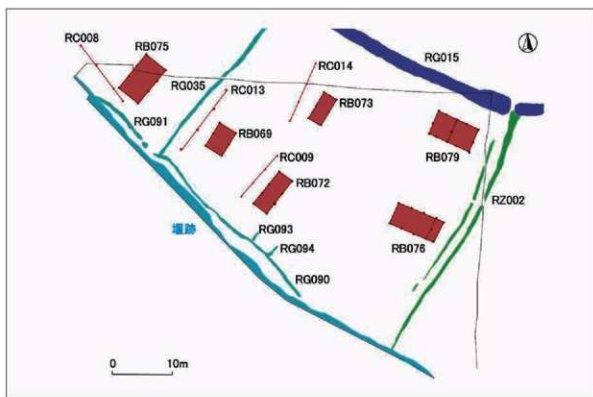


第31次調査出土近世陶磁器
 瀬戸美濃鉄釉播鉢
 (17～18世紀前半)
 常滑大甕 (17～18世紀)
 肥前染付広東碗
 (18世紀後半～19世紀)



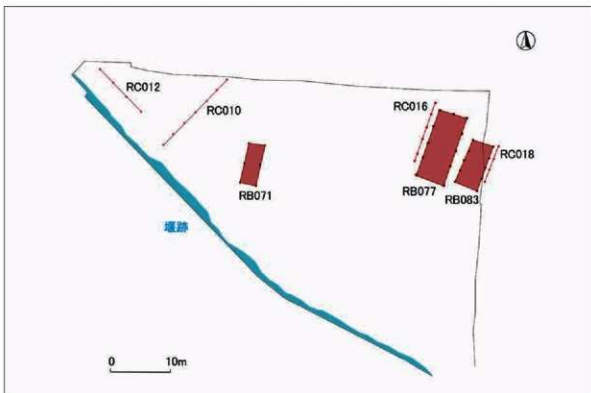


a-1 期 (最新期)

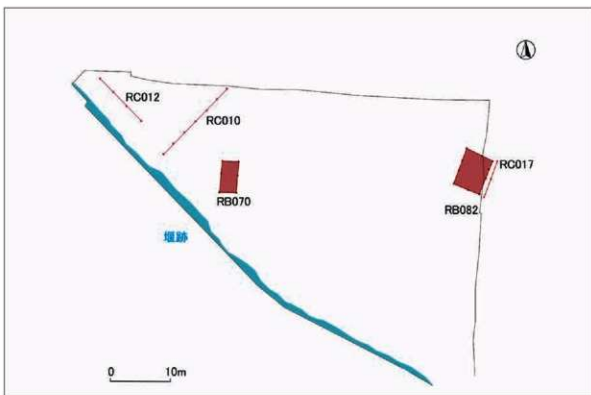


a-2 期

第37図版 矢盛遺跡第31次調査1区遺構変遷案(1)

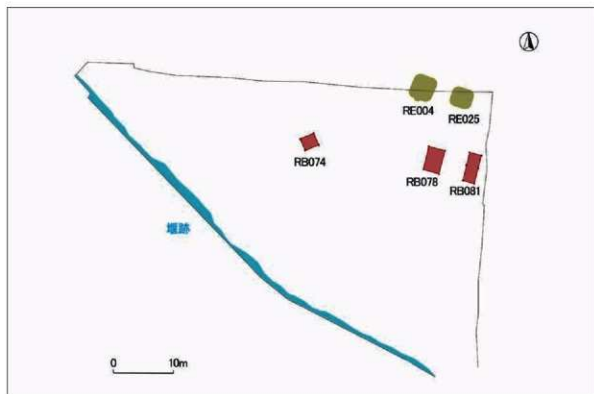


b-1 期

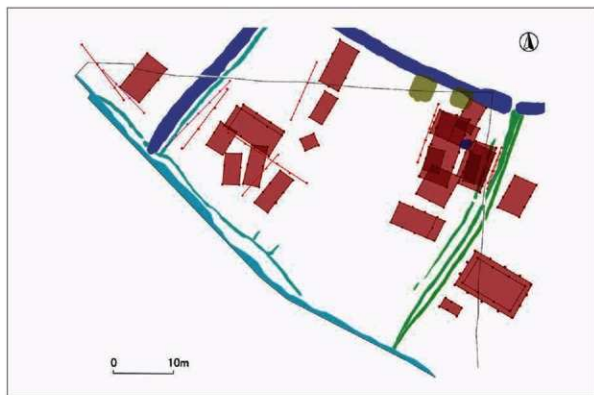


b-2 期

第38図版 矢盛遺跡第31次調査1区遺構変遷案(2)



c 期 (最古期)



a～c 期の全遺構

第39図版 矢盛遺跡第31次調査1区遺構変遷案 (3)

附 章

細谷地遺跡第31次調査出土炭化材の放射性炭素年代（AMS測定）と ウィグルマッチングによる暦年代推定

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

岩手県盛岡市に所在する細谷地遺跡の測定対象試料は、竪穴住居跡出土木炭8点である（表2）。これらのうち、木炭No.2、No.10については、年輪を数えてその位置を確認しながら各2箇所より測定試料を採取した（試料の採取位置を表2、4に記載）。これらの木炭に属する各2試料に対しては、試料ごとの年代測定を行った後、さらにそれら各2試料の測定結果に基づいてウィグルマッチング（4 算出方法（5）参照）の手法により、木炭最外年輪の暦年代を推定する。

RA204出土試料は、木炭No.1として取り上げられた複数の中から2点を選び、No.1-1、No.1-2とした。RA205出土試料は、木炭No.2、No.4、No.5、No.10を対象とし、No.4、No.5は測定用試料を各々No.4-1、No.5-1とした。No.2、No.10は、各1点の木炭からウィグルマッチング用に各2試料を採取し、各々No.2-1、No.2-2、No.10-1、No.10-2とした。RA221出土試料は、木炭No.13として取り上げられた複数の中から2点を選び、No.13-1、No.13-2とした。なお、これらの同一試料8点（ウィグルマッチングを行ったNo.2、No.10からは各1試料）の樹種同定が実施され、すべてコナラ属コナラ亜属コナラ節に同定されている（別稿樹種同定報告参照）。

これらの木炭は、すべて古代の竪穴住居跡に伴う建材と考えられている。住居跡の時期は、RA204、RA205が8世紀後葉から9世紀前葉、RA221が9世紀後葉とされる。

以下、ウィグルマッチングを行った木炭の特徴と測定に用いた試料の採取状況を記す。

木炭No.2は、長径3cm、短径2.5cm、残存長3cmの芯持材である。樹皮は残存しないが、形状や年輪の状況等からおそらく樹皮直下まで残存していると見られる。木口面で年輪を観察し、残存最外年輪を含む外側から1.5年輪の部位（No.2-1）、最も内側に当たる外側から20.24年輪の部位（No.2-2）より採取した木炭片を試料とした。総年輪数は24年輪を数え、年輪幅は約0.5mmである。

木炭No.10は、直径2.5cm、残存長5cmの芯持材である。樹皮は残存しない。木口面で年輪を観察し、残存最外年輪を含む外側から1.5年輪の部位（No.10-1）、最も内側に当たる外側から17.21年輪の部位（No.10-2）より採取した木炭片を試料とした。総年輪数は21年輪を数え、年輪幅は約1mmである。

ウィグルマッチングを行わない木炭6点についても樹皮は認められないが、No.4は上記No.2と同様に樹皮直下まで残存していると推定される。

ウィグルマッチングを行った木炭の特徴を表1に、試料の採取位置を最外年輪から数えた年輪数によって表2、4に示した。また、試料の写真を図4に掲げた。

表1 ウィグルマッチングを行った木炭の特徴

試料	木取り	大きさ (cm)	総年輪数
木炭No.2	芯持、樹皮なし（おそらく樹皮直下）	長径3×短径2.5×残存長3	24
木炭No.10	芯持、樹皮なし	直径2.5×残存長5	21

2 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸 (AAA: Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常 $1\text{mol}/\ell$ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用い、 0.001M から 1M まで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が 1M に達した時には「AAA」、 1M 未満の場合は「AaA」と表2に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素 (CO_2) を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト (C) を生成させる。
- (6) グラファイトを内径 1mm のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

3 測定方法

加速器をベースとした ^{14}C -AMS専用装置 (NEC社製) を使用し、 ^{14}C の計数、 ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)、 ^{14}C 濃度 ($^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOx II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

4 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (%) で表した値である (表2)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表2に、補正していない値を参考値として表3に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表2に、補正していない値を参考値として表3に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal3データベース

ス (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2 校正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年校正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表3に示した。暦年校正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて校正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

- (5) 暦年校正を高精度に行うための方法として、ウィグルマッチングが行われる。暦年校正曲線には過去の気象や海洋中における ^{14}C 濃度の変動を反映した起伏が表れる。この起伏はウィグル (wiggle) と呼ばれ、 ^{14}C 年代に対応する暦年代の絞り込みを困難にする原因の一つとなっている。このウィグルを利用して暦年代を求めるのがウィグルマッチングである。まず年輪を持つ測定対象から年輪によって相互の年代差を確認できるように複数の試料を採取し、各々の ^{14}C 年代を求める。次に試料間の年代差と ^{14}C 年代値の変動パターンを校正曲線に重ね合わせ、最外年輪の暦年代を算出する。こうすることで、単独の試料の ^{14}C 年代に対して算出される暦年代よりも範囲を絞り込むことが可能となる場合がある。ウィグルマッチングの計算に用いる ^{14}C 年代値は、暦年校正の場合と同様 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下桁を丸めない ^{14}C 年代値で、算出される最外年輪の暦年代は1標準偏差 ($1\sigma = 68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma = 95.4\%$) の範囲で表示される。ウィグルマッチングの結果を表すグラフは、縦軸が ^{14}C 年代、横軸が最外年輪の暦年代を表す (図2)。なお、ウィグルマッチングの結果は、1測定試料に含まれる年輪数、試料の間隔の取り方など、試料の状況によって異なる可能性がある。また測定結果の重ね合わせに用いる校正曲線や校正プログラムの種類によっても結果が異なってくる可能性がある。このため、年代値の利用に当たっては試料採取の状況、使用した校正曲線とプログラムの種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、試料採取の状況について「1 測定対象試料」と表2、4に記載した。ウィグルマッチングの計算にはIntCal13データベース (Reimer et al. 2013)、OxCalv4.2校正プログラム (Bronk Ramsey et al. 2001, Bronk Ramsey 2009) を使用し、結果を表4に示した。ウィグルマッチングによる最外年輪の暦年代は校正された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される (表4)。

5 測定結果

計10試料に関する個別の ^{14}C 年代測定結果を表2に、暦年校正の結果を表3と図1に、木炭2点のウィグルマッチングの結果を表4と図2、3に示す。以下、遺構ごとに年代値を検討する。

RA204出土木炭の ^{14}C 年代は、No.1-1が $1400 \pm 20\text{yrBP}$ 、No.1-2が $1380 \pm 20\text{yrBP}$ である。暦年校正年代 (1σ) は、No.1-1が $625 \sim 659\text{cal AD}$ 、No.1-2が $645 \sim 665\text{cal AD}$ の範囲で示される。

RA205出土試料については、ウィグルマッチングを行った木炭No.2、No.10、ウィグルマッチングを行っていないNo.4-1、No.5-1の順に検討する。

木炭No.2の ^{14}C 年代は、最外年輪部のNo.2-1が $1330 \pm 20\text{yrBP}$ 、最も内側のNo.2-2が $1370 \pm 20\text{yrBP}$ である。最外年輪部No.2-1の暦年校正年代 (1σ) は、 $656 \sim 686\text{cal AD}$ の範囲で示される。

この木炭に属する2点の年代値を利用してウィグルマッチングを行うと、最外年輪の暦年代は、 1σ で $668 \sim 682\text{cal AD}$ の範囲、 2σ で $661 \sim 690\text{cal AD}$ の範囲となる。

最外年輪の暦年代範囲の中で確率分布の最も高い 676cal AD 頃に最外年輪を合わせた場合のマッチング図を図3に示す。校正曲線が右に下がる部分に沿って2点が分布し、マッチングは良好である。最外年輪部試料単独で校正した場合に比べ、年代幅を半分程度に狭めることができた。

木炭No.10の¹⁴C年代は、最外年輪部のNo.10-1が 1360 ± 20 yrBP、最も内側のNo.10-2が 1390 ± 20 yrBPである。最外年輪部No.10-1の暦年較正年代 (1σ) は、650~668cal ADの範囲で示される。

この木炭に属する2点の年代値を利用してウィグルマッピングを行うと、最外年輪の暦年代は、 1σ で658~671cal ADの範囲、 2σ で648~678cal ADの範囲となる。

最外年輪の暦年代範囲の中で確率分布の最も高い663cal AD頃に最外年輪を合わせた場合のマッチング図を図3に示す。No.2と同様、較正曲線に沿って2点が分布し、マッチングは良好である。最外年輪部試料単独でもかなり較正年代が絞られる範囲であるが、ウィグルマッピングによりさらに年代幅が狭められた。

ウィグルマッピングを行っていない木炭の¹⁴C年代は、No.4-1が 1380 ± 20 yrBP、No.5-1が 1430 ± 20 yrBPである。暦年較正年代 (1σ) は、No.4-1が645~664cal AD、No.5-1が612~646cal ADの範囲で示される。

RA221出土木炭の¹⁴C年代は、No.13-1が 1290 ± 20 yrBP、No.13-2が 1240 ± 20 yrBPである。暦年較正年代 (1σ) は、No.13-1が681~765cal AD、No.13-2が690~776cal ADの間に各々2つの範囲で示される。

以上、木炭8点の年代値について整理すると、RA204出土試料は7世紀初頭から後葉頃の年代値が示され、特に7世紀前葉から中葉頃の範囲で確率が高い。RA205出土試料は、6世紀後葉から8世紀中葉頃の幅を持つが、7世紀中葉から後葉頃の範囲で特に確率が高くなっている。RA221出土試料は、7世紀後葉から9世紀後葉頃の年代値が示され、7世紀後葉から8世紀後葉頃の範囲で確率が高い。推定される遺構の年代に対して、RA204、RA205出土試料の年代値は古い。RA221出土試料の年代値は、推定と一部重なる範囲があるものの、確率が高い範囲は古い。

今回測定された8点の木炭には樹皮が認められないため、素材となった樹木が伐採等により死んだ年代は、示された年代値より新しいと見なされる。ただし、RA205出土のNo.2、No.4-1については、樹皮直下まで残存していると推定されており、測定結果より大幅に新しいとは考えにくい。同じ遺構から出土した他の試料も含め、年代値がかなりそろっていることも注意される。

今回測定された計10試料の炭素含有率は、すべて60%を超える十分な値であった。化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51 (1), 337-360
- Bronk Ramsey, C. et al. 2001 'Wiggle matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43 (2A), 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55 (4), 1869-1887
- Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, Radiocarbon 19 (3), 355-363

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-151724	No.1-1	RA204 C層	木炭	AAA	-23.65±0.50	1,400±20	84.01±0.24
IAAA-151725	No.1-2	RA204 C層	木炭	AAA	-23.84±0.61	1,380±20	84.26±0.25
IAAA-151726	No.2-1 (1~5年輪)	RA205 地点①	木炭	AAA	-24.13±0.50	1,330±20	84.73±0.25
IAAA-151727	No.2-2 (20~24年輪)	RA205 地点①	木炭	AAA	-26.04±0.48	1,370±20	84.30±0.24
IAAA-151728	No.4-1	RA205 地点③	木炭	AAA	-25.33±0.45	1,380±20	84.23±0.24
IAAA-151730	No.5-1	RA205 地点④	木炭	AAA	-25.20±0.45	1,430±20	83.69±0.24
IAAA-151731	No.10-1 (1~5年輪)	RA205 地点⑥	木炭	AAA	-26.46±0.45	1,360±20	84.40±0.24
IAAA-151729	No.10-2 (17~21年輪)	RA205 地点⑥	木炭	AAA	-24.14±0.48	1,390±20	84.06±0.23
IAAA-151732	No.13-1	RA221 F層	木炭	AAA	-25.05±0.47	1,290±20	85.21±0.23
IAAA-151733	No.13-2	RA221 F層	木炭	AAA	-26.30±0.57	1,240±20	85.64±0.25

[#7638]

表3 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-151724	1,380±20	84.25±0.23	1,399±23	625calAD - 659calAD (68.2%)	607calAD - 664calAD (95.4%)
IAAA-151725	1,360±20	84.45±0.23	1,376±23	645calAD - 665calAD (68.2%)	619calAD - 675calAD (95.4%)
IAAA-151726	1,320±20	84.88±0.23	1,331±23	656calAD - 686calAD (68.2%)	650calAD - 713calAD (84.7%) 745calAD - 765calAD (10.7%)
IAAA-151727	1,390±20	84.12±0.23	1,372±23	647calAD - 666calAD (68.2%)	624calAD - 679calAD (95.4%)
IAAA-151728	1,380±20	84.18±0.22	1,378±22	645calAD - 664calAD (68.2%)	621calAD - 673calAD (95.4%)
IAAA-151730	1,430±20	83.65±0.23	1,430±23	612calAD - 646calAD (68.2%)	584calAD - 655calAD (95.4%)
IAAA-151731	1,390±20	84.15±0.23	1,362±22	650calAD - 668calAD (68.2%)	640calAD - 683calAD (95.4%)
IAAA-151729	1,380±20	84.21±0.21	1,394±21	637calAD - 661calAD (68.2%)	610calAD - 665calAD (95.4%)
IAAA-151732	1,290±20	85.20±0.21	1,285±21	681calAD - 714calAD (39.8%) 744calAD - 765calAD (28.4%)	669calAD - 730calAD (59.0%) 736calAD - 770calAD (36.4%)
IAAA-151733	1,270±20	85.42±0.23	1,244±23	690calAD - 750calAD (55.4%) 761calAD - 776calAD (12.8%)	683calAD - 779calAD (75.4%) 790calAD - 868calAD (20.0%)

[参考値]

表4 放射性炭素年代に基づくウィグルマッチング結果

測定番号	採取位置 (最外年輪から)	暦年校正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
IAAA-151726	1～5年輪	1,331 \pm 23	666calAD - 680calAD (68.2%)	659calAD - 688calAD (95.4%)
IAAA-151727	20～24年輪	1,372 \pm 23	647calAD - 661calAD (68.2%)	640calAD - 669calAD (95.4%)
木炭No.2の最外年輪年代			668calAD - 682calAD (68.2%)	661calAD - 690calAD (95.4%)
IAAA-151731	1～5年輪	1,362 \pm 22	656calAD - 669calAD (68.2%)	646calAD - 676calAD (95.4%)
IAAA-151729	17～21年輪	1,394 \pm 21	640calAD - 653calAD (68.2%)	630calAD - 660calAD (95.4%)
木炭No.10の最外年輪年代			658calAD - 671calAD (68.2%)	648calAD - 678calAD (95.4%)

[参考値]

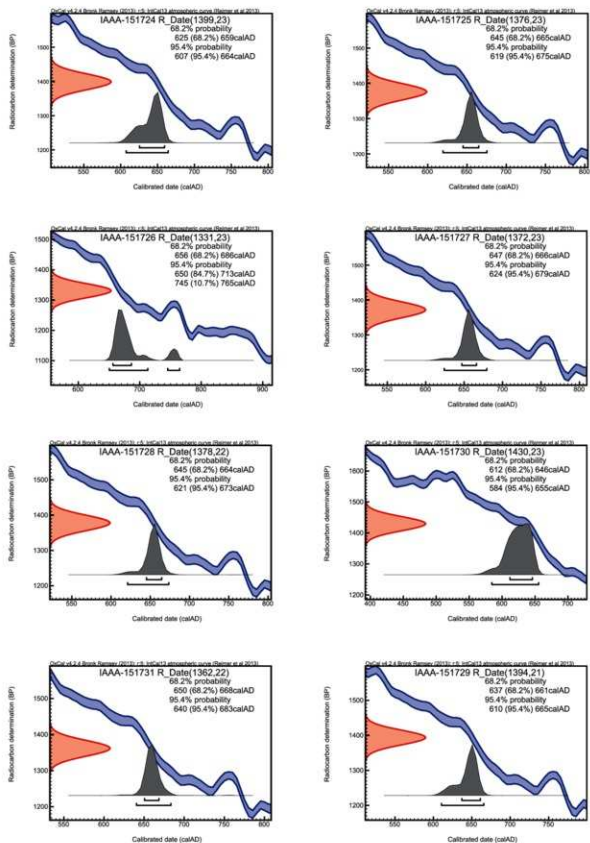


図 1 (1) 暦年較正年代グラフ

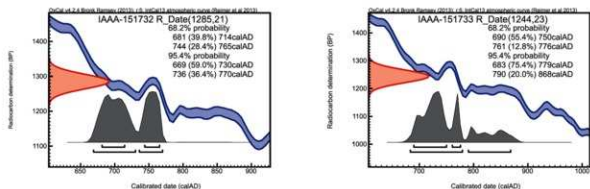
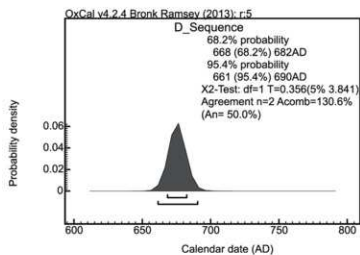
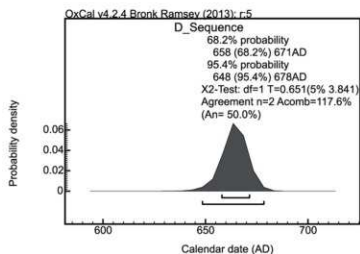


図1 (2) 暦年較正年代グラフ

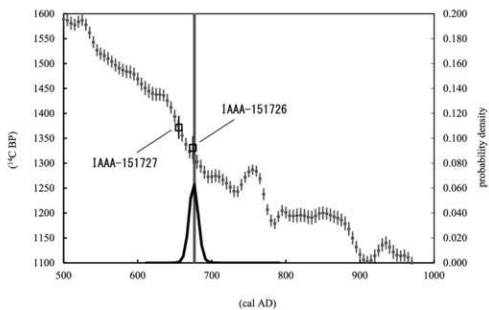


木炭 No. 2

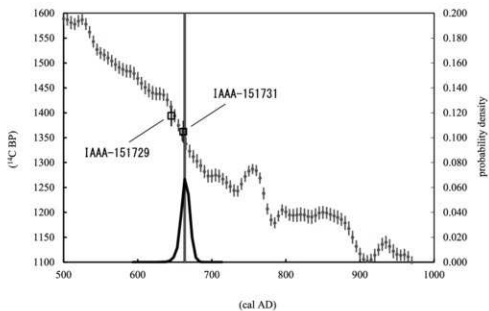


木炭 No. 10

図2 ウィグルマッチングによる木炭最外年輪の暦年較正年代グラフ



木炭 No. 2 (最外年輪 : 676cal AD 頃)



木炭 No. 10 (最外年輪 : 663cal AD 頃)

図3 木炭のウィグルマッキング (図2のグラフに表れたピークを最外年輪と見なした場合)



木炭 No. 2

木炭 No. 10

図4 ウィグルマッチング試料写真

細谷地遺跡第31次調査出土炭化材の樹種同定

はじめに

岩手県盛岡市に所在する細谷地遺跡の31次調査区では、古代と考えられる住居跡等が検出されている。本報告では、堅穴住居跡から出土した炭化材を対象として、木材利用を検討するための樹種同定を実施する。

1 試料

試料は、住居跡から出土した炭化材8点(No.1-1、1-2、2-1、4-1、5-1、10-1、13-1、13-2)で、住居の建材と考えられている。試料の詳細は、結果とともに後述する。

RA204出土のNo.1-1、1-2、RA205出土のNo.2-1、4-1、5-1、10-1は8世紀後葉～9世紀前葉、RA221出土のNo.13-1、13-2は9世紀後葉とされている。これらの同一試料を対象に放射性炭素年代測定が行われており、全体的に上記の調査所見より古い7～8世紀の年代値が示されている(別稿年代測定報告参照)。この調査所見と年代測定結果の差については注意を要するが、以下の記述では調査所見に従って検討する。

2 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、鳥地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

3 結果

炭化材は、全て広葉樹のコナラ属コナラ亜属コナラ節に同定された(表1)。解剖学的特徴等を記す。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (Quercus subgen. Quercus sect. Prinus) ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものと同複合放射組織とがある。

表1. 樹種同定結果

試料No.	遺構・層位	種類
1-1	RA204 C層	コナラ属コナラ亜属コナラ節
1-2	RA204 C層	コナラ属コナラ亜属コナラ節
2-1	RA205 地点①	コナラ属コナラ亜属コナラ節
4-1	RA205 地点③	コナラ属コナラ亜属コナラ節
5-1	RA205 地点④	コナラ属コナラ亜属コナラ節
10-1	RA205 地点⑨	コナラ属コナラ亜属コナラ節
13-1	RA221 F層	コナラ属コナラ亜属コナラ節
13-2	RA221 F層	コナラ属コナラ亜属コナラ節

4 考察

竪穴住居跡から出土した炭化材は、全て広葉樹のコナラ節に同定された。日本のコナラ節にはコナラ、ミズナラ、カシワ、ナラガシワの4種がある。本地域では、二次林や山地の落葉広葉樹林の主要な構成種となる落葉高木であり、木材は重硬で強度が高い。

周辺の二次林や山地においてまとまった量の木材が入手可能であること、強度が高く建築部材として利用可能であること等が利用の背景に考えられる。また、炭化材が出土した住居跡は、RA204とRA205が8世紀後葉～9世紀前葉、RA221が9世紀後葉と考えられている。このことから、8世紀後葉～9世紀前葉の2軒の住居において共通する種類構成でコナラ節が利用されたことが確認され、さらに9世紀後葉にかけてコナラ節の利用が継続していたことが示唆される。

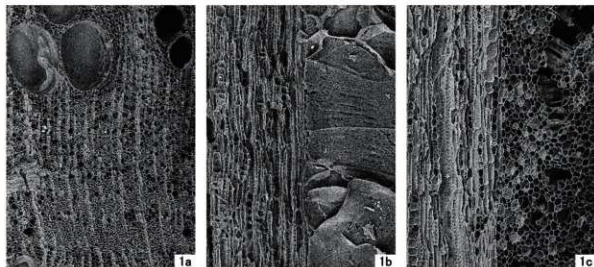
本遺跡では、26次調査の竪穴住居跡から出土した炭化材でコナラ節、クリ、モクレン属、スルデ、ハシバミ属、カバノキ属が確認されている(吉川2012)。これによると、RA187ではコナラ節とクリが同数の各6点、RA190ではモクレン属を中心としてスルデ、ハシバミ属、カバノキ属が混在し、コナラ節やクリが認められない。この結果から本遺跡では、住居によって使用する樹種構成が異なっていた様子がうかがえる。また、盛岡市内では、芋田Ⅱ遺跡でも8世紀代～10世紀初頭とされる竪穴住居跡から出土した炭化材の樹種同定が実施されており、コナラ節を中心にクリ、ヤナギ属、ケンボナシ属、ケヤキが確認されている(伊東・山田2012)。

各遺跡でコナラ節が利用される点は、今回の結果とも整合的といえる。ただし、いずれの遺跡でもコナラ節以外の樹種が確認されていることから今回調査した住居跡でもコナラ節の他にも利用された樹種が存在した可能性があり、今後試料点数を増やして検討する必要があると思われる。

文献

- 林昭三.1991.日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
- 伊東隆夫.1995.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料.31.京都大学木質科学研究所.81-181.
- 伊東隆夫.1996.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料.32.京都大学木質科学研究所.66-176.
- 伊東隆夫.1997.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料.33.京都大学木質科学研究所.83-201.
- 伊東隆夫.1998.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料.34.京都大学木質科学研究所.30-166.
- 伊東隆夫.1999.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料.35.京都大学木質科学研究所.47-216.
- 伊東隆夫・山田昌久(編)2012.木の考古学 出土木製品用材データベース.海青社.449p.
- 島地謙・伊東隆夫.1982.図説木材組織.地球社.176p.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編) ,1998.広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・森井智之・佐伯浩(日本語版監修).海青社.122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E.(1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].
- 吉川純子.2012.細谷地遺跡から出土した炭化材の樹種.「細谷地遺跡第26次発掘調査報告書 盛岡市新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査」,岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第595巻,盛岡市都市整備部盛岡南整備課・公益財団法人岩手県文化振興事業団.167-170.

図版 1 炭化材



1.コナラ属コナラ亜属コナラ節(整理番号10;台帳No.4-1 RA205地点③)

a:木口,b:柾目,c:板目

100 μ m:a

100 μ m:b,c

矢盛遺跡第31次調査出土炭化材の放射性炭素年代（AMS測定）と ウィグルマッチングによる暦年代推定

（株）加速器分析研究所

1 測定対象試料

矢盛遺跡の測定対象試料は、RE004のD層から出土した炭化材No.1である（表2）。これらの炭化材について、年輪を数えて位置を確認しながら2箇所より測定試料を採取した（試料の採取位置を表2、4に記載）。これら合計2点の試料に対して、まず試料ごとの年代測定を行った後、さらに炭化材に属する試料2点の測定結果に基づいてウィグルマッチング（4 算出方法（5）参照）の手法により、炭化材最外年輪の暦年代を推定する。なお、同一個体試料の樹種同定が実施され、モクレン属に同定されている（別稿樹種同定報告参照）。

試料が出土したRE004は中世の堅穴住居跡と推定されている。D層は埋土最下層に当たり、焼土塊や炭化物を多く含む黒色土である。

炭化材No.1の特徴と年代測定用試料の採取状況を以下に記す。この炭化材は、3×2.2×1.4cmの破片で、樹皮、芯は残存しない。横断面で年輪を観察し、残存最外年輪を含む外側から1-5年輪の部位（試料No.1-1）と、最も内側に当たる11-15年輪の部位（試料No.1-2）より炭化材片を採取した。総年輪数15、年輪幅は約0.5～1mmである。

この炭化材の特徴を表1に、試料の採取位置を最外年輪から数えた年輪数によって表2、4に示した。また、試料の写真を図4に掲げた。

表1 ウィグルマッチングを行った炭化材の特徴

	木取り	大きさ (cm)	総年輪数
炭化材No.1	破片、樹皮・芯なし	3×2.2×1.4	15

2 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1mol/ℓ（1M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表2に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO₂）を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

3 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置（NEC社製）を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度（¹³C/¹²C）、¹⁴C濃度

($^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$) の測定を行う。測定では、米国国立標準局 (NIST) から提供されたシュウ酸 (HOxII) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

4 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (%) で表した値である (表2)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age: yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表2に、補正していない値を参考値として表3に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表2に、補正していない値を参考値として表3に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal3データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表3に示した。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。
- (5) 暦年較正を高精度に行うための方法として、ウィグルマッチングが行われる。暦年較正曲線には過去の大気や海洋中における ^{14}C 濃度の変動を反映した起伏が表れる。この起伏はウィグル (wiggle) と呼ばれ、 ^{14}C 年代に対応する暦年代の絞り込みを困難にする原因の一つとなっている。このウィグルを利用して暦年代を求めるのがウィグルマッチングである。まず年輪を持つ測定対象から年輪によって相互の年代差を確認できるように複数の試料を採取し、各々の ^{14}C 年代を求める。次に試料間の年代差と ^{14}C 年代値の変動パターンを較正曲線に重ね合わせ、最外年輪の暦年代を算出する。こうすることで、単独の試料の ^{14}C 年代に対して算出される暦年代よりも範囲を絞り込むことが可能となる場合がある。ウィグルマッチングの計算に用いる ^{14}C 年代値は、暦年較正の場合と同様 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値で、算出される最外年輪の暦年代は1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) の範囲で表示される。ウィグルマッチングの結果を表すグラフは、縦軸が ^{14}C 年代、横軸が最外年輪の暦年代を表す (図2)。なお、ウィグルマッチングの結果は、1測定試料に含まれる年輪数、

試料の間隔の取り方など、試料の状況によって異なる可能性がある。また測定結果の重ね合わせに用いる校正曲線や校正プログラムの種類によっても結果が異なってくる可能性がある。このため、年代値の利用に当たっては試料採取の状況、使用した校正曲線とプログラムの種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、試料採取の状況について「1 測定対象試料」と表2、4に記載した。ウィグルマッチングの計算にはIntCal13データベース (Reimer et al. 2013)、OxCalv4.2校正プログラム (Bronk Ramsey et al. 2001, Bronk Ramsey 2009) を使用し、結果を表4に示した。ウィグルマッチングによる最外年輪の暦年代は校正された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される (表4)。

5 測定結果

1点の炭化材から採取された計2試料の個別の¹⁴C年代測定結果を表2に、暦年校正の結果を表3と図1に、炭化材全体のウィグルマッチングの結果を表4と図2、3に示す。

炭化材No.1の¹⁴C年代は、残存最外年輪部のNo.1-1が 850 ± 20 yrBP、最も内側のNo.1-2が 840 ± 20 yrBPである。最外年輪部試料No.1-1の暦年校正年代 (1σ) は、1169～1216cal ADの範囲で示される。

この炭化材に属する2点の年代値を利用してウィグルマッチングを行うと、最外年輪の暦年代は、 1σ で1188～1222cal ADの範囲、 2σ で1173～1245cal ADの範囲で示される。

最外年輪の暦年代範囲の中で確率分布の最も高い1207cal AD頃に最外年輪を合わせた場合のマッチング図を図3に示す。校正曲線が一部平坦な箇所を持ちながらおおむね右下がりに推移する部分に当たる。もともと総年輪数が15年と少ないこともあり、近い年代値を示した2点の測定試料が校正曲線上で近接するため、校正曲線の凹凸 (ウィグル) との対応は明確でない。最外年輪部試料単独の場合に比べて暦年代の幅を7割程度に絞ることができたが、ウィグルマッチングとして十分なものとは言えず、あくまでも参考値として扱うべきである。

なお、この炭化材には樹皮が残存しないため、本来の伐採・枯死年代は今回の測定によって示された年代よりも新しいと考えられる。

試料の炭素含有率はいずれも60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

文献

- Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51(1), 337-360
Bronk Ramsey, C. et al. 2001 'Wiggle matching' radiocarbon dates, Radiocarbon 43(2A), 381-389
Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, Radiocarbon 55(4), 1869-1887
Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ¹⁴C data, Radiocarbon 19(3), 355-363

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-141575	No.1-1 (外側から1~5年輪)	RE004 D層	炭化材	AAA	-25.92±0.23	850±20	89.93±0.26
IAAA-141576	No.1-2 (外側から11~15年輪)	RE004 D層	炭化材	AAA	-24.97±0.28	840±20	90.11±0.25

[#6885]

表3 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age (yrBP)	pMC (%)			
IAAA-141575	870±20	89.76±0.25	852±23	1169calAD - 1216calAD (68.2%)	1155calAD - 1255calAD (95.4%)
IAAA-141576	840±20	90.11±0.24	836±21	1183calAD - 1224calAD (61.3%) 1235calAD - 1242calAD (6.9%)	1165calAD - 1254calAD (95.4%)

[参考値]

表4 放射性炭素年代に基づくウィグルマッチング結果

測定番号	採取位置 (最外年輪から)	暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
IAAA-141575	1~5年輪	852±23	1186calAD - 1220calAD (68.2%)	1171calAD - 1243calAD (95.4%)
IAAA-141576	11~15年輪	836±21	1176calAD - 1210calAD (68.2%)	1161calAD - 1233calAD (95.4%)
炭化材No.1の最外年輪年代			1188calAD - 1222calAD (68.2%)	1173calAD - 1245calAD (95.4%)

[参考値]

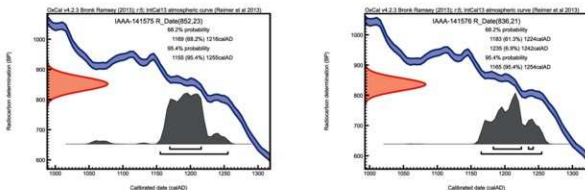


図1 暦年較正年代グラフ

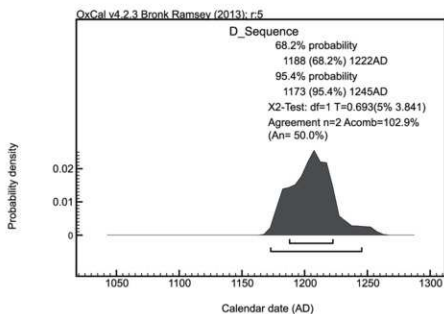


図2 ウィグルマッチングによる炭化材No.1最外年輪の暦年較正年代グラフ

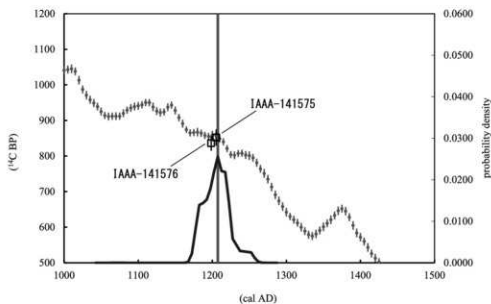


図3 炭化材No.1のウィグルマッチング (図2のグラフに表れた1207cal AD頃のピークを最外年輪と見なした場合)



図4 ウィグルマッチング試料写真

矢盛遺跡第31次調査出土炭化材の樹種同定

はじめに

盛岡市矢盛遺跡から出土した炭化材について、樹種を検討するための樹種同定を実施したので、その結果について報告する。

1 試料

試料は、竪穴住居跡RE004のD層より出土した炭化材 (No.1) である。

なお、同一個体試料を用いて放射性炭素年代測定が実施されている (別稿年代測定報告参照)。

2 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、鳥地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林(1991)や伊東(1995,1996,1997,1998,1999)を参考にする。

3 結果

炭化材は、落葉広葉樹のモクレン属に同定された。解剖学的特徴等を記す。

・モクレン属 (Magnolia) モクレン科

散孔材で、管壁厚は中庸～薄く、横断面では角張った楕円形～多角形、単独または2-4個が放射方向に複合して散在する。道管の分布密度は比較的高い。道管は単穿孔を有し、壁孔は階段状～対列状に配列する。放射組織は異性、1-2細胞幅、1-4細胞高。

4 考察

RE004のD層から出土した炭化材は、広葉樹のモクレン属に同定された。モクレン属には、ホオノキ、オオヤマレンゲ、シデコブシ、コブシ、タムシバの5種が日本に分布する。二次林や山地に生育する落葉高木～低木であり、木材は軽軟で強度と保存性は低い。

炭化した状態で出土していることから、何らかの人間活動で火を受けたことが推定される。モクレン属は、二次林にも普通に見られる種類であり、本遺跡の周辺でも入手は容易であったと考えられる。

文献

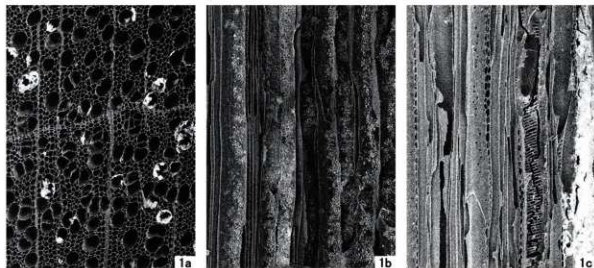
- 林昭三.1991.日本産木材 顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
伊東隆夫.1995.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料.31.京都大学木質科学研究所.81-181.
伊東隆夫.1996.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料.32.京都大学木質科学研究所.66-176.
伊東隆夫.1997.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料.33.京都大学木質科学研究所.83-201.
伊東隆夫.1998.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料.34.京都大学木質科学研究所.30-166.
伊東隆夫.1999.日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料.35.京都大学木質科学研究所.47-216.

島地謙・伊東隆夫.1982.図説木材組織.地球社.176p.

Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E. (編) ,1998.広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩 (日本語版監修) .海青社.122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification] .

※) 本分析は、バリノ・サーヴェイ株式会社の協力を得て行った。

図版 1 炭化材



1.モクレン属(RE004.No.1)

a:木口,b:柁目,c:板目

100 μm:a
100 μm:b,c

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきんはつつちようさほうこくしょ9							
書名	盛南地区道跡群発掘調査報告書							
調査名	盛岡南都市開発整備事業関連道跡平成22～24年度発掘調査 細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市道路の字ひ館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2017年3月20日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)		
所収道跡名(略号)	所在地	市町村	道跡番号	(世界測地系)		調査原因		
細谷地 (OHY)	岩手県盛岡市 向中野5・7丁目, 向中野字細谷地	03201	E.26-0214	39°40'42"	141°8'19"	27次：2010.7.12-7.28 28次：2011.7.19-12.9 31次：2012.5.19-18	275 1,501 4,524	土地地区画整理事業等
矢盛 (IYM)	岩手県盛岡市 北殿岡1・2丁目, 向中野7丁目	03201	E.26-0139	39°40'27"	141°8'5"	28次：2010.8.17-12.17 30次：2011.12.5-12.28 31次：2012.9.18-12-26	11,213 709 2,725	
焼野 (IYE)	岩手県盛岡市 北殿岡4丁目	03201	E.26-0271	39°40'16"	141°8'3"	3次：2011.11.14	408	
所収道跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
細谷地27次	集落	古代以降	土坑4					
細谷地28次Ⅰ区	集落	古代	竪穴建物2		土師器、須恵器、あかやき土器			
細谷地28次Ⅱ区	集落	古代	竪穴建物1、土坑2		土師器、須恵器、あかやき土器、			
細谷地31次Ⅰ区	集落	縄文時代 古代	竪穴建物1 竪穴建物12、竪穴遺構1、 土坑墓2、大溝1		縄文土器 土師器、須恵器、あかやき土器、黒書 フイゴ羽口、砥石、鉄鏝、炭化材	¹⁴ C年代測定 樹種特定		
細谷地31次Ⅱ区	集落	古代以降	土坑4、溝4					
細谷地31次Ⅲ区	集落	古代	竪穴状遺構1					
矢盛28次Ⅰ区	集落	古代以降	土坑9、溝3、ピット					
矢盛28次Ⅱ区	集落	縄文時代 近世以降	陥し穴3 土坑7、溝1					
矢盛30次Ⅰ区	集落	近世以降	土坑9、大溝1					
矢盛30次Ⅱ区	集落	古代以降	方形窟溝1、ピット					
矢盛30次Ⅲ区	集落	古代以降	土坑3、溝1、ピット					
矢盛31次Ⅰ区	集落	縄文時代 中世	陥し穴2 掘立柱建物20、掘立柱列10、 竪穴建物2、土坑14、堀1、 溝10、井戸1、道路1、ピット		炭化材	¹⁴ C年代測定 樹種特定		
矢盛31次Ⅱ区	集落	近世	常滑、瀬戸美濃鉄軸、肥前染付					
矢盛31次Ⅲ区	集落	なし	なし			トレンチ		
焼野3次	集落	なし	なし					
要約	<p>盛南地区道跡群は、平安時代初期の延暦22年（803）に朝廷が造営した古代城構「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。</p> <p>本書掲載のうち、盛南地区道跡群内で第二の規模の古代集落である細谷地遺跡では、計15棟の竪穴建物跡（住居）を精査し、多くの遺物が出土。道跡南東部の集落の様相を明らかにすることができた。</p> <p>中近世の集落が確認されている矢盛遺跡では、中世の掘立柱建物跡20棟・掘立柱列跡（板敷）10基、堀跡、竪穴建物跡2棟、井戸跡などを精査し、道跡南端部に位置する中世の居館（環濠集落）周辺の時期変遷案を想定することができた。</p>							

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅱ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査②－
細谷地遺跡・矢盛遺跡・焼野遺跡

平成29年3月20日

編集 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
E-mail iseki@city.moriokaiwate.jp
URL <http://www.city.moriokaiwate.jp/>

遺跡の学び館

検索

発行 独立行政法人都市再生機構
盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 株式会社 文協印刷
〒020-0835 岩手県盛岡市津志田15-35-5

〈表紙の色〉

浅緑（うすきび）：奈良・平安時代の律令国家では、儀式において官人は位階に応じた色の袍（ほう：ロングジャケットのようなもの）を着用しました。浅緑は、五位の色でした（延喜式等）。

